学校番号	2004

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	精選　国語総合　新訂版（大修館書店）						
副教材等	高校国語へのかけ橋（いいずな書店） 意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）　国語図説　五訂版（京都書房） 古典文法　要点整理ノート（数研出版）　古文単語 301（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代文では、１年生で漢検準２級程度の漢字と基本的な語彙（ごい）を身につけ、小説から評論まで、幅広い文章を読む力をつけてほしいと考えています。宿題（予習）は授業のベースとなり、進路選択の際に必要な力になりますので必ずきちんと取り組みましょう。授業についてはしっかりと説明を聞き、単元ごとに示すポイントに沿って本文を読むようにすれば、心配はありません。授業で扱った内容が理解できたかどうかは、授業中の発問に対する応答と、各単元で課される「感想」や「意見」の記述内容、定期テストで判断します。分からないことは積極的に質問して下さい。

古典では①入門として様々な有名作品に触れてもらいます②二年生・三年生での古典の読解にむけて基本的な知識を習得することが必要となるので、段階的・計画的に習得しましょう。文章の内容理解を行うために、自分の意見を自由に発言する機会やグループで話し合う機会があるので、積極的に参加して下さい。

２　学習の到達目標

・様々な文章の特徴を捉え、適切に読み取る力を高める。
・文章の内容に疑問を抱くことで、自らの思考力・想像力・認識力・判断力を伸ばす。
・他人の意見を聞き、自らの意見を述べることで、聞く力・話す力を育む。
・適宜文章を書き、それを批評することで、書く力や言葉に対する感性を磨く。
・優れた古典の文章に触れることで、我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
・語の成り立ちや慣習が生まれた背景についてその都度説明し、ものの見方、感じ方を理解する。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

・授業に積極的に取り組む。
・言語文化や伝統に対する関心を深める。
・文章に親しみ、自ら学ぶ意欲がある。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）
・提出物の点検

b 話す・聞く能力

・目的や場に応じて的確に聞き取ることができる。
・話の組み立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよくわかるよう話すことができる。

評価方法

・行動の観察
（授業中の態度や発言等）

c 書く能力

・文章の形態や文体、語句などを工夫して書いている。
・論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。

評価方法

提出物（グループワーク製作、ノート、プリントなど）の点検

d 読む能力

【小説】【詩】
表現に即して心情・情景を捉えることができる。
【評論】【随筆】
主張や意見について、概要を捉えることができる。
【古典】
・まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。

評価方法

・提出物の点検（ノート、プリント等）
・定期考査

e 知識・理解

【現代文】
・漢検４～準２級程度の漢字を読み書きできる。
・語句や文法、文学史の知識を身につけている。
【古典】
・音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。

評価方法

・小テスト
・提出物の点検
・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価基準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期中間	【現代文】随想	「挑戦」		○	○		○	○	a 主張を理解し、人間にとっての「挑戦」についての自己の考えを深めることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 d 論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえることができる。 e 本文中の語句や漢字を理解することができる。	行動の観察 提出物 定期考査
	【現代文】小説	「羅生門」		○		○	○		a 作品を読んで、登場人物の心情を捉え、人間の本質について考えることができる。 c 作品を読んで、自分の考えをまとめることができる。 d 表現に即して主人公の心情や作品の情景を理解できる。	行動の観察 提出物 定期考査

1学期中間	【古典】説話	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」		○			○	○	a 範読を参考に、声に出して本文を読んでいる。 平易な説話に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 話のおもしろさについて積極的に話し合っている。 d 口語訳を参考に、内容を展開に即して理解している。 主人公の行動と心情を読み取っている。 説話の内容のおもしろさを理解している。 e 古文の語彙・文法の基本を理解している。	a，d，e： 行動の観察 提出物の点検 小テスト 定期考査
	【古典】文法	歴史的仮名遣い、発音						○	e 歴史的仮名遣い、発音を理解している。	e： 提出物の点検 小テスト 定期考査
1学期期末	【現代文】評論	「水の東西」		○	○		○	○	a 対比的表現を理解し、「日本」と「西洋」の違いについて、考えを深めることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 d 論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえることができる。 e 本文中の語句や漢字を理解することができる。	行動の観察 提出物 定期考査
	【現代文】小説	「鏡」		○		○	○		a 作品の中の表現の特徴を理解し、作者の伝えたいことを考えることができる。 c 作品を読んで、自分の考えをまとめることができる。 d 表現に即して主人公の心情や作品の情景を理解できる。	行動の観察 提出物 定期考査

1学期期末	【現代文】評論	「空気を読む」		○	○		○	○	a「空気を読む」ことの問題点について、考えを深めることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 d 論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえることができる。 e 本文中の語句や漢字を理解することができる。	行動の観察 提出物 定期考査
	【古典】説話	『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」		○			○	○	a 範読を参考に、声に出して本文を読んでいる。 平易な説話に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 話のおもしろさについて積極的に話し合っている。 d 口語訳を参考に、内容を展開に即して理解している。 主人公の行動と心情を読み取っている。 e 古文の語彙・文法の基本を理解している。	a，d，e： 行動の観察 提出物の点検 小テスト 定期考査
	【古典】文法	品詞の分類						○	e 品詞の分類を理解している。	e： 提出物の点検 小テスト 定期考査
	【古典】教養	月の異名 古時刻・古方位						○	e 月齢と月の異名や方位を基にした古時刻について理解している。	e： 提出物の点検 小テスト 定期考査
	【古典】文法	動詞の活用						○	e 動詞の活用を理解している（四段、ナ変、ラ変、カ変、サ変）。	e： 提出物の点検 小テスト 定期考査

2学期中間	【現代文】評論	「自然と人間の関係をとおして考える」		○	○		○	○	a 近代以降の、自然と人間の間の問題について、考えを深めることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 d 論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえることができる。 e 本文中の語句や漢字を理解することができる。	行動の観察 提出物 定期考査
	【現代文】評論	「『方言コスプレ』現象」		○	○		○	○	a 日本語社会におけることばの価値の変動について、考えを深めることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 d 論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえることができる。 e 本文中の語句や漢字を理解することができる。	行動の観察 提出物 定期考査
	【現代文】詩	「甃のうへ」 「一つのメルヘン」		○			○		a 繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。 d 一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしようとしている。	行動の観察 提出物 定期考査
	【古典】説話	『今昔物語集』 「阿蘇の史、盗人にあひてのがるること」 『伊勢物語』 「芥川」		○			○	○	a 声に出して本文を読んでいる。描かれた人物像を理解し、古典の世界に親しもうとしている。 d 語句や表現に即して物語の展開を読み取る。 説話の内容のおもしろさを理解している。 e 当時の習俗について学ぶ。	a，d，e： 行動の観察 提出物の点検 小テスト 定期考査

2学期中間	【古典】文法	動詞の活用						○	ｅ動詞の活用を理解している。 （下一段、下二段、上一段、上二段）。	ｅ： 提出物の点検 小テスト 定期考査
	【古典】文法	形容詞・形容動詞の活用						○	ｅ形容詞・形容動詞の活用を理解している。	ｅ： 提出物の点検 小テスト 定期考査
2学期期末	【現代文】小説	「友よ」		○		○	○		ａ作品の理解し、戦争がもたらす問題について考えることができる。 ｃ作品を読んで、自分の考えをまとめることができる。 ｄ表現に即して主人公の心情や作品の情景を理解できる。	行動の観察 提出物 定期考査
	【現代文】評論	「言葉についての新しい認識」		○	○		○	○	ａ言葉の新しい認識を理解し、考えを深めることができる。 ｂ自分の考えを相手に伝えることができる。 ｄ論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえることができる。 ｅ本文中の語句や漢字を理解することができる。	行動の観察 提出物 定期考査

2学期期末	【古典】漢文	『漢文入門』 「漢文とは」 「故事成語」 『借虎威』		○			○	○	a 声に出して本文を読んでいる。 a 日本文化と中国文化の関係に関心を示し、古典の伝承を担う自覚を新たにしている。 ｅ訓読の基礎である訓点の用法や書き下し文の決まりを理解している。 ａ故事成語の意味・用法を漢和辞典で調べている。 a 範読を参考に、訓読のきまりに従って、漢文を声に出して読んでいる。 e 平易な漢文に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 e 故事成語のできた背景について理解しようとしている。 ｄ訓点に従って、漢文を声に出して正しく読んでいる。 e 訓点に従って、漢文を正しく書き下し文に改めている。 d 脚注を参考に、話の内容を捉えている。 d 話の展開・内容のおもしろさを理解している。 ｅ故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解している。	ａ，ｄ，ｅ： 行動の観察 提出物の点検 小テスト 定期考査

3学期	【現代文】評論	「技術としての教養」		○	○		○	○	a「技術」としての教養の大切さ理解し、今日必要とされる教養を考えることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 d 論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえることができる。 e 本文中の語句や漢字を理解することができる。	行動の観察 提出物 定期考査
3学期	【現代文】小説	「セメント樽の中の手紙」		○		○	○		a 作品中の過酷な労働の状況を理解し、この時代について考えることができる。 c 作品を読んで、自分の考えをまとめることができる。 d 表現に即して主人公の心情や作品の情景を理解できる。	行動の観察 提出物 定期考査
	【古典】軍記物語	『平家物語』 「木曾の最期」		○			○		a 声に出して本文を読んでいる。 軍記物語に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 読解を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くしている。 d 内容を展開に即して理解している。 登場人物の行動と心情を読み取っている。 軍記物語の内容のおもしろさを理解している。	a，d： 行動の観察 提出物の点検 定期考査
	【古典】文法	助動詞の種類						○	e 助動詞の性質と種類を理解している。	e： 提出物の点検 小テスト 定期考査

令和２年度　国語表現

学校番号	2004

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語表現の授業は座学ではなく、平常点重視の実技科目だと考えよう。ここでは、書く力や話す力が身に付く。実技科目に近いので、欠席しないことも重要だ。毎回の授業で与えられた課題にしっかり取り組もう。
また、副教材の「国語常識の総演習」を毎回の宿題とするので、忘れないようにすること。一年間やりきった後に身につく漢字や知識は社会に出てから役に立つ力だ。

２　学習の到達目標

・漢字、語彙、国語常識など、基礎学力を養う。
・正しい表現を使って文章を作成できるようになる。
・人に説明し、自らの考えを伝える力を養う。
・映像コンテンツなどから、多様な生き方、考え方を学ぶ。
・短歌や新聞づくりなど、作品を仕上げる上でレイアウトや構図を工夫する力を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

宿題を提出し、学習し、身に着けたか。授業に積極的に参加し、表現活動を行えたか。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）・小テスト・提出物（ノート・小論文・ワークプリントなど）

ｂ話す・聞く能力

皆の前で発表することが出来たか。コミュニケーションワークに積極的に取り組んだか。友人の発表を評価できたか。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）・提出物

ｃ書く能力

ことばを使って様々な表現活動を行う。意見文・小論文・韻文・鑑賞文・物語などをかけたか。

評価方法

・提出物（ノート・小論文・ワークプリント・作品など）

ｄ読む能力

ｅ知識・理解

・国語の常識や語彙に関しての知識を増やし、意味や使用方法を理解することができたか。

評価方法

・国語常識の総演習
・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期中間	さまざまな価値観を知り自分の将来について考える	・さまざまな価値観を知り、（価値観プリント記入、集計、将来像）将来の自分について考える。 ・先輩たちの生き方（DVD、インタビュー）から学ぶ。 ・ことばの持つ力（DVD「ことばの力」）について考え、書く。		○	○	◎			ａ：授業の中で考えたことを話し合うことができる。人生の先輩へのインタビューを行う。 ｂ：話し合ったことを発表し、聞くことができる。 ｃ：生き方や、ことばの力についての自分の経験や考えを書くことができる。	ａ，ｂ，ｃ：行動の観察、提出物
	国語常識の総演習の家庭学習	重要語の読み、書き、慣用句、ことわざ、近代短歌。		○				◎	ａ：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 ｅ：知識を身につける。	ａ，ｅ：提出物・定期考査
1学期期末	小論文の書き方を学ぶ 正しい文章を書く力を伸ばす	・自分の意見と根拠をまとめる ・時事問題などについて賛成・反対などの立場を示す ・ワークを使い文のねじれなど訂正していく		○	○	◎		○	ａ：現代社会の諸問題について調べ自分なりに考えようとしている。 ｂ：友人と現代の諸問題について話し合う。 ｃ：二つの視点からの問題の捉え方について理解し記述している。 ｅ：様々な知識を身につけている。	ａ，ｂ，ｃ，ｅ：行動の観察・提出物
	「自己 PR 文」を作る	６００字程度で、自分の長所・短所などを紹介する文を書く		○		◎		◎	ａ：自己を伝えるため積極的に取り組んでいる。 ｃ：自分の意見とその反論について知り、まとめ記述できている。 ｅ：自己 PR に関係する事柄について調べている	ａ，ｃ，ｅ：行動の観察・提出物

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期期末	国語常識の総演習の家庭学習	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、近代俳句。		○				◎	a：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 e：知識を身につける。	a，e：提出物・定期考査
2学期中間	説明シリーズ 図や地図から説明する文章を作る	・道案内、物の形を伝える、料理の手順などの題材で説明する力を身につける。		○		◎			a：積極的に説明の順序など、基本的な説明の技術を身につけようとしている。 c：互いに説明をして、わかりやすい文章か確認する。	a，c：行動の観察 ・提出物
	手紙シリーズ 手紙の書き方、慶弔の文書の作成などを行う	・往復はがきなどの返信方法や時候のあいさつなどの基礎知識を学ぶ ・実際にお世話になった人に手紙を作成する		○		◎			a：積極的に手紙を作成するにあたっての手法を学ぼうとしている。 c：手紙を第三者に渡し、感想などをもらい、振り返る。	a，c：行動の観察・提出物
	国語常識の総演習の家庭学習	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、近代俳句。		○				◎	a：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 e：知識を身につける。	a，e：提出物・小テスト ・定期考査
2学期期末	思い出新聞づくり	・高校生活を振り返って、趣味や部活動や将来の夢などを新聞にして紹介する。 ・見出しやレイアウトなど、実際の新聞を参考にして、わかりやすい文を書く。		○		◎		◎	a：新聞に関する構成や約束事を意欲的に吸収している。 c：限られたスペースで自分のことを端的にわかりやすく説明する。 e：新聞の歴史や種類を知る。	a，c，e：行動の観察・提出物

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
２学期期末	国語常識の総演習の家庭学習。	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、敬語、文法など。		○				◎	ａ：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 ｅ：知識を身につける。	ａ，ｅ：提出物・定期考査
３学期期末	３分間スピーチ 自分の趣味や特技、または将来の夢など、題材を自由とし、クラスの前で発表する。	・原稿を作成し、暗唱する。 ②お互いの短歌を鑑賞する。		○	◎				ａ：スピーチの手法について積極的に学び、意欲的に練習に取り組んでいる。 ｂ：授業のクラスでスピーチをして、内容、暗唱、声の大きさなどを総合して説得力をもった演説になっている。	ａ，ｂ：行動の観察、提出物
	国語常識の総演習の家庭学習。	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、敬語、文法など。		○				◎	ａ：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 ｅ：知識を身につける。	ａ，ｅ：提出物・定期考査

令和２年度　国語表現

学校番号	2004

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語表現の授業は座学ではなく、平常点重視の実技科目だと考えよう。ここでは、書く力や話す力が身に付く。実技科目に近いので、欠席しないことも重要だ。毎回の授業で与えられた課題にしっかり取り組もう。
また、副教材の「国語常識の総演習」を毎回の宿題とするので、忘れないようにすること。一年間やりきった後に身につく漢字や知識は社会に出てから役に立つ力だ。

２　学習の到達目標

・漢字、語彙、国語常識など、基礎学力を養う。
・正しい表現を使って文章を作成できるようになる。
・人に説明し、自らの考えを伝える力を養う。
・映像コンテンツなどから、多様な生き方、考え方を学ぶ。
・短歌や新聞づくりなど、作品を仕上げる上でレイアウトや構図を工夫する力を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

宿題を提出し、学習し、身に着けたか。授業に積極的に参加し、表現活動を行えたか。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）・小テスト・提出物（ノート・小論文・ワークプリントなど）

ｂ話す・聞く能力

皆の前で発表することが出来たか。コミュニケーションワークに積極的に取り組んだか。友人の発表を評価できたか。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）・提出物

ｃ書く能力

ことばを使って様々な表現活動を行う。意見文・小論文・韻文・鑑賞文・物語などをかけたか。

評価方法

・提出物（ノート・小論文・ワークプリント・作品など）

ｄ読む能力

ｅ知識・理解

・国語の常識や語彙に関しての知識を増やし、意味や使用方法を理解することができたか。

評価方法

・国語常識の総演習
・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期中間	さまざまな価値観を知り自分の将来について考える	・さまざまな価値観を知り、（価値観プリント記入、集計、将来像）将来の自分について考える。 ・先輩たちの生き方（DVD、インタビュー）から学ぶ。 ・ことばの持つ力（DVD「ことばの力」）について考え、書く。		○	○	◎			ａ：授業の中で考えたことを話し合うことができる。人生の先輩へのインタビューを行う。 ｂ：話し合ったことを発表し、聞くことができる。 ｃ：生き方や、ことばの力についての自分の経験や考えを書くことができる。	ａ，ｂ，ｃ：行動の観察、提出物
	国語常識の総演習の家庭学習	重要語の読み、書き、慣用句、ことわざ、近代短歌。		○				◎	ａ：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 ｅ：知識を身につける。	ａ，ｅ：提出物・定期考査
1学期期末	小論文の書き方を学ぶ 正しい文章を書く力を伸ばす	・自分の意見と根拠をまとめる ・時事問題などについて賛成・反対などの立場を示す ・ワークを使い文のねじれなど訂正していく		○	○	◎		○	ａ：現代社会の諸問題について調べ自分なりに考えようとしている。 ｂ：友人と現代の諸問題について話し合う。 ｃ：二つの視点からの問題の捉え方について理解し記述している。 ｅ：様々な知識を身につけている。	ａ，ｂ，ｃ，ｅ：行動の観察・提出物
	「自己 PR 文」を作る	６００字程度で、自分の長所・短所などを紹介する文を書く		○		◎		◎	ａ：自己を伝えるため積極的に取り組んでいる。 ｃ：自分の意見とその反論について知り、まとめ記述できている。 ｅ：自己 PR に関係する事柄について調べている	ａ，ｃ，ｅ：行動の観察・提出物

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期期末	国語常識の総演習の家庭学習	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、近代俳句。		○				◎	a：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 e：知識を身につける。	a，e：提出物・定期考査
2学期中間	説明シリーズ 図や地図から説明する文章を作る	・道案内、物の形を伝える、料理の手順などの題材で説明する力を身につける。		○		◎			a：積極的に説明の順序など、基本的な説明の技術を身につけようとしている。 c：互いに説明をして、わかりやすい文章か確認する。	a，c：行動の観察 ・提出物
	手紙シリーズ 手紙の書き方、慶弔の文書の作成などを行う	・往復はがきなどの返信方法や時候のあいさつなどの基礎知識を学ぶ ・実際にお世話になった人に手紙を作成する		○		◎			a：積極的に手紙を作成するにあたっての手法を学ぼうとしている。 c：手紙を第三者に渡し、感想などをもらい、振り返る。	a，c：行動の観察・提出物
	国語常識の総演習の家庭学習	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、近代俳句。		○				◎	a：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 e：知識を身につける。	a，e：提出物・小テスト ・定期考査
2学期期末	思い出新聞づくり	・高校生活を振り返って、趣味や部活動や将来の夢などを新聞にして紹介する。 ・見出しやレイアウトなど、実際の新聞を参考にして、わかりやすい文を書く。		○		◎		◎	a：新聞に関する構成や約束事を意欲的に吸収している。 c：限られたスペースで自分のことを端的にわかりやすく説明する。 e：新聞の歴史や種類を知る。	a，c，e：行動の観察・提出物

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
２学期期末	国語常識の総演習の家庭学習。	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、敬語、文法など。		○				◎	ａ：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 ｅ：知識を身につける。	ａ，ｅ：提出物・定期考査
３学期期末	３分間スピーチ 自分の趣味や特技、または将来の夢など、題材を自由とし、クラスの前で発表する。	・原稿を作成し、暗唱する。 ②お互いの短歌を鑑賞する。		○	◎				ａ：スピーチの手法について積極的に学び、意欲的に練習に取り組んでいる。 ｂ：授業のクラスでスピーチをして、内容、暗唱、声の大きさなどを総合して説得力をもった演説になっている。	ａ，ｂ：行動の観察、提出物
	国語常識の総演習の家庭学習。	重要語の読み書き、故事成語、四字熟語、敬語、文法など。		○				◎	ａ：家庭学習を行い知識を身につけようとしている。 ｅ：知識を身につける。	ａ，ｅ：提出物・定期考査

学校番号	2004

令和２年度　現代文Ｂ

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編現代文Ｂ（東京書籍）						
副教材等	意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）　新国語便覧（第一学習社） プログレス現代文総演習 基本編（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では１年次よりもさらに抽象度の高い文章を読むので、語彙力や漢字の知識の定着を図りましょう。
・「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・宿題（漢字書き取り・意味調べプリント）は授業のベースとなる知識ですので、必ずきちんと取り組みましょう。授業についてはしっかりと説明を聞くようにこころがけて、単元ごとに示すポイントに沿って本文を読むようにすれば、心配はありません。授業で扱った内容が理解できたかどうかは、授業中の発問に対する応答とノート提出や定期テストで判断します。分からないことは積極的に質問して下さい。
・評価は定期テストや提出物だけでなく、授業中に書いた文章や発表の様子など総括的に行います。

２　学習の到達目標

・様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
・語句の意味を的確にとらえて、文章の内容を文脈に沿って理解したうえで自分の意見を持ち、文章の主旨などを自分の言葉で適切に説明できるようにする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

授業に積極的に取り組み、現代文について自ら学ぶ意欲がある。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）
・小テスト

ｂ話す・聞く能力

本文の内容を踏まえて、目的や場に応じて論理的に自分の意見を話すことができる。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）
・提出物の点検
（ノート、ワークプリントなど）

ｃ書く能力

本文の内容を踏まえて、論理の構成や展開を工夫し論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。**評価方法**

・提出物の点検
・定期考査

ｄ読む能力

【小説】【詩】
・表現に即して人物、情景、心情などをとらえることができる。
【評論】【随想】
・筆者の主張や意見について、概要を詳細にとらえることができる。

評価方法

・提出物の点検
（ノート、ワークプリントなど）

ｅ知識・理解

・漢検３～２級程度の漢字を読み書きできる。
・現代文を理解するために必要な語句の知識や、文学史の知識などを把握して、身につけることができている。

評価方法

・小テスト
・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期中間	随想	『さくらさくらさくら』		○			○	○	a 教材に興味を持って接している。 d 日本とヨーロッパを対比して「桜」観の違いを読み取っている。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ａｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等
	小説	『みどりのゆび』		○			○	○	a 小説という表現形式の特徴を理解しようとしている。 d 祖母の病状とそれに対する「私」の心理を理解している。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ａｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等
1学期期末	評論	『生命とは何か』		○	○		○	○	a 生命の特徴や不思議さについて考えようとしている。 b 生命の不思議さについて各自探し出した具体例を挙げながら話し合っている。 d 筆者の考える「生命活動の本質」とは何か読み取っている。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ａｂｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等
	小説	『ナイン』					○	○	d 登場人物の「当時」と「今」の変化を理解している。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
2学期中間	詩	『一つのメルヘン』		○			○	○	a 作者に関心を持っている。 d 第一・二連の情景と表現効果を理解している。 e 詩の形式を識別している。	ａｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等
	小説	『こころ』			○	○	○	○	b 推測したことについて、根拠を示して話し合っている。 c 長文の教材の話の流れを把握し、段落分けし、各段落の内容を簡潔に表現している。 d 登場人物の心理の動きを捉えている。 d「私」がＫに対して積極的になる転機を理解している。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ｂｃｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等
2学期期末	詩	『Ｉ　was born』		○	○		○	○	a 作者に興味を持っている。 b「命」に関して、自分なりの思いを述べている。 d「僕」の気持ちの流れを読み取り、「僕」の発見がどこにあったか理解している。 e 詩の形式を識別している。	ａｂｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等
	評論	『「ふしぎ」ということ』				○	○	○	c 筆者の意見を的確に把握し、自分の意見を分かりやすく書いている。 d ニュートンや釈迦牟尼のものの捉え方について理解している。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ｃｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等
	小説	『旅する本』					○	○	d 本文の内容に即して、表現の内容を的確に理解している。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ｄｅ：小テスト ノート 定期考査 観察等

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
3学期期末	小説	『山椒魚』		○			○	○	a 文章表現の特徴について関心を持っている。 d 岩屋の内外の様子や山椒魚の心情を把握している。 e 基本的な予備知識を持ち、小説の設定を把握している。	ａｄｅ：小テストノート定期考査観察等
	評論	『分からないからおもしろい』			○		○	○	b 本文を踏まえて「働くこと」について考えたことを話し合っている。 d 第三段における「分からない」の意味とその本質を理解する。 e 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	ｂｄｅ：小テストノート定期考査観察等

学校番号	2004

令和２年度　現代文Ｂ

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　標準現代文Ｂ（第一学習社）						
副教材等	改訂版　ほんものの力がつく　現代語練習帳　ことのは（いいずな）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生では、小説・随想を重点的に勉強します。２年次に引き続き、知らない語句などもたくさん出てきますので、辞書を引く習慣をつけ、語彙を増やすように努めてください。小説については近代の作品も学んでいきます。本文の内容だけでなく、授業で説明する時代背景等も理解しながら行間を読む力を身に着けていきましょう。また、漢字ドリルや小テストを通して、知識の定着を図ります。同音異義語や難読語など漢字だけにとどまらず幅広く語彙を勉強していきましょう。また、受験に現代文が必要な人は、問題集にも積極的に取り組みましょう。授業時はしっかりと説明を聞き、単元ごとに示すポイントを意識しながら本文を読むようにすれば心配はありません。授業で扱った内容が理解できたかどうかは授業中の発問に対する応答と定期考査で判断します。分からないことは積極的に質問してください。

２　学習の到達目標

・論理的思考力を高めるとともに、幅広い視点から物事をとらえる判断力を育成する。
・教材を通して現代社会に対する認識力を高め、主体的な言語活動を営む国語力を育む。
・文章の推敲や積極的な言語活動を通して、書く力や話す力を育み、言葉に対する感性を磨く。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

授業に積極的に取り組み、現代文について自ら学ぶ意欲がある。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）
・提出物（ノート、プリント等）の点検
・小テスト

ｂ話す・聞く能力

・本文の内容を踏まえて、目的や場に応じて論理的に自分の意見を述べている。
・級友の意見をきちんと聞くことができる。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）

ｃ書く能力

本文の内容を踏まえて
・論理の構成や展開を工夫し論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。
・自分の感想を書くことができる。
・自分の意見を論理的に書くことができる。

評価方法

・提出物（ノート、プリント等）の点検

ｄ読む能力

【小説】【詩】
表現に即して心情を理解できる。
【評論】【随筆】【随想】
筆者の主張や意見を論理的に理解できる。

評価方法

・提出物（ノート、プリント等）の点検
・定期考査

ｅ知識・理解

・漢検３～２級程度の漢字を読み書きできる。
・現代文を理解するために必要な語句の知識や、文学史の知識などを把握して、身につけることができている。

評価方法

・確認テスト
・提出物（ノート、プリント等）の点検
・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	随想	『ワスレナグサ』		○			○	○	a 筆者の考えに基づいて世界を読むことができる。 d 読みやすい文章の展開や構成を捉えることができる。 e 話すこと・聞くことに必要な知識を理解し活用できる。	ade： 確認テスト ノート 定期考査 観察等
	小説	『ひよこの眼』		○	○	○		○	a 人物の行為と描写から心情の変化を読み取ることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 c 同じ状況において自分だったらどうするかを文章にすることができる。 e 話すこと・聞くことに必要な文章の構造や組み立てについて理解している。	abce： 確認テスト ノート 定期考査 観察等
1学期期末	評論	『鏡としての他者』		○			○	○	a 筆者の主張を理解し、「他者」について考える。 d 論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえる。 e 話すこと・聞くことに必要な文章の構造や組み立てについて理解している。	ade： 確認テスト ノート 定期考査 観察等
2学期中間	小説	『こころ』		○	○	○		○	a 人物の行為と描写から心情の変化を読み取ることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 c 同じ状況において自分だったらどうするかを文章にすることができる。 e 話すこと・聞くことに必要な文章の構造や組み立てについて理解している。	abce： 確認テスト ノート 定期考査 観察等

学期	単元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
2学期期末	随想	『記憶のゆがみ』		○			○	○	a 筆者の考えに基づいて世界を読むことができる。 d 読みやすい文章の展開や構成を捉えることができる。 e 話すこと・聞くことに必要な知識を理解し活用できる。	ade： 確認テスト ノート 定期考査 観察等
3学期期末	小説	『卒業』		○	○	○		○	a 人物の行為と描写から心情の変化を読み取ることができる。 b 自分の考えを相手に伝えることができる。 c 同じ状況において自分だったらどうするかを文章にすることができる。 e 話すこと・聞くことに必要な文章の構造や組み立てについて理解している。	abce： 確認テスト ノート 定期考査 観察等

学校番号	2004

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編古典Ｂ　改訂版（大修館書店）						
副教材等	意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）　古文単語３０１（尚文出版） 三訂版完全傍訳やさしくくわしい古典文法（尚文出版）　新国語便覧（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の授業で古典の読解にむけて基本的な知識を習得してきました。２年次ではさらに進んだ文法事項と読解に取り組んでもらいます。単語帳『古文単語３０１』を各自で覚えて、古典の語彙を増やしていきましょう。また、引き続き文章の内容理解を行うために、自分の意見を自由に発言する機会やグループで話し合う機会があるので、積極的に参加して下さい。
漢文に関しては訓読のルールを忘れないように復習しておきましょう。

２　学習の到達目標

・優れた古典の文章に触れることで、我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
・語の成り立ちや慣習が生まれた背景についてその都度説明し、ものの見方、感じ方を理解する。
・古典特有の語句や文法の使い方を学び、自らの力で古典文学を読み解く力を養う。
・受け継がれてきた伝統を守るという意識をもって古典を学び教養を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

現代と異なる風習や芸能に触れて、古典に対する興味・関心を高め、現代との相違点・類似点を探る。

評価方法

・授業中の発問
・ノートでの感想記入

ｂ話す・聞く能力

ｃ書く能力

ｄ読む能力

語彙の理解や古典文法で得た知識を使い、筆者や登場人物の心情などを読み解く。

評価方法

・定期考査
・提出物の点検（ノート等）

ｅ知識・理解

古典文法、表記、語句、語彙を理解し、基礎となる知識を身につけている。

評価方法

・提出物の点検（ノート等）
・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価基準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期中間	説話	今昔物語集 「安倍晴明と百鬼夜行」		○			○	○	ａ言語文化や伝統に対する関心を深める。 ｄ「陰陽道」の思想や登場人物の感情を的確に読み取り、考え方を豊かにする。 ｅ文法・語句についての理解を深める。	A 行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・ｅ 定期考査
	説話	御伽草子 「一寸法師」		○			○	○	ａ言語文化や伝統に対する関心を深める。 ｄ御伽草子という現代でも多くの場面で登場する話を原文で味わい、主人公の心情を文章にする。 ｅ文法・語句についての理解を深める。	A 行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・ｅ 定期考査
	文法	用言の復習 動詞・形容詞・形容動詞						○	ｅ用言の識別と活用について理解する。	ｅ 小テストまたは定期考査
1学期期末	説話	竹取物語 「かぐや姫の昇天」		○			○	○	ａ言語文化や伝統に対する関心を深める。 ｄかぐや姫・翁・帝といった様々な立場の登場人物の心情を読み取り取る。心情の変化と理由を理解する。 ｅ内容を通じて文法・語句についての理解を深める。	ａ 行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・ｅ 定期考査

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価基準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期期末	歌物語	伊勢物語 「初冠」		○			○	○	ａ言語文化や伝統に対する関心を深める。 ｄ古人が歌を詠む時の心情を読み取り、考え方を豊かにする。元服したばかりの青年の気持ちを文章にする。 ｅ内容を通じて文法・語句についての理解を深める。	ａ 行動の観察 （授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・ｅ 定期考査
	文法	助動詞①						○	ｅ助動詞の基礎と助動詞「ず」を理解する。	ｅ小テストまたは定期考査
2学期中間	随筆	徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」					○	○	ｄ『徒然草』や兼好法師、または随筆文学について関心をもち、作者のものの見方や感じ方、考え方を理解しようとしている。上人の失敗談の面白さと、それを再現する作者の構成の巧みさを読み取っている。 ｅ文法・語句についての理解を深める。	ａ ・行動の観察 （授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・ｅ 定期考査
	随筆	方丈記 「行く川の流れ」		○			○	○	ａ『方丈記』や鴨長明、または随筆文学について関心をもち、作者の考え方や、その時代的・思想的背景を理解しようとしている。 ｄ作者の考え方や、その背景に無常観があることを理解している。 ｅ対句表現や比喩などの修辞技法について理解している。	ａ ・行動の観察 （授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・ｅ 定期考査
	文法	助動詞②						○	ｅ助動詞「る・らる・す・さす・しむ」を理解する。	ｅ 小テストまたは定期考査

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点					単元の評価基準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
2学期期末	漢文	故事成語 「朝三暮四」		○			○	○	ａ教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 ｄ古代中国人のものの見方や考え方を理解し、さらに故事成語の現代的意義を考えることで、自分の考えを深めている。 ｅ返り点、助字、再読文字などの文法・語句について理解している。	a ・行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） d・e 定期考査
	漢詩	「絶句」 「秋浦歌」		○			○	○	ａそれぞれの詩に描かれた情景や心情を読み取ろうとしている。 ｄ繰り返し朗読し、漢詩独特の口調に慣れ親しんでいる。 ｅ絶句や律詩の形式について理解している。	a ・行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） d・e 定期考査
	文学史	漢詩の世界						○	ｅ作者と出典、時代背景について理解している。	e 小テストまたは定期考査
3学期	和歌	百人一首 「百人一首の恋の歌」		○			○	○	ａそれぞれの歌に込められた心情を理解し、ものの見方や感じ方を豊かにしようとしている。 ｄ『百人一首』の恋の歌の特色を読み味わっている。 ｅ和歌の影響リズムと内容を理解し、その表現効果について知識を深めている。	ａ 行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・e 定期考査

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点					単元の評価基準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
３学期	日記	土佐日記 「門出」		○			○	○	ａ『土佐日記』や紀貫之、また日記文学について関心をもち、理解しようとしている。 ｄ当時の旅の様子を読み取り、古代人の生活についての理解を深めている。 ｅ教科書の旅程図などを参考に、旅の経路や日程などを理解している。	ａ 行動の観察 （授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート等） ｄ・ｅ 定期考査
	文法	助動詞③						○	ｅ助動詞「き・けり・つ・ぬ・たり・り」を理解する。	ｅ 小テストまたは定期考査

学校番号	2004

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　古典Ｂ　改訂版（大修館書店）						
副教材等	・シンプルスタイルシリーズ　古典単語３０１（尚文出版） ・記入して覚える　古典文法クリアノート（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一･二年時に学習した語句、文法、古典常識を習得しておくことが必要です。分からないまま放置しないこと。
・音読・語句の意味調べ・口語訳を徹底しましょう。内容に集中するためにも、基本をきちんと理解しておきましょう。
・現代文と同じく、話の筋をつかむことが重要です。登場人物の関係性や時代背景・文化を正しく捉え、心情や思想を理解し、自分でも本文のあらましを説明できるようになりましょう。

２　学習の到達目標

・優れた古典の文章に触れることで、我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
・古典特有の語句や文法の使い方を学び、自らの力で古典文学を読み解く力を養う。
・時代を超えて変わる習慣もあれば、時代を超えても変わらない心情や施策もある。現代との繋がりを意識しながら古典を味わい、これからの文化を創造する力を身につける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

言語文化や伝統に対する関心を深め、進んで古典に親しもうとする。

評価方法
・行動の観察(授業中の発言等)
・ノート等への感想・発見の記入

ｂ話す・聞く能力

ｃ書く能力

ｄ読む能力

語彙の理解や古典文法で得た知識を使い、筆者や登場人物の心情などを読み解く。また、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。

評価方法
・提出物の点検(ノート等)
・定期考査

ｅ知識・理解

古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。

評価方法
・提出物の点検(ノート等)
・定期考査　　・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価基準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期中間	漢文	「漁夫の利」 「漁夫の利」 小林一茶 「絶句」 「送友人」		○			○	○	a 訓読のきまりに注意しながら、本文読む。 d 訓読のきまりに従って、正確に本文を読む。故事成語の背景を知り、意味を正確につかむ。 e 句法を習熟し、正確な口語訳を作ることができる。	a： 行動の観察（授業中の発言等） d・e： 定期考査
	文法	訓点 返り点						○	e 訓点・返り点を正確に理解できる。	e：小テストまたは定期考査
1学期期末	和歌	百人一首		○			○	○	a 和歌のリズムや競技としての面白さに親しむ。 d 和歌の内容を理解し、味わう。 e 和歌の修辞について知り、内容の理解に役立てる。	a： 行動の観察 d・e： 提出物の点検 定期考査
		動詞 形容詞 形容動詞 助動詞						◎	e 用言の活用を復習する	e： 提出物の点検 定期考査
	日記文学	紫式部日記 「和泉式部と清少納言」		○				◎	a 歴史上の人物が歴史物語の中でどのように書かれているかを読み、人物像を読み取ろうとしている。 e 宮廷で過ごした女性たちによって栄えた日記文学にどのような思いが綴られていたかを正しく読み取っている。	a，e： 行動の観察 提出物の点検 定期考査
	文法	助動詞						◎	e 活用の復習と接続の違いを理解する。	e： 提出物の点検 定期考査

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価基準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
2学期中間	物語	源氏物語 「若紫」		◎			○		a 教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 d 敬語の用い方から人物関係を正しく読み取っている。	a， d： 行動の観察 提出物の点検 定期考査
	文法	動詞 形容詞 形容動詞 助動詞						◎	e 用言の活用を復習する	e： 提出物の点検 定期考査
2学期期末	歴史物語	大鏡 「比べ弓」		○				◎	a 歴史上の人物が歴史物語の中でどのように書かれているかを読み、人物像を読み取ろうとしている。 e『大鏡』の構成と内容（紀伝体・対話形式）、歴史物語としての特色や、文学史的な位置づけについて理解している。	a， e： 行動の観察 提出物の点検 定期考査
	文法	助動詞						◎	e 助動詞「ぬ」の識別	e： 提出物の点検 定期考査
3学期	物語	今昔物語集 「高陽親王のからくり人形」		◎			○		a 教材に興味をもって学習に取り組んでいる。 d 説話の中で、様々な階級の人々が機転を働かせて問題を解決する過程を正しく読み取っている。	a， d： 行動の観察 提出物の点検 定期考査
	文法	表現技法						◎	e 已然形＋「ば」条件の識別	e： 提出物の点検 定期考査

学校番号	2004

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	(学)国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新装版　現代文読解 WORKS　レッスン１（尚文出版）						
副教材等	入試漢字と現代文重要語　キーワード漢字 2700（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代文を読み解くためには、文章を読み解くための「解き方」と、ことばの意味を理解する「語彙力」が必要です。国語演習の授業では、教科書となるテキストを解き、現代文の「解き方」を身につけることを目標とします。

文章の構造や接続詞などを理解して読み解く「解き方」の方法論を身に付け、初見の文章にも対応できるようになりましょう。

「語彙力」は評論や小説を読み解くために必要な力です。重要単語を成り立ちから学び、身に付けていきましょう。

2　学習の到達目標

＜語彙＞語彙を増やす。
＜評論＞根拠を持って論理的に文章を読み解く。
＜小説＞根拠を持って客観的に登場人物の心情を読み取る。

3　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

毎回の予習を行い、積極的に授業に参加できたか。

評価方法

・行動の観察（授業中の態度や発言等）
・提出物の点検
・小テスト

ｂ話す・聞く能力

ｃ書く能力

本文の構造を読み解き、記述できたか。

評価方法

・提出物の点検
・定期考査

ｄ読む能力

＜小説＞
客観的に心情を読み取れたか。
＜評論＞
筆者の主張や意見を論理的に読み解けたか。

評価方法

・提出物の点検
・定期考査

ｅ知識・理解

語彙に関しての知識を増やし、意味と使用方法を理解することが出来たか。

評価方法

・小テスト
・提出物の点検
・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
1学期中間	キーワードをとらえる (基本編・応用編)	文章の話題や筆者の主張を理解するために繰り返し登場する言葉を押さえさせる。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ文章を読んでキーワードをとらえることができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
	接続後 ・順接、逆説 ・さまざまな接続語 (基本編・応用編)	筆者の論展開を接続語前後の関係から考えさせる。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ接続語の役割を理解し筆者の論理展開を正しく読み取ることができたか。 e 各接続語の持つ役割を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
1学期期末	指示語 (基本編・応用編)	筆者の論理展開をつかむために指示語の内容を把握する。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ話題の流れ、段落同士のつながりを指示語の内容を理解することでつかめているか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
	繰り返し表現をとらえる (基本編・応用編)	同じことを繰り返し述べている表現を探す。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ表現が言い換えられている箇所が示す内容を説明することができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
2学期中間	具体と抽象をとらえる (基本編・応用編)	具体と抽象を整理しながら、筆者の意見を確かめる。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ具体例を探し、抽象的な内容との対応関係を捉えることができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト

学期	単元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点					単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d	e		
2学期中間	対比の関係をとらえる (基本編・応用編)	対比関係に注目し、筆者の意見やものの見方をとらえる。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ対比関係を理解し、筆者の意見を理解することができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
	人物･舞台を読み取る	人物設定や５Ｗ１Ｈを理解する		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ人物描写や舞台設定を理解することができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
2学期末	心情理解	登場人物の言動に注目する。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ本文の心情が表れている箇所に気がつき、登場人物の心情を正しく読み取ることができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
	心情説明 理由説明	描かれている場面や登場人物の状況を把握する。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ本文中の比喩表現が具体的に何を表しているのかに気がつくことができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト
3学期末	情景描写を読み取る	情景と心情のを関連づけて読む。		○		○	○	○	ａ教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 ｃ・ｄ本文中の比喩表現が具体的に何を表しているのかに気がつくことができたか。 e 語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	acd 提出物 行動観察 定期考査 e 小テスト

学校番号	2004

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	学年	２年次
使用教科書	新詳　世界史Ｂ（帝国書院）						
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表　三訂版（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ

私たちは、様々な人々・民族とともにこの地球上で生活しています。そして、彼らとともに現代の課題を解決していくことが強く求められています。そのためには、この多くの人々のことをよく理解する必要があります。「世界史Ｂ」は、この地球で生活してきた人々・民族の歩みを学習することをとおして、私たちが直面する様々な課題を世界の人々とともに解決していけるような視点（見方）を身につけることを目標にしています。１年間ともに学習していきましょう。

2 学習の到達目標

・２年次では人類の誕生からヨーロッパ・オリエント・インド・中国・イスラームの人々の、古代・中世までの古い時代を学習します。
・「世界史についての基本的な知識」と「資料等を活用して、歴史を読み取る力」が身についている。
・世界各地域の社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。

3 学習評価と評価方法

a 関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、世界の課題を意欲的に追求する姿勢

評価方法

◎授業中の様子
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
◎プリントの記述
・新しい課題に着目しているか。

など

b 思考・判断・表現

世界各地域の人々が直面した歴史的課題について、よく考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

◎考査の論述問題
◎課題追求学習の発表
・自分で調べたことが人に伝わるか。

など

c 資料活用の技能

世界各地域の社会変化や歴史的課題について、資料・地図等から情報を正しく集め、活用する力

評価方法

◎考査の資料問題
◎課題追求学習の情報収集

など

d　知識・理解

世界の各地域の課題について、時代ごと、主題ごとに理解するための知識

評価方法

◎考査の知識問題
◎課題追求学習の内容

など

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	人類の出現	◎人類の出現 ◎農耕・牧畜の始まり ◎文明の誕生		○ ○ ○	○		○ ○	a人類の出現に意欲的に参加する態度 b人類の出現について意見を持ち表現できる c人類の出現の情報を収集し活用できる d人類の出現の知識を持っている	プリント テスト 授業態度
	オリエント世界と地中海世界の形成	◎オリエント世界・地中海世界の風土と人々 ◎メソポタミア文明 ◎エジプト文明 ◎セム系諸民族の興隆 ◎アッシリアによるオリエントの統一 ◎アケメネス朝ペルシアによるオリエントの再統一		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	aオリエント世界と地中海世界の形成に意欲的に参加する態度 bオリエント世界と地中海世界の形成について意見を持ち表現できる cオリエント世界と地中海世界の形成の情報を収集し活用できる dオリエント世界と地中海世界の形成の知識を持っている	プリント テスト 授業態度

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期期末	地中海世界の形成	◎エーゲ文明 ◎ポリスの形成 ◎スパルタとアテネ ◎ペルシア戦争 ◎デロス同盟とペロポネソス同盟 ◎共和政ローマポエニ戦争とローマ社会の変質 ◎内乱の一世紀 ◎帝政ローマ ◎キリスト教の成立 ◎ローマ帝国の再建と衰退		○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	プリント テスト 授業態度
	南アジア世界の形成	◎南アジア世界 ◎インダス文明 ◎ヴェーダ時代のインド社会 ◎都市の発展、思想的活況、帝国の形成 ◎古典文化の開花とヒンドゥー文化の波及		○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	プリント テスト 授業態度
2学期中間	東アジア世界のあけぼの	◎東アジア世界の風土と人々 ◎農耕都市文明のおこり ◎殷と周 ◎春秋・戦国時代の社会変動		○ ○ ○	 ○ 	○ ○ 	 ○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	プリント テスト 授業態度
	東アジア世界の変動と再編	◎秦の統一と皇帝支配の樹立 ◎漢帝国の外征と内治 ◎漢代の社会と中国古典文化の成立 ◎東アジア周縁地域の国家形成		 ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a東アジア世界の変動と再編に意欲的に参加する態度 b東アジア世界の変動と再編について意見を持ち表現できる c東アジア世界の変動と再編の情報を収集し活用できる d東アジア世界の変動と再編の知識を持っている	プリント テスト 授業態度

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
2学期期末	東アジア世界の変動と再編（続き）	◎中華の分裂と遊牧民の進出 ◎南北朝とその社会 ◎隋唐世界帝国の形成 ◎唐代の社会と経済 ◎東アジア諸国家の形成 ◎唐の体制転換とユーラシア東方の変動		○ ○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	プリント テスト 授業態度
3学期	イスラーム世界の形成と拡大	◎西アジアの風土とイスラームの成立 ◎預言者ムハンマド ◎イスラームとイスラーム社会 ◎イスラーム社会の形成		○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	aイスラーム世界の形成と拡大に意欲的に参加する態度 bイスラーム世界の形成と拡大について意見を持ち表現できる cイスラーム世界の形成と拡大の情報を収集し活用できる dイスラーム世界の形成と拡大の知識を持っている	プリント テスト 授業態度

学校番号	2004

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	学年	３年次
使用教科書	帝国書院　新詳　世界史Ｂ						
副教材等	第一学習社　グローバルワイド最新世界史図表						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、様々な人々・民族とともにこの地球上で生活しています。そして、彼らとともに現代の課題を解決していくことが強く求められています。そのためには、この多くの人々のことをよく理解する必要があります。「世界史Ｂ」は、この地球で生活してきた人々・民族の歩みを学習することをとおして、私たちが直面する様々な課題を世界の人々とともに解決していけるような視点（見方）を身につけることを目標にしています。１年間ともに学習していきましょう。

２ 学習の到達目標

・３年次では前年度の学習を踏まえ、ヨーロッパ・アジア、アフリカ・オセアニアの人々の中世以降の現在につながる時代を学習します。
・「世界史についての基本的な知識」と「資料等を活用して、歴史を読み取る力」が身についている。
・世界各地域の社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、世界の課題を意欲的に追求する姿勢

評価方法

『授業中の様子』
『プリントの記述』など
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・新しい課題に着目しているか。

ｂ思考・判断・表現

世界各地域の人々が直面した歴史的課題について、よく考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・自分で調べたことが人に伝わるか。

ｃ資料活用の技能

世界各地域の社会変化や歴史的課題について、資料・地図等から情報を正しく集め、活用する力

評価方法

『考査の資料問題』
『課題追求学習の資料収集』など

ｄ知識・理解

世界の各地域の課題について、時代ごと、主題ごとに理解するための知識

評価方法

『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 （学習項目）	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	ヨーロッパ世界の形成	地中海北方へ広がるキリスト教 西ヨーロッパの成長と拡大 封建社会の解体と王権の伸張		○ ○ ○	 ○	 ○ 	○ ○	ａヨーロッパ世界の形成に意欲的に参加する態度 ｂヨーロッパ世界の形成について意見を持ち表現できる ｃヨーロッパ世界の形成の情報を収集し活用できる ｄヨーロッパ世界の形成の知識を持っている	ノート プリント 単元学習後の感想文
	大規模な分業体制の成立 西ヨーロッパの覇権争い	大航海時代 ルネサンスと宗教改革 スペインの盛衰とオランダの覇権。 プロイセン・オーストリア・ロシアの台頭 英仏の覇権争いと大西洋三角貿易		 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	ａその内容に意欲的に参加する態度 ｂその内容について意見を持ち表現できる ｃその内容の情報を収集し活用できる ｄその内容の知識を持っている	ノート プリント テスト

学期	単元 （学習項目）	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期期末	環大西洋革命 イギリスの覇権と欧米の国民国家の誕生	世界で最初の工業化 アメリカの独立 フランス革命 ラテンアメリカにおける環大西洋革命 イタリア・ドイツの統一		○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○	a環大西洋革命 イギリスの覇権と欧米の国民国家の誕生に意欲的に参加する態度 b環大西洋革命 イギリスの覇権と欧米の国民国家の誕生について意見を持ち表現できる c環大西洋革命 イギリスの覇権と欧米の国民国家の誕生の情報を収集し活用できる d環大西洋革命 イギリスの覇権と欧米の国民国家の誕生の知識を持っている	ノート プリント テスト 地図の読み取り
2学期中間	世界の一体化の進展とアジアの変容	南アジア・東南アジア・東アジアの植民地化 帝国主義と世界分割競争		○	○	○	○	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	ノート プリント 単元学習後の感想文 テスト

学期	単元 （学習項目）	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
2学期期末	世界大戦の時代	第一次世界大戦と社会主義革命 第一次世界大戦とアジアのナショナリズム ファシズムの出現 第二次世界大戦とその惨禍		○ ○	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	ノート プリント テスト
3学期	東西冷戦から多極的国際社会へ	「冷たい戦争」 アメリカの覇権と冷戦の展開 多極化の始まり 米ソ二局時代の終焉		○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	ノート プリント テスト

学校番号	2004

令和２年度　日本史Ｂ

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	学年	２年次
使用教科書	高校　日本史　改訂版（山川出版社）						
副教材等	最新　日本史図表　三訂版（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ （学習方法等）

私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返り」、「他と比較し」、問題を解決しようとします。「日本史Ｂ」は日本の歴史を世界史的視野の中でとらえ、世界の国々の歴史や文化と日本の歴史や文化との関係や違いを理解した上で、お互いを尊重する姿勢をもち、科学的な歴史認識を育てることをめざします。世界の中で、日本がどのように貢献していくのかを考えながら学習を進めましょう。

２　学習の到達目標

・２年次では原始古代から中世までを学習します。
・「日本史についての基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
・社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、日本の歴史的課題を意欲的に追求する姿勢

評価方法

☆『授業中の様子』
『プリントの記述』など
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・重要な事項を自分の言葉でまとめることができるか。

b 思考・判断・表現

世界史的視野の中で、日本の歴史的課題について、科学的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現できる。

評価方法

☆『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・重要な事項を簡潔に自分の言葉で説明できるか。
・自分で調べたことが人に伝わるか。

c 資料活用の技能

歴史的課題について、史料・地図等から情報を正しく読み取り、活用する力

評価方法

☆『考査の資料問題』
『課題追求学習の情報収集』など
・史料を読み、内容を理科視しているか。
・テーマを設定し、多角的に調査できているか。

d 知識・理解

日本史の展開について、時代ごとに、あるいは主題ごとに理解するために知識

評価方法

☆『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など
・歴史上の出来事を時代別・地域別・テーマ別にまとめられるか。

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	日本文化のあけぼの	《日本史のながれをとらえよう》 日本列島にはいつから人が住み始めたのか 縄文人はどのような暮らしをしていたのか 弥生時代はいつ始まったのか 邪馬台国はどのような国だったのか		○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 b古代日本について意見を持ち表現できる c資料集などから情報を収集し活用できる d古代文化や日本の形成に関する知識を持っている	参加意欲 プリント テスト 地図・諸資料の読み取り
	古代国家の形成と東アジア	《ヤマト政権の成立について》 ヤマト政権と古墳にはどんな関係があるのか 豪族の統治はどのようにしておこなわれたか 飛鳥文化はどのような文化であったのか		○	○	○ ○	○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 bヤマト政権ついて表現できる c豪族の統治に関する情報を収集し活用できる d飛鳥文化に関する知識を持っている	参加意欲 プリント テスト 地図・諸資料の読み取り ワークシート
1学期期末	律令国家の成立と都城	《律令制導入と推移を理解しよう》 律令体制はどのようにして成立したのか 律令体制とはどのような体制なのか 奈良時代の政治はどのようにすすめられたのか 天平文化はどのような特徴をもっていたか		○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	aその内容に意欲的に参加する態度 b律令制の成立について意見を持ち表現できる c奈良時代に関する情報を収集し活用できる d律令制度に知識を持っている	参加意欲 プリント テスト 地図・年表・諸資料の読み取り ワークシート
	古代国家の推移と社会の変化	《律令制再建と摂関政治を理解しよう》 桓武天皇の律令政治再建策とは何か 平安初期の密教的文化はどんな特色をもつか 摂関政治はどのようにして成立したのか 文化の国風化，浄土思想とは何か		○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	aその内容に意欲的に参加する態度 b政事と文化の関わりについて意見を持ち表現できる c摂関政治に関する情報を収集し活用できる d時代全般の知識を持っている	参加意欲 プリント テスト 地図・年表・諸資料の読み取り 確認テスト

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	古代から中世社会へ	《荘園公領制とは？》 中世社会はどのようにして成立したのか 武士はどのように成長していったか 院政期の政治と文化はどんなようすだったか		○ ○ ○	○	○	○	aその内容に意欲的に参加する態度 b荘園制について意見を持ち表現できる c武士の興りに関する情報を収集し活用できる d院政期の文化に関する知識を持っている	参加意欲 プリント テスト 地図・年表・諸資料の読み取り ワークシート
2学期期末	武家政権の成立と鎌倉文化	《封建制度とは》 平氏政権はなぜ崩壊し、鎌倉幕府に代わったのか 鎌倉幕府はどのように勢力を拡大したか 鎌倉時代の政治と仏教のかかわりはどうだったか 鎌倉文化はどのような特徴をもっていたか		○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 b平氏政権について意見を持ち表現できる c幕府の興りに関する情報を収集し活用できる d鎌倉文化に関する知識を持っている	参加意欲 プリント テスト 地図・年表・諸資料の読み取り 確認テスト
3学期	室町幕府と北山文化	《鎌倉幕府はなぜ滅亡したのか》 モンゴルはなぜ日本を攻め取れなかったのか 幕府や御家人社会の変質が危機を深刻化したことを理解しよう 《室町幕府の成立》 なぜ建武政権は崩れ、内乱が長引いたのか		○	○	○ ○	○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 bモンゴルの意図ついて表現できる c幕府滅亡に関する情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	参加意欲 プリント テスト 地図・年表・諸資料の読み取り 確認テスト

☆それぞれの単元の学習内容を確認しよう。

☆到達目標を意識しながら、学習に取り組もう。

学校番号	2004

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	学年	３年次
使用教科書	高校　日本史　改訂版（山川出版社）						
副教材等	図説　日本史　通覧（帝国書院）						

1 担当者からのメッセージ

２ 年次の学習をふまえ、日本の歴史を世界史的視野の中でとらえ、世界の国々の歴史や文化と日本の歴史や文化との関係や違いを理解した上で、お互いを尊重する姿勢をもち、科学的な歴史認識を育てることをめざします。「世界の中の日本」という視点から、日本がどのように成長し、世界に貢献していくのか、またどのような過ちをおかし、そのことから学んでいくのかを考えながら学習を進めましょう。

2 学習の到達目標

・３年次では中世後期からから現代までを学習します。
・「日本史についての基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
・社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。

学習評価と評価方法

ａ関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、日本の歴史的課題を意欲的に追求する姿勢

評価方法

☆『授業中の様子』
『プリントの記述』など
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・重要事項を自分の言葉でまとめることができる。
・授業中の問いかけに対して意見を発表できる

ｂ思考・判断・表現

世界史的視野の中で、日本の歴史的課題について、科学的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

☆『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・重要な事項について自分で考え自分の言葉で説明できる。

ｃ資料活用の技能

歴史的課題について、史料・地図等から情報を正しく読み取り、活用する力

評価方法

☆『考査の史料問題』
『課題追求学習の情報収集』など
・史料を読み、内容を理解している
・テーマを設定し、史料などを集め、調査する

ｄ知識・理解

日本史の展開について、時代ごとにあるいは主題ごとに理解するための知識

評価方法

☆『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など
・歴史上の出来事を時代別・地域別・テーマ別に整理し、まとめられる。
・授業中の問いかけに応えることができる

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	室町幕府と北山文化	南北朝の内乱 室町幕府はどのようにして安定したのか 元寇後の東アジアにどんな交流が見られたか 14世紀の文化			○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b室町幕府について意見を持ち表現できる c室町文化の情報を収集し活用できる d室町時代の知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
	下剋上の社会と庶民の台頭	中世の産業・社会 一揆とはどのようなものか 戦国時代と15世紀～16世紀の文化				○	○	a授業に意欲的に参加する態度がある b一揆とそのおこりについて意見を持ち表現できる c戦国時代の背景、武将の情報を収集し活用できる d中世全体の内容の知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
	中世から近世へ	近世初頭の日本と東アジアを取り巻く状況とは 織豊政権		○		○	○	a授業に意欲的に参加する態度がある bこの時代の日本とそれをとりまく東アジアとの関係に関して意見を持ち表現できる c中心人物(織田信長、豊臣秀吉)の情報を収集し活用できる d織豊政権についての知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
1学期期末	幕藩体制の成立と国際関係	幕藩体制の成立 近世の社会 近世初期の国際関係			○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b江戸幕府のおこりとその政治体制について意見を持ち表現できる c大名の種類や役割に関する情報を収集し活用できる d近世初期の国際関係についての知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
	幕藩体制の展開と元禄文化	武断政治から文治政治へ 近世の産業 近世の交通・商業 近世中期までの文化			○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b政治体制の変換について意見を持ち表現できる c近世の農村や、産業についての情報を収集し活用できる d近世文化に関する知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
	幕藩体制の動揺と化政文化	幕政改革 19世紀前半の「外圧」 農村社会と地域経済の変化			○	○	○	a授業に意欲的に参加する態度がある b幕政改革について意見を持ち表現できる c１９世紀前半の外圧についての情報を収集し活用できる d農村社会と地域経済に関する知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
2学期中間	近世から近代へ	日本の開港 江戸幕府はどのようにして倒れたのだろうか			○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b日本の開港に関して、歴史にとらわれず自分自身の意見を持ち表現できる c外国と日本との関係性に関するの情報を整理し活用できる d江戸幕府全体に関する知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
	明治維新と立憲国家の成立	明治維新以降の近代化 自由民権運動と立憲国家 条約改正と初期議会		○	○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b明治維新の近代化について自分自身の意見を持ち表現できる c自由民権運動に関する情報を収集し活用できる d条約改正や初期議会についての知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
	日清日露戦争と東アジア	朝鮮問題と日清戦争 日清戦争後の東アジアと日本 日露戦争後の東アジアと韓国併合		○	○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b東アジア（朝鮮や清）との関係性について意見を持ち表現できる c日清戦争の情報を整理し活用できる dこの時代の条約等に関する知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
2学期末	第一次世界大戦と日本の社会	第一次世界大戦と日本 政党内閣の成立と第二次護憲運動 大正デモクラシーと社会運動			○	○	○	a授業に意欲的に参加する態度がある b第一次世界大戦について意見を持ち表現できる c護憲運動に関するの情報を収集し活用できる d大正デモクラシーに関するの知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
	第二次世界大戦と日本の社会	昭和恐慌とファシズムの台頭 日中戦争と総動員体制 アジア太平洋戦争と大戦の推移 日本の敗戦と原爆投下		○	○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b昭和時代について意見を持ち表現できる c日中戦争の情報を収集し活用できる d戦中の日本の政治体制などについての知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
3学期	現代の日本	戦後民主化と憲法改正 55 年体制と高度経済成長 現代日本の諸問題		○	○		○	a授業に意欲的に参加する態度がある b第二次世界大戦について意見を持ち表現できる c大戦の情報を収集し活用できる d戦後体制に関する知識を持っている	参加意欲 プリント ワークシート テスト
	課題追求学習	自ら選んだ課題について調査、情報収集を行い、まとめて発表する		○	○	○		a課題に意欲的に参加する態度がある b自分自身の意見を持ち表現できる c必要な情報を収集整理し活用できる dその内容に関する深い知識を持っている	意欲 ワークシート 発表

学校番号	2004

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理 B	単位数	２単位	学年	２年次
使用教科書	新詳地理 B（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表 GEO（ジオ）（第一学習社）地歴高等地図（帝国書院）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとします。「地理 B」では、世界の様々な国や地域の自然や産業、文化や問題などを、私たちの暮らしと「比較」しながら、地理的に考える力を身につけることを目指します。
学習している「国際社会」の内容と、私たちの生活とのつながりを常に意識しながら、地球的な視野を持って学習を進めていきましょう。

2 学習の到達目標

・「世界の地理的事象についての基本的な知識」と「地図等を活用できる地理的技能」が身についている。
・社会の課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、人に伝えることができる。

3 学習評価と評価方法（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢

評価方法

☆『授業中の様子』
『プリントの記述』など
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・難しい課題にチャレンジしているか。

b 思考・判断・表現

国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

☆『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・地理的に考えたことが伝わるか。

c 資料活用の技能

国際社会の地理的課題について、地図・地球儀・統計調査などで情報を正しく読み取り活用する力

評価方法

☆『考査の資料問題』
『課題追求学習の情報収集』など

d 知識・理解

国際社会の地理的課題について、理解するための知識

評価方法

☆『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など

**★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。**

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	様々な地図と地理的技能	≪地理Ｂの学習の導入≫ 基礎となる地理的技能を習得 基礎となる基礎的知識を習得				○	○ ○	a さまざまな地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b さまざまな地図の特徴やしくみを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 諸資料を適切に収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d さまざまな地図の読図方法や有用性を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
	地図の種類とその利用	≪地図を使いこなそう≫ 地図の種類やその利用について、球体を地図に表現した場合の特性が読み取れる 時差の求め方を理解・活用する。		○	○	○ ○	○		
1学期期末	世界の地形	≪南海トラフ地震はいつ発生？≫ 世界の地形を理解し、自然災害などの防災の在り方について考える。 地形の成因 大地形 小地形 その他の地形		○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a 世界の地形について、分布や特徴、成因について関心を高め、それらと人間生活との係わりについて意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 世界の地形を、分布や特徴と成因とを関連付けて考察し、また人間生活との係わりも多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現できる。 c 地形図や写真などの資料から有用な情報を適切に選択し、その地域の地形の特徴と成因を読み取れる。 d 世界の地形の分布や特徴、成因や人間生活との係わりについて理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト グラフ等読み取り

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	世界の気候	≪異常気象って何故起こるの？≫ 世界の気候のしくみを理解し、異常気象などの環境問題について考える。 気候の成り立ち 世界の気候区分 気候と植生・土壌 変化する気候		 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	a 地域ごとの気候の違いや人間生活との関係に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b 気候の地域ごとの違いや特徴を、地球規模の循環現象などと関連付けて考察し、また人間生活との係わりも多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 地域や気候区ごとの違いを示す諸資料から有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。 d 気候の成因、各気候区の特徴，気候変動と異常気象などについて、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
2学期期末	世界の農林水産業	≪飢餓で苦しむ国と肥満大国≫ 世界の農林水産業のしくみを理解し、食糧需給の地域的かたよりなどの食糧問題について考える。 世界の農林水産業 農業区分 現代世界の食糧課題		 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ 	a 農林水産業に対する関心と課題意識を高め、農業の成立条件などを踏まえてそれらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 世界や日本の農林水産業の現状と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。 d 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	世界の鉱工業	≪OPEC とｵｲﾙｼｮｯｸ≫ 世界の鉱工業のしくみを理解し、石油情勢などの世界の資源・エネルギー問題について考える。 エネルギー資源の種類と利用 鉱産資源の種類と利用 資源･エネルギー問題		 ○ ○	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	a資源の特徴・利用法や、分布のかたより、生産・消費の不均衡などの資源・エネルギー問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題などに関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b自然環境の学習内容をふまえて資源の特徴や利用法の課題、これからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 工業の立地や発達に影響をおよぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 cエネルギー資源や鉱産資源、工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料から有用な情報を適切に選択し、資源ごとの特徴や課題、また国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 dエネルギー・鉱産資源の種類、分布、および利用法、またエネルギーのあり方などを理解し，その知識を身につけている。 工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題、及び日本の工業の特徴と課題を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト
	課題追求学習	≪共に生きる社会のために≫ 地理 B の授業で学習したことをもとに、現代の国際社会における地理的課題について追求し、発表する。 地球的課題研究 日本が抱える地理的課題の追求		 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○		

☆それぞれの単元の学習内容を確認しよう。

☆到達目標を意識しながら、学習に取り組もう。

学校番号	2004

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	学年	３年次
使用教科書	新詳　地理Ｂ（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2019（帝国書院）　地歴高等地図（帝国書院）、他						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の様々な国や地域の中には、異なる場所であるにも関わらず、同じような環境や文化の地域があれば、反対に、全く正反対の環境や文化で生活している地域もあります。2 年生の地理 B で培った「地理的な見方・考え方」や「地理的な知識・技能」を用いて、グループワークやプレゼン発表を通して、世界の様々な国や地域を比較・探究しながら総合的な地誌的能力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・世界の様々な地域を地誌的な見方・考え方で捉えることのできる知識・技能を養う。
・グループによる地誌研究を通して、学習内容を自ら探究する力と総合的な地誌的能力を養う。
・グループによる研究発表を通して、人に伝える力と地域の類似性や相違性の知識を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢。

評価方法

・振り返りシート
・出席、参加態度

b 思考・判断・表現

世界の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

・振り返りシート
・相互評価シート

c 資料活用の技能

国際社会の地理的課題について、パソコンや統計調査、地図を用いて情報収集や発表資料を作成する力。

評価方法

・プレゼンテーション
・グループワーク

d 知識・理解

国際社会の地理的課題について理解するとともに、世界の地誌的内容について理解する力。

評価方法

・振り返りシート
・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	都市・ 居住問題	《オリンピック開催地はどこがいい？》 世界の都市機能や集落のしくみを理解し、立地条件や都市開発などの都市問題について考える。		○			○	a 村落や都市の立地条件や発達経緯、機能に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 村落や都市の立地や構造を、地域の歴史や自然条件、社会条件などをふまえて多面的・多角的に比較・考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 村落や都市に関するの統計や地図などの諸資料から有用な情報を適切に選択し、村落や都市の有する機能や発達経緯などについて読み取ることができる。 d 村落と都市の立地条件、発達の背景、機能などを理解し，その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
1学期期末	世界地誌① アメリカ 合衆国	《地理的な視点で世界を見よう》 今まで学習してきた系統地理的な知識を活かして、世界の様々な国や地域を地理的な視点や方法で考察する。				○	○	a 移民国家としてのアメリカ合衆国にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 移民が建国した歴史的背景をふまえた地域的特色や地球的課題を項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 系統地理的な諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択して，これをもとに地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d 地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト グラフ等 読み取り 参加意欲 感想文 ワークシート

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	世界地誌② 地誌研究①	《自分たちで調べてみよう①》		○	○			a 調べた地域における地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 調べた地域における地域的特色や地球的課題を項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 調べた地域における系統地理的な諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択して，これをもとに地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d 調べた地域における地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
2学期期末	世界地誌③ 地誌研究②	《自分たちで調べてみよう②》		○	○	○	○	a 調べた地域における地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 調べた地域における地域的特色や地球的課題を項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 調べた地域における系統地理的な諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択して，これをもとに地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d 調べた地域における地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	世界地誌③ 地誌研究②	《自分たちで調べてみよう②》		○	○	○	○	a 調べた地域における地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 調べた地域における地域的特色や地球的課題を項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 調べた地域における系統地理的な諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択して，これをもとに地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d 調べた地域における地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート

学校番号	2004

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)近現代世界史	単位数	２単位	学年	３年次
使用教科書	帝国書院　新詳　世界史Ｂ						
副教材等	第一学習社　グローバルワイド最新世界史図表　２訂版						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、様々な人々・民族とともにこの地球上で生活しています。そして、彼らとともに現代の課題を解決していくことが強く求められています。そのためには、この多くの人々のことをよく理解する必要があります。「近現代世界史」は、この地球で生活してきた人々の現在に近い比較的新しい歩みを学習することをとおして、私たちが直面する様々な課題を世界の人々とともに解決していけるような視点（見方）を身につけることを目標にしています。１年間ともに学習していきましょう。

２ 学習の到達目標

・近現代の世界の歴史を地球的視野に立ってとらえ、科学的な歴史認識を持つ。
・現在の世界の政治的・経済的諸問題が生み出された背景を歴史的文脈の中で考え、国家がとる政策の意味を理解する。
・世界の近現代史の中で、覇権の移り変わりとその要因について考察する。

３ 学習評価（評価の観点の趣旨）

a：関心・意欲・態度

歴史への関心を持ち、意欲的に知識を得ようとし、現代の課題と結びつけ考える態度を持つ。

評価方法

『授業中の様子』
『プリントの記述』など

b：思考・判断・表現

なぜどのように歴史的出来事が起きたかを考え、それぞれについて自己の意見・考えを述べることができる

評価方法

『考査の知識問題と論述問題』
『授業中の問いかけに対する発言』
など

c：資料活用の技能

史料の読解力を持ち、その歴史的意味について理解できる。課題をまとめる力、発表する力を持つ。

評価方法

『考査の史料問題』
『授業などでの発表』など

d：知識・理解

正しい知識を持ち、そのうえで歴史的出来事の背景や原因・過程、また歴史的意味について理解している。

評価方法

『考査の知識問題と論述問題』
『授業中の問いかけに対する発

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	イギリスの覇権と欧米の国民国家の誕生	イギリスの覇権と自由主義 ヨーロッパに広がる国民国家 アメリカ合衆国の拡大と国家統合		○	○ ○	○	○ ○	a、国民国家の成立について図表や年表の資料を利用できる。 b、ヨーロッパ各国の国民国家について、その内容・特徴についての知識を持っている	ノート プリント 授業後の感想文
	世界の一体化の進展とアジアの変容	イスラーム諸国の変容と模索 南アジア・東南アジア・東アジアの植民地化 東アジア諸国の模索と変容		○	○	○ ○	○ ○	aイスラーム・アジア地域の植民地化の過程を時間軸にそって説明できる。 b、資料集から、その過程を示す種々の資料をあつめてくる。	ノート プリント テスト
1学期期末	世界の一体化の完成とその影響	帝国主義と世界分割競争 アジア知識人による体制変革の試み		○	○	○ ○		a帝国主義国家の動向を、国別に整理できるようにする。 b、アジアの近代化に向けての努力を示す資料を資料集からあつめる。	ノート プリント テスト

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	世界大戦の時代	第一次世界大戦と社会主義革命 第一次世界大戦とアジアのナショナリズム 大衆社会の到来とファシズムの出現 第二次世界大戦とその惨禍		○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	a第１次世界大戦の原因・経緯・結果を整理する。 b大衆社会の状況を示す具体例を資料集からさがす。 cファシズムの特徴を整理する。	ノート プリント 授業後の感想文 テスト
2学期期末	東西冷戦から多極的国際社会へ	アメリカの覇権と冷戦の展開 多極化の始まり 米ソ二局時代の終焉		○ ○	○ ○	○	○	a第２次世界大戦後のアメリカの状況を示す資料を集める。 b冷戦状況の成立の過程と諸地域の状況を把握する。 c、社会主義ソ連の崩壊を把握する。	ノート プリント テスト
3学期	相互依存を深める世界	ソ連・社会主義圏解体後の世界 グローバル化の動きと世界の変化		○ ○			○ ○	a多極化している世界の情勢について、具体例を探し出す。 b、グローバル化・反グローバル化の事例を整理する。	ノート プリント テスト

学校番号	2004

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	学年	１年次
使用教科書	高等学校　新現代社会（帝国書院）						
副教材等	ライブ！現代社会２０２０（帝国書院）　高校生へのステップ（東京書籍）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生きている「社会」には、さまざまな「解決しなければならない問題（＝課題）」があります。『現代社会』の授業は社会の課題について、みなさんが社会の一員として自分で考えていくことができるようになるための、基本的な力を身につけることを目指します。学習している内容と実際に私たちが直面している「社会」とのつながりを常に意識しながら、学習を進めていきましょう。

2 学習の到達目標

・「社会についての基本的な知識」と「社会についての情報を集めて読み解く能力」が身についている。
・社会の課題について、自分から追求し、多面的・多角的に考え、人に伝えることができる。

3 学習評価と評価方法（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

自分が社会の一員であることを自覚し、現代社会の課題を意欲的に追求する姿勢

評価方法

☆『授業中の様子』
『プリントの記述』など
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・難しい課題にチャレンジしているか。

b 思考・判断・表現

現代社会の課題について、多面的・多角的に考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

☆『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・多面的・多角的に考えたことが伝わるか。

c 資料活用の技能

現代社会の課題について、教科書・資料集・新聞・インターネットなどで情報を集め、それらを活用する力

評価方法

☆『考査の資料問題』
『課題追求学習の情報収集』など

d 知識・理解

現代社会の課題について、理解するための知識

評価方法

☆『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	現代社会の諸課題	≪現代社会の学習の導入≫ 現代社会の学習の基礎となる見方・考え方に気づく。		○		○		a現代社会の諸課題に意欲的に参加する態度 b現代社会の諸課題について意見を持ち表現できる c現代社会の諸課題の情報を収集し活用できる d現代社会の諸課題の知識を持っている	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
	現代の社会生活と自己実現	≪自分について考える≫ 青年期、ジェンダー、社会参画について学習し、自分自身について社会の視点から考える。		○	○			a現代の社会生活と自己実現に意欲的に参加する態度 b現代の社会生活と自己実現について意見を持ち表現できる c現代の社会生活と自己実現の情報を収集し活用できる d現代の社会生活と自己実現の知識を持っている	参加意欲 ノート テスト ワークシート 感想文 ワークシート

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1学期期末	民主社会の原理と日本国憲法	≪民主社会とは≫ 民主社会の意義を理解し、人権について考える。			○		○	a民主社会の原理と日本国憲法に意欲的に参加する態度 b民主社会の原理と日本国憲法について意見を持ち表現できる c民主社会の原理と日本国憲法の情報を収集し活用できる d民主社会の原理と日本国憲法の知識を持っている	参加意欲 ノート テスト グラフ等読み取り ワークシート 感想文
2学期中間	日本の政治機構と政治参加	≪政治機構と政治参加≫ 政治システムについて理解し、政治参加とはどのようなことか考える。				○	○	a日本の政治機構と政治参加に意欲的に参加する態度 b日本の政治機構と政治参加について意見を持ち表現できる c日本の政治機構と政治参加の情報を収集し活用できる d日本の政治機構と政治参加の知識を持っている	ノート 確認テスト 参加意欲 記述等 感想文

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
2学期期末	現代の経済と国民の福祉	≪経済の考え方≫ 市場経済のしくみを理解し、社会のあり方について考える。				○	○	a現代の経済と国民の福祉に意欲的に参加する態度 b現代の経済と国民の福祉について意見を持ち表現できる c現代の経済と国民の福祉の情報を収集し活用できる d現代の経済と国民の福祉の知識を持っている	参加意欲 ノート 確認テスト 感想文 ワークシート
3学期	現代の国際社会と日本の役割	≪国際経済・政治の考え方≫ １・２学期に学習したことを基礎に、国際経済・国際政治のテーマについて考える。		○	○	○	○	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	参加意欲 ノート テスト 感想文

☆それぞれの単元の学習内容を確認しよう。

☆到達目標を意識しながら、学習に取り組もう。

学校番号	2004

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	学年	３年次
使用教科書	高校倫理　新訂版（実教出版）						
副教材等	最新　倫理資料集　新版二訂（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

いま世界は大きく変わろうとしているのかもしれません。そうした中で私たちは、生きていくことになります。自分のライフスタイルを見きわめ、立ち位置を決めていくにあたって、先人のいろいろな思想・考え方に触れていくことは、きわめて大事だと思われます。彼らが、それぞれの時代・社会にあってどのような課題に直面し、それをどのように解決しようとしたのか。私たちはこれから１年間、そうした彼らの営みを学び、私たち独自の課題の解決に役立てていきましょう。

２　学習の到達目標

・「倫理についての基本的な知識」と「倫理についての情報を集め、読み解く能力」が身についている。
・倫理の課題について、自分から追求し、多面的・多角的に考え、人に伝えることができる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ 関心・意欲・態度

日々の生活の中で、倫理の課題を意欲的に追求する姿勢がある。

評価方法

『授業中の様子』
『プリントの記述』など
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・新しい課題にチャレンジしているか。

ｂ 思考・判断・表現

倫理の課題について、多面的・多角的に考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・多面的・多角的に考えたことが伝わるか

ｃ 資料活用の技能

倫理の課題について、先人の残した言葉や著作を読み取り、情報を正しく理解、活用する力がある。

評価方法

『考査の資料問題』
『課題追求学習の資料活用』など

ｄ 知識・理解

倫理の課題について理解するための知識が身についている。

評価方法

『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	青年期の課題と自己形成	≪人間・青年期について≫ 人間性の定義やライフサイクルの中の青年期の特徴を学習する。		○			○	a青年期の課題と自己形成に関する学習やワークに意欲的に参加する態度がある。 b人間性の定義について意見を持ち、表現できる。 c自己形成に関する事例を収集し、活用できる。 d青年期の課題に関する知識を持ち、自己の課題と関連付けて理解できる。	プリント 発表 テスト
1学期期末	ギリシア思想	≪古代ギリシア哲学について≫ ソクラテス・プラトン・アリストテレスらが考えた課題とその解決方法やヘレニズムの思想を学習する。			○	○		a古代ギリシア哲学について興味関心を持ち、学習意欲がある。 b古代ギリシアの哲学者たちの思想を比較・分類し、図に表すなどの表現ができる。 c古代ギリシアの哲学者たちの思想に関する資料など情報を収集し、活用できる。 d古代ギリシア哲学について知識を持ち、ヘレニズム期までの変遷を理解できる。	プリント 発表 テスト
2学期中間	三大宗教	≪キリスト教・イスラム教・仏教について≫ それぞれの宗教の基本的な考え方と現代社会との関連について学習する。			○		○	a三大宗教について興味関心を持ち、学習意欲がある。 b三大宗教と現代の国際的な問題との関連について意見を持ち、表現できる。 c聖典や経典の資料から情報を収集し、活用できる。 d三大宗教の成立と発展についての知識を持ち、その意義を理解できる。	プリント 発表 テスト
	中国思想	≪古代中国の思想について≫ 諸子百家の思想について学習する。		○		○		a古代中国の思想に興味関心を持ち、学習意欲がある。 b諸子百家の考え方について比較検討して考察し、表現できる。 c老荘思想に関する資料などから情報を収集し、活用できる。 d諸子百家に関する知識を持ち、その思想的背景を理解している。	プリント 発表 ワークシート

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価 方法
				a	b	c	d		
	古代日本人の思想	≪古代日本人の思想について≫ 古代日本人の思想の特徴を西洋思想と対比しながら学習する。			○	○		a古代日本人の思想に興味関心を持ち、学習意欲がある。 b古代日本人の思想と風土との関係について西洋と対比しながら表現できる。 c古代日本人の思想の特徴を『古事記』などから読み取り、理解できる。 d古代日本人の思想に関する知識を持ち、現代日本とのつながりを理解している。	プリント 発表 ワークシート
2学期期末	日本思想	≪日本思想について≫ 日本思想について、外来思想（仏教、儒教、西洋思想）の受容の過程とともに学習する。		○		○		a日本思想に興味関心を持ち、学習意欲がある。 b日本思想における外来思想の受容の仕方の特徴について考察し、表現できる。 c日本思想に関する資料から情報を収集し、活用できる。 d外来思想の受容について知識を持ち、日本思想に与えた影響について理解している。	プリント ワークシート
3学期	現代に生きる人間の倫理	≪近現代思想について≫ ルネサンス、宗教改革、市民革命を経て確立した近代思想と、それへの反省から発展した現代思想について学習する。			○		○	a近現代思想に興味関心を持ち、学習意欲がある。 b近代思想への反省と現代思想の発展の間の因果関係について考察し、表現できる。 c近現代思想に関する資料から情報を収集し、活用できる。 d近現代思想に関する知識を持ち、現代を生きる自己の在り方生き方と関連付けて理解できる。	プリント ワークシート テスト
	現代の諸課題と倫理	≪現代の諸課題について≫ 単元ごとに、学習した内容を現代の諸課題と関連づけて考え、自らの認識を深める。		○		○		a現代の諸課題に興味関心を持ち、学習意欲がある。 b現代の諸課題について意見を持ち、表現できる。 c現代の諸課題に関する情報を収集し、活用できる。 d現代の諸課題に関する知識を持ち、その背景を理解している。	発表 ワークシート

★それぞれの単元の学習内容を確認しよう。
★到達目標を意識しながら、学習に取り組もう。

学校番号	2004

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	学年	３年次
使用教科書	最新　政治・経済 新訂版（実教出版）						
副教材等	政治・経済資料 2020（とうほう）						

1 担当者からのメッセージ

政治・経済分野に関して、現在の諸事象を取り上げて考察していく。基礎・基本的な知識から、それらの繋がりを感じて、自ら興味関心を高め、それぞれの意見を持ち、伝えられる力を身に付けられるようにする。責任ある大人への第一歩として、自らと社会がどのように繋がっているのか、どのような責任・義務を果たしていくべきか、この授業を通じて理解を深めていく。

2 学習の到達目標

１年次に学習した現代社会の内容を基礎に、政治・経済のしくみや問題点をテーマごとに取り上げて理解を深めるとともに、社会人・主権者としての自覚と自分で考え行動できる能力の育成をめざす

3 学習評価と評価方法

a 関心・意欲・態度

政治経済分野について、日々の変化を感じ、吸収しようとする姿勢を持っている。

評価方法

☆『授業への積極的参加』
『日々の課題への取り組み』
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・難しい課題にチャレンジしているか。

b 思考・判断・表現

政治経済分野のつながりについて、自らの意見を持ち、伝えることが出来る。

評価方法

☆『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・多面的・多角的に考えたことが伝わるか。

c 資料活用の技能

教科書・資料集・新聞・インターネットなどで情報を集めることが出来る。

評価方法

☆『考査の資料問題』
『課題追求学習の情報収集活用』

d　知識・理解

政治経済分野の幅広い知識を持っている。

評価方法

☆『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	現代国家と民主政治	民主政治の成立 民主政治の基本原理 議会制民主主義と各国の政治制度		○ ○	○	○	○ ○	a 現代国家と民主政治に意欲的に参加する態度 b 現代国家と民主政治について意見を持ち表現できる c 現代国家と民主政治の情報を収集し活用できる d 現代国家と民主政治の知識を持っている	ノート テスト 参加意欲
	日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の成立 自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権		○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a 日本国憲法と基本的人権に意欲的に参加する態度 b 日本国憲法と基本的人権について意見を持ち表現できる c 日本国憲法と基本的人権の情報を収集し活用できる d 日本国憲法と基本的人権の知識を持っている	ノート テスト ワークシート
1学期期末	日本の政治機構と政治課題	国会 内閣と行政機能の拡大 裁判所 地方自治 政党政治と選挙 世論と民主政治		○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a その内容に意欲的に参加する態度 b その内容について意見を持ち表現できる c その内容の情報を収集し活用できる d その内容の知識を持っている	ノート テスト グラフ等読み取り

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期期末	現代の国際政治	国際社会と国際法 国際連合と国際協力 二次世界大戦後の国際政治 冷戦終結後の国際政治		○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a 現代の国際政治に意欲的に参加する態度 b 現代の国際政治について意見を持ち表現できる c 現代の国際政治の情報を収集し活用できる d 現代の国際政治の知識を持っている	ノート テスト ワークシート
2学期中間	経済社会の変容	資本主義経済の成立と発展 現代の資本主義経済 社会主義経済の形成と変容		○ ○	○	○	○	a 経済社会の変容に意欲的に参加する態度 b 経済社会の変容について意見を持ち表現できる c 経済社会の変容の情報を収集し活用できる d 経済社会の変容の知識を持っている	ノート 確認テスト 参加意欲
	現代経済のしくみ	市場のはたらき 現代の企業 経済成長と景気変動 金融の役割 財政の役割と租税		○	○ ○ ○ ○	○	○	a 現代経済のしくみに意欲的に参加する態度 b 現代経済のしくみについて意見を持ち表現できる c 現代経済のしくみの情報を収集し活用できる d 現代経済のしくみの知識を持っている	ノート テスト 記述等
2学期期末	現代日本経済と福祉の向上	日本経済のあゆみと現状 日本の公害問題 労働関係の改善 社会保障の役割		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a 現代日本経済と福祉の向上に意欲的に参加する態度 b 現代日本経済と福祉の向上について意見を持ち表現できる c 現代日本経済と福祉の向上の情報を収集し活用できる d 現代日本経済と福祉の向上容の知識を持っている	ノート 確認テスト

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
2学期期末	現代の 国際経済	国際経済のしくみ 国際経済の動向 発展途上国の諸問題 世界経済の中の日本		○	○	○ ○	○ ○ ○ ○	a現代の 国際経済に意欲的に参加する態度 b現代の 国際経済について意見を持ち表現できる c現代の 国際経済の情報を収集し活用できる d現代の 国際経済の知識を持っている	ノート テスト グラフ読み取り
3学期	現代社会の 諸課題	大きな政府と小さな政府 少子高齢化と社会保障 人種・民族問題 核兵器と軍縮		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	aその内容に意欲的に参加する態度 bその内容について意見を持ち表現できる cその内容の情報を収集し活用できる dその内容の知識を持っている	ノート テスト

学校番号	２００４

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　数学Ⅰ（第一学習社）						
副教材等	ビルドアップ数学Ⅰ＋A、短期完成テキスト「データの分析」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は問題を多く解くことが重要です。副教材を用いて問題をたくさん解いてください。ただ答えを求めるだけでなく、大切なことは途中式や考え方も書くことです。また、各自答え合わせとやり直しをきちんとすること。答え合わせだけでは採点になってしまうので、自分がどこでつまずいたかを知るためにやり直しをすることが大切です。単なる採点にならないよう注意してください。答え合わせをしたらもう一度その問題にチャレンジし、何も見ずに自分の力だけで解けるようになるまで何度も繰り返しチャレンジしてください。

問題集を解く際は問題集ノートを用意し、担当の先生の指示に従って提出しましょう。

２　学習の到達目標

・数と式、図形と計量、二次関数およびデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得する。
・様々な事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。
・数学を問題の解決に活用する態度を身につける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、習得した数学的な知識や考え方を様々な問題を解決する道具として数学を活用しようとする態度をもっている。

評価方法

提出物

b 数学的な見方や考え方

方程式や関数、グラフなど、数学の授業で得た知識や考え方を用いて様々な問題を解決するための考える力を育成している。

評価方法

定期考査・確認テスト・提出物

c 数学的な技能

計算をすることやグラフをかくことなど、問題を解決するための考える力を育成し、数学を活用するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法

定期考査・確認テスト・提出物

d 知識・理解

授業で扱う数学的な記号や式、グラフの定義（ルール）、計算の方法などの基本的な数学の仕組みを理解している。

評価方法

定期考査・確認テスト・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画 1学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した B…概ね達成した C…課題を残した D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価基準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	整式	整式の加法と減法（単項式・整式の整理）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 置き換え等の展開の工夫を理解し、やや複雑な整式の計算ができる。 c 整式の加法・減法・乗法の計算ができる。乗法公式を理解し、展開ができる。 d 単項式や多項式の次数や係数を理解する。指数法則、分配法則、乗法公式を理解する。	提出物 確認テスト 定期考査
		整式の加法と減法（多項式の計算）		○		○	○		
		整式の乗法		○	○	○	○		
	因数分解	因数分解（基本）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 式の一部を文字で置き換えるなど、工夫して式を因数分解することができる。 複数の種類の文字を含む式を一つの文字について整理し、因数分解することができる。 c 因数分解の公式を利用して式を因数分解することができる。 d 共通因数をくくり出す。因数分解の公式を理解する。	
		因数分解（たすき掛け）		○	○				
		因数分解（共通因数・置き換え）		○		○	○		
		因数分解（次数での整理）		○	○				
	実数	実数		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 絶対値の意味を理解する。場合分けをして、絶対値記号をはずす事ができる。 c 数を実数まで拡張することの意義を理解する。平方根を含む式の計算ができる。 分母の有理化ができる。 d 有理数は、有限小数か循環小数のいずれかで表されることを理解する。平方根を理解する。	
		平方根		○		○	○		
		根号を含む式の計算		○		○	○		
1学期期末	1次不等式	1次不等式		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 与えられた問題から、1次不等式を作り、それを解くことができる。 c 1次不等式や連立不等式を解くことができる。 絶対値を求めることができる。 d 1次不等式、連立不等式の意味を理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		連立不等式		○		○	○		
		不等式の利用		○	○				
		絶対値を含む方程式・不等式		○		○	○		
	2次関数とそのグラフ	関数とグラフ		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 関数の定義域が与えられたとき、グラフを元に値域を求めることができる。 c 1次関数のグラフをかき、最大値、最小値を求めることができる。 平行移動したグラフの頂点を求め、グラフをかくことができる。 平方完成をすることができる。 d 関数f(x)の使い方を理解している。 平方完成して、グラフをかくことができる。	
		2次関数のグラフ		○		○	○		

4　学習プログラム（年間学習指導計画　2学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習項目	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価基準(生徒の到達目標)	評価方法
2学期中間	2次関数とそのグラフ	２次関数の最大値・最小値		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 文字の入った2次関数を平方完成し、軸と定義域の関係から 最大値・最小値を求めることができる。 c グラフをかいて、最大値・最小値を求めることができる。 定義域に制限のついた2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 与えられた条件を満たす2次関数を求めることができる。 3元1次連立方程式を解くことができる。 d 2次関数の最大値・最小値を理解する。 定義域に制限のついた2次関数の最大値・最小値を理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		２次関数の定義域と最大値・最小値		○		○	○		
		最大値・最小値の利用		○	○				
		２次関数の決定		○		○	○		
	2次方程式と2次不等式	２次方程式の解法		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 2次方程式を因数分解、解の公式を用いて解くことができる。 判別式を用いて、2次方程式の実数解の個数を求めることができる。 与えられた実数解に関する条件から文字の範囲を求めることができる。 2次関数のグラフとx軸との交点を求めることができる。 d 2次方程式の実数解の個数と判別式の符号の関係について理解している。 判別式と、2次関数のグラフとx軸との位置関係の関係性を理解する。	
		２次方程式の実数解の個数		○		○	○		
		２次関数のグラフとｘ軸との関係		○		○	○		
2学期末	2次方程式と2次不等式	２次不等式の解き方（共有点をもつとき）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 2次方程式の解の個数問題を、判別式を通して 2次不等式に帰着させ、それを解くことができる。 2次方程式の解の条件から2次関数とx軸との関係を見出し、 判別式を通して2次不等式の問題に帰着させ、それを解くことができる。 与えられた問題から、連立不等式を作り、それを解くことができる。 c 因数分解や解の公式を利用して、2次不等式を解くことができる。 2次の符号がマイナスである2次不等式を解くことができる。 D=0、D<0になる2次不等式を解くことができる。 1行で表された不等式から連立不等式を導き、それを解くことができる。 d 2次不等式の解き方を理解する。 2次不等式の解を2次関数のグラフを利用して、解くことを理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		２次不等式の解き方（共有点をもたないとき）		○		○	○		
		連立不等式		○		○	○		
		連立不等式の利用		○	○				
	鋭角の三角比	三角比の定義		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 木の高さや標高などを、三角比を利用して求めることができる。 c 直角三角形を利用して、sinθ、cosθ、tanθを求めることができる。 30°、45°、60°の三角比を求めることができる。 相互関係を用いて、1つの三角比から残り2つの三角比を求めることができる。 90°－θの三角比を利用して、45°以上の三角比を45°以下の三角比で表すことができる。 d sinθ、cosθ、tanθの定義を理解している。 その他の角度の三角比もあることを理解する。 三角比の相互関係を理解する。 90°－θの三角比を理解する。	
		三角比の表		○		○	○		
		三角比の利用		○	○				
		三角比の相互関係（鋭角）		○		○	○		
		90°－θの三角比		○		○	○		
	三角比の拡張	１８０°－θの三角比		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 120°、135°、150°、0°、90°、180°の三角比を求めることができる。 180°－θの三角比を利用して、90°以上の三角比を90°以下の三角比で表すことができる。 三角比の入った方程式から角度を求めることができる。 d 180°までの三角比の定義を理解する。 180°－θの三角比を理解する。 三角比の相互関係を理解する。 三角比の入った方程式を理解する。	
		三角比の相互関係（0°≦θ≦180°）		○		○	○		
		等式を満たすθ		○		○	○		

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習項目	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価基準(生徒の到達目標)	評価方法
3学期	三角形の応用	正弦定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 正弦・余弦定理を利用して、外接円の半径、辺の長さ、角の大きさなどを求めることができる。 公式を用いて面積を求めることができる。 d 正弦・余弦定理を理解する。 三角形の面積の公式を理解する。	提出物 確認テスト 定期考査
		余弦定理		○		○	○		
		正弦定理・余弦定理の利用		○		○			
		三角形の面積		○		○	○		
	データの分析	データの整理と代表値		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 四分位範囲や箱ひげ図から、データの分布を比較することができる。 散布図や相関係数から、２つの変量の間の相関を考察することができる。 c 度数分布表・ヒストグラムを用いて、データを整理することができる。 四分位数・四分位範囲・四分位偏差を求めることができる。 箱ひげ図をかくことができる。 分散・標準偏差を求めることができる。 d 平均値・最頻値・中央値の意味を理解する。 四分位数・四分位範囲・四分位偏差の意味を理解する。 箱ひげ図の意味を理解する。 分散・標準偏差の意味を理解する。	
		四分位数		○	○	○	○		
		箱ひげ図		○	○	○	○		
		分散と標準偏差		○	○	○	○		

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	３ROUND 数学Ⅱ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は問題を繰り返し解き、知識を定着し、理解を深めることが重要です。副教材の 3ROUND をうまく活用してください。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをすること。答え合わせは自分の考え方があっているかを知るために大切なものです。単なる「答えあわせ」にならないよう注意しましょう。
問題集を解く際は問題集ノートを用意し、担当の先生の指示に従って提出しましょう。

２　学習の到達目標

・式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、及び微分法と積分法についての基礎的な知識や技能を習得する。
・様々な事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。
・問題の解決方法の１つとして、数学を活用する態度を身につける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、習得した数学的な考え方を様々な問題解決に活用しようとする態度をもっている。

評価方法
提出物

b 数学的な見方や考え方

様々な問題に対して、方程式や関数（三角関数、指数関数、対数関数など）、グラフなどの数学的な見方や考え方を活用することができる。

評価方法
定期考査・確認テスト

c 数学的な技能

計算をすることやグラフをかくことなど、数学を活用するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト・提出物

d 知識・理解

授業で扱う数学的な記号や定義、計算方法などの基本的な数学的な仕組みを理解している。

評価方法
定期考査・確認テスト・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

●指導と評価の計画（1学期）α　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	整式・分数式の計算	3次の乗法公式		○		○	○	a　授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　二項定理を用い、$(a+b)^n$の一般項から与えられた次数の係数を求めることができる。 c　パスカルの三角形を理解し、$(a+b)^n$を展開したときの係数をそれぞれ求めることができる。 二項定理を理解している。整式の割り算の方法を理解し、結果を求めることができる。A＝BQ＋Rを使って、問題を解決できる。分数式の四則演算を理解し、正しく計算することができる。 d　3次式の展開及び因数分解の公式を理解している。分数式を既約分数または整式の形にすることができる。	提出物 確認テスト 定期考査
		3次式の因数分解 $(a+b)^n$の展開式 パスカルの三角形		○		○	○		
		二項定理		○	○	○			
		整式の除法		○		○			
		分数式とその計算 分数式の約分・乗法・除法		○		○			
		分数式の加法・減法		○		○	○		
	2次方程式	複素数 複素数の相等		○		○	○	a　授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　与えられた条件から、判別式を活用し問題を解くことができる。 c　複素数の相等から実部、虚部を見分けることができる。共役な複素数について理解し、複素数の除法を行うことができる。負の数の平方根を含む計算を、i を使って処理できる。判別式を用いて、解の種別を判別することができる。2次方程式の解と係数の関係を活用し、問題を解くことができる。2次式を複素数の範囲で因数分解できる。 d　数を拡張し虚数について理解している。複素数の加法、減法及び乗法を行うことができる。 負の数の平方根を理解している。2次方程式の解を、解の公式を用いて複素数の範囲で解くことができる。与えられた2数を解とする2次方程式を作ることができる。	
		複素数の演算		○		○	○		
		負の数の平方根		○			○		
		解の公式		○			○		
		判別式		○	○	○			
		解と係数の関係		○		○	○		
		2次式の因数分解		○		○			
		与えられた2数を解とする 2次方程式		○			○		
1学期期末	高次方程式	剰余の定理		○	○		○	a授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b整式を1次式で割ったときの余りについて，剰余の定理で考察することができる。 因数定理や式の特徴を理解し、高次方程式を解くことができる。 c因数分解や因数定理の利用等、解法が示されたとき、高次方程式を解くことができる。 d剰余の定理や因数定理について理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		因数定理		○			○		
		簡単な高次方程式		○		○			
		因数分解を利用した解法		○		○			
		高次方程式とその解		○	○				
	式と証明	恒等式であるための条件 分数式の恒等式		○		○	○	a 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b与えられた条件等を使って、等式の証明や不等式の証明をすることができる。 c恒等式の性質を利用し問題を解くことができる。恒等式の証明方法を理解して証明することができる。実数の平方の性質を利用して証明することができる。平方の大小関係を利用して不等式を証明することができる。相加平均と相乗平均の大小関係を用いて不等式を証明することができる。 d恒等式について理解している。	
		等式の証明 条件つきの等式		○	○	○			
		不等式の基本性質		○	○	○			
		平方による比較		○		○			
		相加平均と相乗平均		○	○	○			

●指導と評価の計画（2学期）α　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期中間	点と直線	数直線上の点の座標 内分点・外分点		○		○	○	a　授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　垂直2等分線の性質を用いて、直線に関して対称な点について求めることができる c　数直線上の2点間の距離を求めることができる。平面座標上の2点を結ぶ線分を内分（または外分）する点の座標を求めることができる。与えられた条件から直線の方程式を導くことができる。ある直線に関して平行または垂直な直線を求めることができる。点と直線の距離を求めることができる。 d　内分と外分について理解している。ある点とx軸やy軸、または原点などに関して対称の性質を理解している。平面座標上の2点間の距離を求めることができる。与えられた直線の方程式を座標平面上にかき表すことができる。2直線の傾きをみて、平行、垂直を判断することができる。	提出物 確認テスト 定期考査
		座標平面上の点		○			○		
		2点間の距離 内分点、外分点の座標		○		○	○		
		三角形の重心 直線の方程式		○		○	○		
		平行条件と垂直条件 直線に関して対称な点		○	○	○	○		
		点と直線の距離		○		○			
2学期期末	円	円の方程式 $x^2+y^2+lx+my+n=0$の表す図形		○		○	○	a　授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　2つの円の半径と中心の距離について考えることで、2つの円の位置関係を読み取ることができる。 c　与えられた式を平方完成することで、その式が表す図形を調べることができる。3点を通る円の方程式を求めることができる。与えられた2式から得られる2次方程式を考えることで、円と直線の共有点の座標や、位置関係を調べることができる。円上にない点から引いた円の接線の方程式を求めることができる。 d　円を表す方程式について理解している。円上における接線の方程式を求めることができる。	提出物 確認テスト 定期考査
		3点を通る円		○		○			
		円と直線の共有点		○		○			
		円と直線の位置関係		○		○			
		円の接線 2つの円の位置関係		○	○		○		

●指導と評価の計画（3学期）α　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
3学期期末	軌跡と領域	軌跡とその方程式（1）		○			○	a　授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　与えられた条件から点の軌跡を求めることができる。 c　不等式の表す領域を図示して問題を解決することができる。 与えられた不等式の表す領域を図示することができる。 d　座標平面上の点の軌跡について理解している。領域について理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		軌跡とその方程式（2）		○	○				
		直線を境界とする領域		○			○		
		円を境界とする領域		○			○		
		連立不等式の表す領域		○		○			
		領域と最大値・最小値		○	○				

●指導と評価の計画（1学期）β

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	三角関数	一般角 動径を表す一般角		○		○	○	a 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 三角関数のもつ周期性を理解している。　三角関数を含む方程式、不等式の解く際、単位円を利用して考察することができる。また、周期性を考え、角Θが一般角の場合も考察することができる。 c 与えられた角の動径を図示することができる。弧度法から度数法、またはその逆に変換することができる。 d 正の角、負の角を理解している。扇形の弧の長さと面積について求めることができる。θを一般角に拡張したときの三角比（三角関数）を表すことができる。一般角において、与えられた三角関数から他の三角関数の値を求めることができる。	提出物 確認テスト 定期考査
		弧度法 扇形の弧の長さと面積		○		○	○		
		三角関数		○			○		
		三角関数の相互関係 三角関数を含む等式		○			○		
		三角関数の性質		○	○				
		三角関数を含む方程式 三角関数を含む不等式		○	○	○	○		
1学期期末	三角関数	三角関数のグラフ 三角関数のグラフの性質		○	○		○	a 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　y=sinθ、y=cosθ、y=tanθのグラフを自ら点をとってかくことができる。2直線のなす角を加法定理を用いて求めることができる。三角関数の2倍角の公式、半角の公式、三角関数の合成を活用して三角関数を含む方程式を解くことができる。また、関数の最大値、最小値を求めることができる。 c 三角関数の2倍角の公式、半角の公式、三角関数の合成を用いて計算することができる。 d 三角関数の加法定理について理解している。三角関数の2倍角の公式、半角の公式、三角関数の合成について理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		いろいろな三角関数のグラフ		○		○			
		正弦、余弦の加法定理 正接の加法定理 2直線のなす角		○	○	○	○		
		加法定理の応用		○	○	○	○		
		三角関数の合成		○	○	○	○		

●指導と評価の計画（2学期）β

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期中間	指数関数	整数の指数		○			○	a 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b指数関数のグラフについて y=ax の特徴や、性質を理解し、与えられた複数の数の大小比較や、指数関数を含む方程式、不等式を考察する事ができる。 c 指数法則を用いて、与えられた式を計算することができる。指数関数を含む方程式、不等式を解くことができる。 d 累乗根について理解している。既習の指数法則について指数を整数、さらに有理数まで拡張したものについて理解している。y=ax のグラフを表すことができ、a>1、0<a<1のときの場合についての違い等、その特徴も理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		累乗根		○			○		
		有理数の指数		○		○	○		
		指数関数とそのグラフ		○	○		○		
		指数関数の性質		○	○		○		
		指数関数を含む方程式・不等式		○		○			
	対数関数	対数とその性質		○		○	○	a 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 対数関数y=logaxについて、特徴や性質についても理解し、 与えられた複数の対数を用いて表された数の大小比較や対数関数を含む方程式、不等式を考察することができる。 c 指数と対数とを相互に書き換えることができる。底の変換公式を用いて与えられた式を簡単にすることができる。 常用対数を用いて数の桁数についての問題を解くことができる。 d 対数の定義を理解している。対数の性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。底の変換公式について理解している。対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。簡単な対数関数を含む方程式、不等式を解くことができる。常用対数の定義を理解している。	
		対数の性質		○			○		
		底の変換公式		○		○	○		
		対数関数とそのグラフ		○	○		○		
		対数関数の性質		○	○				
		対数関数を含む方程式・不等式		○			○		
		常用対数		○			○		
		常用対数の応用		○		○			
2学期期末	微分係数と導関数	平均変化率		○	○			a 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 関数の平均変化率について理解している。極限の考え方について理解している。接線の傾きと微分係数について理解している。曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解している。グラフを使って、最大・最小問題を解決する事ができる。グラフを利用して、不等式の証明をする事ができる。 c導関数を利用して微分係数を求めることができる。関数 y=f(x) の増減を調べることができる。グラフを使って、方程式の実数解の個数について考えることができる。 d 定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。関数 y=f(x) の極値を調べることができグラフを描くことができる。	提出物 確認テスト 定期考査
		微分係数		○	○				
		導関数		○			○		
		導関数の計算		○	○				
		接線の方程式		○			○		
		関数の増減		○		○			
		関数の極大・極小（1）		○		○			
		関数の極大・極小（2）		○		○	○		
		関数の最大・最小		○	○		○		
		方程式への応用 不等式への応用		○	○	○			

●指導と評価の計画（3学期）β

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
3学期期末	積分法	不定積分（1）		○			○	a 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 与えられた条件を満たす関数を不定積分を利用して求めることができる。定積分と図形の面積について理解している。与えられた条件の下で、曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。定積分で表された関数の微分を使って、与えられた条件の下で問題を解決することができる。 c いろいろな関数の不定積分を求めることができる。定積分の性質を使って、定積分の計算ができる。2つの放物線と2直線で囲まれた部分の面積を求めることができる。定積分で表された関数の微分など、計算ができる。 d 不定積分の定義や性質を理解している。不定積分の計算方法を理解している。定積分の定義や性質を理解している。定積分の計算方法を理解している。定積分により与えられた面積を求めることができる。積分の上端をx、下端を定数とおくことで導関数が導かれることを理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		不定積分（2）		○			○		
		不定積分の計算		○	○	○			
		定積分		○		○	○		
		定積分の公式		○			○		
		定積分の性質 定積分と微分		○	○		○		
		定積分と面積		○	○	○	○		
		2曲線の間の面積		○	○	○	○		

学校番号	２００４

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	６単位	年次	３年次
使用教科書	新編　数学Ⅲ（数研出版）						
副教材等	３ＴＲＩＡＬ　数学Ⅲ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅲという科目では、数Ⅰ、Ⅱ、ＡおよびＢの内容の理解が前提となります。２年次までの内容が不十分だと授業の内容を理解することができません。今までの内容で不安がある分野はもう一度学び直しておきましょう。数学Ⅲでは抽象的な内容や複雑な内容も含んでいます。単に暗記することや答えをただ写しとるのではなく、自分でグラフや図をかいて式の意味を理解すること。

授業中に理解できなかったことは、必ずその日のうちに解決させることはもちろんのこと、家庭でも予習復習をしておくこと。

２　学習の到達目標

平面上の曲線、複素数平面、極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法および積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

評価方法
提出物等

ｂ数学的な見方や考え方

事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して，平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト等

ｃ数学的な技能

平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト等

ｄ知識・理解

平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト等

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画 1学期）　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した B…概ね達成した C…課題を残した D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	複素数平面	複素数平面		○	○		○	a. 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. 複素数の和・差・及び積・商について、複素数平面上の図形的な意味を理解し、活用ができる。 c. 2点間の距離を求める事ができる。極形式で表された複素数の積・商を計算できる。 d. 複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。 また、複素数の極形式を理解し，a+bi の形の複素数を極形式で表すことができる。	・小テスト ・提出物 ・学習状況の観察
		複素数の極形式		○		○	○		
		ド・モアブルの定理		○	○	○	○	a. 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. ド・モアブルの定理を用いて $z^n=\alpha$ の解を求め、その解を複素数平面上に図示することができる。また、複素数平面上の三角形の形状を調べることができる。 c. ド・モアブルの定理を用いて、複素数のn乗計算ができる。また、偏角を用いることにより，複素数平面上の3点でできる角の大きさを表すことができる。 d. ド・モアブルの定理を理解する。 円や直線等の軌跡を，複素数を用いて表現することができる。	
		複素数と図形		○	○	○	○		
	2次曲線	放物線		○		○	○	a. 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. 条件を満たす放物線、楕円、双曲線の方程式の標準形を求めることができる。 c. 放物線、楕円、双曲線の方程式から、それぞれその概形をかくことができる。 また、一般のx、yの2次方程式を標準形に変形し、概形をかくことができる。 2次曲線と直線の位置関係で、方程式に文字を含む場合に、場合分けして分類できる。 d. 放物線、楕円、双曲線、それぞれの定義を理解し、焦点や準線、双曲線や漸近線について答える事ができる。 図形の平行移動を方程式で表す方法を理解する。 2次曲線と直線の位置関係と判別式Dの関係を理解する。	
		楕円		○	○	○	○		
		双曲線		○	○	○	○		
		2次曲線と平行移動		○		○	○		
		2次曲線と直線		○		○	○		
	媒介変数表示と極座標	媒介変数表示		○		○	○	a. 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. 条件を満たす図形の極方程式を求める事ができる。 c. 媒介変数表示された曲線の方程式から媒介変数を消去し、方程式を求めることができる。また。与えられた方程式を、媒介変数表示になおすことができる。 直交座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことができる。また，その逆のことができる。 d. 曲線の媒介変数表示を理解する。直交座標と極座標の関係を理解する。 コンピュータを活用するなどして，リサージュ曲線や正葉曲線など，いろいろな曲線の特徴を理解する。	
		極座標と極方程式		○	○	○	○		
		コンピュータの利用		○			○		
	関数	分数関数		○	○	○	○	a. 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. 分数式の計算、$\sqrt{\ }$の計算を行って、式変形ができ、グラフの平行移動を使って、$y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができ、漸近線を求める事ができる。また、$y=\sqrt{(ax+b)}$ のグラフをかくことができる。 c. 分数関数、無理関数の基本のグラフがかける。逆関数や合成関数を求めることができる。 d. 分数関数のグラフ、無理関数グラフの特徴を理解する。逆関数、合成関数の意味を理解する。	
		無理関数		○	○	○	○		
		逆関数と合成関数		○	○	○	○		

4　学習プログラム（年間学習指導計画　2学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期	数列の極限	数列の極限		○	○	○	○	a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　無限等比数列、無限等比級数の収束・発散の条件の分類について理解する。また、循環小数や図形等への応用を理解し、活用ができる。 c.　いろいろな数列の極限や無限級数の和を求めることができる。 d.　無限の概念について認識し、数列の極限及びその性質や、無限級数の収束・発散について理解する。	・小テスト ・提出物 ・学習状況の観察
		等比無限級数		○		○	○		
		無限級数		○	○	○	○		
	関数の極限	関数の極限(1)		○	○	○	○	a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　関数の極限を求める為に、適切な式変形を選択するなど、その極限を求める方法を考察することができる。 c.　基本的な関数の極限を調べることができる。 d.　無限の概念を認識し、関数の極限及びその性質を理解している。関数の連続性をもとに、中間値の定理について理解する。	
		関数の極限(2)		○	○		○		
		三角関数と極限		○	○	○	○		
		関数の連続性		○	○		○		
	導関数	微分係数と導関数		○	○	○	○	a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　導関数の定義に従って、いろいろな関数の導関数を求めることができる。 c.　基本的な関数の導関数を求めることができる。また、積・商の導関数や、逆関数、合成関数の微分法を使って、いろいろな関数の導関数を求めることができる。 d.　導関数の定義を理解する。導関数の基本的な性質を理解する。 また、逆関数、合成関数の微分法について理解する。	・小テスト ・提出物 ・学習状況の観察
		導関数の計算		○		○	○		
	いろいろな関数の導関数	いろいろな関数の導関数		○	○	○	○	a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　三角関数の和・差から積、積から和・差になおす公式を使って、三角関数の導関数を求めることができる。 　自然対数の底eを導入し，対数関数の導関数を求めることができる。対数微分法を理解し，それを用いて，指数関数の導関数を求めることができる。 c.　三角関数、指数関数、対数関数を含むいろいろな関数の導関数を求めることができる。 d.　三角関数、指数関数、対数関数の微分ができる。高次導関数について理解する。	
		第n次導関数		○	○	○	○		
		曲線の方程式と導関数		○			○		
	導関数の応用	接線の方程式		○		○	○	a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　平均値の定理について関心をもち，その意味を理解する。 関数の増減や曲線の凹凸など、学習したことを総合して関数のグラフの概形をかくことができる。 c.　関数の増減を調べることができる。極値を求めることができる。曲線の凹凸を調べることが出来る。 d.　曲線の接線および法線の方程式を求めることができる。平均値の定理に基づいて関数の増減に関する性質を理解する。関数の値の変化を調べ，極値について理解する。曲線の凹凸に関する性質を理解する。	
		平均値の定理		○		○			
		関数の値の変化		○	○	○			

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
3学期	不定積分	不定積分とその基本性質		○		○	○	a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　置換積分法や部分積分法について理解し、その方法を使って、不定積分を求めることができる。 c.　分数関数や三角関数を変形して，不定積分を求めることができる。 d.　不定積分の基本的な性質・公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。	・小テスト ・提出物 ・学習状況の観察
		置換積分法と部分積分法		○	○	○			
		いろいろな関数の不定積分		○		○			
	定積分	定積分とその基本性質		○	○	○		a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　定積分の定義について理解する。置換積分法について理解する。偶関数と奇関数の定積分の性質を理解する。 c.　定積分の定義に従って、定積分を求めることができる。置換積分法や部分積分法を用いて、定積分の値を求める事ができる。 c.　定積分の値を計算することができる。 積分と微分の関係 $d/dx \int_a^x f(t)dt = f(x)$ を理解する。 d.　偶関数、奇関数の定積分の性質を用いて、定積分を求めることができる。	
		置換積分法と部分積分法		○	○	○			
		定積分のいろいろな問題		○		○			
	積分法の応用	面積		○	○	○	○	a.　授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b.　面積と積分の関係を理解する。立体の体積と積分の関係を理解する。曲線の長さと積分の関係を理解する。区分求積法について関心をもち，その考え方を理解する。 c.　いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解する。立体の体積が定積分によって求められることを理解する。曲線の長さが定積分によって求められることを理解する。また、区分求積法により面積を求めることができる。 d.　図形の面積、立体の体積、曲線の長さを計算し、求めることができる。また、定積分を用いて，不等式を証明する方法を理解する。	
		体積		○	○	○	○		
		道のり		○	○	○	○		
		曲線の長さ		○		○	○		

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　数学Ａ　（第一学習社）						
副教材等	ビルドアップ数学Ｉ＋Ａ（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は問題を多く解くことが重要です。副教材を用いて問題をたくさん解いてください。ただ答えを求めるだけでなく、大切なことは途中式や考え方も書くことです。また、各自答え合わせとやり直しをきちんとすること。答え合わせだけでは採点になってしまうので、自分がどこでつまずいたかを知るためにやり直しをすることが大切です。単なる採点にならないよう注意してください。答え合わせをしたらもう一度その問題にチャレンジし、何も見ずに自分の力だけで解けるようになるまで何度も繰り返しチャレンジしてください。

問題集を解く際は問題集ノートを用意し、担当の先生の指示に従って提出しましょう。

２　学習の到達目標

・「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

・事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるよう、またそれらを活用できるようにする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、習得した数学的な知識や考え方を様々な問題を解決する道具として数学を活用しようとする態度をもっている。

評価方法

提出物

b 数学的な見方や考え

場合の数と確率、整数の性質、図形の性質など、数学の授業で得た知識や考え方を様々な問題を解決するための考える力を育成している。

評価方法

定期考査・確認テスト・提出物

c 数学的な技能

計算、図形の見方など、問題を解決するための考える力を育成し、数学を活用するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法

定期考査・確認テスト・提出物

d 知識・理解

授業で扱う数学的な記号や式、計算の方法、図形の見方などの基本的な数学の仕組みを理解している。

評価方法

定期考査・確認テスト・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画　1学期）★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	三角形の性質	三角形の角の二等分線		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 木の高さを求めるなど、日常生活における問題解決方法として定理や性質を活用することができる。 c 定理を適切に利用して，線分の比や長さを求めることができる。 三角形の三心の性質を適切に利用して、辺の長さや角の大きさを求めることができる。 チェバの定理，メネラウスの定理を，三角形に現れる線分比を求める問題に活用できる。 d 線分の内分・外分，平行線と比などの基本事項を理解する。 三角形の外心，内心，重心の定義，性質を理解する。 チェバの定理・メネラウスの定理を理解する。	提出物 確認テスト 定期考査
		三角形の外心・内心・重心		○		○	○		
		メネラウスの定理と チェバの定理		○		○	○		
	円の性質	円周角の定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 2つの円の位置関係と，中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。 b 定理や性質を、物事の証明に必要な道具として活用することができる。 c 定理を適切に利用して、角の大きさを求めることができる。 円に内接する四角形の性質を利用して，角度を求めることができる。 円の接線の性質や円の接線と弧の作る角の性質を利用して，線分の長さや角の大きさを求めることができる。 共通接線の定義を利用して，その長さの求めることができる。 d 円の基本的な性質、 円周角の定理と円周角の定理の逆を理解する。 方べきの定理を理解する。 共通接線の定義を理解する。	
		円に内接する四角形		○		○			
		円と直線 方べきの定理		○	○	○	○		
		2つの円の位置関係		○		○	○		
	空間図形	空間における直線・平面の位置関係		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 d 空間における2直線の位置関係やなす角を理解する。 正多面体の特徴を理解する。	
		三垂線の定理 多面体		○		○			
1学期期末	数え上げの原則	集合の要素の個数		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b ベン図を利用して集合を図示することで，要素の個数を考察することができる。 道順の数え方を日常生活の問題解決方法として活用することができる。 c 和集合，補集合の要素の個数の公式を利用できる。 和集合や補集合について理解し，その要素の個数を求めることができる。 事象に応じて，樹形図，和の法則，積の法則を使い分けて場合の数を求めることができる。 d 和集合や補集合について理解する。 樹形図，和の法則，積の法則の利用場面を理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
		数え上げの原則		○	○		○		

4　学習プログラム（年間学習指導計画　2学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期中間	順列・組合せ	順列		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 試行の結果を事象としてとらえ，事象を集合と結びつけて考えることができる。 c 順列，円順列，重複順列の公式を理解し，利用することができる。 組合せの公式を理解し，利用することができる。 d 順列の総数，階乗を記号で表すことができる。 組合せの総数を記号で表すことができる 試行の結果の事象を集合として表すことができる。	提出物 確認テスト 定期考査
		組合せ		○		○	○		
	確率	事象と確率		○	○		○		
2学期期末	いろいろな確率	確率の基本性質		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 集合の性質を用いて，確率の性質を一般的に考察することができる。 c 和事象，余事象の確率を求めることができる。 独立な試行、反復試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 d 確率の性質、和事象、余事象を理解する。 条件付き確率や確率の乗法定理を理解する。	提出物 確認テスト 定期考査
		独立な試行の確率 反復試行の確率		○		○			
		条件つき確率		○		○	○		

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
3学期期末	約数と倍数	約数と倍数		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b ある整数aの倍数はakと表せることを使って，簡単な命題を証明することができる。 c ある整数aの倍数をakと表すことができる。 ある整数をａｋ＋ｃと余りを用いて表すことができる。 自然数の素因数分解を求めることができる。 d 約数、倍数の意味を理解している。 3の倍数，9の倍数の判定法について理解している。 自然数の正の約数やその個数を求めるのに， 素因数分解が利用できることを理解している。 素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 2つの整数が互いに素であるかどうかを判別できる。	提出物 確認テスト 定期考査
		素因数分解		○		○	○		
		最大公約数と最小公倍数		○			○		
		余りによる整数の分類		○			○		
	ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 素因数分解をしなくても，互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもつ。 b 整数aを正の整数bで割る割り算を，aとbの間に成り立つ等式としてとらえることができる。 c 2つの整数a，bを除数と余りを用いて表し，a+bなどの余りを求めることができる。 ユークリッドの互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 d 互除法の原理を理解する。 1次不定方程式，整数解の意味を理解する。	
		２元１次不定方程式		○			○		
	整数の性質の応用	有限小数と循環小数		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 循環小数を表す記号を用いて，分数を循環小数で表すことができる。 n進法の整数を10進法で，10進法の整数をn進法で表すことができる。 d 位取り記数法，10進法，2進法，n進法について理解する。	
		ｎ進法		○		○	○		

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	３ＲＯＵＮＤ　数学Ｂ，チャート式　解法と演習数学Ⅱ＋Ｂ ランダム演習数学Ⅰ＋Ａ標準編（夏休みの課題）　以上　数研出版 標準　数Ⅰ・Ａ総括（春休みの課題）［浜島書店］						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は問題を繰り返し解き、知識を定着し、理解を深めることが重要です。副教材の 3ROUND, チャートをうまく活用してください。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをすること。答え合わせは自分の考え方があっているかを知るために大切なものです。単なる「答えあわせ」にならないよう注意しましょう。
問題集を解く際は問題集ノートを用意し、担当の先生の指示に従って提出しましょう。

２　学習の到達目標

・ベクトル，数列または確率分布と統計的な推測に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
・ベクトル，数列または確率分布と統計的な推測において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
・ベクトル，数列または確率分布と統計的な推測における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、習得した数学的な考え方を様々な問題解決に活用しようとする態度をもっている。

評価方法
提出物

b:数学的な見方や考え方

数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、ベクトルや数列を用いて論理的に考察することができる。

評価方法
定期考査・確認テスト

c:数学的な技能

数列の公式を用いて計算をすることや、図形をベクトルで表現するなど、数学を活用するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト

d:知識・理解

授業で扱う数学的な記号や定義、計算方法などの基本的な数学的な仕組みを理解している。

評価方法
定期考査・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画　1学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1	2章　ベクトル	有向線分とベクトル		○	○		○	a. 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. 有向線分で表されたベクトルについて，等しいベクトル，逆ベクトルを見つけ出すことが出来る。 内積のもつ図形的な意味を理解している。 c. 成分表示されたベクトルの相等を理解し，計算に利用できる。また、和，差，実数倍の計算が出来る。 成分表示されたベクトルについて，内積を求めることが出来る。 d. ベクトルの向き，大きさについて理解している。有向線分で表されたベクトルについて、 和、差、実数倍を考察できる。有向線分で表されたベクトルについて成分表示することが出来る。 成分表示されたベクトルの大きさを求めることができる。ベクトルの大きさとなす角から，内積を求めることが出来る。	提出物 確認テスト 定期考査
2		ベクトルの加法・減法		○			○		
3		ベクトルの実数倍		○			○		
4		ベクトルの成分と演算		○		○	○		
5		ベクトルの内積		○	○	○	○		
7	2章　ベクトル	ベクトルのなす角		○		○	○	a. 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. ベクトルの大きさを内積に置き換えて使うことが出来る。 c. ベクトルのなす角を，内積を利用して求めることが出来る。内積の性質を理解し，計算に利用できる。 d. ベクトルの垂直条件を理解し，計算に利用できる。内積でベクトルの大きさが考察できることを理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
8		内積の性質		○	○	○	○		
9		位置ベクトル		○			○	a. 授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b. 図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて図形を考察できる。直線上の点を位置ベクトルで考察し， 直線の方程式と関連付けることができる。 c. 直線のベクトル方程式の媒介変数処理ができる。 d. 分点を位置ベクトルで表す公式を理解している。三角形の重心の位置ベクトルを表す公式を理解している。 直線のベクトル方程式を理解している。	
10		ベクトルと図形		○	○		○		
11		ベクトル方程式		○		○	○		

4　学習プログラム（年間学習指導計画　2学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1	2章　ベクトル	空間座標		○			○	a．授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b．ベクトルの内積を，平面から空間へ拡張して考察できる。空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えることが出来る。線分の長さ，垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。空間における図形を，１つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。 c．成分表示されたベクトルについて，内積を計算できる。ベクトルのなす角を，内積を利用して求めることが出来る。 d．座標空間において，座標平面に平行な平面の方程式が求められる。	提出物 確認テスト 定期考査
2		空間のベクトル		○	○				
3		ベクトルの内積		○	○	○			
4		位置ベクトルと空間の図形		○	○		○		
6	1章　数列	数列		○		○	○	a．授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b．等差数列や等比数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。等差数列については初項と公差を文字で表して，条件から数列の一般項を決定できる。等比数列については、初項と公比を文字で表して，条件から数列の一般項を決定できる。 c．数列の一般項から第ｎ項を求めることが出来る。等差数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。等比数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。 d．数列の定義，表記について理解している。等差数列の公差，一般項などを理解している。 等比数列の公差，一般項などを理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
7		等差数列		○	○		○		
8		等差数列の和		○		○			
9		等比数列		○	○	○	○		
10		等比数列の和		○		○			

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1	1章　数列	数列の和と記号Σ		○			○	a．授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b．数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 c．自然数の和，自然数の２乗の和の公式を利用して，数列の和を求められる。第ｋ項をｋの式で表して， 数列の和が求められる。階差数列を利用して，もとの数列を求めることが出来る。 d．記号シグマの意味を理解し，数列の和をΣで表すことができる。Σの性質を理解している。	提出物 確認テスト 定期考査
2		階差数列と数列の和		○		○			
3		いろいろな数列		○	○	○			
4		漸化式（１）		○			○	a．授業の内容に関心をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b．漸化式を適切に変形して，その数列の特徴を考察することが出来る。 数学的帰納法を利用して、等式、不等式を証明できる。 c．初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 d．漸化式の意味を理解し，具体的に項が求められる。初項と漸化式を用いて数列が定義できることを理解している。	
5		漸化式（２）		○	○	○			
6		数学的帰納法		○	○				

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学ＩＡ演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	基本と演習テーマ　数学Ｉ＋A，ランダム演習数学Ｉ＋A（夏休みの課題） REPEAT　数学Ｉ＋A（昨年度購入・自習用）　　［数研出版］						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は問題を繰り返し解き、知識を定着し、理解を深めることが重要です。数学 IA 演習では既習範囲での復習になりますので、自ら計画を立てて学習してください。授業をうまく活用してください。
ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自で答え合わせをすること。答え合わせは自分の考え方があっているかを知るために大切なものです。単なる「答えあわせ」にならないよう注意しましょう。
問題集を解く際は問題集ノートを用意し、担当の先生の指示に従って提出しましょう。

２　学習の到達目標

・既習の「数学Ｉ」「数学 A」の内容の中で、特に「数と式」「二次関数」「図形と計量」「場合の数と確率」「図形の性質」について授業で取り上げ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
・上記以外の単元は、各自で副教材等を使って年間計画を立て、主体的に学ぶ。
・事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるよう、またそれらを活用できるようにする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、習得した数学的な知識や考え方を様々な問題を解決する道具として数学を活用しようとする態度をもっている。

評価方法
提出物、授業態度

b 数学的な見方や考え方

方程式や関数、グラフ、場合の数と確率、図形の性質など、数学の授業で得た知識や考え方を様々な問題を考察する道具として活用することができる。

評価方法
定期考査・確認テスト

c 数学的な技能

計算をすることやグラフをかくこと、図形の見方など、問題を解決する道具として数学を活用するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト

d 知識・理解

授業で扱う数学的な記号や式、グラフの定義（ルール）、計算の方法、図形の見方などの基本的な数学の仕組みを理解している。

評価方法
定期考査・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

●指導と評価の計画（1学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	評価の観点 a	b	c	d	単元の評価基準	評価方法
1学期中間	数と式	整式の加法・減法・乗法		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 文字の置き換えや、計算順序などに着目し、計算を簡単にする方法を考察することができる。場合分けをして、絶対値記号をはずすことができる。問題文の条件から、1次不等式を立てることができる。 c 整式の計算、根号を含む式の計算ができる。1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式が解ける。 d 単項式や多項式の次数や係数の意味を理解する。平方根の定義、絶対値の定義や図形的な意味、不等式の性質を理解する。	・確認テスト ・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
		因数分解		○	○	○			
		根号を含む式の計算		○		○	○		
		1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式		○	○	○	○		
1学期期末	2次関数	2次関数のグラフ 2次関数のグラフの平行移動・対称移動		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 関数の定義域が与えられたとき、グラフを元に値域を求めることができる。文字の入った2次関数を平方完成し、軸と定義域の関係から最大値・最小値を求めることができる。2次方程式の解の条件から2次関数とx軸との関係を見出し、判別式を通して2次不等式の問題に帰着させ、それを解くことができる。与えられた問題から、連立不等式を作り、それを解くことができる。 c 2次方程式を因数分解、解の公式を用いて解くことができる。 平方完成をして、グラフの頂点を求め、グラフをかくことができる。グラフをかいて、最大値・最小値を求めることができる。定義域に制限のついた2次関数の最大値・最小値を求めることができる。与えられた条件を満たす2次関数を求めることができる。2次方程式を因数分解、解の公式を用いて解くことができる。判別式を用いて、2次方程式の実数解の個数を求めることができる。 2次関数のグラフとx軸との共有点を求めることができる。D>0のとき、因数分解や解の公式を利用して、2次不等式を解くことができる。D=0、D<0になる2次不等式を解くことができる。 d 関数の定義域、値域について理解している。2次方程式の解の公式を理解している。 2次方程式の実数解の個数と判別式の符号の関係について理解している。判別式と、2次関数のグラフとx軸との位置関係の関係性を理解する。2次不等式の解を2次関数のグラフを利用して、解くことを理解している。	・確認テスト ・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
		2次関数の最大・最小		○	○	○			
		グラフからの2次関数の決定 2次方程式		○		○	○		
		2次関数のグラフと x軸・直線の位置関係		○		○	○		
		2次不等式		○		○	○		
		2次不等式の2次方程式への応用		○	○				

●指導と評価の計画（2学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	評価の観点 a	b	c	d	目標（評価規準）	評価方法
2学期中間	図形と計量	三角比 三角比の相互関係		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　木の高さや標高などを、三角比を利用して求めることができる。 正弦定理や余弦定理を使って、空間図形の断面積や体積を求める事ができる。 c　0°≦Θ≦180°の範囲で 三角方程式、三角不等式が解ける。三角比の相互関係を活用できる。 正弦・余弦定理を利用して、外接円の半径、辺の長さ、角の大きさなどを求めることができる。 公式を用いて面積を求めることができる。 d　三角比の定義を理解している。三角比の相互関係を理解している。90°－θの三角比を理解する。 180°－θの三角比を理解する。	・確認テスト ・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
		正弦定理と余弦定理		○		○	○		
		三角形の面積 多角形の面積		○	○	○			
		三角比と空間図形		○	○	○			
2学期期末	場合の数と確率	集合の要素の数		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　同じものを含む順列を組合せの考え方を使って、その総数を求める事ができる。 重複組合せの総数を求めることができる。 c　樹形図や和の法則、積の法則を用いて場合の数を求める事が出来る。 円順列、重複順列の考え方を理解し、活用ができる。 d　集合の要素の個数を利用し、場合の数を求める事ができる。 いろいろな順列の総数を求める事ができる。 いろいろな組合せの総数を求める事ができる。	・確認テスト ・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
		場合の数		○		○			
		順列		○			○		
		円順列と重複順列		○		○			
		組合せ		○			○		
		同じもの含む順列 重複組合せ		○	○				
		確率とその基本性質		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　条件付き確率の意味を理解している。 乗法定理を理解し、さまざまな条件のもとで確率を計算できる。 c　確率の基本性質を理解し、加法定理、和事象の確率、余事象の確率等を使って、確率の計算ができる。　独立な試行の確率を求めることができる。 反復試行の確率の計算方法を理解し、応用問題が解ける。 d　確率の定義を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができる。	
		独立な試行と確率		○		○			
		条件付き確率		○	○				

●指導と評価の計画（3学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	評価の観点 a	b	c	d	目標（評価規準）	評価方法
3学期期末	図形の性質	角の二等分線の性質 三角形の外心・内心		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b　三角形の五心について理解している。 三角形の辺と角の大小関係について理解している。 3数が三角形の3辺となるための条件について考察できる。 c　線分の内分点、外分点について理解し、その点をとることができる。角の二等分線の性質を理解している。チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、活用ができる。 d　円周角の定理、及びその逆について理解している。 四角形が円に内接するための条件について理解している。円と直線の位置関係や円の接線の性質について理解している。方べきの定理について、理解している。2つの円の位置関係や共通接線について理解している。 基本的な作図ができる。空間図形の基本的な性質を理解している。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
		三角形の成立条件 チェバの定理・メネラウスの定理 接弦定理と円に内接する四角形		○	○				
		円の接線の長さ 方べきの定理 2つの円の位置関係・共通接線		○		○			
		直線と平面の垂直 正多面体の面の数、頂点の数、辺の数		○			○		

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	対策ドリル SPI（就職受験対策研究会）、 Quick 10 10 分間基礎学力ドリル SPI 非言語（藤井　利昭）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は積み重ねの学問です。基礎、基本ができていないと問題を解くことができません。日ごろの反復学習が大事になってくるので、反復練習を怠らないように学習しましょう。また、授業で扱う内容は、既習なものばかりなので、解けるものばかりです。あきらめずに自分の力で解くことができるように挑戦しましょう。一人でできない場合でも、ほかの人と協力して、解くことも大事です。全員で教えあう関係を作れるようにがんばってみましょう。

２　学習の到達目標

・数学における基本的な概念や原理・法則を系統的に理解させ、基礎的な知識と技能を習得する。
・事象を数学的に考察し表現する能力を養い、数学のよさを認識できるようにする。
・上記の能力を的確に活用する態度を育てる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、既習である数学的な考え方を様々な問題解決に活用しようとする態度をもっている。

評価方法

提出物、学習状況の観察

ｂ数学的な見方や考え方

様々な問題に対して、方程式や関数、グラフなどの数学的な見方や考え方を活用することができる。

評価方法

定期考査・確認テスト

ｃ数学的な技能

計算をすることやグラフをかくことなど、数学を活用するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法

定期考査・確認テスト

ｄ知識・理解

既習事項である数学的な記号や定義、計算方法などの基本的な数学的な仕組みを理解している。

評価方法

定期考査・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画　1学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	1	値段と利益①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 bc 割合の計算ができる。 d 商品の価格、定価、利益、値引率の意味を理解している。 bc 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・確認テスト ・定期考査
	2	値段と利益②		○	○	○	○		
	3	代金の支払い①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 bcd 問題文の意味を理解できる。 b 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
	4	代金の支払い②		○	○	○	○		
	5	速さ①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 速さ、時間、距離の意味を理解している。 bcd 速さ、時間、距離の関係を考えて問題を解くことができる。	
	6	速さ②		○	○	○	○		
	7	電車の通過①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 速さ、時間、距離の意味を理解している。 bcd 電車の長さを考えて、速さ、時間、距離の関係を利用して問題を解くことができる。	
	8	電車の通過②		○	○	○	○		
	9	川の上の船の速さ		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 速さ、時間、距離の意味を理解している。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
1学期期末	10	仕事算の計算①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 問題文の意味を理解できる。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・確認テスト ・定期考査
	11	仕事算の計算②		○	○	○	○		
	12	濃度の計算①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 濃度の意味を理解している。 bcd塩水や砂糖水の濃度に関する問題を解くことができる。	
	13	濃度の計算②		○	○	○	○		
	14	年齢の計算①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 問題文の意味を理解できる。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
	15	年齢の計算②		○	○	○	○		
	16	植木の本数①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 問題文の意味が理解できる。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
	17	植木の本数②		○	○	○	○		
	18	鶴亀算①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 問題文の意味を理解できる。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
	19	鶴亀算②		○	○	○	○		

4 学習プログラム（年間学習指導計画 2学期）　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期中間	1	関数とグラフ①		○	○	○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 1次関数、2次関数のグラフがかける。 c 不等式が表す領域を図示することができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・確認テスト ・定期考査
	2	関数とグラフ②		○	○	○			
	3	グラフと範囲①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b グラフ上の点や領域をもとに、図を読み取ることができる。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
	4	グラフと範囲②		○	○	○	○		
	5	図表の見方①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 図表を見て、数値やデータを読み取ることができる。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
	6	図表の見方②		○	○	○	○		
	7	数列①		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 数列の規則性を見つけることができる。 d 数列の規則性を見つけて数を計算していくことができる。	
	8	数列②		○		○	○		
2学期期末	9	場合の数①		○	○	○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 和の法則、積の法則を用いて場合の数を求める事が出来る。 c いろいろな順列の総数を求める事ができる。 c いろいろな組合せの総数を求める事ができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・確認テスト ・定期考査
	10	場合の数②		○	○	○			
	11	確率①		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 確率の基本性質を理解し、加法定理、和事象の確率、余事象の確率等を使って、確率の計算ができる cd 確率の定義を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができる。	
	12	確率②		○	○	○	○		
	13	集合①		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 集合の表し方や包含関係、和集合、共通部分、補集合等の意味を理解している。	
	14	集合②		○			○		
	15	推理		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 与えられた条件から推理することができる。 bcd 問題文の意味を理解して問題を解くことができる。	
	16	命題		○	○		○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 命題、条件の定義を理解できる。 d 命題の逆・対偶・裏の定義を理解できる。 b 逆・対偶・裏のそれぞれの真偽を調べることができる。	

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
学年末考査	1	データの整理 データの代表値		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c データの整理、データの代表値に関する標準的な問題が確実に解ける。 bcd データの整理、データの代表値について理解し、活用ができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・確認テスト ・定期考査
	2	データの散らばりと四分位範囲（1）		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c データの散らばりと四分位範囲に関する標準的な問題が確実に解ける。 bcd データの散らばりと四分位範囲について理解し、活用ができる。	
	3	データの散らばりと四分位範囲（2）		○	○	○	○		
	4	分散と標準偏差		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 分散と標準偏差に関する標準的な問題が確実に解ける。 bcd 分散と標準偏差について理解し、活用ができる。	
	5	データの相関		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c データの相関に関する標準的な問題が確実に解ける。 bcd データの相関について理解し、活用ができる。	

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学応用演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	アーチ数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂ基礎編（数研出版）、 エスコート　改訂版　数学Ⅰ＋Ａ（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、「数学Ⅰ・Ａ」を受験科目とする上級学校への入試対策の為の授業です。１年次に習った「数学Ⅰ」「数学Ａ」の基礎・基本事項を使って、入試問題の演習を行います。予め、家庭でテキストの問題を解いて授業に臨む事が前提となります。授業時間中は、基礎・基本事項の確認をし、自分の解答の正解不正解だけでなく、技能や見方・考え方を理解し、整理する事が大切です。さらに家庭で復習し、わからなかった問題や間違った問題をやり直す事で、数学の力が向上します。あせらず、地道に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・数学Ⅰ・Ａの基礎・基本事項を理解し、標準的な問題が解ける。
・習った知識や技能を活用し、思考力・判断力・表現力を使って、やや難しい入試問題にも対応できる実力をつける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

数学Ⅰ・Ａの内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。自分の考え方を周りに説明したり、周りの人の考え方を聴く等、協働で考える事ができる。

評価方法
ノート、プリント等の提出物、
授業態度等の観察

ｂ数学的な見方や考え方

やや発展的な問題に対して、例題や類題との関連を考え、習った知識や技能を活用し、解法を考える事ができる。またそれを、他の人が理解できるように表現する事ができる。

評価方法
定期考査・確認テスト・プリント

ｃ数学的な技能

標準的な問題に対して、事象を数学的に表現し、処理するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト・プリント

ｄ知識・理解

数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、記号や定義、計算方法などの基本的な知識を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト・プリント

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画 1学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	1	整式の展開・因数分解		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 計算がしやすいように積を組み合わせたり、置き換えなどの工夫をして因数分解できる。 c 公式を用いて加法と減法及び乗法の計算、因数分解ができる。 d 式の展開と因数分解の相互関係を理解する。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	根号を含む式の計算		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 根号を含む式の計算、分母の有理化をすることができる。 d 対称式の性質を理解し、利用できる。	
	3	根号と絶対値 整数部分・小数部分		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 場合分け等により、絶対値記号をはずし、方程式・不等式が解ける。 d 公式、根号の性質を正しく理解し、利用できる。	
	4	絶対値を含む１次不等式		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 不等式の性質を理解している。 d 場合分け等により、絶対値記号をはずし、方程式・不等式が解ける。	
	5	条件と命題		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 集合の表し方や包含関係、和集合、共通部分、補集合等の意味を理解している。 d 必要条件、十分条件の意味を理解している。	
	6	命題の証明		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 集合の表し方や包含関係、和集合、共通部分、補集合等の意味を理解している。 d 対偶を使った証明法や背理法を理解し、証明ができる。	
	7	２次関数のグラフの 平行移動・対称移動		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 平方完成をして、頂点の座標を求め、グラフがかける。 d グラフの平行移動、対称移動を理解している。	
	8	２次関数の 最大・最小（１）		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次関数の最大値・最小値をそれぞれ求めることができる。	
	9	２次関数の 最大・最小（２）		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 場合わけをし、２次関数の最大値・最小値をそれぞれ求めることができる。	
1学期期末	10	２次関数の決定		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 与えられた条件から、２次関数を求めることができる。 d ２次関数のグラフと２次方程式の実数解について理解している。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	11	２次不等式		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次不等式を解くことができる。 d 文字係数の2次不等式を、場合分けをして解くことができる。	
	12	放物線と直線の関係		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d ２次方程式の実数解の個数、判別式に関して理解している。	
	13	２次方程式の解の判別		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次方程式の判別式を用いて、解の判別ができる。	
	14	２次方程式の解と 数の大小		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次方程式の解の存在範囲を不等式を用いて表す事ができる。 d ２次方程式の実数解の個数、判別式に関して理解している。	
	15	三角比の利用		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角比を用いて長さを計算できる。 d 三角比の定義を理解している。	
	16	三角比の相互関係		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 公式を用いて三角比を求めることができる。 d 三角比の相互関係を理解し、活用できる。	
	17	正弦定理・余弦定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 正弦定理、余弦定理を用いて三角形の角や辺の値を求める事ができる。 d 正弦定理、余弦定理を理解し、利用できる。	
	18	三角形の面積		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 条件から三角形の面積を求める事ができる。 d三角形の面積の求め方を利用し、内接円や外接円の半径を求める事ができる。	
	19	円に内接する四角形		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角形の面積の求め方を利用し、円に内接する四角形の面積を求める事ができる。	
	20	空間図形への応用		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 正弦定理や余弦定理を使って、空間図形の断面積や体積を求める事ができる。	
	21	散布図と相関係数		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c データの分散や標準偏差、相関係数を求めることができる。 d 散布図や相関係数から２つのデータの相関関係を分析できる。	

4　学習プログラム（年間学習指導計画　2学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期中間	1	場合の数		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 約数の個数や約数の和を求めることができる。 d 和の法則、積の法則を用いて場合の数を求める事が出来る。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	順列		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c いろいろな順列の総数を求める事ができる。	
	3	円順列		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 円順列の総数を求めることができる。 d 円順列の考え方を理解し、活用ができる。	
	4	組合せ		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 cいろいろな組合せの総数を求める事ができる。	
	5	同じもの含む順列		○	○			a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 同じものを含む順列を組合せの考え方を使って、その総数を求める事ができる。	
	6	確率		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 確率の基本性質を理解し、加法定理、和事象の確率、余事象の確率等を使って、確率の計算ができる d 確率の定義を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができる。	
	7	反復試行の確率		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 反復試行の確率の計算方法を理解し、問題が解ける。 d 独立な試行について理解し、応用問題が解ける。	
	8	条件付き確率		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c さまざまな条件のもとで確率を計算できる。 d 条件付き確率の意味を理解している。	
2学期期末	9	三角形の性質		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角形の内心の性質を用いて、いろいろな証明ができる。 d 三角形の内心について理解している。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	10	チェバの定理・メネラウスの定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c チェバの定理、メネラウスの定理を用いて三角形の変の長さが計算できる。 d チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、活用ができる。	
	11	円の性質		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 方べきの定理を用いて長さの計算ができる。 d 円と直線の位置関係や２円の位置関係について理解している。	
	12	空間図形と多面体		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角比を用いて正四面体のいろいろな計算ができる。 d 空間における、直線や平面の相互の位置関係を理解している。オイラーの多面体定理を理解している。	
	13	余りによる整数の分類		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 整数の割り算を商と余りを用いて等式で表し、その性質を活用できる。 d 整数をある数で割った余りによって分類し、それによって整数の性質を証明できる。	
	14	１次不定方程式		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 整数の性質を使って、不定方程式が解ける。	
	15	方程式の整数解		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 整数の性質を使って、不定方程式が解ける。	
	16	ｎ進法		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ｎ進法について理解し、底の変換ができる。 d 整数の性質を理解し、活用ができる。	

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
学年末考査	1	実践演習（２次関数）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次関数に関する標準的な問題が確実に解ける。 d ２次関数全般について理解し、活用ができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	実践演習（三角比）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角比に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 三角比全般について理解し、活用ができる。	
	3	実践演習（集合と命題）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 集合と命題に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 集合と命題全般について理解し、活用ができる。	
	4	実践演習（場合の数・確率）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 場合の数・確率に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 場合の数・確率全般について理解し、活用ができる。	
	5	実践演習（平面図形）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 平面図形に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 平面図形全般について理解し、活用ができる。	

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習１	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	例題から学ぶ　数学Ⅰ＋Ａ　改訂編（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、「数学Ⅰ・Ａ」を受験科目とする理数系大学・国公立大学の入試対策の為の授業です。１年次に習った「数学Ⅰ」「数学Ａ」の基礎・基本事項を使って、入試問題の演習を行います。予め、家庭でテキストの基本問題を解いて授業に臨む事が前提となります。授業時間中は、標準問題の演習を通して、基礎・基本事項の確認をし、自分の解答の正解不正解だけでなく、技能や見方・考え方を理解し、整理する事が大切です。不明点は自ら調べ、折りに触れて繰り返し復習することで、力をつけていきましょう。

２　学習の到達目標

・数学Ⅰ・Ａの基礎・基本事項を理解し、標準的な問題が解ける。
・習った知識や技能を活用し、思考力・判断力・表現力を使って、やや難しい入試問題にも対応できる実力をつける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

数学Ⅰ・Ａの内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。自分の考え方を周りに説明したり、周りの人の考え方を聴く等、協働で考える事ができる。

評価方法
ノート、プリント等の提出物、
授業態度等の観察

ｂ数学的な見方や考え方

やや発展的な問題に対して、例題や類題との関連を考え、習った知識や技能を活用し、解法を考える事ができる。またそれを、他の人が理解できるように表現する事ができる。

評価方法
定期考査・確認テスト・プリント

ｃ数学的な技能

標準的な問題に対して、事象を数学的に表現し、処理するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト・プリント

ｄ知識・理解

数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、記号や定義、計算方法などの基本的な知識を身につけている。

評価方法
定期考査・確認テスト・プリント

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画　1学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	1	整式の展開・因数分解		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 計算がしやすいように積を組み合わせたり、置き換えなどの工夫をして因数分解できる。 c 公式を用いて加法と減法及び乗法の計算、因数分解ができる。 d 式の展開と因数分解の相互関係を理解する。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	根号を含む式の計算		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 根号を含む式の計算、分母の有理化をすることができる。 d 対称式の性質を理解し、利用できる。	
	3	根号と絶対値 整数部分・小数部分		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 場合分け等により、絶対値記号をはずし、方程式・不等式が解ける。 d　公式、根号の性質を正しく理解し、利用できる。	
	4	絶対値を含む１次不等式		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 不等式の性質を理解している。 d 場合分け等により、絶対値記号をはずし、方程式・不等式が解ける。	
	5	２次関数のグラフの 平行移動・対称移動		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 平方完成をして、頂点の座標を求め、グラフがかける。 d グラフの平行移動、対称移動を理解している。	
	6	２次関数の 最大・最小（１）		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次関数の最大値・最小値をそれぞれ求めることができる。	
	7	２次関数の 最大・最小（２）		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 場合わけをし、２次関数の最大値・最小値をそれぞれ求めることができる。	
	8	２次関数の決定		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 与えられた条件から、２次関数を求めることができる。 d　２次関数のグラフと２次方程式の実数解について理解している。	
	9	２次不等式		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次不等式を解くことができる。 d 文字係数の2次不等式を、場合分けをして解くことができる。	
1学期末	10	放物線と直線の関係		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d ２次方程式の実数解の個数、判別式に関して理解している。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	11	２次方程式の解の判別		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次方程式の判別式を用いて、解の判別ができる。	
	12	２次方程式の解と 数の大小		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ２次方程式の解の存在範囲を不等式を用いて表す事ができる。 d ２次方程式の実数解の個数、判別式に関して理解している。	
	13	三角比の利用		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角比を用いて長さを計算できる。 d　三角比の定義を理解している。	
	14	三角比の相互関係		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 公式を用いて三角比を求めることができる。 d 三角比の相互関係を理解し、活用できる。	
	15	正弦定理・余弦定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 正弦定理、余弦定理を用いて三角形の角や辺の値を求める事ができる。 d 正弦定理、余弦定理を理解し、利用できる。	
	16	三角形の面積		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 条件から三角形の面積を求める事ができる。 d三角形の面積の求め方を利用し、内接円や外接円の半径を求める事ができる。	
	17	円に内接する四角形		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角形の面積の求め方を利用し、円に内接する四角形の面積を求める事ができる。	
	18	空間図形への応用		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 正弦定理や余弦定理を使って、空間図形の断面積や体積を求める事ができる。	

4　学習プログラム（年間学習指導計画　2学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期中間	1	場合の数		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 約数の個数や約数の和を求めることができる。 d 和の法則、積の法則を用いて場合の数を求める事が出来る。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	順列		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c いろいろな順列の総数を求める事ができる。	
	3	円順列		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 円順列の総数を求めることができる。 d 円順列の考え方を理解し、活用ができる。	
	4	組合せ		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 cいろいろな組合せの総数を求める事ができる。	
	5	同じもの含む順列		○	○			a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 同じものを含む順列を組合せの考え方を使って、その総数を求める事ができる。	
	6	確率		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 確率の基本性質を理解し、加法定理、和事象の確率、余事象の確率等を使って、確率の計算ができる d 確率の定義を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができる。	
	7	反復試行の確率		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 反復試行の確率の計算方法を理解し、問題が解ける。 d 独立な試行について理解し、応用問題が解ける。	
	8	条件付き確率		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c さまざまな条件のもとで確率を計算できる。 d 条件付き確率の意味を理解している。	
2学期期末	9	三角形の性質		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角形の内心の性質を用いて、いろいろな証明ができる。 d 三角形の内心について理解している。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	10	チェバの定理・メネラウスの定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c チェバの定理、メネラウスの定理を用いて三角形の変の長さが計算できる。 d チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、活用ができる。	
	11	円の性質		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 方べきの定理を用いて長さの計算ができる。 d 円と直線の位置関係や２円の位置関係について理解している。	
	12	空間図形と多面体		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角比を用いて正四面体のいろいろな計算ができる。 d 空間における、直線や平面の相互の位置関係を理解している。オイラーの多面体定理を理解している。	
	13	条件と命題		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 度数分布表・ヒストグラムを用いて、データを整理することができる。 d 平均値・最頻値・中央値の意味を理解する。	
	14	データの整理と代表値		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 度数分布表・ヒストグラムを用いて、データを整理することができる。 d 平均値・最頻値・中央値の意味を理解する。	
	15	四分位数		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 四分位数・四分位範囲・四分位偏差を求めることができる。 d 四分位数・四分位範囲・四分位偏差の意味を理解する。	
	16	箱ひげ図		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 箱ひげ図をかくことができる。 d 箱ひげ図の意味を理解する。	
	17	分散と標準偏差		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 分散・標準偏差を求めることができる。 d 分散・標準偏差の意味を理解する。	
	18	データの相関		○	○			a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 散布図から相関関係の強弱を読み取れる。また、相関係数を求めることができる。	

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
学年末考査	1	条件と命題		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 集合の表し方や包含関係、和集合、共通部分、補集合等の意味を理解している。 d 必要条件、十分条件の意味を理解している。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	余りによる整数の分類		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 整数の割り算を商と余りを用いて等式で表し、その性質を活用できる。 d 整数をある数で割った余りによって分類し、それによって整数の性質を証明できる。	
	3	１次不定方程式		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 整数の性質を使って、不定方程式が解ける。	
	4	方程式の整数解		○		○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 整数の性質を使って、不定方程式が解ける。	
	5	ｎ進法		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ｎ進法について理解し、底の変換ができる。 d 整数の性質を理解し、活用ができる。	

学校番号	2004

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習２	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	例題から学ぶ　数学Ⅱ＋Ｂ　改訂編（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、「数学Ⅱ・Ｂ」を受験科目とする上級学校への入試対策の為の授業です。2 年次に習った「数学Ⅱ」「数学Ｂ」の基礎・基本事項を使って、入試問題の演習を行います。予め、家庭でテキストの問題を解いて授業に臨む事が前提となります。授業時間中は、基礎・基本事項の確認をし、自分の解答の正解不正解だけでなく、技能や見方・考え方を理解し、整理する事が大切です。さらに家庭で復習し、わからなかった問題や間違った問題をやり直す事で、数学の力が向上します。繰り返し問題を解くことが大切です。

２　学習の到達目標

・数学Ⅱ・Ｂの基礎・基本事項を理解し、標準的な問題が解ける。
・習った知識や技能を活用し、思考力・判断力・表現力を使って、やや難しい入試問題にも対応できる実力をつける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

数学Ⅱ・Ｂの内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。自分の考え方を周りに説明したり、周りの人の考え方を聴く等、協働で考える事ができる。

評価方法
ノート、プリント等の提出物、
授業態度等の観察

ｂ数学的な見方や考え方

やや発展的な問題に対して、例題や類題との関連を考え、習った知識や技能を活用し、解法を考える事ができる。またそれを、他の人が理解できるように表現する事ができる。

評価方法
定期考査・確認テスト・プリント

ｃ数学的な技能

標準的な問題に対して、事象を数学的に表現し、処理するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。

評価方法

定期考査・確認テスト・プリント

ｄ知識・理解

数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、記号や定義、計算方法などの基本的な知識を身につけている。

評価方法

定期考査・確認テスト・プリント

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画　1学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	1	3次式の展開と因数分解		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 3次式の展開の公式を利用することができる。 d 3次式の因数分解の公式を利用することができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	二項定理		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 二項定理を利用して，展開式やその項の係数を求めることができる。 d パスカルの三角形の性質，二項定理を理解し，活用できる。	
	3	整式の除法		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 整式の割り算の計算方法を理解している。 cd 割り算で成り立つ等式を理解し，利用することができる。	
	4	分数式 恒等式		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 分数式の約分，四則計算ができる。 d 恒等式となるように，係数を決定することができる。	
	5	ベクトルの演算と成分		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d ベクトルの加法，減法，実数倍の計算できる。 d 成分表示されたベクトルの大きさ，和，差，実数倍の計算ができる。	
	6	ベクトルの内積 内積の演算		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 内積の性質を理解し，計算に利用できる。 c ベクトルの大きさを内積におき換えて扱うことができる。	
	7	位置ベクトル		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 線分の内分点，外分点を位置ベクトルで表す公式を理解している。 d 三角形の重心の位置ベクトルで表す公式を理解している。	
	8	ベクトルの図形と応用		○	○	○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用できる。 b ベクトルの分解の一意性を理解し，計算に利用できる。 d 図形の性質を，位置ベクトルを利用して証明できる。	
	9	図形の ベクトルによる表示		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 直線のベクトル方程式の媒介変数処理ができる。 d 直線上の点を位置ベクトルで考察し，直線の方程式と関連付けることができる。	
	10	空間ベクトル		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 平行六面体におけるベクトルを，和の形に表すことができる。 c 線分の長さ，垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。	
1学期期末	11	等式の証明		○	○		○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b Ａ＝ＢとＡ－Ｂ＝０が同値であることを利用して，等式を証明することができる。 bd 与えられた条件式の利用方法を考え，等式を証明することができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	12	不等式の証明		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 実数の大小関係の基本性質に基づいて，不等式を証明することができる。 d 実数の性質を利用して，不等式を証明することができる。 d 平方の大小関係を利用して，不等式を証明することができる。	
	13	複素数と2次方程式の解 ２次方程式の解と係数の関係		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 複素数の四則計算ができる。 d 判別式を利用して，2次方程式の解の種類を判別することができる。 c 2次方程式の解の符号に関する問題を，解と係数の関係を利用して解くことができる。	
	14	剰余の定理と因数定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 剰余の定理を利用して，整式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。 cd Ｐ（ｋ）＝０であるｋの値の見つけ方を理解し，高次式を因数分解できる。	
	15	高次方程式		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 因数分解や因数定理を利用して，高次方程式を解くことができる。 c 高次方程式の虚数解a+biを解にもてば，a-biも解にもつことを利用できる。	
	16	等差数列とその和		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 等差数列の公差，一般項などを理解している。 cd 等差数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。 自然数の和，奇数の和，偶数の和などが求められる。	
	17	等比数列とその和		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 等比数列の公差，一般項などを理解している。 cd 等比数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。 等比数列の和の公式を利用して，和の値から数列の一般項を求めることができる。	
	18	和の記号		○	○	○		a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 数列の和を記号Σで表して，和の計算を簡単に行うことができる。 c 第ｋ項をｋの式で表して，初項から第ｎ項までの和が求められる。	
	19	階差数列		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 階差数列を利用して，もとの数列の一般項が求められる。 d 数列の和S_nと第n項a_nの関係を理解し，数列の一般項が求められる。	

4　学習プログラム（年間学習指導計画　2学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
2学期中間	1	いろいろな数列の和		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 cd 和の求め方の工夫をして，数列の和が求められる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	群に分けられた数列		○	○			a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 群数列を理解し，ある特定の群に属する数の和が求められる。	
	3	漸化式		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 初項と漸化式から数列の一般項が求められる。	
	4	数学的帰納法		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 数学的帰納法を用いて等式，不等式を証明できる。	
	5	点の座標 直線の方程式 円の方程式		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 座標平面上において，２点間の距離，線分の内分点，外分点の座標が求められる。 c 与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 d　与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。	
	6	円と直線 ２つの円		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 円と直線の共有点の座標を求めることができる。 d 円の接線の公式を理解していて，それを利用できる。 ２つの円の位置関係と中心間の半径の関係から，円の方程式を求めることができる。	
	7	軌跡と方程式		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 軌跡の定義を理解し，与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。	
	8	不等式の表す領域		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 不等式の表す領域を図示することができる。 c 線形計画法で，領域を利用する１次式の最大値・最小値の求め方を理解している。	
2学期期末	9	弧度法 三角関数の相互関係		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 弧度法で表された角の三角関数の値を，三角関数の定義によって求めることができる。 d 三角関数の相互関係を理解し，それらを利用して様々な値を求めたり，式変形をすることができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	10	三角関数を含む方程式・ 不等式		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 三角関数を含む方程式，不等式を解くことができる。	
	11	三角関数の加法定理		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 cd 加法定理を利用して，種々の三角関数の値を求めることができる。 d 正接の加法定理を利用して，２直線のなす鋭角を求めることができる。	
	12	２倍角の公式と方程式・ 不等式,		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d ２倍角，半角の公式を利用して，三角関数の値を求めることができる。 cd ２倍角の公式を利用して，三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式を解くことができる。	
	13	三角関数の合成		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d $a\sin\theta+b\cos\theta$ を $r\sin(\theta+\alpha)$ の形に変形する方法を理解している。 cd xの関数を $y=a\sin\theta+b\cos\theta$ を変形して，関数の最大値・最小値を求めることができる。	
	14	指数の拡張・指数関数		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を利用した計算をすることができる。 d 指数関数のグラフの概形，特徴を理解している。	
	15	指数関数を含む方程式・ 不等式，最大・最小		○	○			a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 指数関数の増減によって，大小関係や方程式・不等式を解くことができる。	
	16	対数とその性質		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 対数の性質に基づいた種々の対数の値を計算できる。	
	17	対数関数		○	○			a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 b 対数関数の増減によって，大小関係や方程式・不等式を解くことができる。	
	18	常用対数		○	○			a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 常用対数を利用して，桁数の問題や小数首位問題などを解くことができる。	
	19	微分係数と導関数		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 平均変化率，微分係数の定義を理解し，それらを求めることができる。 d 導関数の性質を利用して，種々の導関数の計算ができる。	
	20	導関数の応用		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 関数の増減や極値を調べることができる。 d 関数の極値が与えられたとき，関数を決定することができる。 d 導関数を利用して，方程式の実数解の個数問題，不等式の証明問題を解くことができる。	
	21	不定積分・定積分		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 不定積分の計算ができる。 d 定積分の計算ができる。	
	22	定積分と図形の面積		○			○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 d 直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。	

4　学習プログラム（年間学習指導計画　3学期）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
学年末考査	1	実践演習 （複素数と方程式）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 複素数と方程式に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 複素数と方程式全般について理解し、活用ができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・定期考査
	2	実践演習 （図形と方程式）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 図形と方程式に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 図形と方程式について理解し、活用ができる。	
	3	実践演習 （三角関数）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 三角関数に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 三角関数全般について理解し、活用ができる。	
	4	実践演習 （指数関数と対数関数）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 指数関数と対数関数に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 指数関数と対数関数全般について理解し、活用ができる。	
	5	実践演習 （微分法と積分法）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 微分法と積分法に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 微分法と積分法全般について理解し、活用ができる。	
	6	実践演習 （ベクトル）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c ベクトルに関する標準的な問題が確実に解ける。 d ベクトル全般について理解し、活用ができる。	
	7	実践演習 （数列）		○		○	○	a 授業の内容に興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。 c 数列に関する標準的な問題が確実に解ける。 d 数列全般について理解し、活用ができる。	

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　物理基礎（啓林館）						
副教材等	センサー総合物理　新訂版（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理は、身の回りの「なぜ？」と向き合う学問です。まず、日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもちましょう。次に、疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもちましょう。更に、学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけましょう。学んだことの積み重ねで授業が進んでいくので、復習は欠かさず行いましょう。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

われわれの身の回りでおこる自然現象や物理法則に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、利用法について考えようとする基礎的な態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

物理に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための基礎的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究的活動に関する発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察･実験の技能

実験に関する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない基礎的な観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身の回りで起こる自然現象やそれを支配する物理法則などに関する物理の基礎的な知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	生徒の到達目標	評価方法
1学期中間	物体の運動	速さと速度，変位		○	○			a:物体の運動に興味をもち，測定機器を使って調べようとしている。 b:*x-t* グラフや *v-t* グラフから物体の運動について考えることができる。 c:物体の運動を *x-t* グラフや *v-t* グラフ，ベクトルを使って表すことができる。 d:物体の変位･速度･加速度と運動の様子の関係について理解できる。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		速度の合成				○			
		相対速度				○			
		等速直線運動					○		
		加速度，等加速度直線運動		○		○			
		落体の運動			○		○		
1学期期末	力と運動	力，力の三要素 力の合成･分解				○	○	a:物体の運動に興味をもち，力の性質や力がはたらいたときの物体の運動を調べようとしている。 b:力のつり合いや運動方程式から，物体の運動を考えることができる。 c:物体にはたらく力を図で表したり，力の合成･分解をしたりすることができる。 d:力のつりあいや運動の三法則などの知識を使い，物体の運動の様子が理解できる。	
		慣性の法則，運動の法則，作用･反作用の法則		○		○			
		様々な力と運動 圧力と水圧･浮力		○	○		○		
	仕事	仕事と仕事率		○		○		a:仕事が力学的にどのような意味をもつかを調べようとしている。 b:仕事・仕事の原理，仕事率に関して図や計算式を利用し考察できる。 c:仕事・仕事の原理，仕事率に関して図やグラフを使って表すことができる。 d:仕事，仕事の原理，仕事率という基本的な概念から，力学的な仕事を計算する方法が理解できる。	
		仕事の原理			○		○		
2学期中間	力学的エネルギー	仕事と運動エネルギーの関係			○		○	a:力学的エネルギーとはどのようなものかを調べようとしている。 b:仕事と運動エネルギー・位置エネルギーとの関係を考えることができる。 c:力学的エネルギー保存の法則を調べる観察と実験を行い，保存力と仕事の関係を分析し，得られた結果を記録しようとしている。 d:保存力がする仕事や力学的エネルギーが保存する条件などが理解できる。	授業中の態度・レポート・小テスト・定期考査
		重力･弾性力とその位置エネルギー			○				
		力学的エネルギー保存則		○		○	○		
	熱とエネルギー	熱と温度		○			○	a:熱運動と熱量について理解し，熱と仕事の変換について調べようとしている。 b:熱運動のエネルギーと仕事を関連づけて考えることができる。 c:熱平衡の温度を測定し，熱量の保存されることを調べることができる。 d:熱と温度とは何であるか，熱によって物体がどう変わるかが理解できる。	
		熱量		○		○			
		熱の利用		○	○				

2学期期末	波の性質	波の伝わり方		○		○		a: 波とは何か，周波数や位相の違いによって媒質をどう伝わるかに興味をもち，縦波と横波の違いを調べようとしている。 b: 波の性質から，2つの波の独立性や重ね合わせの原理，定常波を理解し，反射波の種類を考えることができる。 c: 波の性質を調べる観察と実験を行い，得られた結果を記録することができる。 d: 波の性質と媒質の端の違いによる反射波の性質について理解できる。	授業中の態度・提出物・小テスト・定期考査
		波の性質			○		○		
	音	音波の性質		○			○	a: 音波とは何か，周波数や波形・媒質の違いによって聞こえ方がどう変わるかに興味をもち，調べようとしている。 b:固有振動について，弦や気柱の性質と関連づけて考えることができる。 c: 共鳴・共振やうなりといった音の性質を調べ，表すことができる。 d: 音波と音の三要素などの性質と，可聴音や超音波についてわかる。	
		音源の振動			○	○			
3学期	電気	静電気		○	○			a: 電気に関わる法則に興味をもち，静電気の原理や，導体・絶縁体・半導体のそれぞれの性質を，調べようとしている。 b: 静電気と電子を関連づけ，電荷と電気量について考えたり，電流と磁力を関連づけて，電磁誘導による発電機の原理を理解したりすることができる。 c: 抵抗の接続と合成抵抗の性質を確認する観察と実験を行い，電流と電圧の変化をオームの法則に照らして調べ，表すことができる。 d: 磁気と電流の種類を確認し，交流を整流に変換するしくみがわかったり，電磁波の種類と性質を理解し，それぞれの利用についてわかったりできる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		電流			○	○			
		交流と電磁波			○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂 新編化学基礎（東京書籍）						
副教材等	ニューサポート　改訂　新編化学基礎（東京書籍）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は物質を対象とする学問です。化学が人間生活に果たしている役割を理解すると共に学習を通じて化学的に探究する能力と態度を育成するために，常に目的意識を持って授業を受けましょう。また，日常生活の様々な場面で得た知識を活用し，考えることで新たな見方を身に付けることができます。学んだことの積み重ねで授業が進んでいくので，授業で用いたプリントやノート，副教材などを利用し，復習は欠かさず行いましょう。

2 学習の到達目標

日常生活や社会の関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識をもって観察・実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てると共に，化学の基本的な概念や原理や法則を理解し，科学的な見方や考え方を養い，知識を活用する力を身に付けることを目標とする。

3 学習評価と評価方法

a:関心・意欲・態度

われわれの身の周りにある物質とその変化に興味・関心を持ち，化学的な性質だけでなく，利用法についても探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

化学に関する与えられた課題をこなすだけでなく，自ら課題を見出し，解決を目指して思考を深める過程を通して，考察し，その考えを表現するための基礎的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究活動に関する発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察･実験の技能

実験に関する装置・器具についての基本操作を習得するとともに，実験から得られた過程や結果を正しく記録，整理し，実験で起こる様々な現象を見逃さない探究心や情報を処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身の周りで起こる自然現象やそれを支配する化学法則などに関する化学の基礎的な知識を理解し，総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	生徒の到達目標	評価方法
1学期中間	化学と人間生活との関わり	人間生活の中の化学		○	○			a:金属やプラスチックについて関心を高め，意欲的に探究しようとしている。 b:洗剤や食品添加物の化学的な働きを理解すると共に，有効性等を理解し適切な使用量について考察し，導き出した考えを表現している。 c:人間生活に関わる物質の化学的な働き，有効性等の評価に基づいた適切な使用量について観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:人間生活の中で，化学が果たしている役割を理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		化学とその役割				○	○		
	物質の探究	物質の成分		○	○			a:物質の成分，原子の構造や性質に関心をもち，意欲的に探究しようとしている。 b:物質の成分の分離・精製について観察や実験を通して，単体，化合物および混合物について考察し，導き出した考えを表現している。 c:物質の成分の分離・精製や元素の確認，温度変化に伴う物質の変化について観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:原子の構造，元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解し，知識を身に付けている。	
		物質の構成元素				○			
		熱運動と物質の三態				○			
	物質の構成粒子	原子の構造		○					
		原子の構造と周期表					○		
		原子の構造と電子配置					○		
1学期期末	物質と化学結合	イオンとイオン結合		○			○	a:イオンとイオン結合，金属結合，共有結合に関心をもち，意欲的に探究しようとしている。 b:自由電子が関係する金属結合と金属の性質について考察し，導き出した考えを表現している。 c:共有結合でできた物質の性質について分子模型を利用した観察・実験を行い，分子模型の扱い方を習得するとともに，分子模型が表す分子の構造を記録している。 d:イオンとイオン結合について，電子配置と関連付けて理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		金属と金属結合		○	○				
		分子と共有結合		○		○			

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	物質の変化	物質量		○	○			a:物質量と化学反応式に関心をもち，意欲的に探究しようとしている。 b:物質量と質量や気体の体積との関係について考察し，導き出した考えを表現できている。 c:化学反応における物質の変化とその量的関係について観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:化学反応式が表している情報について理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		化学反応式		○					
		化学反応式と量的関係				○	○		
2学期期末	酸、塩基と化学反応	酸と塩基の性質		○		○		a:酸と塩基の性質に関心をもち，意欲的に探究しようとしている。 b:中和反応でできた物質の性質について考察し，導き出した考えを表現している。 c:酸と塩基の性質について，身近に存在する酸と塩基を用いて，観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果について報告書を作成している。 d:中和反応の化学反応式が表す情報について理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		中和反応と物質の量的関係			○		○		
3学期	酸化、還元と化学反応	酸化と還元の定義		○			○	a:酸化と還元の定義，酸化数，酸化剤と還元剤について関心をもち，意欲的に探究しようとしている。 b:酸化数，酸化剤と還元剤について考察し，導き出した考えを表現できる。 c:酸化還元反応で起こる物質の変化について観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果について報告書を作成している。 d:酸化と還元の定義，酸化数，酸化剤と還元剤について理解し，知識を身につけている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		酸化数，酸化剤と還元剤		○	○		○		
		酸化還元反応の利用		○		○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	改訂版　生物基礎（数研出版）						
副教材等	リード Light ノート生物基礎（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育てるために、学習者は毎時間の授業を、常に目的意識を持って受けることが望ましい。
・授業の中だけでなく、日常生活の中の様々な場面で、知識を活用し新しい見方を得ることにより、豊かな考え方、感じ方を身に付ける。

２　学習の到達目標

科学的な自然観や倫理観を養い、学習意欲を喚起し、科学的に探究する能力と態度を育てることにより、研究者として求められる素養を身に付けることも視野に入れ、知識の獲得に終わらず、知識を活用する力を身に付ける。また、生物に見られる多様性と共通性を分子生物学および細胞生物学的な方面から学び、我々人間も地球に住む生物として生態系とその保全について考えていくことのできる力を身につけることを目標とする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

身近な生物や生命現象に興味・関心を持ち、生態系の機能や保全について考えようとする態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価

b 思考・判断・表現

科学に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫する能力を身に付けている。

評価方法

・探究活動の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c 観察・実験の技能

実験で使用する器具をきちんと取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない観察力を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d 知識・理解

生物の共通性や我々の体が持つ生命維持の機能をより深く理解し、また、地球上に存在するさまざまな生物がつくるバイオームと生態系に関する知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	生物の特徴　遺伝子とその働き	生物の多様性と共通性		○				a:身近な生物を通して生物の共通性や多様性について興味・関心を持ち、考えようとする姿勢を意欲的に持とうとしている。 b:細胞内共生の前後で生物がどのように進化し現在の生物の多様性に結びついているのかを考察し、自らの考えを表現できている。 c:実験器具の扱いなどを習得し、探究活動の過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:エネルギーと代謝、DNA の構造と機能について理解し、知識を身につけている。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		細胞とエネルギー					○		
		呼吸					○		
		光合成					○		
		共生説			○				
		遺伝子の本体の構造		○					
		遺伝情報の複製と分配					○		
		遺伝情報とタンパク質の合成					○		
		生物の特徴、遺伝子とその働きによる探究活動				○			
2学期	生物の体内環境の維持	体液とその働き		○				a:われわれヒトを含む動物の体内環境の維持について興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 b:体内環境の維持がどのような意味を持つのかについて考察し、自らの考えを表現できている。 c:実験器具・生物の扱いなどを習得し、探究活動の過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:体内環境の維持に関わるからだの仕組みや生体防御の仕組みについて理解し、知識を身につけている。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		肝臓、腎臓の働き					○		
		体内環境の維持のしくみ					○		
		自律神経系					○		
		ホルモン					○		
		体温			○				
		生体防御					○		
		生物の体内環境の維持に関する探究活動				○			

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	植生の多様性と分布　生態系とその保全	植生の遷移			○			a:生態系の保全について興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:生態系のバランスについて考察し、自らの考えを表現し、伝えることができている。 c:身近な生態系について探究活動を行い、その過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:生態系の恵みと、われわれの生活が生態系にどのような影響を与えているのか事例に学び、生態系の保全の重要性を理解している。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		世界のバイオーム					○		
		日本のバイオーム					○		
		生態系		○					
		生態系のバランスと保全			○				
		植生と生態系に関する探究活動				○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　改訂　地学基礎（第一学習社）						
副教材等	改訂 ネオパルノート地学基礎（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

宇宙はどのように誕生したのだろうか。私たちの住む地球は宇宙のどこにあるのだろうか。など、地球や宇宙に対して今までは考えたことのないようなスケールの大きな内容から、岩石の成分を拡大鏡を使って観察するなど、細かい作業も行います。宇宙や地球の様々な現象に興味を持ち、自ら学び取る積極的な姿勢で挑みましょう。

２　学習の到達目標

・地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の理解を深める。
・地球と宇宙に関する事柄を分析的・総合的に考察する能力と態度を身につける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

地球や宇宙に関する現象に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、分析的・総合的に考察する基礎的な態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b. 思考・判断・表現

地学に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための基礎的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究学習の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c. 観察・実験の技能

実験に関する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない基礎的な観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d. 知識・理解

地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の基礎的な知識・理解が身についている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	宇宙における地球	宇宙の構成		○			○	a. 宇宙の構成と活動や火山活動・地震について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 銀河・太陽・惑星などの特徴や地球の活動について理解し、記述できる。 c. 地震や液状化現象などの実験を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
		太陽		○	○		○		
		太陽系の中の地球		○		○	○		
1学期期末	活動する地球	地球の姿		○	○		○		
		火山活動と地震		○		○	○		
2学期中間	移り変わる地球	地層や岩石と地質構造		○			○	a. 地球の歴史や古生物、大気と海洋の運動について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 大気や海洋の運動を地球規模の循環として捉え、記述できる。地球の歴史に伴う生物の変化を一連の流れとして理解し、記述できる。 c. 大気と海洋に関する実験を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
		地球環境と生物界の変遷		○	○		○		
2学期期末	大気と海洋	地球の熱収支		○			○		
		大気と海洋の運動		○		○	○		
3学期	地球の環境	地球環境の科学		○		○	○	a. 地球環境や日本の自然環境について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 地球環境の科学と日本の自然環境を結びつけ、記述できる。 c. 地球環境に関する探究的な授業を行い、内容を的確に記述・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
		日本の自然環境		○	○		○		

※　表中の観点について　a. 関心・意欲・態度　　b. 思考・判断・表現
　　c. 観察・実験の技能　　d. 知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	物理　改訂版（啓林館）						
副教材等	センサー総合物理　新訂版（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理は、身の回りの「なぜ？」と向き合う学問です。まず、様々な自然現象に興味をもち、物理基礎で学んだ内容をふまえて法則性などを考える態度をもちましょう。次に、疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもちましょう。更に、学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけましょう。学んだことの積み重ねで授業が進んでいくので、復習は欠かさず行いましょう。

２　学習の到達目標

巨視的な天体の運動から微視的な原子の分野までを含む物理的な事物･現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

われわれの身の回りでおこる自然現象や物理法則に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、利用法について考えようとする標準的な態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

物理に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための標準的な能力を身に付けている。

評価方法

・課題解決学習の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察･実験の技能

実験に関する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない標準的な観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身の回りで起こる自然現象やそれを支配する物理法則などに関して物理の標準的な知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	生徒の到達目標	評価方法
1学期中間	様々な運動	平面内の運動		○	○			a:平面内での物体の運動や重力のはたらきについて調べようとしている。 b:物体の平面内の運動を表す変位，速度及び加速度はベクトルで表されることについて考えることができる。 c:合成速度，相対速度を観測したり２物体の空中衝突後の運動を予想したりすることができる。 d:物体を水平投射や斜方投射した場合の放物運動について理解できる。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		落体の運動				○	○		
	剛体のつり合い	力のモーメント、重心			○	○		a:大きさのある剛体の重心やつり合いの関係について調べようとしている。 b:力のモーメントのつり合いと，物体の重心について考えることができる。 c:いろいろな形の物体について,重心を計算したり実験によって調べたりすることができる。 d:剛体にはたらく力の合成や重心について理解できる。	
1学期期末	運動量と力積	運動量の保存 反発係数			○		○	a:運動の法則をもとに，２物体の衝突や，ある物体が分裂する際に成り立つ法則や衝突時のはね返り方の違いについて調べようとしている。 b:運動量と力積がベクトルで表されること，運動量の変化が力積に等しいことについて考えることができる。 c:２つの物体が一直線上で衝突して合体する場合，衝突の前後で運動量の総和がどうなるかを調べることができる。 d:運動量の変化と力積の関係や，運動量の保存について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
	円運動と単振動	円運動		○	○			a:周期的な運動のもととなる力の性質や，周期的な運動の様子について調べようとしている。 b:等速円運動の速さ，角速度，周期，回転数，速度，加速度，向心力，遠心力および単振動を考えることができる。 c:単振り子について実験を行い，単振り子の周期を表す式を確かめることができる。 d:非慣性系における慣性力や，ばね振り子，単振り子について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		慣性力と遠心力			○		○		
		単振動			○	○			

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期期末	万有引力	ケプラーの法則			○		○	a:ニュートンが発見した万有引力の法則を学び，天体だけでなく，人工衛星や探査機などの運動について調べようとしている。 b: ケプラーの法則，万有引力の位置エネルギーなどを考えることができる。 c:惑星の公転周期と半長軸のデータから，ケプラーの第三法則が成り立っていることを示すことができる。 d:万有引力の法則と天体の運動との関係が理解できる。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
	気体分子の運動	気体の状態方程式			○	○		a:気体の温度･圧力･体積のようなマクロ(巨視的)な量と，気体分子の速さのようなミクロ(微視的)な量との関係を調べようとしている。 b:理想気体の状態方程式とボイル・シャルルの法則との関係や熱力学第一法則などについて考えることができる。 c:気体に加える力の大きさを変えて，気体の圧力と体積との関係を調べることができる。 d:気体の状態方程式, 気体分子の熱運動, 熱力学第一法則について理解できる。	
		熱力学第一法則			○		○		
		気体の状態変化と熱・仕事		○	○				
2学期中間	電界と電位	静電気		○			○	a:静電気のはたらきについて定性的･定量的に検討を加え，静電気に関して興味を持ち調べようとしている。 b:電界の性質と電気力線についてや，電界と電位の関係，そして，導体について考えることができる。 c:コンデンサーに充電される電気量と電気容量，電圧の関係を調べ記録することができる。 d:静電気の種類と性質，電界とクーロンの法則，電界と電位の関係，コンデンサーの性質について理解できる。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		電界と電位			○		○		
		コンデンサー			○	○			
	電流	電流		○			○	a 電気量と電流の関係，抵抗での発熱や，回路を流れる電流についての性質を調べようとしている。 b:電流の性質を理解し，電力と熱の関係について考えることや直流回路と電池の内部抵抗について考えることができる。 c:ホイートストンブリッジの回路を用いて，抵抗の精密測定を行い調べることができる。 d:オームの法則とジュール熱，直流回路の性質，そして半導体を理解できる。	
		直流回路			○	○			
		半導体					○		

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	電流と磁界①	磁気力と磁界		○	○			a:電流と磁界の相互作用の関係について調べようとしている。 b:磁気力と磁界の関係，磁力線とは何かについて考えることができる。 c:直線電流が周囲につくる磁界を調べることができる。 d:電流と磁界の関係や直線電流・円形電流が作る磁界について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		電流が作る磁界				○	○		
2学期期末	電流と磁界②	電流が磁界から受ける力		○	○			a:電流が磁界から受ける力について興味を持ち調べようとしている。 b:ローレンツ力と磁界中の荷電粒子の運動について考えることができる。 c:並行に置かれた直線電流同士が及ぼしあう力について考えることができる。 d:電流が磁界から受ける力について理解できる。	授業中の態度・提出物・レポート・定期考査
		ローレンツ力			○	○	○		
	電磁誘導と電磁波	電磁誘導		○	○			a:磁界中を運動する導体棒に発生する起電力や電気振動などの現象について調べようとしている。 b:自己誘導，相互誘導の法則とコイルの性質を考えることができる。 c:コンデンサーやコイルのリアクタンスや装置を使って発生させた電磁波の性質について調べることができる。 d:電磁誘導の法則などの知識を使い，磁界中を運動する導体棒に生じる起電力などの現象が理解できる。	
		交流、電磁波				○	○		
3学期	原子・分子の世界	電子や光の二重性		○			○	a:電子と，その質量，電荷の発見の歴史や原子の構造，素粒子などについて興味を持ち調べようとしている。 b:素粒子の種類と性質，宇宙の始まりとの関係を考えることができる。 c:霧箱を製作して，α線やβ線などの放射線を観察し，調べることができる。 d:光の二重性や原子核反応，素粒子と宇宙について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		放射線と原子核			○		○		
		素粒子と宇宙		○			○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新編化学（東京書籍）						
副教材等	フォトサイエンス化学図録（数研出版） セミナー　化学基礎＋化学（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は物質を対象とする学問です。化学が人間生活に果たしている役割を理解すると共に学習を通じて化学的に探究する能力と態度を育成するために常に目的意識を持って授業を受け、実験･観察などを通して社会における化学の役割を考察しましょう。また、日常生活の様々な場面で得た知識を活用し、考えることで新たな見方を身に付けることができます。学んだことの積み重ねで授業が進んでいくので、復習は欠かさず行いましょう。

２　学習の到達目標

化学的な事物・事象に対する探究心を高め、目的意識をもって学習し化学的に探究する能力と態度を育てると共に、共通する基本的な概念や法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

われわれの身の回りで起こる自然現象や化学的な変化に興味・関心を持ち、より深く化学を探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

化学に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深める過程を通して、考察し、その考えを表現するための応用的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究的活動に関する発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察･実験の技能

実験に関する装置・器具についての基本操作に留まらず応用的な使用法を習得するとともに、実験から得られた過程や結果を正しく記録、整理し、実験で起こる様々な現象を見逃さない探究心や情報を処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身の回りで起こる自然現象やそれを支配する化学法則などに関する化学の基礎的な知識から深い知識を理解し、総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	生徒の到達目標	評価方法
1学期中間	物質の状態と変化	状態変化		○				a:物質の三態の状態変化と熱運動および，関心を持ち，意欲的に探究しようとしている。 b:溶解という現象や物質によって溶解度が異なることについて考察し，導き出した考えを表現している。 c:半透膜を利用した透析について観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:気体におけるさまざまな法則や理想気体と実在気体の違いについて理解し，知識を身につけている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		気体の性質					○		
	溶液の性質	溶解平衡			○				
		希薄溶液の性質				○			
		コロイド				○			
1学期期末	固体の構造	固体と結晶		○				a:物質を構成している結晶の種類と原子や分子の配列構造および光エネルギーと化学エネルギーの関係について関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:化学変化によって起こる熱の出入りについて，観察・実験を通して，発熱反応および吸熱反応について考察し，導き出した考えを表現している。 c:さまざまな化学変化によって起こる発熱反応および吸熱反応について観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:ヘスの法則を応用し，実験で測定することが困難な反応の反応熱を他の反応熱から求めることを理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		結晶の構造		○					
	化学反応と熱	反応熱と熱化学方程式			○	○			
		ヘスの法則					○		
		光とエネルギー		○					
2学期中間	化学反応の速さと平衡	化学反応の速さ		○	○			a:温度や濃度による化学反応の速さの変化や触媒の利用について関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:どのような条件で反応速度の違いが出るのかについて観察・実験を通して考察し，導き出した考えを表現している。 c:電離度の小さい溶液や緩衝液の性質を調べる観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:化学平衡の法則や平衡移動の原理について理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		化学平衡					○		
		電解質水溶液の性質				○			

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
2学期期末	高分子化合物	天然高分子化合物		○	○		○	a:自然界に存在する天然の高分子化合物やわれわれが人工的に合成し利用している合成高分子化合物について関心をもち，意欲的に探究しようとする。 b:糖やタンパク質のような天然高分子化合物の構造や性質などについて考察し，導き出した考えを表現している。 c:衣料やプラスチックのような身近に存在する合成高分子化合物についての観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:天然高分子化合物と合成高分子化合物の類似点や違いを理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・小テスト・定期考査
		合成高分子化合物		○		○	○		
3学期	高分子化合物	高分子化合物と人間生活		○	○	○	○	a:われわれの日常生活の中で高分子化合物がどのように利用されているのかについて関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:持続的な循環型社会を目指す上で，プラスチックのような高分子化合物の廃棄処理がどのように行われるべきなのかについて考察し，導き出した考えを表現している。 c:プラスチックをどのようにマテリアルリサイクルすることができるのかについて観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，報告書を作成している。 d:機能性高分子化合物の利用や可能性について理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	改訂版　生物（数研出版）						
副教材等	リード Light ノート生物（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育てるために、毎時間の授業で、常に目的意識を持って受けることが望ましい。
・授業の中だけでなく、日常生活の中の様々な場面で、知識を活用する力や科学的な見方を得ることにより、科学者としての基礎的な考え方、発想力を身に付ける。

２　学習の到達目標

科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育てることにより、研究者として求められる素養を身に付け、知識を活用する力を付ける。生命現象と物質との関わりや生命誕生と進化の道筋、生物個体と集団・地球規模の生態系について理解し、自ら考えていくことのできる力を身につけることを目標とする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

身近な生物や生命現象に興味・関心を持ち、生態系の利用法や保全について考えようとする態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価

b 思考・判断・表現

科学に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫する能力を身に付けている。

評価方法

・探究活動の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c 観察・実験の技能

実験に関する器具をきちんと取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない観察力を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d 知識・理解

生物の共通性や我々の体が持つ生命現象をより深く理解し、また、地球上に存在するさまざまな生物がつくる生態系に関する知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	生命現象と物質　遺伝子のはたらき　生殖と発生	細胞と分子		○				a:生物を構成している物質と細胞との関連性や遺伝情報がどのようなしくみで発現し、われわれの体を構成しているのか、生命誕生にはどのようなしくみがあるのかということに興味・関心を持ち、考えようとする姿勢を意欲的に持とうとしている。 b:バイオテクノロジーがわれわれの生活にどのように影響を与えているのか、どのようなメリットや問題点があるのかなどを考察し、バイオテクノロジーに関する技術と可能性について自らの考えを表現できている。 c:実験器具の扱いなどを習得し、探究活動の過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:代謝とエネルギー、遺伝子の発現調整や動物・植物の発生について理解し、知識を身につけている。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		代謝					○		
		遺伝情報の発現		○					
		遺伝子の発現調節					○		
		バイオテクノロジー			○				
		生殖と発生		○					
		減数分裂と遺伝情報					○		
		動物の発生					○		
		動物の発生のしくみ					○		
		植物の発生					○		
		探究活動				○			
2学期	生物の環境応答　生態と環境　生物の進化	動物の反応と行動		○				a:生物はどのような刺激を受容することができるのか、生物の世界ではどのような生物集団が存在し地域性をつくっているのかについて興味・関心を持ち、考えようとする姿勢を意欲的に持とうとしている。 b:多様に進化した生物がどのようにして生態系という一つの世界を築いているのかということを物質生産やエネルギーの流れの観点も含めて考察し、自らの考えを表現できている。 c:実験器具の扱いやデータの取り扱いなどを習得し、探究活動の過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:動物や植物があらゆる刺激を受容し、どのように行動したり応答したりするかについて理解し、知識を身につけている。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		植物の環境応答					○		
		生物群集と生態系		○					
		生態系の物質生産とエネルギーの流れ			○				
		生態系と生物多様性			○				
		探究活動				○			

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	生物の系統	生命の起源と進化		○	○			a:地球誕生から生命が誕生するまでのしくみやどのように進化し適応してきたのかについて興味・関心を持ち、考えようとする姿勢を意欲的に持とうとしている。 b: 長い地球の歴史の中でどのように進化が起こり、なぜ進化が起きるのかということを考察し、自らの考えを表現できている。 c:実験器具の扱いや資料の取り扱いなどを習得し、探究活動の過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:現在までに進化してきた生物がどのように系統づけられて分類されているのかについて理解し、知識を身につけている。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		生物の系統					○		
		探究活動				○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	地学　改訂版（啓林館）						
副教材等	授業プリントなど						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎で学習した内容をさらに深く学習し、地球や宇宙に関する現象について総合的な知識・理解を得るようつとめる。また入試に対応できるよう問題演習も多く取り入れる。

２　学習の到達目標

・地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の理解をさらに深める。
・地球と宇宙に関する事柄を分析的・総合的に考察する能力と態度をさらに磨き、地球や宇宙に関して幅広く学習する。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

地球や宇宙に関する現象に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、分析的・総合的に考察する総合的な態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b. 思考・判断・表現

地学に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための総合的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究活動の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c. 観察・実験の技能

実験で使用する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない総合的な観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d. 知識・理解

地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の総合的な知識・理解が身についている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	固体地球の概観と活動	地球の概観		○			○	a. 固体地球の概観と活動や地球の歴史について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. プレートテクトニクスと地球の活動のつながりや、地球の歴史の連続性について理解し記述できる。 c. 地球の活動や地表の変化と地層に関する実験を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
		プレートテクトニクス		○	○		○		
		地球の活動		○		○	○		
1学期期末	地球の歴史	地球の変化と地層		○		○	○		
		地球・生命・環境の歴史		○	○		○		
		私たちの日本列島		○			○		
2学期中間	大気と海洋	大気の構造		○			○	a. 大気と海洋、宇宙の構造について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 大気や海洋の運動を地球規模の循環として捉え、記述できる。恒星の進化を一連の流れとして理解し、記述できる。 c. 大気と海洋や宇宙の構造に関する実験を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
		大気の運動		○	○		○		
		海洋と海水の運動		○	○		○		
		機構変動と地球環境		○		○	○		
2学期期末	宇宙の構造	太陽系の天体		○			○		
		恒星の性質と進化		○	○		○		
		銀河系と宇宙		○		○	○		
3学期	全範囲	各分野の演習と探究的活動		○	○	○	○	a. 地学全般に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 各分野の連続性を理解し、記述できる。 c. 抜粋した分野の探究的活動を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト

※　表中の観点について　a. 関心・意欲・態度　　b. 思考・判断・表現
c. 観察・実験の技能　　d. 知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	(学)理科総合演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　科学と人間生活（東京書籍）						
副教材等	ニューサポート　改訂　科学と人間生活（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんは１年、２年で科学の基礎的な内容を大まかに学んできました。この科目では、科学全般から一部の内容を抜粋して取り上げつつ、身近な事象・現象に関する観察や実験、演習などを通して科学的な見方や考え方ができるようになることをめざしています。自然と人間生活との関わり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、ぜひ考えてみてください。

２　学習の到達目標

科学の基本的な概念や原理・法則を学ぶことで科学的な見方や考え方を養ったり、科学に対する興味・関心を高めたりしながら、科学技術の在り方について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身につける。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

われわれの身近でおこる事象・現象に興味・関心を持ち、日常生活や社会、未来と、科学がどのようにつながっていくのか、考えようとする態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための総合的な能力を身に付けている。

評価方法

・課題解決学習の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察・実験の技能

実験に関する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身近でおこる事象・現象やそれを支配する科学の基本的な概念や原理・法則などに関する基礎的な知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	生命の科学	生物と光		○			○	a:光の刺激に対する植物･動物･ヒトの反応に興味・関心をもち、意欲的に探究できる b:さまざまな微生物について、その違いを説明できる c:顕微鏡を用いて細胞を適切に観察することができる d:生物に対する光のはたらきなどについて理解し、知識を身に付けている	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		微生物とその利用			○	○			
1学期期末	宇宙や地球の科学	身近な天体と太陽系における地球		○	○			a:私たちを取り巻く自然環境の成り立ちに興味・関心をもち、意欲的に探究できる b:大気の役割や、風と海流のしくみについて考察し、考えを表現できる c:活断層の調査や緊急地震速報発令時の行動分析などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できる d:自然災害と人間生活について考え、災害から命や社会を守るための対策を自ら考えることができる	
		身近な自然景観と自然災害				○	○		
2学期中間	物質の科学	材料とその再利用			○		○	a:くらしを支えるさまざまな金属やプラスチックに興味・関心をもち、意欲的に探究できる b:持続可能な循環社会と資源の再利用の必要性について考察し、考えを表現できる c:繊維の種類を見分ける実験や繊維の合成などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できる d:代表的な金属の種類、特徴、用途、製錬法や合金の種類・特徴などを理解し、知識を身に付けている	
		衣料と食品		○		○			
2学期期末	光や熱の科学	光の性質とその利用		○	○			a:身近な光と色の現象や特徴について関心をもち、意欲的に探究できる b:電磁波という広い概念をもって光の性質の違いなどを説明できる c:観察によって熱運動と温度との関係を定性的に説明できる d:熱機関とその熱効率、および熱現象の不可逆性などを理解できる	
		熱の性質とその利用				○	○		
3学期	まとめ	課題研究			○		○	a: 自然や科学技術と人間生活とのかかわりについて関心をもち、意欲的に探究できる b: 設定した課題の仮説の検証について科学的に考察し、考えを表現できる c: 自然や科学技術と人間生活とのかかわりについての適切な課題を設定し、観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できる d: 自ら設定した課題について、考察・仮説の検証の方法を理解し、知識を身に付けることができる	レポート・発表

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	(学)物理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　物理基礎（啓林館）						
副教材等	センサー総合物理（啓林館）、フォローアップドリル　物理基礎「運動の表し方・力・運動方程式」と「仕事とエネルギー・熱」（それぞれ数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理は、身の回りの「なぜ？」と向き合う学問です。この科目では、2 年次の物理基礎で一通り学んだ内容について、復習したり更に掘り下げたりしながら今後の進路選択にとって必要な力を身につけるだけでなく、「なぜ？」に対して粘り強く取り組む姿勢が必要です。公式や法則を丸暗記するだけでなく、その背景や導き方なども確認してください。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

われわれの身の回りでおこる自然現象や物理法則に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、利用法について考えようとする基礎的な態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

物理に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための基礎的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究的活動に関する発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察･実験の技能

実験に関する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない基礎的な観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身の回りで起こる自然現象やそれを支配する物理法則などに関する物理の基礎的な知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	運動の表し方	等速直線運動		○		○		a:物体の運動に興味をもち，物体の直線運動などを調べようとしている。 b:*x-t* グラフや *v-t* グラフから物体の運動について考えることができる。 c:物体の運動を *x-t* グラフや *v-t* グラフ，ベクトルを使って表すことができる。 d:物体の変位･速度･加速度と運動の様子の関係について理解できる。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		速度			○		○		
		等加速度直線運動			○	○			
		自由落下と鉛直投射			○		○		
		水平投射と斜方投射		○			○		
1学期期末	力	いろいろな力		○			○	a:物体の運動に興味をもち，力の性質や力がはたらいたときの物体の運動を調べようとしている。 b:平面内の力のつり合いを考えたり，合力・分力を考えたりすることができる。 c:力のつり合いを調べ，弾性力や作用・反作用を力学的な法則を使って分析し，表すことができる。 d:力の性質や力のつりあいなどの知識を使い，物体の運動の様子が理解できる。	
		力の合成と分解			○	○			
		三角比と力の成分			○	○			
		作用と反作用		○		○			
		力のつりあい				○	○		
2学期中間	運動方程式	１物体の運動方程式			○		○	a:物体の運動に興味をもち，力の性質や力がはたらいたときの物体の運動を調べようとしている。 b:力がはたらいた物体の運動の様子から運動の三法則を確認し，グラフを作成して運動方程式を考えることができる。 c:物体にはたらく摩擦力を調べ，表すことができる。 d:運動の三法則と物理量の表し方や単位，次元がわかる。	授業中の態度・レポート・小テスト・定期考査
		２物体の運動方程式		○	○				
		静止摩擦力		○		○			
		動摩擦力		○		○			
2学期期末	仕事とエネルギー	仕事		○		○		a: 仕事が力学的にどのような意味をもつか，力学的エネルギーとはどのようなものかを調べようとする。 b:仕事と運動エネルギー・位置エネルギーとの関係を考えることができる。 c:保存力と仕事の関係を分析し，得られた結果を記録しようとしている。 d:保存力がする仕事や力学的エネルギーが保存する条件などが理解できる。	
		運動エネルギー			○		○		
		位置エネルギー			○		○		
		力学的エネルギー保存則		○		○	○		

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	熱	温度 熱容量と比熱				○	○	a:熱運動と熱量について理解し，熱と仕事の変換について調べようとしている。 b:熱運動のエネルギーと仕事を関連づけて考えることができる。 c:ブラウン運動の様子を観察し，記録することができる。 d:熱と温度とは何であるか，熱によって物体がどう変わるかが理解できる。	授業中の態度・提出物
		熱量の保存 潜熱		○			○		
		熱力学第一法則 熱効率		○	○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	(学)化学演習	単位数	２単位	指導学年	３年次
使用教科書	改訂　新編化学（東京書籍）						
副教材等	改訂版　大学入試センター試験対策　チェック＆演習 化学基礎						

担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は、物質を学ぶ学問です。この科目では、化学基礎で一通り学んだ内容について、復習したり更に掘り下げたりしながら今後の進路選択にとって必要な力を身につける授業です。また、学習を通じて科学的な自然観や倫理観を育みます。常に目的意識を持って参加して下さい。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質やその変化の関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

われわれの身の回りでおこる自然現象や化学的な性質に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、利用法について考えようとする基礎的な態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

化学に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための基礎的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究的活動に関する発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察･実験の技能

実験に関する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない基礎的な観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身の回りで起こる自然現象やそれを支配する化学法則などに関する物理の基礎的な知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	物質の構成	物質，混合物の分離		○		○		a:物質の構成について興味を持ち，調べようとしている。 b:原子の構造を考え，電子配置の違いが化学的性質を決定していることについて考えることができる。 c:基本的な実験器具の名称や扱い方を理解することができる。 d:物質の構成，状態変化，元素の性質，原子の構造，電子配置と周期表が密接に関わっていることを理解している。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		物質の三態と熱運動			○		○		
		炎色反応			○	○			
		原子の構造と電子配置，イオン			○		○		
		周期表と周期律		○	○		○		
1学期期末	物質の構成と粒子の結合	イオン結合とイオンからなる物質		○			○	a:結合について興味をもち，物質の性質を調べようとしている。 b:結合の違いを考え，物質の性質を決定していることについて考えることができる。 c:身の回りの物質に興味を持ち扱うことにより，化学と日常生活や社会との関わりを考え，観察することができる。 d:結合の違いが物質の性質に反映されること，電子が結合に影響することを理解している。	
		共有結合と分子からなる物質			○	○			
		金属結合と金属結晶			○	○			
		物質の分類と化学結合		○		○	○		
		身の回りの物質		○		○			
2学期中間	物質量と化学反応式	原子量，分子量，式量			○		○	a:物質量や化学反応式に興味を持ちその関係性を調べようとしている。 b:化学反応の量的関係を表すために，粒子の個数を用いることの有効性に気付き，物質量を活用し考えることができる。 c:化学反応について身の回りの物質や現象を観察することができ，溶液の濃度等について調製することができる。 d:化学反応式が表している内容を理解し，化学反応式とその量的関係を理解している。	授業中の態度・レポート・小テスト・定期考査
		物質量		○	○		○		
		溶液の濃度		○		○			
		化学反応式とその量的関係		○		○			
2学期期末	酸と塩基	酸と塩基		○		○		a: 酸・塩基，中和に興味を持ちその性質を調べようとしている。 b: 酸・塩基の定義を理解し，電子の授受と酸・塩基との関係を説明でき，電子の移動を中心に理論立てて考えることができる。 c: 酸・塩基，中和について身の回りの物質や現象を観察することができる。 d: 酸・塩基および酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度の関係，pH 等を理解している。	
		水素イオン濃度とpH		○	○		○		
		中和反応と中和滴定			○	○	○		
		塩の性質		○			○		

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	酸化と還元	酸化・還元の定義と酸化数		○		○	○	a 酸化・還元，電池，金属の製錬に興味をもち，その性質について調べようとしている。 b:酸化・還元，酸化剤，還元剤，イオン化傾向，電池等を関連づけて考えることができる。 c: 酸化・還元，電池等について身の回りの物質や現象を観察することができる。 d:酸化・還元，酸化剤，還元剤，イオン化傾向，電池等について電子が密接に関わっていることを理解している。	授業中の態度・提出物
		酸化剤・還元剤，酸化還元反応		○	○		○		
		金属のイオン化傾向		○		○			
		電池，金属の製錬		○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	(学)生物演習	単位数	２単位	指導学年	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新編　センサー生物基礎　三訂版（啓林館）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育てるために、毎時間の授業で、常に目的意識を持って受けることが望ましい。
・演習問題に取り組むことで、より深く生物基礎の内容を理解していく。

２ 学習の到達目標

数多くの演習問題に触れることにより、生物基礎で求められている知識を蓄積し、さらに、その知識を活用する力を身につける。講義の中で、科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育てる。また、生物に見られる多様性と共通性を分子生物学および細胞生物学的な方面から学び、我々人間も地球に住む生物として生態系とその保全について考えていくことのできる力を身につけることを目標とする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

演習問題に取り組む中で、身近な生物や生命現象に興味・関心を持ち、我々のことだけでなく生態系すべてについて考えようとする態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価

b 思考・判断・表現

与えられた演習問題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫する能力を身に付けている。

評価方法

・探究活動の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c 観察・実験の技能

実験で使用する器具をきちんと取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない観察力を身に付け、演習問題などに応用することができる。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d 知識・理解

生物の共通性や我々の体が持つ生命維持の機能や地球上に存在するさまざまな生物がつくるバイオームと生態系に関する知識をより深く身につけ、演習問題などで活用することができる。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	生物の特徴　遺伝子とその働き	顕微鏡の扱い方				○		a:身近な生物を通して生物の共通性や多様性について興味・関心を持ち、考えようとする姿勢を意欲的に持とうとしている。 b:細胞内共生の前後で生物がどのように進化し現在の生物の多様性に結びついているのかを考察し、自らの考えを表現できている。 c:実験器具の扱いなどを習得し、探究活動の過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:エネルギーと代謝、DNA の構造と機能について理解し、知識を身につけている。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		生物の共通性と多様性		○					
		エネルギーと代謝		○					
		光合成と呼吸、共生説			○				
		染色体と DNA		○					
		遺伝子の発現とタンパク質					○		
		細胞と遺伝子の働き		○					
		生物の特徴、遺伝子とその働きによる探究活動および演習問題				○	○		
		体液		○					
		肝臓、腎臓の働き					○		
2学期	生物の体内環境　植生の多様性と分布	自律神経系とホルモン					○	a:われわれヒトを含む動物の体内環境の維持や植物の生育環境について興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 b:体内環境の維持がどのような意味を持つのかや環境が植物に与える影響について考察し、自らの考えを表現できている。 c:実験器具・生物の扱いなどを習得し、探究活動の過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:体内環境の維持に関わるからだの仕組みや生体防御の仕組み、植生について理解し、知識を身につけている。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		生体防御					○		
		免疫					○		
		生物の体内環境に関する探究活動および演習問題				○	○		
		植物と環境		○					
		植生の遷移			○				
		世界と日本のバイオーム					○		
		植生に関する探究活動および演習問題				○	○		

学期	単元	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	生態系とその保全	生態系と物質循環		○				a:生態系の保全について興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:生態系のバランスについて考察し、自らの考えを表現し、伝えることができている。 c:身近な生態系について探究活動を行い、その過程や結果をきちんとまとめることができている。 d:生態系の恵みと、われわれの生活が生態系にどのような影響を与えているのか事例に学び、生態系の保全の重要性を理解している。	小テスト 提出物 レポート グループワークの取り組み 探究活動 定期考査
		生態系のバランス			○				
		生態系の保全					○		
		生態系に関する探究活動および演習問題				○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。

学校番号	2004

令和２年度　理科

教科	理科	科目	(学)地学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂　地学基礎（第一学習社）						
副教材等	改訂 ネオパルノート地学基礎（第一学習社） ビジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、2 年次の地学基礎で一通り学んだ内容について、復習したり更に掘り下げたりします。そして、今後の進路にとって必要な知識だけでなく、宇宙や地球という題材を通して科学的なものの見方や考え方を身につけることを目標としています。学習内容をただ丸暗記するのではなく、その背景にある理論や現象のつながりなども意識してください。

２　学習の到達目標

・地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の理解を更に深める。
・地球と宇宙に関する事柄を分析的・総合的に考察する能力や態度の定着を図る。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

地球や宇宙の事物・現象について関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身につけている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

地球や宇宙における事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。

評価方法

・探究的活動に関する発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:観察･実験の技能

観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，地球や宇宙における事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

地球や宇宙における事物・事象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	地球の構成と運動	地球の形と大きさ		○	○			a: 地球の概要や構成について、興味を持って意欲的に学習しようとしている。また、地球内部のエネルギーの放出現象として、火山や地震に興味を持ち、その分布や原因・災害などについて探究的に調べようとする。 b: 地球の概要について具体的に把握し、火山活動や地震が地球内部を知る手がかりになっていることを推定できる。また、地表の岩石は多様であるが、その成因の違いに着目するといくつかに分類できることが推定でき、堆積岩・火成岩・変成岩の特徴が判断できる。また、主な鉱物の特徴が判断でき、これらを表などにまとめることができる。 c: 岩石や火山灰中の鉱物を判別する方法や地震のデータを使って震源を探る方法、地下の様子を探る方法などを習得するとともに、それらの結果を図や表を用いて適切に表現できる。 d: 地殻をつくる岩石や鉱物の成因が、地球表層の運動と密接に関連していることや地球内部の構造について認識できると同時に、地球表層や地球内部の運動についてその原理も含めて理解できる。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		地球内部の構成		○			○		
		火成岩・堆積岩・変成岩			○		○		
		プレートの運動			○		○		
		火山と地震		○		○			
1学期期末	地球の変遷	地層のでき方と地質構造		○			○	a: 地形や地層、化石について意欲的に観察や実験を行い、それらが作れた環境や原因を学び、地球の歴史を解き明かす方法とその特徴を知ろうとしている。 b: 地形や地層の構造および化石を調べることにより、地球の成り立ちが推定できること、また、地域の地質を推定し、まとめることができる。また、時代を経るごとに生物が多様化し、いかにうまく環境に適応してきたかを考えることができ、生命の大切さについても判断できる。 c: 地形や地層、化石の観察方法を習得し、観察結果に基づき、土地の成り立ちについての推論を行うことができる。化石についての探究活動を行い、たとえば系統進化を調べたり、古環境を推定したりし、結果を適切に表現できる。 d: 地形や地層、化石などの観察法やでき方が分かり、地質現象などと密接に関係していること、それらが地球の歴史を説く重要な手がかりであることがわかる。	
		化石と地質時代		○	○				
		先カンブリア時代と古生代				○	○		
		中生代			○	○			
		新生代			○	○			

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	大気と海洋	大気の動きと天気		○		○		a: 大気の構造を知り、天気現象がどのようなメカニズムで引き起こされるのかについて、探究的に学習しようとしている。また、海洋について関心を持ち、海洋の特徴を学習した上で、海洋と大気の関係についても調べようとしている。 b: 太陽放射のエネルギーが源となり大気が垂直方向や水平方向に運動して様々な天気現象が出現すること、海洋と大気には密接な関係があること、などについて推定することができる。 c: 湿度や日射量を測定したり、風向の変化から台風の進路を予想したり、天気図から天気の変化を予想したりできる。 d: 大気の循環や海洋・海水についての知識を身につけ、水圏と気圏が互いに関連しあっていることが理解できる。	授業中の態度・レポート・小テスト・定期考査
		地球のエネルギー収支			○		○		
		大気と海洋		○			○		
		日本の四季			○	○			
2学期期末	太陽系と宇宙	太陽系の概観と誕生		○			○	a: 地球や惑星の運動、太陽系の構成について興味を持ち、観察や実験を行いながら積極的に学習しようとしている。 b: 地球や惑星の運動について科学的に思考することができ、太陽系の構成とその特徴について判断できる。 c: 宇宙・地球・生命を構成する元素を比較することで、地球・生命がどのように形成されたかを推測できる。 d: 太陽系とそれを構成する惑星についての知識を身につけ、地球と太陽系の運動について理解できる。また、星までの距離や星の性質などの知識を身につけ、星の構造や進化、宇宙の構造や成り立ちなどについて理解できる。	
		地球型惑星と木製型惑星			○	○			
		太陽のすがたとその一生		○	○				
		宇宙の姿				○	○		
3学期	地球の環境	日本の自然環境		○		○	○	a: 日本の自然環境がもたらす災害と恩恵や、地球規模で発生している環境問題について関心を持っている。 b: 地球環境の問題について、国際協力や環境管理のあり方を推論し、自分の考えを表現することができる。 c: 雨水の酸性度を調べて大気汚染の程度を推測することができる。 d: 日本の地形の特徴を理解し、その影響を理解できる。また、地球規模の気候変動と異常気象を把握することができる。	授業中の態度・提出物
		地球環境の科学		○	○		○		
		地球環境と私たちの暮らし			○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2020（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や選択体育の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう
・自他の運動を観察・分析することで、興味・関心を高め、運動を通して楽しさや喜び、達成感を分かち合おう

2 学習の到達目標

社会的な態度や健康、安全に留意して運動をする態度を育て習慣化し、運動の場面だけではなく、日常生活に生かすなど、ライフステージと健康についての知識や理解を深め、適切に判断する能力を養う。自己研鑽の資質も養うことを目標とする。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わうこと。
公正・協力・責任・共生などの態度を身につける。
安全の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断することができる。

評価方法

受講態度の観察

b. 思考・判断

知識を活用し、技能向上につなげる。
学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。

評価方法

ノート・体育理論・レポート

c. 運動の技能

仲間と連携・協力してゲームを楽しむ。
記録や技能向上に挑戦する。

評価方法

技能観察・技能テスト

d. 知識・理解

特性やねらいを把握。
実践・応用できる科学的知識を身につける。
積極的に研究する姿勢を養い理解を深める。

評価方法

ノート・体育理論・レポート
確認テスト・振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元
（学習項目）</th><th rowspan="2" colspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">自己評価</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元の評価規準
（生徒の到達目標）</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1
学
期</td><td rowspan="2">体つくり運動</td><td colspan="2">個人での体つくり運動</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a：体つくり運動の学習に意欲的に取り組み、運動の楽しさや心地よさを味わおうとしている。体力の違いに配慮し、仲間協力したり、自己の責任を果たそうとしている。健康・安全を確保して学習に取り組もうとしている。
b：ねらいを踏まえて、自己の課題に応じた活動を選んでいる。ねらいや体力の程度に応じてトレーニングの条件を踏まえた適切な運動計画を立てている。仲間と学習する場面で体力や個々の違いに配慮した補助や運動の仕方などを見つけている。
d：運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。</td><td rowspan="3">確認テスト
振り返りシート
観察等</td></tr>
<tr><td colspan="2">集団での体つくり運動</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">水泳
（女子）

柔道
（男子）</td><td rowspan="3">水泳</td><td>クロール・安全教育</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="4">a： 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなどや水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。
b： 生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。
c：水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身につけている。
d： 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。</td><td rowspan="4">技能テスト
振り返りシート
観察等</td></tr>
<tr><td>平泳ぎ・安全教育</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>着衣泳</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

2学期	水泳 （男子） 柔道 （女子）	柔道	礼法・安全教育		○	○			ａ： 武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康・安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ： 生涯にわたって柔道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：武道の特性に応じた、攻防を展開するための得意技を身につけている。 ｄ：伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	
			受身・安全教育			○		○		
			足技				○	○		
	選択 ・陸上 ・器械運動 ・ダンス	陸上	やり投げ		○	○			ａ：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
			走り幅跳び			○	○	○		
		器械運動	マット				○	○		
			跳び箱		○		○			
		ダンス	フォークダンス		○		○	○		
			リズムダンス			○		○		
	体育理論 （１）スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴	スポーツの始まりと変遷			○	○		○	ａ：主体的に取り組むことができる。 ｂ：スポーツの歴史や文化的特性について考え、国際親善・経済への意義について適切に判断することができる。 ｄ：スポーツの技術や戦術、ルールの変遷、オリンピックムーブメント、スポーツ産業について理解できる。	確認テスト ワークシート レポート 観察等
		文化としてのスポーツ				○		○		
		オリンピックと国際理解		○				○		
		スポーツと経済				○		○		

3学期	陸上	長距離走		○		○	○	ａ:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ:各種目の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 ｄ: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
	選択 球技 ・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型	サッカー		○	○	○			
		バスケットボール		○	○	○			
		卓球		○	○	○			
		ソフトボール		○	○	○			

※自己評価に関しては、ノートやシートに記入し、全単元において実施

S…目標を大きく上回り達成した A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学校番号	2004

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2019（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や選択体育の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう
・自他の運動を観察・分析することで、興味・関心を高め、運動を通して楽しさや喜び、達成感を分かち合おう

2 学習の到達目標

社会的な態度や健康、安全に留意して運動をする態度を育て習慣化し、運動の場面だけではなく、日常生活に生かすなど、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。また、運動の合理的、計画的な実践を通して、自己研鑽の資質も養うことを目標とする

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとする。
協調性・安全の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断できる。
公正・協力・責任・共生などの態度を身につける。

評価方法

受講態度の観察

b. 思考・判断

知識を活用し、技能向上につなげる。
学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。

評価方法

ノート・体育理論・レポート

c. 運動の技能

仲間と連携・協力してゲームを楽しむ。
記録や技能向上に挑戦する。

評価方法

技能観察・技能テスト

d. 知識・理解

特性やねらいを把握。
実践・応用できる科学的知識を身につける。
積極的に研究する姿勢を養い理解を深める。

評価方法

ノート・体育理論・レポート
確認テスト・振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	単元 （学習項目）	学習内容		自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
					a	b	c	d		
1学期	体つくり運動	個人での体つくり運動			○			○	a：体つくり運動の学習に意欲的に取り組み、運動の楽しさや心地よさを味わおうとしている。体力の違いに配慮し、仲間協力したり、自己の責任を果たそうとしている。健康・安全を確保して学習に取り組もうとしている。 b：ねらいを踏まえて、自己の課題に応じた活動を選んでいる。ねらいや体力の程度に応じてトレーニングの条件を踏まえた適切な運動計画を立てている。仲間と学習する場面で体力や個々の違いに配慮した補助や運動の仕方などを見つけている。 d：運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	確認テスト 振り返りシート 観察等
		集団での体つくり運動			○	○				
	選択 ・陸上 ・器械運動 ・ダンス	陸上	ハードル走		○		○		a：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c：各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につけ	技能テスト 振り返りシート 観察等
			走り高跳び			○	○	○		
		器械運動	マット				○	○		
			鉄棒		○		○			
		ダンス	フォークダンス		○		○	○		
			リズムダンス			○		○		
	水泳 （女子）	水泳	背泳ぎ		○		○			

	体育理論 （男子）		バタフライ				○	○	る。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	
2学期	水泳 （男子） 体育理論 （女子）	体育理論 ②）運動やスポーツの効果的な学習の仕方	技術と技能、学習法		○			○	a：主体的に取り組むことができる。 b：技能向上と健康増進を目指し、適切な判断と表現ができる。 d：技能の上達過程、技能と体力の相関、活動時の健康・安全について理解できる。	確認テスト ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
			技能の上達過程と課題設定			○		○		
			技能と体力の相関			○		○		
			危険回避		○			○		
	選択 球技 ・ゴール型 ・ネット型 柔道	ハンドボール			○		○	○	ａ：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ： 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 ｄ： 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
		バレーボール			○	○	○			
		テニス			○	○	○			
		柔道			○		○	○		

3学期	陸上	長距離走		○		○	○	ａ:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ:各種目の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 ｄ: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
	選択 球技 ・ネット型 ・ゴール型	ラグビー		○	○	○			
		バドミントン		○	○	○			
		卓球		○	○	○			

※自己評価に関しては、ノートやシートに記入し、全単元において実施

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学校番号	2004

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2018（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や選択体育の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう
・自他の運動を観察・分析することで、興味・関心を高め、運動を通して楽しさや喜び、達成感を分かち合おう

2 学習の到達目標

２年間で培ってきた基本的技能や応用的技能をより一層追究し、戦術・高等技術への挑戦など自らの技能を高めることや種目の特性やルールなどを正しく理解することで、課題を解決しようと自ら考え工夫する力や、仲間の技能を観察・分析・助言と言った生徒間での相互指導ができる資質や能力を養う。また、自己の能力・興味・関心等に応じて選んだ運動種目を履修することによって、得られる達成感や成就感を体得し意欲を高め、生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとする。
協調性・安全の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断できる。
公正・協力・責任・共生などの態度を身につける。

評価方法

受講態度の観察

b. 思考・判断

知識を活用し、技能向上につなげる。
学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。

評価方法

ノート・体育理論・レポート

c. 運動の技能

仲間と連携・協力してゲームを楽しむ。
記録や技能向上に挑戦する。

評価方法

技能観察・技能テスト

d. 知識・理解

特性やねらいを把握。
実践・応用できる科学的知識を身につける。
積極的に研究する姿勢を養い理解を深める。

評価方法

ノート・体育理論・レポート
確認テスト・振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	体つくり運動	個人での体つくり運動		○			○	a：体つくり運動の学習に意欲的に取り組み、運動の楽しさや心地よさを味わおうとしている。体力の違いに配慮し、仲間協力したり、自己の責任を果たそうとしている。健康・安全を確保して学習に取り組もうとしている。 b：ねらいを踏まえて、自己の課題に応じた活動を選んでいる。ねらいや体力の程度に応じてトレーニングの条件を踏まえた適切な運動計画を立てている。仲間と学習する場面で体力や個々の違いに配慮した補助や運動の仕方などを見つけている。 d：運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	確認テスト 振り返りシート 観察等
		集団での体つくり運動		○	○				
	選択球技 ・ベースボール型 ・ゴール型 ・ネット型	ソフトボール		○	○	○		a：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとするや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための	技能テスト 振り返りシート 観察等
		ハンドボール		○	○	○			
		サッカー		○	○	○			

		バドミントン		○	○	○		自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	
		卓球		○	○	○			
2学期	体育理論（３）豊かなスポーツライフの設計の仕方	生涯スポーツの見方・考え方		○			○	a：主体的に取り組むことができる。 b：ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツライフの設計を目指し、適切な判断と表現ができる。 d：社会の変化とスポーツの役割、地域とスポーツクラブの関わり、スポーツと環境問題について理解できる。	確認テスト ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		ライフスタイルに応じたスポーツ		○			○		
		スポーツ振興			○		○		
		スポーツと環境			○		○		
	選択 ダンス 球技 ・ベースボール型 ・ゴール型 ・ネット型	ダンス		○		○	○	ａ：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ： 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じて	技能テスト 振り返りシート 観察等
		ソフトボール		○		○	○		
		卓球		○	○	○			
		ハンドボール		○		○	○		
		バドミントン		○	○	○			
3学期	選択 球技 ・ネット型	バスケットボール		○		○	○		

	・ゴール型	サッカー		○		○	○	ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	
		卓球		○	○	○			

※自己評価に関しては、ノートやシートに記入し、全単元において実施

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学校番号	2004

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2020（大修館書店） 現代高等保健体育ノート改訂版（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

時代背景や文化、環境などさまざまな観点から「健康」というものに対して理解を深め、自分自身の人生を豊かにする実践力を身に付けよう。授業はもちろん、新聞やニュースなどからの健康時事問題に興味を持ち、常に自分自身の人生設計に活かせる情報を得るように努力しましょう。

2 学習の到達目標

生徒個人の健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育む。健康的な生活習慣を身に付けたり、生活環境を守るための知識と実践力を高めたり、生涯を通じた健康づくりの基礎を学習する。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

・主体性をもって授業に参加する。
・自習・講演・討論会等への積極的な参加と合意形成。

評価方法

受講態度の観察

b. 思考・判断

・授業で身に付けた知識のみならず、時事問題や身近に起こりうる健康課題について知識・理解を深め、個人や集団で問題解決を図る等、知識を活用する力を養う。

評価方法

ノート・レポート・考査

c. 知識・理解

・「健康的な生活」「生命の維持」「思春期を取り巻く健康リスク」について知識を深め、健康に関する個人の適切な意志決定・行動選択及び健康的な社会づくりを行うことが重要であることを理解する。

評価方法

ノート・レポート・確認テスト・考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2" colspan="2">単元
（学習項目）</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">自己評価</th><th colspan="3">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元の評価規準
（生徒の到達目標）</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td rowspan="3">思春期における健康</td><td rowspan="2">健康的な生活のために</td><td>1）健康のとらえ方</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a: 国民の健康水準と疾病構造の変化，健康の考え方と成り立ち、健康に関する意志決定や行動選択、健康に関する環境づくりについて、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
b:国民の健康水準と疾病構造の変化、健康の考え方と成り立ちについて、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり、整理したりすることで、健康に関する意志決定や行動選択、健康に関する環境づくりについて、学習したことを個人及び社会生活での事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどし、それら発表をしたり、そう考えた理由を説明している。
c:国民の健康水準や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択及び環境づくりが関わることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。</td><td rowspan="3">授業観察
提出物
確認テスト
定期考査</td></tr>
<tr><td>2）健康と意思決定・行動選択</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>思春期の健康リスク</td><td>1）喫煙と健康</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>a:喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている
b: 喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防について、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したり、評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。</td></tr>
</table>

1学期	思春期における健康	思春期の健康リスク	２）飲酒と健康		○		○	c: 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、喫煙と飲酒、薬物乱用の対策には、個人や社会環境への対策が必要であること、感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、感染症の予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			３）薬物乱用と健康		○		○		
		応急手当と心肺蘇生法	１）応急手当の意義とその基本			○	○	ａ:応急手当の必要性や意義について調べ、日常生活のどのような場面や状況で傷害等が発生し、応急手当が必要な時にどのような行動が必要か調べたり、考えたり、心肺蘇生法の手順やAEDの使い方を実践するなどの学習活動に取組もうとしている。 ｂ: 日常生活で起こりうる傷害や熱中症などの疾病について学んだことを基に、応急手当が必要な場面に遭遇した際、どのような行動をとるか考えたり、基本的な応急手当の方法や心肺蘇生法について調べ、まとめたり、実践するなどの活動から互いに教え合いするなどの活動をすることができる。 ｃ: 応急手当の意義、重要性について理解し、日常的なけがや熱中症の応急手当ての手順や方法、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理や心肺蘇生法の各手順のポイントを実践したり、記述することができる。	
			２）心肺蘇生法			○	○		
			３）実習（AED も含む）				○		
		性と健康	１）性感染症・エイズ		○		○	a：自分の行動への責任感や異性を尊重する態度を養うことができる。 b:性感染症・エイズについての課題を考え、自己の健康管理ができる。 c:性感染症・エイズとその予防について理解することができる。	
			２）性感染症・エイズの予防		○	○			

2学期	疾病と健康	疾病とその予防	１）疾病のメカニズム		○		○	a：疾病構造の変化について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：疾病構造の変化について、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり、整理したり、健康に関する環境づくりについて、学習したことを，個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどして、それらを説明できる。 c：疾病構造の変化に伴って変わってきていること、その予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて，理解したことを発言したり，記述したりしている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			２）メカニズムから健康・予防を考える				○		
			３）集団討議			○			
		生活習慣と健康	１）生活習慣病について				○	a：生活習慣病と日常の生活行動について，資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：生活習慣病について資料等で調べたことを基に課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明できる。 c：生活習慣病の予防について理解したことを発言したり、記述したりしている。	
			２）よりよい生活習慣について			○	○		
		日常生活と健康	１）食事と健康		○	○		a:日常の生活行動について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：日常生活について、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明できる。 c：健康の保持増進には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりしている。	
			２）運動と健康		○		○		
			３）休養・睡眠と健康				○		
		心と身体の健康	１）欲求と適応機制			○	○	a:欲求と適応機制、心身の相関、ストレスへの対処について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	

2学期	疾病と健康	心と身体の健康	2）心身の相関とストレス		○		○	ｂ：欲求と適応機制、心身の相関、ストレスへの対処について、資料等で調べたこと基に整理したり、自分の考えを導き出したりしてそれらを説明できる。 ｃ：人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること、精神と身体には密接な関連があること、精神の健康を保持増進するには欲求やストレスに適切に対処することについて理解したことを発言したり、記述したりしている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			3）集団討議				○		
3学期	活力ある生活と健康	自己実現	1）自己実現にむけて		○		○	a:自己実現について、課題の解決に向けての話合いや意見交換、体験活動などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:自己実現について学習したことを個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したり、評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 c:自己実現を図るよう努力していくことが重要であることについて理解したことを発言したり、記述したりしている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			2）実習			○	○		
			3）発表		○	○			
	安全と健康	交通安全と健康	1）交通事故の現状と要因		○		○	a:交通事故の現状、交通社会で必要な資質と責任、安全な社会づくりについて、資料を探したり、見たり、読んだり、課題の解決に向けての話合いや意見交換するなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ｂ：交通事故の現状、交通社会で必要な資質と責任、安全な社会づくりについて、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり、整理したり、学習したことを個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したりするなどして、それらを説明している。 c: 交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などが関わること、交通事故には責任や補償問題が生じることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている.	
			2）運転者の資質と責任			○	○		
			3）安全な交通社会づくり			○	○		

※自己評価に関しては、ノートやシートに記入し、全単元において実施

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学校番号	2004

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2019（大修館書店） 現代高等保健体育ノート改訂版（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

時代背景や文化、環境などさまざまな観点から「健康」というものに対しての理解を深め、自分自身の人生を豊かにする実践力を身につけよう。授業はもちろん、新聞やニュースなどからの健康時事問題に興味を持ち、常に自分自身の人生設計に活かせる情報を得るように努力しましょう。

2 学習の到達目標

生徒個人の健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善してゆく資質や能力を育む。保健・医療機関を適切に活用することや、生活環境を守るための知識と実践力を高めたりすることにより、生涯を通じた健康作りの基礎を学習する。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

・主体性をもって授業に参加する。
・自習・講演・討論会等への積極的な参加と合意形成。

評価方法

受講態度の観察

b. 思考・判断

・授業で身に付けた知識のみならず、時事問題や身近に起こりうる健康課題について知識・理解を深め、個人や集団で問題解決を図る等、知識を活用する力を養う。

評価方法

ノート・レポート・考査

c. 知識・理解

・「健康的な生活」「生命の維持」「思春期を取り巻く健康リスク」について知識を深め、健康に関する個人の適切な意志決定・行動選択及び健康的な社会づくりを行うことが重要であることを理解する。

評価方法

ノート・レポート・確認テスト・考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	単元（学習項目）		学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	生涯を通じる健康	生涯の各段階における健康	1） 思春期と健康		○		○	a. 自分の行動への責任感や異性を尊重する態度を養い、良好な人間関係を育む姿勢をもつことができる。 b. 生涯の各段階に応じた健康についての課題を考え、自己の健康管理ができる。 c. 思春期における心身の発達、健康な結婚生活、加齢に伴う心身の変化について理解を深めている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			2） 性意識と性行動の選択			○	○		
			3） 結婚生活と健康		○		○		
			4） 妊娠・出産と健康		○		○		
			5） 家族計画と人工妊娠中絶		○		○		
			6） 加齢と健康			○	○		
2学期		保健・医療制度	1） 高齢者のための社会的取り組み		○		○	a. 健康課題やさまざまな保健活動、対策について関心を持ち、生涯にわたっての健康の保持・増進について考えようとしている。 b. 自分自身と社会全体の心身の健康を考えて、適切な判断行動ができる。 c. わが国の保健・医療制度や医薬品、保健活動や対策について理解できている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			2） 保健制度とその活用				○		
			3） 医療制度とその活用			○			
			4） 医薬品と健康				○		
		様々な保健活動や対策	1） さまざまな保健活動や対策			○	○		
			2） 集団討議		○	○			
	社会生活と健康	環境と健康	1） 大気汚染と健康			○	○	a. 人間生活と自然環境との関わりや環境衛生活動等について関心を持ち、生涯にわたっての健康の保持・増進について考えようとしている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			2） 水質汚濁・土壌汚染と健康			○	○		
			3） 健康被害の防止と環境対策			○	○		

学期	単元（学習項目）		学習内容	自己評価	主な評価の観点			単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
					a	b	c		
2学期	社会生活と健康	環境と健康	4）環境衛生活動のしくみと働き			○	○	b. 自然環境の汚染と健康は深く関わっていることを知り、防止策や改善策を考えられている。学習したり、自ら調べたことを発表、説明することができている。 c. 自然環境の汚染と健康、汚染の防止及び改善の対策をとる意義について理解できている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			5）調べ学習		○	○			
			6） 発表		○	○			
3学期		環境と食品の保健	1）食品衛生活動のしくみと働き		○		○	a. 食品衛生活動や労働災害等について関心を持ち、生涯にわたっての健康の保持・増進について考えようとしている。 b. 環境や労働と健康は深く関わっていることを知り、防止策や改善策を考えられている。学習したことを集団討議のなかで活用することができている。 c. 食品衛生活動、労働と適切な健康管理について理解できている。	授業観察 提出物 確認テスト 定期考査
			2）食品と環境の保健と私たち			○	○		
			3）集団討議		○	○			
		労働と健康	1）働くことと健康		○		○		
			2）労働災害と健康			○	○		
			3）健康的な職業生活			○	○		

※自己評価に関しては、ノートやシートに記入し、全単元において実施

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学校番号	2004

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	（学）ライフスポーツ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2018（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

正課「体育」に加え、より集団との関わりを意識しながら自分の集団の中での役割を考え、自発的に活動しましょう。その中で課題の克服を目指し、工夫を重ね、技能の向上をめざしましょう。

2 学習の到達目標

生涯を通し、健康的で豊かな生活を支える習慣の一つとして、自身の適正やライフスタイルに応じたスポーツを選択する資質を養うとともに、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質と能力を育てる。2 時間連続の中でより専門的な技術を身につけると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとする。
協調性・安全の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断できる。
公正・協力・責任・共生などの態度を身につける。

評価方法

受講態度の観察

b. 思考・判断

知識を活用し、技能向上につなげる。
学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。

評価方法

ノート・体育理論・レポート

c. 運動の技能

仲間と連携・協力してゲームを楽しむ。
記録や技能向上に挑戦する。

評価方法

技能観察・技能テスト

d. 知識・理解

特性やねらいを把握。
実践・応用できる科学的知識を身につける。
積極的に研究する姿勢を養い理解を深める。

評価方法

ノート・体育理論・レポート
確認テスト・振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	オリエンテーション		○				ａ：授業の目的・意義を考え、主体的に今後の予定を考え、企画することができる。	振り返りシート 観察等
	球技	バドミントン		○	○	○		ａ：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとするや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	確認テスト 振り返りシート 観察等
		ビーチバレー		○	○	○			
		水球			○	○			
		キックベースボール		○		○			
2学期	球技	ハンドボール		○		○	○	ａ：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
		ソフトボール			○	○	○		
		バレーボール			○	○	○		
		卓球		○		○	○		

3学期	球技	サッカー			○	○		ａ：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
		バスケットボール			○	○			

※自己評価に関しては、ノートやシートに記入し、全単元において実施

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学校番号	2004

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校音楽　Ⅰ　改訂版　Music View (教育出版)						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・音楽がどのように形づくられ、そしてそれをどう感じて表すのかについて学習を進めていきます。友だちとともに音楽を分かち合い、音楽を通して様々なことを学んで行きましょう。
・歴史的、文化的背景などの広い視野で音楽を捉えることで、音楽文化の理解を一層深めていきます。
・日本の伝統楽器である和楽器の授業では沖縄の「三線」を実際に演奏して学びます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他人の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていきましょう。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:音楽への関心・意欲・態度

楽曲の曲想や背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、演奏したり鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法……観察
演奏発表

b:音楽表現の創意工夫

楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。

評価方法……観察
演奏発表

c:音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるとともに、創造的に表現に結び付けて演奏する。

評価方法……演奏発表
ワークシート

d:鑑賞の能力

様々な音楽を聴き、それぞれの音楽がもつよさや美しさを味わう。文化的・歴史的背景などの特徴から音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴く。

評価方法……観察
ワークシート
鑑賞の記録

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	**歌唱** 「校歌」 「世界に一つだけの花」 （斉唱） 「風が吹いている」 「サザンカ」（混二）	基礎的な発声法				○		a 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素との関わりに興味・関心をもっている。 b 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素の働きを感じて、表現を工夫している。 c 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		発音の仕方			○	○			
		歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の関連の理解		○					
	器楽 **<リコーダー>** 「カノン」（パッフェルベル）	基礎的な奏法				○		a 楽曲にふさわしい音色を考え表現することに、興味・関心をもっている。 b 曲想を生かして、主体的に表現を工夫している。 c 音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音色を意識し、曲想を生かした演奏		○	○				
	鑑賞 **ESSENCE OF MUSIC** 「メリーさんのひつじ」	音楽を形づくっている要素の理解		○			○	a 楽曲の特徴や表現上の効果などに、興味・関心をもっている。 d 音楽を形づくっている要素と感じ取ったことを結び付けて、特徴を言葉で表している。	観察等 ワークシート
	鑑賞 **音楽の歴史** グレゴリオ聖歌 ～バッハ ～モーツァルト ～ベートーヴェン	楽曲の歴史的背景と時代の特徴を理解（人間の生活と音楽の関わり）		○				a 時代の変化における音楽の特徴に、興味・関心をもち、積極的に感じ取っている。 d 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲	観察等 鑑賞の記録

	～シューベルト	演奏形態や文化・歴史の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを感受し、言葉で表す		○			○	の特徴を言葉で表している。	
1学期	**創作**	簡単な曲をグループで創作（指定されたリズム・拍子・調性で、歌詞のイメージに合わせて）		○				a イメージをもって創作することに興味・関心をもっている。 b 表現したい音楽のイメージをもって、音楽の諸要素を工夫して作曲している。 c 音楽のイメージを表現できる技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音楽を形づくっている要素を生かし、表現を工夫			○	○			
		歌唱及び器楽で演奏発表			○	○			
		相互評価		○					
2学期	**歌唱** **鑑賞** 「Heidenröslein」 （斉唱） ウェルナー作曲 シューベルト作曲	同じ歌詞による曲想の違い		○			○	a２曲の曲想の違いや、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の関連に興味・関心をもっている。 b 曲想を把握して主体的に表現を工夫している。 c 曲想の違いを意識し、表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d ２曲の違いや音楽を形づくっている要素を感じ取っている。	観察等 ワークシート
		ドイツ語の発音の特徴を生かして、歌詞の内容に応じた表現の工夫			○	○			
	参考 「世界の＜声＞」	発声や曲種の違いや特徴		○			○	a 諸外国の音楽について、それぞれの曲種や発声の特徴に興味・関心をもっている。 d 諸外国の音楽の特徴を理解し、それらの価値を考え、よさや美しさを味わって聴いている。	観察等 ワークシート
	歌唱 「涙そうそう」	歌詞の内容を理解		○				a 二重唱のよさを感じ取り、アンサンブルにおける表現	観察等 演奏発表

	（混二） 「福笑い」 （混三）	曲想にふさわしい表現の工夫			○	○		に興味・関心をもっている。 b 二つまたは三つパートの役割や響きの調和を意識しながら、創造的に表現を工夫している。 c 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	ワークシート
		二つのパートの役割を理解		○					
		二重奏における表現の工夫			○	○			
	<リコーダー> 「序曲」 （AR 四）	テクスチュアを意識		○				a 表現したい内容を他者に伝え、アンサンブルの活動に積極的に参加している。 b テクスチュアを意識して、アンサンブルにおける表現を工夫して演奏している。 c 自分たちの表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		アンサンブルにおける表現の工夫			○	○			
	歌唱・器楽・鑑賞 **<三線>** 「海の声」	歌詞の意味を理解		○			○	a 沖縄音楽の文化的・歴史的背景への関心を高めている。 b 曲想を生かして、主体的に表現を工夫している。 C 三線の楽譜を理解し、基礎的な奏法を身に付けている。 d 沖縄音楽の特徴を捉え、そのよさを味わって鑑賞している。	観察等 演奏発表 ワークシート
		楽曲の背景と関わらせた歌唱表現の工夫			○				
		三線の楽譜を理解				○			
		基礎的な奏法				○			
		三線の文化的・歴史的背景の理解		○					
		沖縄民謡の歌唱法の特徴を理解して鑑賞		○			○		
2学期	**鑑賞** **音楽の歴史** ショパン ～ヴェルディ ～ワーグナー ～チャイコフスキー ～ドビュッシー ～ストラビンスキー ～シェーンベルク ～バーンスタイン ～ケージー	楽曲の歴史的背景と時代の特徴を理解（人間の生活と音楽の関わり）		○				a 時代の変化における音楽の特徴や、芸術文化について興味・関心をもっている。 d 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲の特徴を言葉で表している。	観察等 ワークシート 鑑賞の記録
		演奏形態や文化・歴史の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを言葉で表す		○			○		
		総合芸術の鑑賞		○			○		

3学期	**歌唱** 「Tomorrow」	歌詞の内容を理解		○				a 自分の表現を、人に伝えられるように演奏するということに興味・関心をもっている。 b 歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを意識して、創造的に表現している。 c 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音楽を形づくっている要素を理解				○			
		表現の工夫			○				
		伝えたいことをグループで考察			○				
		人に伝えるための、歌唱の技能				○			
	器楽<ギター> 「第三の男」	基礎的な奏法				○		a 各パートの役割を理解し、ギターアンサンブルに興味・関心をもっている。 b 各パートにふさわしい表現を工夫している。 c 各パートにふさわしい表現をするための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		パートの役割を理解				○			
		器楽アンサンブルの演奏の工夫		○	○				

※年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重みをつけ行う観点）について○を付けている。

令和２年度　美術Ⅰ　　学校番号２００４

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２	学年	１年
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	ワークシートプリント						

1 担当者からのメッセージ（学習内容・方法）

絵画・彫刻、デザイン、鑑賞

① 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生みだす構想を学ぶ。

② 絵画やデザインの表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成を工夫して伝える技能を学ぶ。

③ 表現の意図に応じて、材料や用具の生かし方などの基礎技法を学ぶ。

④ 美術作品のよさや美しさに、作品を通して作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取り、理解を深め自他を認め合う感性を磨く。

授業の進め方については、絵画やデザインの表現活動において美術の歴史や表現の特質を参照しつつ、また作品の相互評価をするなど表現と鑑賞を一体にして扱う。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

評価の方法　学習状況の観察
レポート

B 発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。

評価の方法　アイデアスケッチ
ワークプリント

c 創造的な技能

創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。

評価の方法　製作途中作品
完成作品

d 鑑賞の能力

美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

評価の方法　鑑賞レポート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
一学期	【デザイン】 「色の三属性、混色、表色系」 「水彩絵の具の特徴や性質」 「言葉と色彩のイメージ」	・アクリル絵の具の調色練習 ・色の三属性 ・色対比 ・トーン ・混色練習 ・色彩構成		○	○		○	【a】色彩に関する用語やその用法を理解し活用できる。テーマの意図やねらいを考えて混色できる技術を身に付けて表現することに関心をもつ。基本的な色彩原理を理解し、それを主体的に配色効果として構想に生かすことができる。アクリル絵の具の特性や技法に興味を持ち、表現に創意工夫ができる。 【b】語句をイメージして、そこで連想される事物の情景からそのイメージに相応しい象徴的な配色が発想でき主題を生成している。 【c】アクリル絵の具の混色効果を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。 【d】他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	学習状況の観察・完成作品・レポート・ワークプリント
	【鑑賞】 夏休み課題 「高校展の鑑賞」	・作品鑑賞		○			○	【a】同世代の高校生の作品のよさや作者の心情や意図と多様な表現に関心を持ち、作品などについて理解しようとしている。 【d】同世代の高校生が制作した作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、その感想を的確に表現できる。	鑑賞レポート
二学期	【絵画】 「デッサン」 「アクリル絵の具とコンテパステルの混合技法」	・鉛筆デッサン ・コンテデッサン ・絵画制作 ・作品鑑賞		○		○	○	【a】顔の表情の観察を通して造形的要素で感じ取ったことや考えたことに関心が持てる。デッサンを通して、形体の立体感や画面上の空間感の描画法に関心をもち表現できる。 【b】顔の表情を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成している。 主題を効果的に表現するために構図などの画面上のバランスを工夫できる。 【c】デッサンの技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。 【d】他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	学習状況の観察・制作途中作品・完成作品・レポート・ワークプリント

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
三学期	【デザイン】「紙テープの構成」	・「泣く・笑う・怒る」顔の表情の紙テープ構成 ・レタリング 3 書体練習 ・作品鑑賞		○	○	○	○	【a】顔の表情の特徴を造形的に誇張して表現することに関心が持てる。主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形的要素の働きを考え創意工夫して構想が練れる。 【b】テーマに沿って造形的なおもしろさと調和を考えて図形化し主題を生成している。 【c】紙テープの素材としての特性を理解し、テーマに応じて特性や効果を生かして表現している。 【d】他者の作品の表現の意図や工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	学習状況の観察・アイデアスケッチ・完成作品・レポート

学校番号	２００４

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ(教育図書)						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

表現及び鑑賞の活動において、**単に文字を美しく書くだけでなく、感受性を持って書表現を鑑賞することにより、表現の意図を理解し書写技術の向上を目指す。**
書表現が身近な存在であることを理解し、文字文化の成り立ちや歴史的背景とともに、書表現の理解を深める観点から、**文字の変遷、伝統・文化に関する学習活動を実践する。**
授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技能)と鑑賞を並行して扱い評価については、各単元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ書への関心・意欲・態度

書が身近なものであることを実感し、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞ができる態度を育む。

評価方法：作品・ワークシート・観察

ｂ書表現の構想と工夫

書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、書の創造的活動の喜びを味わい、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。

評価方法：作品・ワークシート

ｃ創造的な書表現の技能

創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、表現方法を選択し活用しながら、様々な表現技能を習得する。

評価方法：作品

ｄ 鑑賞の能力

文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさ、書の表現意図について創造的に鑑賞する。

評価方法：ワークシート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単　元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	ガイダンス	「芸術としての書道」 今後の授業内容として、書写的に文字を正しく美しく書くための技能習得だけでなく、芸術的に感受性を持って鑑賞・書表現をし、書が身近なものであることや、文字の変遷、伝統・文化に関する学習活動も実践することを確認する。		○			○	a：国語科書写と芸術科書道について理解し、今後の授業に向け期待感を持って意欲的な姿勢を持っている。 d：さまざまな書体の成り立ちや変遷を知り、また、それぞれの趣の違いを感じ取る。	ワークシート 観察
	「漢字仮名交じり」の書	「線の表現」 用具・用材などの特徴を理解し、筆の機能を体験的に学習する。			○	○		b：題材のイメージに相応しい表現方法を工夫している。 c：筆の特徴を理解し、制作時の表現意図を作品に反映させ表現している。	ワークシート 作品 観察
		「文字で表現しよう」 題材のイメージや意味を考え、それに相応しい表現を創意工夫して書作し、その難しさや面白さを体感する。							
		「言葉・詩句を書こう」 単元での学習経験を踏まえ、表現を工夫することで、他作品の制作意図を考え鑑賞する能力を身につける。					○	d：作品の相互批評を行い、自他の作品の意図を考え、個々にしか書けない文字の尊さを感じ味わっている。	
	篆刻	「篆刻」 落款印を制作し、作品に押印できるようにする。		○				a：押印し作品として完成させ、そのよさを味わっている。	
	硬筆での楷書	自分の氏名を楷書で書く 「楷書の学習」での文字構築の原理を自分の氏名に当てはめ、丁寧に美しく書くことと、普段から丁寧に書く習慣を身につける。		○	○			a：日常もっとも書く機会が多い自分の氏名を美しく書くために積極的に取り組んでいる。 b：文字構築の原理を自分の氏名に当てはめ、丁寧に美しく書く技能を身に付け表している。	ワークシート 作品 観察
	楷書の学習①	「書写からの展開」 書写からの展開を考え、楷書の基本点画の技能面での習得について確認する。また、楷書の文字の構築性などを考えながら書く習慣を身につける。		○		○		a:積極的に取り組み、技術の習得に努めている。 c：筆の特徴を理解し、基本点画の習得に努め、構築性を身に付け書作している。	ワークシート 作品 観察
2学期	楷書の学習②	「古典臨書」 唐の四大家の作品について、形臨中心に行い、書風の違いによる表現技術の習得と鑑賞する習慣を身につける。 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・建中告身帖など			○		○	b：古典の違いを技術的に書き分ける技術を習得し、表現を工夫している。 d：楷書の成り立ちや各古典の歴史的背景と各古典の特徴を理解し、感性を持って創造的に味わっている。	ワークシート 作品 観察
	行書の学習	古典臨書を中心に楷書と行書の違いを理解し、その技法を学習する				○	○	c:行書の特徴を理解し、基本点画の習得に努め、古典の技法を身に付けている。 d:各古典の特徴を理解し、感性を持って創造的に味わっている。	ワークシート 作品 観察

学期	単　元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
２学期	仮名の学習	「いろは歌」から古典の連綿まで展開して行くことで、仮名の用筆法を習得する。 平仮名・片仮名の成立ちを学習する。		○		○	○	a：日本語表記も含めた、平仮名の成立ちについて関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。 c：仮名の用筆法を理解し、基本点画の習得に努め、古典の技法を身に付け表している。 d：日本古来の仮名の古典の特徴・美しさを理解し、感性を持って創造的に味わっている。	ワークシート 作品 観察
３学期	文字の成り立ち ・篆書、隷書の学習	書体の変遷を学習し、甲骨文字から、現在使用している「ひらがな・カタカナ」が、どのような変遷を経て成立したものかを確認する。 篆書・隷書の筆使いを学習する。 古人の古典臨書作品を鑑賞し、臨書時の表現の意図を考察し鑑賞能力を高める。		○			○	a：文字の変遷について関心を持ち、積極的に取り組み、技術の習得に努めている。 d：各古典の特徴を理解し、感性を持って創造的に味わっている。	ワークシート 作品 観察

学校番号	2004

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校音楽　Ⅱ　改訂版　Music View (教育出版)						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・音楽がどのように形づくられ、そしてそれをどう感じて表すのかについて学習を進めていきます。友だちとともに音楽を分かち合い、音楽を通して様々なことを学んで行きましょう。
・日本及び世界の様々な音楽にふれ、楽曲そのものだけでなく、その背景となる文化や歴史についても理解を深め、広い音楽的視野を身につけていきます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他人の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げて、今後の音楽表現に生かしていきましょう。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:音楽への関心・意欲・態度

楽曲の曲想や背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、演奏したり鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法……観察
演奏発表

b：音楽表現の創意工夫

楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。

評価方法……観察
演奏発表

c:音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるとともに、創造的に表現に結び付けて演奏する。

評価方法……演奏発表
ワークシート

d:鑑賞の能力

様々な音楽を聴き、それぞれの音楽がもつよさや美しさを味わう。文化的・歴史的背景などの特徴から音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴く。

評価方法……観察
ワークシート
鑑賞の記録

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価基準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	**歌唱** 「糸」（混２） 「道」 （混２） 「夢やぶれて」（斉唱）	発音の仕方による表現上の効果		○		○		**a** 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素との関わりに興味・関心をもっている。 **b** 歌詞の内容を伝えるため、発音の仕方を工夫している。 **c** 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを理解				○			
		表現の工夫			○				
	歌唱・器楽 「島人の宝」	視奏力 （リコーダー、キーボード、ピアノ、打楽器）				○		**a** 音色や編成の違いによる表現効果に、興味・関心をもっている。 **b** 各楽器の音色や、楽器編成の特徴を生かした器楽の表現を工夫している。 **c** 音色と各楽器の役割を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音色や演奏形態による表現効果の違い		○		○			
		楽器の編成による効果		○		○			
		合奏の表現の工夫			○	○			
	鑑賞 ★世界の音楽 「アジア」	楽曲の文化的・歴史的背景の理解 （社会の変化、文化の発展、近隣地域の影響など）		○				**a** 文化的・歴史的背景における音楽の特徴に、興味・関心をもち、積極的に感じ取っている。 **d** 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲の特徴や音楽文化について言葉で表している。	観察等 鑑賞の記録
		音楽文化に対する理解 （人間の生活と音楽の関わりに着目）		○					
		演奏形態や音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを感受し、言葉で表現		○			○		

2学期	**歌唱** 「Best Friend」 「青いベンチ」 （２部） 「青春の輝き」 「Sogno」（独唱）	曲種に応じたふさわしい発声		○		○		**a** 曲種に応じた発声の違いを理解し、興味・関心をもっている。 **b** 表現形態による歌唱の特徴を感じ取り、表現を工夫している。 **c** 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		表現効果の違い			○	○			
		表現の工夫 （グループ又は個人）			○	○			
	器楽 **<リコーダー>** 「イエスタディ ワンスモア」 （２部） 「コンドルは 飛んで行く」 （３部）	音色、テクスチュアを意識		○		○		**a** 表現したい内容を他者に伝え、アンサンブルの活動に積極的に参加している。 **b** 音色やテクスチュアを意識して、アンサンブルにおける表現を工夫して演奏している。 **c** 自分たちの表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音の響きを感受		○					
		曲のイメージを伝えられるように、アンサンブルにおける表現の工夫（グループ）			○	○			
	器楽 **＜ギター＞** **創作** 「ポルカ」 （４重奏）	音楽を形づくっている要素の働きを理解		○		○		**a** 音楽を形づくっている要素の働きを意識し、ギターアンサンブルにおける表現に興味・関心をもっている。 **b** 音楽を形づくっている要素の働きを理解して、効果的な表現を工夫している。 **c** 考えた内容を演奏を通じて表現する技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		テンポや強弱など音楽を形づくっている要素のアレンジ		○	○				
		アンサンブル表現の工夫 （グループ）			○	○			
	鑑賞 ★世界の音楽 「ヨーロッパ ～アフリカ ～アメリカ」	楽曲の文化的・歴史的背景の理解（社会の変化、文化の発展、近隣地域の影響など）		○				**a** 文化的・歴史的背景における音楽の特徴に、興味・関心をもち、積極的に感じ取っている。 **d** 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲の特徴や音楽文化について言葉で表している。	観察等 鑑賞の記録
		音楽文化に対する理解 (人間の生活と音楽の関わりに着目)		○					
		演奏形態や文化・歴史の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを感受し、言葉で表す		○			○		

3学期	**歌唱** 「Remember Me」（ア・カペラ４部）	歌詞の内容の理解		○				**a** 自分たちの表現を、人に伝えられるように演奏するということに興味・関心をもっている。 **b** 発音の仕方やふさわしい発声、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを意識して、創造的に表現を工夫している。 **c** 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音楽を形づくっている要素を理解		○		○			
		表現の工夫と、人に伝えるための歌唱の技能			○	○			
	器楽<ギター> 「空も飛べるはず」	ギターコードの基礎的な奏法				○		**a** コード奏法を理解し、弾き語りの表現に興味・関心をもっている。 **b** コードの多様な音の響きを意識して、表現を工夫している。 **c** 表現したいことを伝えるための弾き語りの技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		コード奏法の多様な音の響きを感受		○					
		表現の工夫			○	○			
	鑑賞 ★世界の音楽 「日本」	楽曲の文化的、歴史的背景の理解 （社会の変化、文化の発展、近隣地域の影響など）		○				**a** 文化的・歴史的背景における日本の伝統音楽の特徴に、興味・関心をもち、積極的に感じ取っている。 **d** 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲の特徴や音楽文化について言葉で表している。	観察等 鑑賞の記録
		日本の伝統音楽文化に対する理解（人間の生活と音楽の関わりに着目）		○					
		演奏形態や文化・歴史の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを感受し、言葉で表す		○			○		

※年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重みを付けて行う観点）について○を付けている。

令和２年度　美術Ⅱ　　学校番号２００４

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２	学年	２年
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	ワークシートプリント						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画・彫刻、デザイン、鑑賞

① 自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生み出す。

② 心豊かな表現の構想、表現形式や材料・技法の活用により、形や色彩の効果を生かして個性豊かな表現を追究する。

③ 主題や目的の意図に応じて、表現方法を工夫して創造的に表現することを学ぶ。

④ 芸術作品の美しさや美術文化について理解を深めるとともに、自己や他者のよさを認め合い、感性を高める。

授業の進め方については、絵画やデザインの表現活動において美術の歴史や表現の特質を参照しつつ、また作品の相互評価をするなど表現と鑑賞を一体にして扱う。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 美術への関心・意欲・態度

美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

評価方法　学習状況の観察、レポート

b 発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。

評価方法　アイデアスケッチ、ワークシートプリント

c 創造的な技能

創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。

評価方法　制作途中作品、完成作品

d 鑑賞の能力

美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

評価方法　鑑賞レポート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
一学期	鑑賞 オリエンテーション	・表現とは何か						美術Ⅰを振り返り、美術Ⅱの学習イメージを持ち、美術の学びの深まりと意味について考えることが出来る	
	表現 【デザイン】 「絵本の工夫」	・クラフト基礎演習 絵本制作 ・アイデア構想 ・ページの構成 ・制作 ・作品鑑賞		○		○		【a】様々なスタイルの絵本に関心をもち、絵本を通して伝達のためのデザインに主体的に取り組める。 【b】形や色彩などの造形要素の効果的な働きについて考え、テーマに適った伝達表現の構想が練れる。 【c】色彩効果や、絵の具の描画技法を理解し、主題をより効果的な構成方法でデザイン表現できる。 【d】他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 完成作品 レポート
	【鑑賞】 高校展鑑賞レポート	・作品鑑賞		○			○	【a】他者の表現に興味を持ち、主体的に鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 【d】美術作品などの表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	鑑賞レポート
二学期	表現 【絵画】 「静物画」	・静物デッサン ・構図構成演習 ・絵画制作 アクリル画 ・作品鑑賞		○		○		【a】静物モデルを見つめてモチーフとして感じ取ったことや考えたことを、主体的に絵画の主題が生成できる。 【b】主題の画面効果を考えた構図法や配色で、主題を生成できる。 【c】主題をより効果的な描画方法でアクリル画表現できる。 【d】他者の作品の表現の工夫を理解し、よさや美しさを創造的に味わっている。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 制作途中作品 完成作品 ワークプリント レポート
三学期	表現 【絵画】 「想像する力」	・技法演習（デカルコマニー、フロッタージュ、コラージュ） ・作品制作 ・作品鑑賞			○	○		【a】様々な描画素材や表現技法に興味を持ち、主体的に主題を生成できる。 【b】感性や想像力を働かせて、独自の表現技法を創意工夫し主題を生成できる。 【c】主題をより効果的な表現方法で表現できる。 【d】美術作品などの表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 完成作品 レポート

学校番号	２００４

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ(教育図書)						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の幅広い活動を通して、書に関心を持ち愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、探究心を育成し表現と鑑賞の能力を伸ばす。さまざまな書体の古典を学習することで、文字の発展の過程や時代背景など理解を促す。
また、相互批評などのグループ学習をすることでコミュニケーション能力の向上をめざし、書道芸術作品と自他を尊重する心を育む。この点については各単元において実施していきたい。授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技能)と鑑賞を並行して扱い評価については、各単元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育成するとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 書への関心・意欲・態度

書への関心・意欲・態度…書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする姿勢を育む。

評価方法：作品・ワークシート

b 書表現の構想と工夫

書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、書の創造的活動の喜びを味わい、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。

評価方法：作品・ワークシート

c 創造的な書表現の技能

創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、表現方法を選択し活用できるよう、様々な表現技能を習得する。

評価方法：作品

d 鑑賞の能力

文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさ、書の表現意図を、創造的に鑑賞する。

評価方法：ワークシート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単　元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	「草書」「行書」 ・十七帖 ・書譜 ・祭姪文稿 など	◆書体の変遷における行書・草書体の特徴の理解し、発生の歴史的背景を理解する。 ◆さまざまな古典臨書を通じ、変化に富む用筆法を観察し行草体の躍動感やリズム感を表現していくことで、技術の向上と鑑賞能力の向上を図る。		○			○	a：積極的に取り組み、行書で自分の名前を書くに当たっての技能習得に、興味・関心を持っている。 d：各古典の特徴を理解し、感性を持って創造的に鑑賞しそのよさを味わっている。	ワークシート 作品 観察
	「行書」細字	◆細字での学習を行い、自分の名前を行書で書ける事を目標に取り組む。			○	○		b：行書の特徴を理解し、基本点画の習得を生かして表現を工夫している。 c：古典の技法を細字として表現する技法を身に付けている。	ワークシート 作品 観察
	「仮名」	◆用筆・運筆を理解し古典に基ずく表現を工夫する。 ◆漢字の「行書」「草書」との歴史的関連性理解する。				○	○	c：仮名の特徴を理解し、基本点画や連綿の運筆など筆使いを身に付け、表している。 d：書作時の表現の工夫に活かせるよう、古典の技法・構成法を鑑賞する。。	ワークシート 作品 観察
2学期	「漢字仮名交じりの書」 作品制作	◆題材の詩句の内容・用具用材の特徴を理解し、古典学習で習得した技能、鑑賞で得た感動をもとに、創造的工夫を持って書作する。			○		○	b：語句の意味を考え、制作時の表現意図を作品に反映するように工夫する。 d：作品の相互批評を行い、自他の作品の意図を考え、個々にしか書けない文字の尊さを感じている。	ワークシート 作品 観察
	「篆書」の基本学習 古典臨書 ・泰山刻石	◆篆書の変遷（時代を遡る）を学習していくことで漢字の成立ちや構造を学習する。（象形・指示・会意・形声など） ◆篆書の用筆法を理解し、習得する。（逆筆・蔵鋒）		○		○		a：歴史的背景を理解し漢字への関心を深め、積極的に取り組み、技術の習得に努めている。 c：用筆法を理解し、基本点画の習得に努め、構築性を考え身に付け表している。	ワークシート 作品 観察
	さまざまな「篆書」 石鼓文 金文 甲骨文など	◆明・清時代の古典臨書などを参考に、用筆法・表現の工夫などを鑑賞する。 ◆各時代の文化と関連付けて、篆書の変遷を考える。			○		○	b：鑑賞と関連させ、工夫する点を各自で発見し、表現を構想している。 d：各古典の特徴を理解し、当時の美意識を感性を持って創造的に味わっている。	ワークシート 作品 観察
	「篆刻」 作品制作 ・選文　・印稿 ・布字　・運刀 ・押印　など	◆印の歴史を学習し、実際に漢時代の官職印を参考にした自用印を制作する。		○	○	○		a：物品・器物への取扱に注意し、安全に作業をし、意欲的に取り組もうとしている。 b：漢時代の印の特徴を理解し、構築性のある印面制作について工夫している。 c：用具の使用方法を十分に理解し、作品が制作されている。	ワークシート 作品 観察
3学期	「隷書」 ・木簡 ・曹全碑 ・乙英碑 ・石門頌　など	◆書体変遷の中の、隷書の成り立ちを考察し、隷書における美意識・書体の特徴を理解する。 ◆漢碑：木簡などの書体との技術的共通点と、楷書と比較・観察していくことで、文字変遷の過程の中での隷書について創造的に書作する。			○	○		b：さまざまな隷書の特徴を理解し、各古典に合った技法を観察し表現を工夫している。 c：波磔など各古典の特徴をふまえた表現の技能を身に付け表している	ワークシート 作品 観察

学校番号	2004

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ　改訂版　(教育出版)						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・音楽がどのように形づくられ、そしてそれをどう感じて表すのかについて学習を進めていきます。友だちとともに音楽を分かち合い、音楽を通して様々なことを学んで行きましょう。
・人間の生活や社会と音楽の関わりを意識し、文化的・歴史的背景とともに伝統や音楽文化の理解をさらに深めていきます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他人の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げて、今後の音楽表現に生かしていきましょう。
・音楽Ⅰ～音楽Ⅲまでの総まとめとして、個人またはグループで楽曲を選択し発表します。これまで学んだことを生かし、よりよい表現を目指してがんばりましょう。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:音楽への関心・意欲・態度

音楽は様々な要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など)が関連しあって形づくられていることを判別し、受け入れる。

評価方法……観察
演奏発表

b:音楽表現の創意工夫

楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。

評価方法……観察
演奏発表

c:音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるとともに、創造的に表現に結び付けて演奏する。

評価方法……演奏発表
ワークシート

d:鑑賞の能力

文化的・歴史的背景などの特徴から音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴く。

評価方法……観察
ワークシート
鑑賞の記録

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	**歌唱** 「結ーゆいー」（２部） 「美女と野獣」（斉唱） 「Story」（混３）	歌詞の内容にふさわしい発音の仕方		○		○		**a** 歌詞の内容や音楽を形づくっている要素が、どのように表現上の効果と関わるかについて興味・関心をもっている。 **b** より効果的な表現を目指し、発音の仕方や音楽を形づくっている要素の働きを生かす工夫をしている。 **c** 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音楽の構造を把握（音楽を形づくっている要素の働きに着目）		○		○			
		表現上の効果を意識した歌唱			○	○			
	器楽 **<リコーダー>** 「旅立ちの日に」（AR３部）	曲想の理解		○		○		**a** 音色や奏法の工夫による表現効果に、興味・関心をもっている。 **b** より効果的な表現を目指し、音色や奏法、音楽を形づくっている要素の働きを生かす工夫をしている。 **c** パートの役割を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音色や奏法の特徴、音楽を形づくっている要素の働きの活用			○	○			
		効果的なアンサンブル表現の工夫			○	○			
	器楽 **<ギター>** 「ありがとう」	旋律と伴奏の役割の理解		○		○		**a** 弾き語りの表現に興味・関心をもっている。 **b** 旋律と伴奏のバランス、音楽の構造を意識して、表現を工夫している。 **c** 役割や音楽の構造を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音楽の構造の把握		○		○			
		弾き歌いの表現の工夫			○	○			
1学期	**鑑賞** 「動物の謝肉祭」	表現の効果（曲想と音楽を形づくっている要素の働きの関連を理解する）		○			○	**a** イメージと音楽を形づくっている要素の働きの関連に興味・関心をもち、積極的に感じ取っている。 **d** 聴き取ったことと感じ取	観察 ワークシート

		要素の組み合わせからなる音楽の美しさの感受		○			○	ったことを結び付けて、楽曲の特徴や音楽の美しさを言葉で表している。	
2学期	**歌唱** 「ふるさと」（２部） 「Love,Dream & Happiness」 （混４）	歌詞の内容にふさわしい発音の仕方		○		○		**a** 発音や音楽を形づくっている要素、パートの役割や音楽の構造に興味を持ち、表現を工夫することに、興味・関心をもっている。 **b** 表現意図を持ち、様々な技能を応用し、表現を工夫している。 **c** 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏発表 ワークシート
		各パートの役割や音楽の構造を把握		○		○			
		表現上の効果を意識した歌唱			○	○			
	器楽 **<キーボード>** 「オブラディオブラダ」 （４重奏）	楽器の特性やパートの音域の違い		○		○		**a** 各楽器の特性を感じ取り、パートの役割を考えて表現することに興味・関心をもっている。 **b** 音域やテクスチュアを意識して、アンサンブルにおける表現を工夫して演奏している。 **c** 自分たちの表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏発表 ワークシート
		各パートの役割を考えたアンサンブル表現の工夫			○	○			
	器楽 **<合奏>** 「打楽器のための小品」 「クラッピングカルテット」	音楽の構造や、各パートの役割と関わりの理解		○		○		**a** 音楽を形づくっている要素の働きを意識し、アンサンブルにおける表現に興味・関心をもっている。 **b** 音楽を形づくっている要素の働きを理解して、効果的な表現を工夫している。 **c** 考えた内容を演奏を通じて表現する技能を身に付けている。	観察 演奏発表 ワークシート
		アンサンブル表現の工夫			○	○			
3学期	**歌唱** 「卒業の歌」	曲想や音楽の構造の理解		○		○		**a** 自分たちの表現を、人に伝えられるように演奏するということに興味・関心をもっている。 **b** 思い出を振り返り、歌詞	観察 演奏発表

		創造的な表現の工夫			○	○		と照らし合わせて心情を考え、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫している。 ｃ表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	
	創作・歌唱・器楽 演奏発表会	楽曲に応じたふさわしい表現の工夫（発表を通して音楽経験を豊かにする）		○	○	○		ａ自分たちの表現を、人に伝えられるように演奏するということに興味・関心をもっている。 ｂ効果的な表現を目指し、創造的に表現を工夫している。 ｃ表現したいことを伝えるための演奏技能を身に付けている。	観察 演奏発表 ワークシート
		それぞれの演奏についての相互評価（演奏内容の理解を深める）		○		○			

※年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重みをつけて行う観点）について○を付けている。

令和２年度　美術Ⅲ　　学校番号２００４

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2	学年	３年
使用教科書	高校生の美術３（日本文教出版）						
副教材等	ワークシートプリント						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画・彫刻、デザイン、鑑賞

① 心豊かな表現の構想、表現形式や材料・技法の活用により、独創的な表現を追究する。

② 伝える人の気持ちを考え意図に応じて、形や色彩の効果を生かして考えを独創的に伝えることを学ぶ。

③ 芸術作品の美しさや美術文化について理解を深めるとともに、自己や他者のよさを認め合い、感性と美意識を磨く。

授業の進め方については、絵画やデザインの表現活動において美術の歴史や表現の特質を参照しつつ、また作品の相互評価をするなど表現と鑑賞を一体にして扱う。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ美術への関心・意欲・態度

美術の創造活動の喜びを味わい，多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

評価方法　　学習状況の観察、レポート

ｂ発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、独創的な表現の構想を練っている。

評価方法　　アイデアスケッチ、
ワークプリント

ｃ創造的な技能

創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。

評価方法　制作途中作品、完成作品

ｄ鑑賞の能力

美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

評価方法　　鑑賞レポート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
一学期	【絵画・彫塑】 「手のスケッチ」 「手の塑像」	・手のスケッチデッサン ・塑像制作 ・作品鑑賞		○		○		【a】手のポーズを見つめて造形美として感じ取ったことや考えたことに関心を持ち、主体的に独創的な主題を生成できる。 【b】感性や想像力を働かせて、独創的な主題を創意工夫して生成できる。 【c】主題をより効果的な造形技法で表現できる。 【d】他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 完成作品 レポート
	【鑑賞】 高校展鑑賞レポート	・作品鑑賞		○			○	【a】他者の表現に興味を持ち、主体的に鑑賞の創造活動に取り組める。 【ｄ】美術作品などの表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わえる。	鑑賞レポート
二学期	【デザイン】 「百マススタンプ」	・スタンプによる平面構成 ・作品鑑賞			○	○		【a】図形構成に興味関心をもち、主体的に図形のデザイン構成が取り組める。 【b】形や色彩などの造形要素の機能を踏まえて、独創的な図形表現の構想が練れる。 【c】スタンプの重ね捺しによる色彩効果を理解し、デザインの主題をより効果的な構成方法で表現できる。 【d】他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 制作途中作品 完成作品 レポート ワークプリント
三学期	【デザイン・鑑賞】 「しりとりアニメーション」	・アニメーションコンテの検討作成 ・アニメセルの作画 ・セル画の撮影 ・上映鑑賞			○	○		【a】動画表現することに興味関心をもち、図形の動画的変化のデザインに主体的に取り組める。 【b】形や色彩などの造形要素の動画的変化について考え、独創的な動画表現の構想を練れる。 【c】デザインの主題をより効果的画面構成で表現できる。 【d】美術作品などの表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	学習状況の観察 アイデアスケッチ ワークプリント 完成作品 レポート

学校番号	２００４

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅲ(教育図書)						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の創造的な諸活動を通じ、生涯にわたり書を愛好する心情と書の文化や伝統を尊重する態度を育成するとともに、書道Ⅰ・Ⅱで学習した内容を更に深め、感性を磨き、個性豊かな書表現や鑑賞活動に取り組む。
授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技能)と鑑賞を並行して扱い、評価については各単元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ書への関心・意欲・態度

書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする姿勢を育む。

評価方法：作品・ワークシート

ｂ書表現の構想と工夫

書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。

評価方法：作品・ワークシート

ｃ創造的な書表現の技能

創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、構想に基づいた表現の技能が身についている。

評価方法：作品

ｄ鑑賞の能力

文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさ、書の表現意図を、創造的に鑑賞する。

評価方法：ワークシート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単　元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	「漢字仮名混じり」の学習	◆グループ学習を行い、相互批正をおこなうことで、コミュニケーション能力と他者の作品を尊重する心情を育てる。 ◆漢字仮名混じり文で作品制作を行なうための、基本的な表現方法を硬筆で行う。 ◆詩句のイメージ・内容を理解し、字形の変化や紙面への配置など、ふさわしい表現を構想・工夫し、硬筆で作品の草稿を作成する。 ◆毛筆での制作にあたり、詩句のイメージ・内容が伝わるように用筆法を工夫する。		○	○	○	○	a：表現とは何かを理解し、積極的に取り組んでいる。 作品の唯一性を尊び、丁寧に作品を扱っている。 b：語句の意味を考え、制作時の表現意図が作品に反映するよう工夫している。 c：構想をもとに、表現する技能を身に付け表している。 d：作品の相互批評を行い、自他の作品の意図を考え、個々にしか書けない文字の尊さを感じその良さを味わっている。 製作段階に応じ、各観点を提示	ワークシート （作品） 観察
	表具	◆上記、制作した作品を文化祭に展示できるようパネルに表具する。 ◆各自の作品が唯一物であることを理解し、物品などに対し大切に扱う心情を育てる。		○	○			a：作品表具の際、作品の唯一性を尊び、丁寧に作品を扱っている。 b：表具の際のマット・化粧紙の色調など自分の作品に合うよう、工夫している。	作品 観察
	硬筆	◆硬筆で実用書を学び常識的な書式や文化を理解する。 ◆行書体での「暑中見舞い」を制作する。			○	○		b：ハガキの書式を理解し、丁寧さを持って制作し、工夫している。 紙面の文字の大きさ・バランス・配置など適正である。 c：行書の特徴・技法を適切に表現できている。	ワークシート 作品 観察
2学期	古典臨書学習	◆書道Ⅰ・Ⅱで学習した篆書・隷書・楷書・行書・草書・仮名を書道Ⅲの教科書を中心に順次学習する。 ◆書道Ⅰ・Ⅱで修得した技能・知識を確認しつつ、感性をもって臨書での表現を工夫する。 ◆様々な書体の中から、興味をもち得意となる古典を発見させる。				○	○	c：各古典の特徴を理解し、構想に応じ表現を工夫している。 d：各古典の特徴を考察し、美しさや趣を味わっている。	ワークシート 作品 観察
	臨書作品制作	◆上記内容をふまえ、各自古典を1つ選択して作品制作を行う。 ◆作品サイズに合う落款印を制作する。		○	○			a：体験を通じ、作品制作の古典選びを積極的に根拠を持って行えている。 b：各古典の歴史的背景・特徴を理解し表現を工夫している。	ワークシート 作品 観察
3学期	共同作品 ・「卒業の歌」	◆卒業式に歌う「卒業の歌」を題材に、協同作品を制作する。 ◆歌詞全体を受講生全員で分担し、半紙程度の作品サイズで制作し卒業式に展示する。 ◆担当部分の前後する作品の構成を考慮し、常に全体でコミュニケーションをとりながら作業を進める事で、共同作品としての作品レベルの向上と責任感の共有を意識付ける。		○	○			a：表現とは何かを理解し、積極的に取り組んでいる。 学生生活最後の作品として、受講生全体で協調・協力の念を持って作品制作に取り組もうとしている。 b：自分の作品だけでなく、共同作品として構成するにあたり、自他の作品が活かせるよう相互批正を有効に活用し、自分の表現を構想・工夫している。	ワークシート 作品 観察

学校番号	2004

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)幼児教育音楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	バイエル教本、自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

幼児教育系に進学をめざす生徒を対象に、歌唱や鍵盤楽器の独奏、アンサンブルの表現の諸能力を養います。

楽曲のイメージを、音楽がどのように形づくられているかということに関連させて表現する方法について学習し、幼児教育における、より効果的な音楽表現について学んでいきましょう。実技テストは授業中に個別、又は発表形式で行います。お互いに演奏を聴き合うことで他者の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていき、今後の音楽表現に生かしていきましょう。

２　学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:音楽への関心・意欲・態度

楽曲の曲想や背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、演奏したり鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法……観察
演奏発表

b:音楽表現の創意工夫

楽譜に書かれていることをそのまま音にするだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。

評価方法……観察
ワークシート
演奏発表

c:音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるとともに、創造的に表現に結び付けて演奏する。

評価方法……演奏発表

d：鑑賞の能力

文化的・歴史的背景などの特徴から音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴く。

評価方法……観察
ワークシート
鑑賞の記録

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	**ピアノに親しもう！** 「音階」 「練習曲」 （バイエル教本）	ピアノの基礎的な奏法		○		○		**a** 基本的な奏法を理解し、演奏することに興味・関心をもっている。 **c** 旋律と伴奏の役割を意識し、強弱など表現に必要な技能を身につけている。	観察
		旋律と伴奏の意識、強弱の効果		○		○			
		表現の工夫		○	○	○			
	伴奏の役割を知ろう！ 「きらきら星」 「桃太郎さん」 「むすんでひらいて」	旋律の伴奏付け (和音)		○		○		**a** 伴奏型の違いによる表現効果に、興味・関心をもっている。 **b** 伴奏型によるイメージの違いを生かして表現を工夫している。 **c** 旋律と伴奏の役割を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏テスト
		表現の工夫 （楽曲のイメージに応じた伴奏型の選択）			○	○			
	歌詞のイメージを表現しよう！ 「童謡等」	基本的な歌唱法		○		○		**a** 基本的な歌唱法を理解し、興味・関心をもっている。 **b** 歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを生かして、表現を工夫している。 **c** 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏テスト
		歌詞のイメージをわかりやすく伝えるための表現方法の工夫			○	○			
	様々な曲想にふれよう！ 「天国と地獄」 「草競馬」 「大きな栗の木の下で」 「ト調のメロディー」 「星かげさやかに」 「スラブ行進曲」	音楽を形づくっている要素とその働きの理解		○		○		**a** 音楽を形づくっている要素の働きに興味・関心をもっている。 **b** 音楽を形づくっている要素を生かして表現を工夫している。 **c** 音楽を形づくっている要素を生かして、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏テスト
		イメージをもった音楽表現の工夫 （楽曲のイメージを変化させるためには、どのような要素の働きが効果的であるか）			○	○			

2学期	**ピアノ連弾にチャレンジ** 「選択曲」	楽曲に応じたふさわしい表現の工夫		○		○		**a** アンサンブルの表現に、興味・関心をもっている。 **b** 演奏相手と共に、アンサンブルによる表現を工夫している。 **c** 役割を理解し、アンサンブルとしての表現技能を身に付けている。	観察 演奏発表 ワークシート
		お互いの役割の理解				○			
		アンサンブルの表現能力 （発表を通して音楽経験を豊かにする）			○	○			
		演奏発表の相互評価 （演奏内容を深める）		○		○			
		曲のイメージを伝えための自分の役割の理解				○			
		グループでのアンサンブルにおける表現の工夫			○	○			
	弾き歌いにチャレンジ！ 「童謡等」	旋律と伴奏のかかわり		○		○		**a** 旋律と伴奏のかかわり、表現効果に興味・関心をもっている。 **b** 旋律、ハーモニーを中心に、音楽を形づくっている要素を生かして、表現を工夫している。 **c** 旋律と伴奏の役割を意識し、表現したいことをわかりやすく伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏テスト
		楽曲に応じたふさわしい表現の工夫			○				
		人にわかりやすく伝えるための演奏技術 （演奏形態による表現効果の違い）			○	○			
	ESSENCE OF MUSIC **＜鑑賞＞**	音楽を形づくっている要素の理解		○			○	**a** 楽曲の特徴や表現上の効果などに、興味・関心をもっている。 **d** 音楽を形づくっている要素と感じ取ったことを結び付けて、特徴を言葉で表している。	観察等 ワークシート
	イメージを表現しよう	音楽の構成要素の理解		○		○		**a** イメージを基に、構成要素の工夫を積極的に考えている。 **b** 構成要素を意識して、表現を工夫して編曲している。	観察 演奏発表 ワークシート
		音楽の構成要素の働きによる特徴や雰囲気の感受		○					

		イメージに合わせた編曲			○	○		c 自分たちの表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	
	最後の発表に向けて 「自由曲」	演奏形態、演奏曲、使用する楽器（鍵盤楽器）などすべて自分で選択		○		○		a 自分たちの表現を、人に伝えられるように演奏することに興味・関心をもっている。	観察 ワークシート
		イメージに伴う表現の工夫			○	○		b 音楽を形づくっている要素の働きを生かして、創造的に表現を工夫している。 c 表現したいことを伝えるための演奏技能を身に付けている。	
3学期	**１年間の成果を披露しよう** 学年末発表会 「自由曲」	楽曲に応じ表現の工夫 （発表を通して音楽経験を豊かにする）		○	○	○		a 自分たちの表現を、人に伝えられるように演奏するということに興味・関心をもっている。	観察 演奏発表 ワークシート
		それぞれの演奏についての相互評価 （演奏内容を深める）		○		○		b 歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを生かして、創造的に表現を工夫している。 c 表現したいことを伝えるための演奏技能を身に付けている。	

※年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重みをつけ行う観点）について○を付けている。

学校番号	２００４

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)書道演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書作を通して、書に関心を持ち愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、探究心を育成し表現と鑑賞の能力を伸ばす。
また、相互批評などのグループ学習をすることでコミュニケーション能力の向上をめざし、書道芸術作品と自他を尊重する心を育む。
授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技能)と鑑賞を並行して扱い評価については、各単元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育成するとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばす。書を生活の中で身近なものであると認識し，文化的教養を身に付けるとともに表現することを通じ自他を尊重する心を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ書への関心・意欲・態度

書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

評価方法：作品・ワークシート

ｂ書表現の構想と工夫

書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。

評価方法：作品・ワークシート

ｃ　創造的な書表現の技能

創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、構想に基づいた表現の技能が身についている。

評価方法：作品

ｄ鑑賞の能力

書作品の構想・工夫などの表現意図を、創造的に鑑賞することができる。

評価方法：ワークシート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単　元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
１学期	「いろはうた」による作品製作①	◆「いろはうた」を題材に作品製作をする。 ◆様々な表現技法を習得する。		○		○		a：制作意図を理解し積極的に取り組んでいる。 c：１本の筆で様々な線を書き分ける技能を身に付け表している。	作品 観察
	「いろはうた」による作品製作②	◆全員同じ言葉を使用し，作品制作をすることで，自分にしか書けない作品をテーマにし，文字における個性と表現の工夫を個々に見つけ出す。			○		○	b：用筆法を工夫し、字間行間を工夫している。 d：自分の作品の工夫、他者の作品の工夫を相互批正し合う事で、個々の作品の良さを味わっている。	ワークシート 作品 批評レポート 観察
	「いろはうた」作品の パネルまたは軸装 篆刻	◆制作した作品を展示できる形にすることで書作品への関心を深めるとともに次回作への向上心と反省の念を促す。 ◆「いろはうた」作品に押す印の制作		○	○			a：表具（装丁）作業において自分の作品を大切に扱っている。 物品・器物への取扱に注意し、安全に作業を行っている。 b：作品に合う印になるよう工夫している。	作品 感想レポート 観察
２学期	小作品制作	◆墨・紙と字形の変化を工夫し、語句、単語を豆色紙に書作する。 ◆作品の趣が、語句の意と合致するよう表現の工夫を促す。		○	○			a：制作時の意図を理解し積極的に取り組んでいる。 b：語句の意味を感性をもって理解し、意図をもって表現できているか。	ワークシート 作品 観察
	実用細字	◆小筆を使用し学習する。 ◆祝袋など冠婚葬祭を中心とした書式を学ぶとともに，字くばりなどのバランス感覚を学ぶ。			○		○	b：用筆法だけでなく、紙面に対する文字の大きさや余白を考え工夫している。 d：作品の相互批評を行い、バランス良く書くとは何かを理解しその良さを味わっている。	ワークシート 作品 観察
	さまざまな書式	◆命名・結納など筆書きの書式を学習する。		○	○			a：書式に応じて美しい文字を書くために、積極的に取り組んでいる。 b：用筆法だけでなく、紙面に対する文字の大きさや余白を考え工夫している。	ワークシート 作品 観察
３学期	さまざまな表現	◆ポスターやメニューを作成する ◆自分の氏名や商品や店名ロゴを筆文字でデザインする			○		○	b：適切な表現方法を選択し、文字の大きさや配置など、構想に基づいて工夫している。 d：制作者の表現の意図や、紙面に対する文字の大きさ配置など、根拠を持って相互批正している。	ワークシート 作品 批評レポート 観察

学校番号	２００４

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)硬筆書道	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

個々の書き癖を理解させ、美しく文字を書くために必要な目標を個々に立てさせることで、丁寧で読みやすい文字を書く心情を育てる。
文字の字形だけでなく文字の大きさや配置で印象が変わることを理解させる。授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技能)と鑑賞を並行して扱い評価については、各単元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

２　学習の到達目標

文字を美しく書きたいという欲求と心情を育てる。文字により文化が伝達・継承されてきたことを理解し、読みやすく美しい文字を書くことの必要性を学ぶ。縦書き、横書きなど様々な書式を使用する上で、文字の大きさや配置などバランスよく書くとは何かを考える。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ書への関心・意欲・態度

書が身近なものであることを実感し、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞ができる態度を育む。

評価方法：作品・ワークシート

ｂ書表現の構想と工夫

書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、書の創造的活動の喜びを味わい、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。

評価方法：作品・ワークシート

ｃ創造的な書表現の技能

創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、表現方法を選択し活用できるよう、様々な表現技能を習得する。

評価方法：作品

ｄ鑑賞の能力

文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、その価値を考え、書のよさや美しさ、書の表現意図について創造的に鑑賞する。

評価方法：　ワークシート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単　元 （学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	印象の良い文字の書き方	◆丁寧で読みやすい文字を書く心情を育てる。 ◆紙面・マス目に対しての文字の大きさの学習 ◆ボールペンの用筆法		○		○		a：丁寧で読みやすい文字を書こうと意欲的・向上心を持って取り組んでいる。 c：筆記具に応じた持ち方や使用法を身に付け表している。	ワークシート 作品 観察
	漢字（楷書）の学習	「部首別による学習」 ◆部首名の学習 ・部首ごとに結構法を学習する。 ◆旧字体・異体字の知識 ◆紙面・マス目に対しての文字の大きさの学習 「横書き文章の学習」 ◆横書き文章のまとめ方の学習 ・自分の名前や住所などを中心に履歴書の制作を行なう。			○		○	b：文字を美しく書くための方法の理解し、文字の大きさ・配置などを工夫している。 d：他者の作品と自分の作品とを比較し、共通の長所・短所を模索することで、配置や結構法などバランスとは何かを考えその良さを味わっている。	ワークシート 作品 観察
2学期	縦書き文章の練習	◆はがき・封筒の表書き書式 ◆縦書き文章のまとめ方の学習 ・手紙文を題材に縦書き文章のまとめ方を学習する。 ・時候の挨拶など日本文化としての手紙の書式を学習する。		○	○			a:丁寧で読みやすい文字を書こうと意欲的に取り組もうとしている。 b：文字を美しく書くための方法の理解し、文字の大きさ・配置などを工夫している。	ワークシート 作品 観察
	行書による学習①	◆自分の名前の楷書・行書の違いを意識し書く。 ◆前単元を行書を扱い学習する。		○			○	a：新しい書体について関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 d：楷書・行書の違い観察し、表現に結びつけその良さを味わっている。	ワークシート 作品 観察
	行書による学習②	◆前項の内容をふまえ筆ペンを使用し年賀状や祝儀袋などの書き方を学習する。			○	○		b:行書の特徴をふまえ、文字を美しく書くための方法の理解し、文字の大きさ・配置などを工夫している。 c:筆ペンを、効果的に使用する技能を身に付け表している。	ワークシート 作品 観察
3学期	感謝状の作成	◆卒業にあたり、筆ペンを使用し感謝状を作成する。 ◆賞状筆耕の書式・規範に従い制作する事で、文字の大きさ・太さ・ 配置などを工夫し、文書全体のバランス感覚を養う。			○		○	b:賞状制作時の規範に従い作成している。 筆記具の違いを理解し、太さの違いと文字の大きさに変化をつけ、見やすく訴求力の高い作品を工夫して制作している。 d:他者の作品と自分の作品とを比較し、長所・短所を模索することで配置や結構法・配置などバランスの良さを味わっている。	ワークシート 作品 観察

学校番号	2004

令和　２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	１年次	数研出版 「Big Dipper English Communication　Ⅰ」 美誠社「WORDBOX」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、英語で読んだり聞いたりしたことをもとにペアやグループで活動する機会が多くあります。活動の中での間違いは英語上達のための宝です。間違いを恐れずに積極的に活動に参加して下さい。

・まとまった長め英語でも、少しずつ意味のかたまりを意識して読めるようになりましょう。授業や予習を通して読むコツをつかんで、英語で読むことを楽しめるようになって下さい。

・音読は英語を学習していくうえで非常に重要です。内容をイメージしながら何回も英文を音読して、英語を体に染み込ませて下さい。

・予習ができているか、授業をうける姿勢が整っているか（教科書・ノート・ファイルなどがそろっているか）を必ず確認します。家庭学習や授業の準備をきちんとして、学ぶ習慣をつけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現基礎」（２単位）

主な教材：Big Dipper English Communication　Ⅰ、速読英単語　入門編

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
事前に準備した上で、基本の語句、表現を用いた身近なこと（クラブ、好きなスポーツ、音楽等）に関する文を覚えて発表することができる。	コミュ英Ⅰ ワークシート 英基礎 レシテーションコンテスト	簡単な語句や基本表現を使ってメッセージカードや簡単な連絡メールを作ることができる。 （趣味や学校生活に関する内容を覚えて発表することができる。）	コミュ英Ⅰ 定期考査 英基礎 定期考査	ゆっくり発話される基本的な語句を使った４文程度の英文（趣味や学校生活に関すること）を聞いて、その内容を正確に理解できる。	英基礎 定期考査 リスニングテスト	基本の語句や表現から構成される３文程度の英文を文法事項、慣用表現等も確認し、内容を理解しながら音読でき、簡単な携帯メールや、招待状のような英文を理解できる。	コミュ英Ⅰ 定期考査 音読テスト

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	授業に参加するための準備ができているか、ペアやグループで積極的に言語活動を行っているかを基準に評価する。	ワークシートに自分の意見や本文の要約などを英語で書き、ペアやグループで口頭で発表し、質問しているかを基準に評価する。	内容を意識しながら本文を音読しているか、本文に関する質問に適切に答えているか、定期テストにおいて内容理解を問う問題に適切に答えられているかを基準に評価する	コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通じて身につけられているか、各単現の表現の使い方を理解できているかを基準に評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (8 時間)	日本の学校と海外の学校の異なる点を読み、それぞれの良い点や悪い点を考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・日本と海外の学校に関して、自分の経験や意見を交換する。	・パートごとに日本と海外それぞれの学校の良い点・悪い点を考え、話すためにワークシートに記入し、それを参考に意見を交換する。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・日本と海外の学校に関して、自分の経験や意見を交換できる。	・授業の初めに予習の取り組み状況などを確認する。 ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」Ⓛ			
		・日本や海外の学校について、事前に準備した簡単な英文で自分の意見を発表する。	・日本や海外の学校についてワークシートに話す内容を書き、相手に伝わるように発表する。	・日本や海外の学校について、事前に準備した簡単な英文で自分の意見を発表できる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。 ・日本や海外の学校関する英文を読んだり聞いたりして、簡単な質問に答える。	・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。 ・日本や海外の学校に関する英文を聞いて、ワークシートに適切な答えを記入する。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。 ・日本や海外の学校に関する英文を読んだり聞いたりして、簡単な質問に答えられる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストの筆記テストにおいうて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 ・ノートやワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓦ			
		・現在形、過去形・現在進行形・未来を表す will など時を表す基本的な表現の使い方を理解する。 ・コミュニケーション	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければ	・現在形、過去形・現在進行形・未来を表す will など時を表す基本的な表現の使い方を理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

		に必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	やり直しを提出する。	・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して身についている。	・小テスト
Lesson 2 (8時間)	パンダがなぜ人々に愛されているか、パンダを取り巻く環境がどう変化しているかを説明する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・ペアやグループで音読し、アドバイスをしあう。	・本文を発音やイントネーション、間を意識しながらペアで音読して、ワークシートにアドバイスを書きこむ。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・相手の音読をしっかり聞いて、自分のアドバイスを伝えようとしている。	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」Ⓛ			
		・動物について事前に準備した簡単な英文で自分の意見をペアで話し合う。	・ワークシートに話す内容を書き、暗記して、ペアに伝わるように発表する。	・動物について事前に準備した簡単な英文で自分の意見をペアで話し合っている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」Ⓢ			
		・英文を意味のかたまりで区切り、音読する。 ・本文を読み、その内容の時系列ごとに絵や英文で整理して並び替える。	・英文を意味のかたまりでの区切り方やその利点を知り、意味のかたまりごとに読んでいく練習をする。 ・保護されたパンダがどのように育つのか時系列を整理する。	・英文を意味のかたまりで区切り、自然な間で音読できる。 ・本文を読み、その内容の時系列ごとに絵や英文で整理して並び替えられる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ノートやワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」 Ⓦ			
		・<SVC><SVO>を持つ文の構造や、動名詞・不定詞の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・<SVC><SVO>を持つ文の構造や、動名詞・不定詞の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して身についている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト
Lesson 3 (8時間)	アンパンマンが人気になったのにはどのような経緯があったのかを説明する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 ⓈⓁ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・間違いを恐れず、ペアの相手の意見に対して簡単な質問をしたり、質問に答えたりする。	・自分が好きなもの・嫌いなものに関して英文をワークシートに書いて発表し、その理由や具体例をペアで質問しあう。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・間違いを恐れず、ペアの相手の意見に対して興味を持ち、簡単な質問をしたり、質問に答えたりできる。	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		・自分が好きなものや嫌いなものについて事前に準備した簡単な英文で自分の意見を言い、それに関する質問に答える。	・自分が好きなもの・嫌いなものに関して英文をワークシートに書いて発表し、その理由や具体例をペアで質問しあう。	・自分が好きなものや嫌いなものについて事前に準備した簡単な英文で自分の意見を言い、それに関する質問に答えられる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」 Ⓡ			
		・本文関する英文を読んだり聞いたりして、簡単な質問に答える。 ・主題文を意識して読み、文の要旨を読み取る。	・アンパンマンが人気になった経緯に関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。 ・主題文がどのような文なのかを学び、それを	・本文に関する英文を読んだり聞いたりして、簡単な質問に答えられる。 ・主題文を意識して読み、文の要旨を読みとれる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 ・ノートやワークシー

		・何回も英文を音読して内容の定着を図る。	意識して文の要旨を読み取る練習をする。 ・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。	トを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ペアでの言語活動を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」 Ⓦ			
		・受動態・〈SVOO〉〈SVOC〉〈SVO〉（0 が that 節や疑問詞＋to 不定詞）構造を持つ文の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身に	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・受動態〈SVOO〉〈SVOC〉〈SVO〉（0 が that 節や疑問詞＋to 不定詞）構造を持つ文の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト
Lesson 4 （ 9 時間）	携帯電話が辿った歴史と人々の暮らしにもたらした変化について学び、携帯の特徴や問題を考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 ⓈⒶ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・携帯電話についての情報や考えを間違いを恐れずに話す。	・ワークシートを使いながら、本文についての情報を整理して発表したり、携帯電話の特徴や問題を考えてペアで共有する。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・携帯電話についての情報や考えを間違いを恐れずに話せる。	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」 Ⓦ			
		・携帯電話に関する英文を読み、その内容について写真や表を用いて説明する。	・携帯電話に関する英文を読み、ワークシートにその内容について写真や表を用いて整理をし、相手に伝わるように発表する。	・携帯電話に関する英文を読み、その内容について写真や表を用いて説明できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」 Ⓡ			
		・携帯電話に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。 ・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。	・携帯電話に関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。 ・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。	・携帯電話に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答えられる。 ・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。	・ノートやワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」 Ⓦ			
		・現在完了や関係代名詞・分詞を持つ文の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・現在完了や関係代名詞・分詞を持つ文の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して身についている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト

Lesson 5 （９時間）	ユニバーサルデザインが何かを学び、身近なユニバーサルデザインを持つものについて考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 Ⓢ Ⓛ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・ユニバーサルデザインについての情報や考えを間違いを恐れずに話す。	・ワークシートを使いながら、本文についての情報を整理して発表したり、ユニバーサルデザインについて考えてペアで共有する。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・ユニバーサルデザインについての情報や考えを間違いを恐れずに話せる。	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」 Ⓦ			
		・習った表現を使い、ユニバーサルデザインについて写真などを用いて説明する。	・教科書の例を参考に身近なユニバーサルデザインを持った商品を考え、ワークシートにメモを取った上でグループで説明しあう。	・習った表現を使い、ユニバーサルデザインについて写真などを用いて説明できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」 Ⓡ			
		・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。 ・ユニバーサルデザインに関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。	・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。 ・ユニバーサルデザインに関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。 ・ユニバーサルデザインに関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答えられる。	・ノートやワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」 Ⓦ			
		・形式主語・比較級・原級・最上級の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・形式主語・比較級・原級・最上級の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して身についている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト
Lesson 6 （９時間）	ハリーポッターシリーズに J. K. Rowling がどのようなメッセージを込めたのかを考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 Ⓢ Ⓛ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・ハリーポッターについての情報や考えを間違いを恐れずに話す。	・ワークシートを使いながら、本文についての情報を整理して発表したり、ハリーポッターの秘められたメッセージなどについて考えてペアで共有する。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・ハリーポッターについての情報や考えを間違いを恐れずに話せる	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」 Ⓢ			
		・ハリーポッターの秘められたメッセージに関して事前に準備した簡単な英文で自分の意見を言い、それに関する質問に答える。	・ワークシートを使いながら、ハリーポッターの秘められたメッセージなどについて考えてペアで意見を交換し、質問しあう。	・ハリーポッターの秘められたメッセージに関して事前に準備した簡単な英文で自分の意見を言い、それに関する質問に答えられる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。

		「外国語理解の能力」 Ⓡ			
		・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。 ・ハリーポッターに関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。	・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。 ・ハリーポッターに関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。 ・ハリーポッターに関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。	・ノートやワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」 Ⓦ			
		・would/used to や過去完了、SVO+to 不定詞の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の小テストを実施し、必要であればやり直しを提出する。	・would/used to や過去完了、SVO+to 不定詞の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して身についている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト
Lesson 7 (9 時間)	自転車には様々な利点がある一方、問題もある。日本や海外の自転車事情を知り、問題を改善していくにはどのようにすればいいかを考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 ⓈⒸ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・自転車についての情報や考えを間違いを恐れずに話す。	・ワークシートを使いながら、本文についての情報を整理して発表したり、自転車が引き起こす問題をどのように改善できるかついて考えてペアで共有する。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・自転車についての情報や考えを間違いを恐れずに話える。	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」 Ⓢ			
		・自転車に関する英文を読み、その利点や問題、海外の事情などを写真や表を使って説明する。	・本文に関する英文を読み、ワークシートに自転車の利点や問題、海外の事情などを写真や表を使い整理し、それをペアで発表しあう。	・自転車に関する英文を読み、その利点や問題、海外の事情などを写真や表を使って説明できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」 Ⓡ			
		・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。 ・自転車に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。	・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。 ・自転車に関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。 ・自転車に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答えられる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ノートやワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」 Ⓦ			
		・分詞・SVOC(C=現在分詞・原形不定詞)構文の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・分詞・SVOC(C=現在分詞・原形不定詞)構文の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して身についている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト

Lesson 8 （９時間）	「大人とは何か」を法的な定義や個人の認識を通して考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」ⓈⓁ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・グループで協力して、英語で「大人としての認識」に関する統計についてプレゼンテーションをする。	・ワークシートを使いながら、教科書の内容についてまとめて、聞き手を意識しながらプレゼンテーションをする。聞いている方は発表者にアドバイスをする。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・グループで協力して、英語で「大人としての認識」に関するアンケートについてプレゼンテーションをしている。	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」　Ⓢ			
		・「大人としての認識」に関する統計について内容をまとめて、聞き手を意識してプレゼンテーションをする。	・ワークシートを使いながら、教科書の内容についてまとめて、聞き手を意識しながらプレゼンテーションをする。	・「大人としての認識」に関する統計について内容をまとめて、聞き手を意識してプレゼンテーションをしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」ⓈⓁ			
		・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。 ・大人の定義に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。	・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。 ・大人の定義に関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。 ・大人の定義に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答えられる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓦ			
		・関係副詞・形式主語・つなぎ表現の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・関係副詞・形式主語・つなぎ表現の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙が速読英単語を通して身についている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト
Lesson 9 （９時間）	フードマイルズとは何かを学び、その問題と解決策を考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」ⓈⓁ			
		・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・グループで協力して、身近な食品がどこからきたのかを調べる。	・身近な食品がどこからきたのかをグループで協力して調べて、ワークシートに記入し、ペアやグループで発表する。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受けている。 ・身近な食品がどこからきたのかグループで協力して調べられている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」　ⓈⓁ			
		・身近な食品がどこからきたのかを調べて、ペアやグループで発表する。	・身近な食品がどこからきたのかをグループで調べて、ワークシートに簡単な英語でまとめて、ペアやグループで発表する。	・身近な食品がどこからきたのかを調べて、ペアやグループで発表できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・グループでの言語活動を観察する。

		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。 ・本文に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。	・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。 ・本文に関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。 ・本文に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答えられる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓦ			
		・関係副詞・仮定法過去の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・関係副詞・仮定法過去の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につけている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト
Lesson 10	世界で活躍する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」ⓈⒶ			
(9時間)	サッカー選手はサッカーの技術だけでなく、論理的思考を持っている。論理的思考とは何かを知り、どうすればそれを身につけられるかを学ぶ内容。	・予習や授業の準備をし、積極的に授業を受ける姿勢がある。 ・スポーツをしているかや論理的思考を持っているかをグループで協力して英語で聞きあう。	・ワークシートにスポーツをしているかや論理的思考を持っているかなどの質問と答えをあらかじめ考えて記入し、それを参考にグループで英語で聞きあう。	・スポーツをしているかや論理的思考を持っているかをグループで協力しながら英語で聞きあっている。	・授業の初めに予習などの取り組み状況を確認する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」 ⓈⓌ			
		・スポーツをしているかや論理的思考を持っているかをグループで英語で質問したり、答えたりする。 ・本文の要約を聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートにスポーツをしているかや論理的思考を持っているかなどの質問と答えをあらかじめ考えて記入し、それを参考にグループで英語で聞きあう。 ・本文の要旨をワークシートに整理し、それを参考に本文の要約を口頭でペアに伝える。	・スポーツをしているかや論理的思考を持っているかをグループで英語で質問したり、答えたりできる。 ・本文の要約を聞き手に伝わるように話せる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・グループやペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		・何回も英文を音読して、内容の定着を図る。 ・論理的思考に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答える。	・英文の内容を意識しながら、声に出して読む。 ・論理的思考に関する英文を読んだり聞いたりして、適切な受け答えができる。	・英文の内容を意識し、適切な間・発音で読めている。 ・論理的思考力に関する英文を読んだり聞いたりして、質問に答えられる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する ・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓦ			
		・間接疑問や関係代名詞、強調構文の使い方を理解する。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・速読英単語の新出語が定着しているか確認し、定着度が低ければやり直しを提出する。	・間接疑問や関係代名詞、強調構文の使い方を理解できる。 ・コミュニケーションに必要な語彙を速読英単語を通して身につけている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・小テスト

学校番号	2004

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	２年次	増進堂「NEW FLAG English CommunicationⅡ」 増進堂「NEW FLAG English CommunicationⅠ」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」の４技能の力をつけるため、授業ではペアやグループで言語活動を多く行います。間違いを恐れず積極的に取組みましょう。

・授業のはじめに、予習(宿題)ができているか確認します。コミュニケーションに必要となる基本的な語句や表現をしっかり覚えましょう。

・音読活動は、英語を学習するのに大切な練習です。リズムやイントネーションに注意して、文の意味も意識しながら何度も音読しましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
自分自身のことは、前もって準備した上で１分程度でスピーチができる	コミュ英Ⅱ スピーチ 英表Ⅰ スピーチコンテスト	自分の夢や目標、日常生活について５～６文の文章で表すことができる。	コミュ英Ⅱ 定期考査 英表Ⅰ 定期考査	・簡単な表現の使われた物語や説明文を聞いて概要を理解することができる。	コミュ英Ⅱ ワークシート 英表Ⅰ ワークシート	様々な種類の 50 語程度の文章を読んで、内容を理解することができる。	コミュ英Ⅰ 定期考査 ワークシート

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CHAPTER 6 (9時間)	ドイツの画家デューラーとその友人のハンスがいかに大切な友情を育てたか、について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 S			
		読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べようとすることができる	デューラーとハンスの話を読み、感想を話す	読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べようとしている	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」 S			
		読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べることができる	デューラーとハンスの話を読み、感想を話す	読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べようとしている	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語理解の能力」R			
		デューラーとハンスついての英文を読み，その内容を理解できる	本文の内容に関する問題を解き、全体の要旨を理解しているか確認する。	デューラーとハンスについての英文を読んで，その内容を理解している	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」 W			
		SVO$_1$O$_2$（O$_2$=that 節），形式主語 it（It is ～ that 節），関係代名詞 that，現在完了進行形の用法を理解する	・本文中で用いられている文の意味や用法を確認する ・言語の使用場面と働きを意識した問題を解く	SVO$_1$O$_2$（O$_2$=that 節），形式主語 it（It is ～ that 節），関係代名詞 that，現在完了進行形の用法を理解する	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
CHAPTER 7 (9時間)	自然を愛し、困難をものともせずに目標に向かって進む金城さんが達成した話について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる	まとまりのある英文を聞き、メモを取る活動をする	聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」S			
		本文に関連したトピックについて、自分の考えや意見を述べることができる	自分たちができるエコ活動を考え、クラスメイトに提案する	本文に関連したトピックについて、自分の考えや意見を述べている	プレゼンテーションを行う
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる	まとまりのある英文を聞き、メモを取る活動をする	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		自然保護の重要性とそれを維持していく必要性を再認識することができる	本文の内容を読み取り、その要約と感想を書く	自然保護の重要性とそれを維持していく必要性を再認識することができる	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CHAPTER 8 (9時間)	日本語と英語を、書道を使ってみごとにかけ合わせた國重さんの芸実について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりすることができる	自分の住んでいる所について簡単な表現を用いての対話をする	互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりしている	・ペアでの言語活動を観察する ・ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		本文の内容を英語で要約して書くことができる	穴埋め形式で要約文を完成させる	本文の内容を英語で要約して書いている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる	まとまりのある英文を聞き、必要な情報を聞き取る	語句や表現などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		「英漢字」とはどのようなものかを理解できる	本文の内容に関する問題を解き、全体の要旨を理解しているか確認する	言語の違いを理解するための文化的背景を理解している	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
CHAPTER 9 (9時間)	火星への移住計画について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けることができる	ワークシートを用いて本文の概要を把握する	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」S			
		本文に関する英語の質問に対して柔軟に答えることができる	質問を考え、ペアの相手に質問し、ペアの相手はその質問に答える	本文に関する英語の質問に対して柔軟に答えている	ペア活動の様子を観察する
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容を的確に聞き取ることができる	音声による英問英答や True or False? に答える	語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容を的確に聞き取っている。	・生徒の様子を観察する ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		as if ～，仮定法過去，関係副詞 why，仮定法過去完了の用法を理解することができる	・本文中で用いられている文の意味や用法を確認する ・言語の使用場面と働きを意識した問題を解く	・「話すこと」の言語活動に用いられている語句や文法事項などについての知識を身につける ・仮定法過去の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CHAPTER10 (10 時間)	「マンガの神様」と呼ばれた手塚治虫の人生哲学について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる	本文を読んで感じたことを基本的な語句や表現を用いて書く	うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		本文に関連したトピックについて、まとまりのある英文を書くことができる	手塚治虫役と記者役のインタビューの原稿を作成する	本文に関連したトピックについて、まとまりのある英文を書いている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現などの知識を活用して内容を的確に読み取ることができる	まとまりのある英文を読んで、必要な情報を読み取る	語句や表現などの知識を活用して内容を的確に読み取っている	初見の文章を読む筆記テストにおいて判断する
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		「書くこと」の言語活動に用いられている語句などの知識を身につけることができる	本文の内容について自分の意見を書く	「書くこと」の言語活動に用いられている語句などの知識を身につけている	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
CHAPTER 1 (9 時間)	桜を植えることに一生を捧げた佐藤良二さんについて	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べようとすることができる	佐藤良二さんの話を読み、感想を話す	読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べようとしている	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」S			
		読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べることができる	佐藤良二さんの話を読み、感想を話す	読んだ内容について、間違いを恐れず、意見や感想を述べようとしている	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語理解の能力」R			
		佐藤良二さんついての英文を読み，その内容を理解できる	本文の内容に関する問題を解き、全体の要旨を理解しているか確認する。	佐藤良二さんについての英文を読んで，その内容を理解している	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		受動態、関係代名詞、関係副詞 where/when の用法を理解することができる。	・本文中で用いられている文の意味や用法を確認する ・言語の使用場面と働きを意識した問題を解く	受動態、関係代名詞、関係副詞 where/when の用法を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CHAPTER 2 (9時間)	日本で英語が話せるようになることは決して不可能ではないということを知る。そして、そのコツを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる	まとまりのある英文を聞き、メモを取る活動をする	聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」S			
		本文に関連したトピックについて、自分の考えや意見を述べることができる	英語学習のアプリケーション広告から必要な情報を読み取り、一番使いたいものをグループで意見交換する	本文に関連したトピックについて、自分の考えや意見を述べている	グループで意見交換を行い、その取組状況を判断材料とする
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる	まとまりのある英文を聞き、メモを取る活動をする	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		母語ではなく，外国語としての英語学習に関する現状と，勉強のヒントについて正確に捉えることができる。	本文の内容を読み取り、その要約と感想を書く	母語ではなく，外国語としての英語学習に関する現状と，勉強のヒントについて正確に捉えている。	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
CHAPTER 3 (9時間)	バスボイコット事件がどのように歴史を動かしたのかを読む。Rosa Parks のメッセージを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりすることができる	自分の住んでいる所について簡単な表現を用いての対話をする	互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりしている	・ペアでの言語活動を観察する ・ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		本文の内容を英語で要約して書くことができる	穴埋め形式で要約文を完成させる	本文の内容を英語で要約して書いている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる	まとまりのある英文を聞き、必要な情報を聞き取る	語句や表現などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		アメリカの歴史の流れの変化について調べ，その問題点を理解することができる	本文の内容に関する問題を解き、全体の要旨を理解しているか確認する	アメリカの歴史の流れの変化について調べ，その問題点を理解している	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CHAPTER 4 (9 時間)	自分と相手の考え方の違いから、コミュニケーションの際に生じる誤解があることを知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けることができる	ワークシートを用いて本文の概要を把握する	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」S			
		本文に関する英語の質問に対して柔軟に答えることができる	質問を考え、ペアの相手に質問し、ペアの相手はその質問に答える	本文に関する英語の質問に対して柔軟に答えている	ペア活動の様子を観察する
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容を的確に聞き取ることができる	音声による英問英答や True or False? に答える	語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容を的確に聞き取っている。	・生徒の様子を観察する ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		分詞構文、it と one の違い、不定詞の否定、仮定法過去・過去完了の用法を理解することができる	・本文中で用いられている文の意味や用法を確認する ・言語の使用場面と働きを意識した問題を解く	分詞構文、it と one の違い、不定詞の否定、仮定法過去・過去完了の用法を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
CHAPTER 5 (10 時間)	Motala というゾウと人間の話を通じて、地雷の実態を把握し、平和について考える	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる	本文を読んで感じたことを基本的な語句や表現を用いて書く	うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		本文に関連したトピックについて、まとまりのある英文を書くことができる	Motala も起こった出来事を表にまとめ、それを説明する文章を書く	本文に関連したトピックについて、まとまりのある英文を書くことができる	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現などの知識を活用して内容を的確に読み取ることができる	まとまりのある英文を読んで、必要な情報を読み取る	語句や表現などの知識を活用して内容を的確に読み取ることができる	初見の文章を読む筆記テストにおいて判断する
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		「書くこと」の言語活動に用いられている語句などの知識を身につける	本文の内容について自分の意見を書く	「書くこと」の言語活動に用いられている語句などの知識を身につけている	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する

学校番号	2004

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	３年次	LANDMARK Fit EnglishCommunicationⅡ（啓林館）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」の４技能の力をつけるため、授業ではペアやグループで言語活動を多く行います。間違いを恐れず積極的に取組みましょう。

・授業のはじめに、予習(宿題)ができているか確認します。コミュニケーションに必要となる基本的な語句や表現をしっかり覚えましょう。

・音読活動は、英語を学習するのに大切な練習です。リズムやイントネーションに注意して、文の意味も意識しながら何度も音読しましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）及び「英語表現Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・自分自身の回りで起きたことや経験したことなどについて簡単な英語で伝えることができる。 ・自分自身のことや自分の思いを相手の伝えることができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ スピーチ	・自分のことや地域のことなどについて、簡単な英語を用いて文章を書くことができる。 ・まとまりのある文章で自分の思いを英語を用いて書くとができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ 定期考査	・日常の事柄について内容を理解することができる。 ・様々な内容の英語をゆっくりはっきり話されれば、自分に必要な情報を聞きとることができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ ワークシート	・簡単な語や表現を用いて書かれた文章を理解する事ができる。 ・１００語程度の文章を黙読して要点を理解し適切に音読することができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ スピーチ

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (11 時間)	救助犬の歴史について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 R			
		個人、ペアなどでの音読に積極的に取り組む	様々な形態での音読活動を行う	個人、ペアなどでの音読に積極的に取り組んでいる	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」S			
		語句や表現などの知識を活用して適切に話すことができる	救助犬の歴史についてのペアワークに必要なキーワードを記入し、それを参考にして対話を行う。	語句や表現などの知識を活用して適切に話している	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)			
		「言語や文化についての知識・理解」 R			
		・文と文のつながりを示す語やフレーズを理解する ・現在完了進行形、受動態の使い方を理解する	本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	文と文のつながりを示す語やフレーズ、現在完了進行形、受動態の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
Lesson 4 (11 時間)	ファッション業界について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		個人、ペアなどでの音読に積極的に取り組む	様々な形態での音読活動を行う	個人、ペアなどでの音読に積極的に取り組んでいる	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」			
		(本単元では設定しない)	ワークシートを参考にしながら、相手に対して適切な応答を選択し発話する		
		「外国語理解の能力」L			
		単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができる	主に Listen＆Repeat を中心にした音読活動を行う	単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取っている	音読テストを行う
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・対話に必要な表現や方法についての知識を身につける ・関係代名詞非制限用法、関係副詞の使い方を理解する	・ペアでの音読活動を行う ・本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	・対話に必要な表現や方法についての知識を身についている ・関係代名詞非制限用法、関係副詞の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
Lesson 5 (12 時間)	恋愛の科学的考察について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて書くことができる	恋愛についての分析に関する情報をワークシートにまとめ、それについての自分の意見を簡単な表現を用いて書く	間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて書いている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			

		読んだことについて自分の考えを簡潔に書くことができる	恋愛についての分析に関する情報をワークシートにまとめ、それについて自分の意見を簡単な表現を用いて書く	読んだことについて自分の考えを簡潔に書いている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では設定しない）	ワークシートを用いてペアワークを行う		
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		・同格の that の使い方を理解する	・本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	・同格の that の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
Lesson 6 （12 時間）	ガウディとサグラダファミリアの歴史について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて話すことができる	ガウディについての情報をワークシートにまとめ、それを参考にしてペアで情報交換をした上で、自分の考えを話す	間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて話している	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」S			
		読んだ内容についての概要や自分の意見を話すことができる	ガウディについての情報をワークシートにまとめ、それを参考にしてペアで情報交換をした上で、自分の考えを話す	読んだ内容についての概要や自分の意見を話している	スピーキングテストをおこなう
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる	まとまりのある英文を聞き、メモを取る活動をする	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		分詞構文の使い方を理解する	本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	分詞構文の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
Lesson 7 （12 時間）	硫黄島からの手紙	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けられる	ワークシートを用いて本文の概要を把握する	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		（本単元では設定しない）			
		「外国語理解の能力」RL			
		意味内容が聞き手に伝わるように音読できる	様々な形態での音読活動を行う	意味内容が聞き手に伝わるように音読している	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」W			

		複合関係詞の使い方を理解する	本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	複合関係詞の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
Lesson 8 (12 時間)	江戸時代のリサイクルの知恵	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて話すことができる	江戸時代の取り組みについての情報をワークシートにまとめ、それを参考にしてペアで情報交換をした上で、自分の考えを話す	間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて話している	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」S			
		読んだ内容についての概要や自分の意見を話すことができる	江戸時代の取り組みについての情報をワークシートにまとめ、それを参考にしてペアで情報交換をした上で、自分の考えを話す	読んだ内容についての概要や自分の意見を話している	スピーキングテストをおこなう
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる	まとまりのある英文を聞き、メモを取る活動をする	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		完了の不定詞の使い方を理解する	本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	完了の不定詞の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する
Lesson 9 (12 時間)	AI の可能性	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて話すことができる	AI についての情報をワークシートにまとめ、それを参考にしてペアで情報交換をした上で、自分の考えを話す	間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて話している	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」RL			
		聞いた内容についての概要や自分の意見をまとめることができる	聞いた内容をワークシートにまとめる	聞いた内容についての概要や自分の意見をまとめている	ワークシートの提出により、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」R			
		読んだ内容についての賛否や簡単な感想を述べることができるように、批判的に読むことができる	まとまりのある英文を読み、ワークシートにまとめる	読んだ内容についての賛否や簡単な感想を述べることができるように、批判的に読んでいる	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		仮定法の使い方を理解する	本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	仮定法の使い方を理解している	スピーキングテスト

Lesson１０ （12 時間）	ブータンの幸福	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		個人、ペアなどでの音読活動に積極的に取り組む	様々な形態での音読活動を行う	個人、ペアなどでの音読活動に積極的に取り組んでいる	ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」			
		（本単元では設定しない）			
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる	まとまりのある英文を聞き、メモを取る活動をする	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		部分否定の使い方を理解する	本文中で用いられている文の意味や用法を確認する	部分否定の使い方を理解している	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する

学校番号	２００４

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅰ	2	１年次	「Vision Quest English Expression I Standard」 「Vision Quest English Expression　I Standard」WORKBOOK 「Vision Quest 総合英語」啓林館

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・積極的に英語でコミュニケーションを図る姿勢を体得する。

・英語でのコミュニケーションを円滑にするための必要な知識を身につける。

・知識習得・コミュニケーション能力の効率向上のため、日々の予習・復習また授業への積極的参加必要とする。

２学年の到達目標(CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標)

【第１学年】履修科目：「英語表現Ⅰ」（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
基本的な語句や表現を用いて、事前に準備した文を覚えて発表できる。	コミュ英Ⅰ スピーチ 英語表現Ⅰ 定期考査 スピーチコンテスト スピーキングテスト	基本的な語句や表現を用いて、趣味や日常生活についての文を作ることができる。	コミュニケーション英語Ⅰ 英語表現Ⅰ 定期考査	ゆっくり繰り返し発話される基本的な語句を使った英文の概要を理解することができる。	コミュニケーション英語Ⅰ 英語表現Ⅰ 定期考査 リスニングテスト	説明文や物語文を読んで、その概要を把握できる。。	コミュニケーション英語Ⅰ 英語表現Ⅰ 定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
文の種類 文型と動詞 (10 時間)	・自己紹介 ・Show and Tell の発表	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		・教材を完璧に準備することが出来る。 ・相づちを打ったり、必要に応じてメモを取ったりするなど、相手の話に関心を持って聞くことが出来る。	・ワークシートを用いてペア等で自己紹介をする。	・教材を完璧に準備している。 ・相づちを打ったり、必要に応じてメモを取ったりするなど、相手の話に関心を持って聞いている。	・授業の参加状況 ・提出物の状況 ・クイックレスポンス ・確認テスト ・言語活動を観察 ・ワークシート
		「外国語表現の能力」S			
		・単語の発音、リズムやイントネーション等の音声的な特徴を捉えて適切に話すことが出来る。	・ワークシートを用い、普段の生活で行うことをペア等で発表しあう。	・単語の発音、リズムやイントネーション等の音声的な特徴を捉えて適切に話している。	・ワークシート ・暗唱例文の確認テス　ト ・定期考査 ・確認テスト
		「外国語理解の能力」W			
		・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ること、書くことが出来る。	・ワークシートを用い自己紹介やパートナーの情報、Ｓｈｏｗ　ａｎｄ　Ｔｅｌｌの内容をワまとめる。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている、そして書きとりをしている。	・ワークシート ・定期考査 ・確認テスト
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		・単語の発音、音変化、リズムやイントネーション等の音声的な特徴を理解している。	・既習事項を理解し、ノートに簡単な第３者のプロフィールをまとめる。 ・文法事項の概要を把握しノートを作成する。	・単語の発音、音変化、リズムやイントネーション等の恩最適な特徴を理解している。	・ワークシート ・ノートブック ・授業の参加状況 ・定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
時制 完了形 (11 時間)	・計画や予定の表現 ・原因・理由の表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 S			
		・教材を完璧に準備することが出来る。 ・間違うことをおそれず、積極的に情報や考えなどについて話すことが出来る。	・はじめて何かを体験したときのことについて発表する。	・教材を完璧に準備している。 ・間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて話している。	授業の参加状況 言語活動を観察 クイックレスポンス ワークシート
		「外国語表現の能力」W			
		・自分が伝えたいとこについて、話題を明示した上で、それに関する意見やその理由を書くことが出来る。	・自分の旅行プランを発表する。	・自分が伝えたいとこについて、話題を明示した上で、それに関する意見やその理由を書いている。	・確認テスト ・定期考査 ・暗唱例文の確認テス　　ト ・ワークシート
		「外国語理解の能力」 L			
		・場面や状況、背景、相手の表情などを踏まえて、話しての意図を把握することが出来る	・ペアになり、今までに経験したことについて質問し、発表する。	・場面や状況、背景、相手の表情などを踏まえて、話しての意図を把握している。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」 R			
		・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解できる。	・旅行プランの情報を読み取り、ペアで情報を交換する。	・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解できる。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
助動詞 受動態 不定詞 (13 時間)	・頼みごと表現 ・感情の表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		・教材を完璧に準備することが出来る。 ・相手に確認したり、繰り返したり説明を求めたりしながら聞き続けることが出来る。	・友人に最適なプレゼントをするために必要な情報をワークシートでまとめる。	・教材を完璧に準備している。 ・相手に確認したり、繰り返したり説明を求めたりしながら聞き続けている。	・授業の参加状況 ・言語活動を観察 ・クイックレスポンス ・ワークシート
		「外国語表現の能力」W			
		・つながりを示す語やフレーズを適切に用いて、要点が明確な文章を書くことが出来る。 ・読み手や目的の応じて書くことが出来る。	・小・中学校の頃の習慣について、ワークシートに要略を書きクラスに発表する。 ・簡単なレシピを作成し、クラスに発表する	・つながりを示す語やフレーズを適切に用いて、要点が明確な文章を書いている。 ・読み手や目的の応じて書いている。	・確認テスト ・定期考査 ・暗唱例文の確認テスト ・ワークシート
		「外国語理解の能力」R			
		・繋がりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することが出来る。	・観光案内の文章を読んでワークシートに情報をまとめる。	・繋がりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握している。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけることが出来ている。	・小・中学校の習慣について述べる。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけている。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
動名詞 分詞 関係詞 (13 時間)	・勧誘の表現 ・賛成/反対の表現 ・説明すること	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		・教材を完璧に準備することが出来る。 ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測などして聞き続けることが出来る。	・ペア等で写真を基に家族や友達の説明を相手にする。	・教材を完璧に準備している。 ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測などして聞き続けている。	・授業の参加状況 ・言語活動を観察 ・クイックレスポンス ・ワークシート
		「外国語表現の能力」W			
		・聞いたり読んだりした内容を、平易な表現に置き換えたり、情報の順番を買えたりするなどして、読み手にわかりやすい文章を書くことが出来る。	・興味を持った日本の行事について、ペアで、クラスに説明する。	・聞いたり読んだりした内容を、平易な表現に置き換えたり、情報の順番を買えたりするなどして、読み手にわかりやすい文章を書いている。	・確認テスト ・定期考査 ・暗唱例文の確認テスト ・ワークシート
		「外国語理解の能力」L			
		・情報と考え、事実と意見とを区別し、整理しながら聞くことが出来る。	・ワークシートを用いて、学校の制服についてのディベートを聞き、賛成や反対とその理由を述べる。	・情報と考え、事実と意見とを区別し、整理しながら聞いている。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		・文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解することが出来る。	・学校の制服についての英文を読み、主題文・支持文の内容をワークシートに簡潔にまとめることが出来る。	・文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
比較 仮定法 (13 時間)	・比較要素の入る情報を用いて自分の意見を言う。 ・希望や願いを述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		・教材を完璧に準備することが出来る。 ・間違うことを恐れず、積極的に情報や考え等について発表することが出来る。	・テレビ討論について賛成/反対の意見を読みペアで発表する。	・必要に応じて辞書等を活用して書いている。 ・間違うことを恐れず、積極的に情報や考え等について発表している。	・授業の参加状況 ・言語活動を観察 ・クイックレスポンス ・ワークシート
		「外国語表現の能力」S			
		・伝えたい内容を整理して論理的に話すことが出来る。 ・情報や考えなどについて、互いに質問したり質問に答えたりすることが出来る。	・出生率のグラフがある資料を使い意見を述べる。	・伝えたい内容を整理して論理的に話している。 ・情報や考えなどについて、互いに質問したり質問に答えたりしている。	・確認テスト ・定期考査 ・暗唱例文の確認テスト ・グラフのあるワークシート
		「外国語理解の能力」L			
		・出来事や事物についての説明や様々な会話を聞いたり、読んだりして、重要な語句等を手掛かりにして概要や要点を理解することができる。	・電話相談の会話を聞いて相談事の内容をワークシートにまとめる。	・出来事や事物についての説明や様々な会話を聞いたり、読んだりして、重要な語句等を手掛かりにして概要や要点を理解している。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけることが出来る。 ・「書くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などについての知識を身につけることが出来る。	・ペアになり、4つあるテーマのうちから一つを選び、自分の主張を発表する。 (Smoking should be prohibited in public places. / All high schools should be co-educational. / High school students should not do part-time jobs. / Animal testing should be banned.)	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけている。 ・「書くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などについての知識を身につけている。	・確認テスト ・定期考査 ・授業の参加状況 ・ワークシート

学校番号	２００４

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅰ	2	２年次	いいずな書店 「総合英語 be English & Expression Ⅰ Standard 、Workbook」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語でコミュニケーションを図るための必要な文法知識を身につける。

・自分の考えていることや身の回りの日常生活について英語で表現する方法を学ぶ。

・知識習得、コミュニケーション能力の向上のため、授業の予習復習や授業への積極的な参加を必要とする。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）、「英語表現Ⅰ」（２単位）、「英語理解」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
基本的な語句や表現を用いて、事前に準備した文を覚えて発表できる	コミュ英Ⅱ スピーチ 英表Ⅰ スピーチコンテスト	基本的な語句や表現を用いて、日常生活や自分の考えについての文を作ることができる。	コミュ英Ⅱ 定期考査 英表Ⅰ 定期考査	ゆっくり発話される基本的な語句を使った英文の概要を理解することができる。	コミュ英Ⅱ ワークシート 英表Ⅰ ワークシート	説明文や物語文を読んで、その概要を把握できる。	コミュ英Ⅱ 定期考査 音読テスト 英語理解

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
時制・ 完了形 (8 時間)	時制を正しく理解し、現在・過去・今までのことを表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓦ			
		・間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて書くことができる。	・ワークシートを用いて、文型についての簡潔な説明文を書く。	・間違いを恐れず、積極的に情報や考えについて書いている。	・授業の参加状況 ・提出物の状況 ・ペアでの言語活動を観察
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて適切に音読することができる。	・ワークシートを利用して、例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて適切に音読している。	・授業の参加状況 ・定期考査 ・確認テスト
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	・関連した説明を見ながら、文型を理解する。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に読み取っている。	・定期考査 ・生徒の様子を観察
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓛ			
		・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を聞き分けることができる。	・文法事項の概要を把握する。 ・音読活動により用法を確認する。	・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を聞き分けることができる。	・ワークシート ・ノートブック ・授業の参加状況 ・定期考査
助動詞・ 受動態 (8 時間)	助動詞の使い方について学び、依頼・義務・確信があることを表現する。 受動態の使い方を学び、何かをされたことを表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		・間違いを恐れず、積極的に情報について話すことができる。	・ワークシートを用いて簡単な英語で自己紹介をする。	・間違いを恐れず、積極的に情報について話している。	・ワークシート ・授業の参加状況 ・確認テスト
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書くことができる。	・語句や表現、文法事項などを用いて英文を作りクラスで発表する。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書いている。	・確認テスト ・定期考査 ・暗唱例文の確認テスト
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解できる。	・自分のことや相手のことについて簡単な文を聞き取ることができる。	・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解している。	・授業の参加状況
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		・動詞の活用を理解し、文の種類の例文を暗唱し、知識として活用できる。	・例文で用いられている文の意味や用法を確認する。	・文の種類を正しく理解している。	・ワークシート ・定期考査での筆記

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
不定詞・動名詞・分詞 (12時間)	不定詞・動名詞・分詞を含む表現を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		・既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる。 ・スピーチ原稿を自分で書くことができる。	・不定詞と動名詞と分詞に関する基本的な知識を見につける。 ・ワークシート等でキーワードを参考にペアでやり取りをさせる。	・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・不定詞や動名詞、分詞を含む例文等を参考に文を作る。 ・スピーチ原稿をしっかり発音できる。	・意味内容が聞き手に伝わるように音読している。	・言語活動の観察
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。	・語句や表現、文法事項などを用いたスピーチ原稿のクラス内発表を的確に聞き取ることができる。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている。	・言語活動の観察
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		・不定詞や動名詞・分詞の使い方を理解できる。 ・例文を知識として利用出来る。	・ノートやワークシートに概要をまとめる。 ・対話や暗唱で用いられている意味や用法を確認する。	・不定詞や動名詞・分詞の使い方を理解している。 ・例文を知識として利用している。	・ワークシート ・定期考査
関係詞 (8時間)	関係詞を用いて文を組み合わせて、表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		・間違いを気にせず、積極的に話すことができる。	・関係詞を含む文を例文を参考に作成し、クラスで発表する。	・間違いを気にせず積極的に話している。	・間違いを気にせず、積極的に話すことができる。
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて情報を正確に相手に伝えることができる。	・ワークシートで関係詞を用いた例文を書く。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて情報を相手に伝えている。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて情報を正確に相手に伝えることができる。
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		・英語で説明されていることについて，読んだこと、話されたことを理解できる。	・語句や表現、文法事項などを聞き取ることができる。	・英語で説明されていることについて，読んだこと、話されたことを理解している。	・英語で説明されていることについて，読んだこと、話されたことを理解できる。
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		・関係詞の用法を理解することが出来る。 ・例文を知識として活用できる。	・対話内や暗唱文で用いられている意味や用法を確認する。 ・関係詞の用法や概要をまとめる。	・関係詞の用法を理解している。 ・例文を暗唱し知識として活用している。	・関係詞の用法を理解することが出来る。 ・例文を暗唱し知識として活用できる。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
比較 (8 時間)	原級・比較級・最上級などを用いた表現を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓦ			
		・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる。	・比較に関する基本的な知識を見につける。 ・ワークシート等でキーワードを参考にペアでやり取りを継続させる。	・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている。	・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる。
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・比較を含む文を例文等を参考にして文を作る。	・意味内容が聞き手に伝わるように音読している。	・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。	・語句や表現、文法事項などを用いて英文を作りクラスでの発表を聞き取ることができる。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		・比較の使い方を理解できる。 ・例文を暗唱し、知識として利用できる。	・ノートやワークシートに概要をまとめる。 ・対話や暗唱で用いられている意味や用法を確認する	・比較の使い方を理解している。 ・例文を暗唱し、知識として利用している。	・比較の使い方を理解できる。 ・例文を暗唱し、知識として利用できる。
仮定法 (12 時間)	仮定法を使う表現を用いて組み合わせて、表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		・間違いを気にせず、積極的に話すことができる。	・仮定法を含む文を例文を参考に作成し、クラスで発表する。	・間違いを気にせず積極的に話している。	・間違いを気にせず、積極的に話すことができる。
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて情報を正確に相手に伝えることができる。	・ワークシートで仮定法を用いた例文を書く。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて情報を正確に相手に伝えている。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて情報を正確に相手に伝えることができる。
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		・簡単な英語で説明されていることについて，読んだこと、話されたことを理解できる。	・語句や表現、文法事項などを聞き取ることができる。	・簡単な英語で説明されていることについて，読んだこと、話されたことを理解している。	・簡単な英語で説明されていることについて，読んだこと、話されたことを理解できる。
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		・仮定法の用法を理解することが出来る。 ・例文を暗唱し知識として活用できる。	・対話内や暗唱文で用いられている意味や用法を確認する。 ・仮定法の用法や概要をまとめる。	・仮定法の用法を理解している。 ・例文を暗唱し知識として活用している。	・仮定法の用法を理解することが出来る。 ・例文を暗唱し知識として活用できる。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
接続詞 (8 時間)	接続詞を使って文をつなぐ方法を学ぶ that 節で何が重要なのかを表す	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓦ			
		・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる。	・接続詞に関する基本的な知識を見につける。 ・ワークシート等でキーワードを参考にペアでやり取りを継続させる。	・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・接続詞を含む文を例文等を参考にして文を作る。	・意味内容が聞き手に伝わるように音読している。	・言語活動の観察
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。	・語句や表現、文法事項などを用いて英文を作りクラスでの発表を聞き取ることができる。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている。	・言語活動の観察
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		・接続詞の使い方を理解できる。 ・例文を暗唱し、知識として利用できる。	・ノートやワークシートに概要をまとめる。 ・対話や暗唱で用いられている意味や用法を確認する	・接続詞の使い方を理解している。 ・例文を暗唱し、知識として利用している。	・ワークシート ・定期考査

学校番号	2004

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現Ⅱ	2	第３学年	桐原書店「Empower English Expression Ⅰ-- Essential Course」 桐原書店「Empower English Expression Ⅱ-- Essential Course」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まずは例文と練習問題を通して、文法事項の理解に努めましょう。そして、各 Unit での文法事項を用いて自分の考えや意見を英語で表現することにチャレンジしましょう。この活動に間違いを恐れずに積極的に取り組むことで、学習事項の定着度が高まるとともに、英語の運用力が身に付きます。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）及び「英語表現Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・自分自身の回りで起きたことや経験したことなどについて簡単な英語で伝えることができる。 ・自分自身のことや自分の思いを相手の伝えることができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅰ スピーチ	・自分のことや地域のことなどについて、簡単な英語を用いて文章を書くことができる。 ・まとまりのある文章で自分の思いを英語を用いて書くとができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅰ 定期考査	・日常の事柄について内容を理解することができる。 ・様々な内容の英語をゆっくりはっきり話されれば、自分に必要な情報を聞きとることができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅰ ワークシート	・簡単な語や表現を用いて書かれた文章を理解する事ができる。 ・１００語程度の文章を黙読して要点を理解し適切に音読することができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅰ スピーチ

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part1 Unit 5〜6 (8時間) Grammar Focus 11-15	「日本の文化」「私の夢」というテーマについて、受動態や不定詞の用法を学び、それを用いて、自分の考えや意見を表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる。	「日本文化」の対話や説明を聞き、質問に答える。	聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・生徒の様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		場面や状況に応じた適切な表現を用いて書くことができる。	「自分の夢」について、不定詞や受動態などの表現を用いながら、短い文を書く。	場面や状況に応じた適切な表現を用いて話している。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」L			
		出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解することができる。	「日本文化」についての対話や説明を聞き、質問に答える。	出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解している。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けることができる。	対話文や例文を用いて「するべきこと・これからすること」を表す表現や「計画・義務」に関する表現の用法を確認する。	場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けている。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Part1 Unit 7〜8 (8時間) Grammar Focus 16-20	動名詞・分詞・使役/知覚構文・動名詞や分詞を用いた構文を学び、余暇の過ごし方や趣味、また公共の場でのマナー・公共ルールについて英語で表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて書くことができる。	“Target”のトピックに基づき、ペアないしはグループで、それぞれ相手の趣味について質問したり自分自身のことに説明する。	間違うことを恐れず、積極的に、話しかけ、情報や考えなどについて知る。	・生徒の様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書くことができる。	“Target”のトピックに基づき、自分自身のことについて書く。	語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書いている。	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。	各レッスンのテーマについての対話や説明を聞き、質問に答える。	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		動名詞・分詞・使役/知覚構文・動名詞や分詞を用いた構文の用法を理解できる。	例文や練習問題で意味や用法を確認する。	動名詞・分詞・使役/知覚構文・動名詞や分詞を用いた構文の用法を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part1 Unit 9～11 (10時間) Grammar Focus 21-27	比較級・最上級・関係代名詞・仮定法を学び、「日本と外国の比較」、「自分の尊敬する人物」、「自分のおすすめ」について英語で表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて書くことができる。	“Target”のトピックに基づき、自分自身のことについて書く。	間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて書いている。	・生徒の様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書くことができる。	“Target”のトピックに基づき、自分自身のことについて書く。	語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書いている。	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。	各レッスンのテーマについての対話や説明を聞き、質問に答える。	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		比較級・最上級・接続詞・関係代名詞の用法を理解できる。	例文や練習問題で意味や用法を確認する。	比較級・最上級・接続詞・関係代名詞の用法を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
「Empower English Expression Ⅱ -- Essential Course」 Part1 Unit 1～4 (12時間)	文の構造・形式主語のit・無生物主語について学び、自己紹介や高齢社会について英語で表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		言いたいことに当たる語句が思いつかなくとも、知っている平易な表現を用いて、話し続けることができる。	文の構造に気を付けて「自己紹介」をしたり、それに関するやり取りを行う。	聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどし対話を続けている。	・生徒の様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		場面や状況に応じた適切な表現を用いて書くことができる。	「自己紹介」に関する表現を用いながら、プレゼンテーションの原稿をつくる。	場面や状況に応じた適切な表現を用いて分かりやすく作っている。	プレゼンテーションのファイルを提出させ、その出来を評価する。また、完成した生徒には実演させその活動の様子を観察する。
		「外国語理解の能力」L			
		自己紹介についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解することができる。	「自己紹介」をテーマにした、英語によるプレゼンテーションを聞き、それに関する設問に答える。	出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解している。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けることができる。	対話文や例文を用いて自己紹介に関する表現や用法を確認する。	場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けている。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part1 Unit 5～9 (12 時間)	時制・助動詞・受動態を学び、学校生活や観光、語学研修に関して英語で表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりできる。	助動詞を使って、「語学研修の問い合わせの手紙」という手紙文のルールに則り自分自身の尋ねたいことについて書く。	読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。	・生徒の様子を観察する。 ・書いたものを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」W			
		助動詞やフレーズを適切に用いて、要点が明確な文章を書くことができる。	手紙のルールに沿って、与えられたテーマについて自分自身のことについて書く。	つながりを示す語やフレーズを適切に用いて、要点が明確な文章を書いている。	書いたものを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」R			
		助動詞に注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	パラグラフを読み、その内容を表にまとめる。	助動詞に注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握している。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		助動詞の使い方やフレーズを理解できる。	例文や練習問題を用いて用法を確認する。	助動詞やフレーズを理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Part1 Unit 10～14 (12 時間)	不定詞・動名詞・名詞を修飾する語句・関係代名詞などを学び、将来の夢や自分の好きな本の紹介を英語で表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて書くことができる。	“Target”のトピックに基づき、自分自身のことについて書く。	間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて書いている。	・生徒の様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」W			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書くことができる。	“Target”のトピックに基づき、自分自身のことについて書く。	語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書いている。	ワークシート提出により、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。	各レッスンのテーマについての対話や説明を聞き、質問に答える。	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		不定詞・動名詞・名詞を修飾する語句・関係代名詞の用法を理解できる。	例文や練習問題で意味や用法を確認する。	不定詞・動名詞・名詞を修飾する語句・関係代名詞の用法を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part1 Unit 15～20 (12 時間)	分子構文・否定語・比較・仮定法について学び、思い出の言葉や体験、自分の進路について英語で表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる。	“Show & Tell”の題材や、友人のするスピーチを聴き取り、その内容をまとめる。	聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・生徒の様子を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」S			
		場面や状況に応じた適切な表現を用いて話すことができる。	「説明する」表現や「理由を述べる」ことに関する表現を用いながら、スピーチを発表する。	場面や状況に応じた適切な表現を用いて話している。	ルーブリック評価、オーディエンス評価を用いる。
		「外国語理解の能力」W			
		自分の好きな言葉や物事についての説明や様々な表現を用いて、自分の言いたい事を伝えることが出来る。	「好きな言葉」「自分の進路」などをテーマにしたスピーチを書くことが出来る。	これまで学習した文法事項や表現方法を理解し、それらを自分の言いたい事を表現するのに上手く用いることが出来る。	スクリプトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けることができる。	自分の書いたスピーチを、句読点やイントネーションに留意して、説得力のある表現を書く。	場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けている。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

学校番号	２００４

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）英語長文読解演習	2	３年次	“SKYWARD OCEAN Course” 桐原書店

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・総合的な問題集を使い、様々な主題を扱った多くの英文に触れることで、多面的に英語の世界に親しむ、いろいろな話題を英語を通じて深い理解に繋がることになります。また、各章ごとに設定している文法項目の復習や表現、リスニングの練習を通じて、より高い英語運用能力を身につけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）、「英語表現Ⅱ」（２単位）、「英語理解」（２単位）長文読解（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・自分自身の周りで起きたことや経験したことなどについて簡単な英語で伝えることができる。 ・自分自身のことや自分の思いを相手の伝えることができる。	・英語表現Ⅱ ・コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査 ・スピーキングテスト	・自分のことや地域のことなどについて、簡単な英語を用いて文章を書くことができる。 ・まとまりのある文章で自分の思いを英語を用いて書くとができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ 長文読解 英語理解Ⅱ ・定期考査	日常の事柄について内容を理解することができる。や ・様々な内容の英語をゆっくりはっきり話されれば、自分に必要な情報を聞きとることができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ 長文読解 英語理解Ⅱ ・定期考査 ・リスニングテスト	簡単な語や表現を用いて書かれた書かれた文章を理解する事ができる。 ・１００語程度の文章を黙読して要点を理解し適切に音読することができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ 長文読解 英語理解Ⅱ ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 1 (3時間)	テーマ 「旅行」 観光産業を長続きさせるための方法 (255語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		・外国語で書かれた、東京の観光について書かれた英語の文に触れて、その内容に興味を持ち、深く読み進めることができる	・セクションごとに本文をまとめ、書かれている東京観光の情報やそれについての意見交換を行う。	・読み取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	・活動観察を行う
		「外国語表現の能力」W			
		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。	・各セクションの内容をメモする。 ・ペアで、メモに基づいて、観光満足度について伝え合う。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書いている。	・授業時間を利用して口頭発表を実施する。
		「外国語理解の能力」L			
		・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができる。	・リズムやイントネーションの変化に注意して聞く。	・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声低奈特徴を捉えて的確に聞き取っている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		・「書くこと」の言語活動に用いられている文法事項についての知識を身に付けることができる。 ・資料を扱う文章で使われる語句を理解する。	・本文中で用いられている前置詞の意味や用法を確認する	・「書くこと」の言語活動に用いられている文法事項についての知識を身に付けている。 ・前置詞を文脈上で正しく使えるようになる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 2 (3時間)	テーマ 「環境」 北極圏が昨今、関心を集めている理由 (256語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		・外国語で書かれた、環境問題の文に触れて、その内容に興味を持ち、深く読み進めることができる	・平易な言葉で、社会的な話題を取り扱うことができるようになる。	・読み取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」S			
		・序論から結びに至る各段落について簡潔にまとめて相手に伝えることができる。	・ペア・ワークを行い、環境問題のこと、その他の北極圏での社会問題などを調べて、お互いに伝え合う。	・社会問題に関心をもち、積極的に情報を得ようとしているか、また、それを分かりやすく相手に伝えている。	・ペア・ワークなどのアクティビティの参加状況 ・調べた内容のメモをノートにまとめさせて点検する
		「外国語理解の能力」L			
		・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。	・段落ごとにテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取っている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・<動詞の変化に対応する。	・本文中に用いられている文法事項の意味、用法を確認し、文体的特徴を理解する。	・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・<接続詞+S+V>の文を理解する。	・定期テストの筆記テストにおいて、動詞の選択問題を設定することで、その正答率で判定する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 3 (3時間)	テーマ 「心理学」 高所恐怖症の原因と治療法 (268語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		・間違うことを恐れず、積極的に自分の知っている情報や得た知識について話すことができる。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・間違うことを恐れず、積極的に高度恐怖症に関して自分の知っている情報や得た知識について話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」W			
		・聞いたり読んだりした内容を、平易な表現に置き換えたり、情報の順番を変えたりするなどして、読み手にわかりやすい文章を書くことができる。	・セクションごとに情報をまとめ、自分の文章で相手に伝える。	・聞いたり読んだりした内容を、平易な表現に置き換えたり、情報の順番を変えたりするなどして、読み手にわかりやすい文章を書いている。	・ノートを提出させ、内容を確認する。
		「外国語理解の能力」 R			
		・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる。	・文章の流れに沿って読み進め、大事な事柄をまとめていく。	・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解している。	・定期考査の内容理解問題で、正しい内容の文を選べるかどうか。
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身につけることができる。 ・V＋O＋to do が理解できる。	・V＋O＋to do のある文章に留意して、理解し意味を考えながら読む。	・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身につけている。 ・英文解釈のための述語動詞に精通する	・定期テストの筆記テストにおいて、V＋O＋to do が使われている問題を設定することで、理解度を判定する。
Unit 4 (3時間)	テーマ 「衣食住」 ナイジェリアで伝わる冷蔵庫の代わりとなる食物保存法 (212語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる。	・セクションごとに音声を聞き、場面や意味を推測し、生徒間で情報交換をする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペア・ワークでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」W			
		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。	・本文中で理科用語や歴史について、ノートに各自の興味のある用語について英語で書く。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書いている。	・ノートを提出させてその内容を評価する。
		「外国語理解の能力」R			
		・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる。	・文章の流れに沿って読み進め、大事な事柄をまとめていく。	・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解している。	・定期考査の内容理解問題で、正しい内容の文を選べるかどうか。
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項についての知識を身に付けることができる ・名詞の同格関係を表す文が理解できる	・文中で語法〈keep/make〉が使われる場面に留意して、文脈から用法を推測する。	・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項についての知識を身に付けている。 ・語法〈keep/make〉を表す文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 5 (3時間)	テーマ 「人体」 ストレスと睡眠の関係について (285 語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		・互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりすることができる。	・睡眠不足に対する対応方法ついての体験談等の交換を英語でやり取りをすることができる。	・互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりしている。	・グループワークで、各自が選んだ睡眠について発表する姿勢や参加状況を評価する。
		「外国語表現の能力」W			
		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。	・本文中での睡眠不足の対応の是非について、自分の意見を英語で書く。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書いている。	・ノートを提出させてその内容を評価する。
		「外国語理解の能力」R			
		・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる。	・本文で提示されている年齢別の睡眠必要時間や睡眠不足の弊害について、その内容を理解する。	・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		・「聞くこと」の言語活動に用いられている文法事項についての知識を身に付けることができる。 ・強調構文が理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「聞くこと」の言語活動に用いられている文法事項についての知識を身に付けている。 ・強調構文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 6 (3時間)	テーマ 「宇宙」 有力視されている月の起源について (336 語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても推測するなどして聞き続けることができる。	・ワークシートをもとに、自分の考えを述べる。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても推測するなどして聞き続けている。	・リスニングテストを実施して、大意についての設問に答えることで、聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けているかを測る。
		「外国語表現の能力」S			
		・リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて適切に話すことができる。	・ペア・ワークでお互いにリズムよく読めているかをチェックし合う。	・リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて適切に話している。	・スピーキングテストを実施する。
		「外国語理解の能力」R			
		・繋がりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・繋がりを示す語やフレーズに注意して文章を聞き、論理がどのように展開しているかを把握している。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		・「書くこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・関係代名詞の非限定用法（継続用法）の構造が理解できる。	・本文中で用いられている文法の意味や用法を確認する。	・「書くこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・関係代名詞の非限定用法（継続用法）の構造を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 7 (3時間)	テーマ 「言語」 イギリス英語とアメリカ英語の違いについて (280語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		・互いに協力しながら、環境に関係する質問をしたり意見を交換したりすることができる。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・互いに協力しながら、環境に関係する質問をしたり意見を交換したりしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」W			
		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。	・各セクションの内容をメモする。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書いている。	・授業時間を利用して口頭発表を実施する。
		「外国語理解の能力」R			
		・繋がりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・繋がりを示す語やフレーズに注意して文章を聞き、論理がどのように展開しているかを把握している。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・倒置の用法が理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・倒置の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 8 (3時間)	テーマ 「商業」 米国における価格とサービスの関係について (341語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		・商業について知っている情報や、海外で使われている言葉について、間違うことを恐れず、積極的に話すことができる。	・各セクションを読む前に海外で翻訳されていない言葉や、本文からの情報を、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・商業について知っている情報や、海外で使われている言葉について、間違うことを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」W			
		・トピック・センテンスやキーワードを適切に用いて、要点が明確な文章を書くことができる。	・セクションごとに、興味をひかれたことばについて、ワークシートに英語で書く。	・トピック・センテンスやキーワードを適切に用いて、要点が明確な文章を書いている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」R			
		・説明などを読んで、事実と意見などを区別して内容を理解することができる。	・段落ごとに経緯をみつけ、簡潔にまとめることで、内容を整理・把握することが出来るようにする。	・説明などを読んで、事実と意見などを区別して内容を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		・「聞くこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。	・本文中で用いられている文法の意味や用法を確認する。	・「聞くこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 9 (3時間)	テーマ 「生物学」 犬の人間の言葉を理解する能力について (344語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる。	・セクションごとに、本文の音声を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペア・ワークでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」S			
		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を話すことができる。	・犬の能力ことについて、知っている知識や相手の考えなど、グループで互いに発表しあう。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を話している。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」R			
		・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる。	・内容に関して、事実や対応の状況が正確に把握しているか。	・説明などを読んで、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		・「読むこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身に付けることができる。 ・分詞構文の説明文中での意味合いを理解することができる。	・分詞構文の用法を、ワークシートを使って確認する。 ・後置修飾のパターンをワークシートを使って確認する。	・「読むこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身につけている。 ・分詞構文の説明文中での意味合いを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 10 (3時間)	テーマ 「歴史」 お茶の歴史 (326語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」L			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる。	・メモをとりながら、作者の意見を聞く。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」S			
		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を話すことができる。	・本文の内容について、自分の意見や相手の考えなど、グループで互いに発表しあう。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を話している。	・ワークシートに各々の意見や感想を簡単な英語でまとめ、ペアで発表する。
		「外国語理解の能力」R			
		・繋がりを示す語やフレーズに注意し文章を読み、本文中の話の流れを把握することができる。	・段落ごとにテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・繋がりを示す語やフレーズに注意し文章を読み、本文中の話の流れを把握している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		・「書くこと」の言語活動に用いられている語句についての知識を身に付けることができる。 ＜so＋形容詞・副詞＋that〉が理解できる。	・文中で用いられている、文法の意味や用法を確認する。・	・「書くこと」の言語活動に用いられている語句についての知識を身に付けている。 ・＜so＋形容詞・副詞＋that〉の文の構造を理解している。	・定期考査に於いて、並べ替えや日本語訳の問題で、正しく用法がとれているかを確認する

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 11 (4時間)	テーマ 「健康」 専門家から見る食事のとり方について (361 語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		・必要に応じて辞書などを活用して書くことができる。	・段落の要旨を簡単な文でまとめて、発表する。	・必要に応じて辞書などを活用して書いている。	・各自の書いた文章を発表する。
		「外国語表現の能力」S			
		・情報や考えなどについて、互いに質問したり質問に答えたりすることができる。	・ワークシートを用いて、セクションごとに食物と栄養について、例示する表現と自分の意見を用いて簡潔な説明文を書く。	・情報や考えなどについて、互いに質問したり質問に答えたりしている。	・定期テストの筆記テストにおいて、まとめと意見を述べる設問をすることにより、目標が達成できているかを判断する。
		「外国語理解の能力」L			
		・食物と栄養についての説明を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解することができる。	・キーワードをノートにメモし、その本文の内容を理解する。	・食物と栄養についての説明を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解している。	・定期考査の内容理解問題で、正しい内容の文を選べるかどうか。
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・仮定法現在が理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「読むこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・仮定法現在の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 12 (4時間)	テーマ 「工業」 橋の素材の歴史について (352 語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		・互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりすることができる。	・内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながら発表する。	・互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」W			
		・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。	・橋の材料と利点や耐久性について、書かれた文を読み違いや意見をワークシートに英語で書く。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書いている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」R			
		・繋がりを示す語やフレーズに注意し文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・段落ごとにテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・繋がりを示す語やフレーズに注意し文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		・「聞くこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・there is ＋S＋分詞の用法を理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「聞くこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・ there is ＋S＋分詞の用法を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 13 (4時間)	テーマ 「コミュニケーション」 大学での教授と学生のメールの活用 (366語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		・必要に応じて辞書などを活用して読むことができる。	・内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモしながら、読み進める。	・必要に応じて辞書などを活用して読んでいる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」R			
		・その場の状況、聞き手の反応、話題、伝えようとする内容や気持ちなどに応じた適切な速度や声の大きさで音読することができる。	・段落ごとに主人公の気持ちをノートにまとめ、その気持ちを表現できるようにする。	・その場の状況、聞き手の反応、話題、伝えようとする内容や気持ちなどに応じた適切な速度や声の大きさで音読している。	・ノート提出にて、内容理解ができているか判断する。
		「外国語理解の能力」L			
		・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができる。	・リズムやイントネーションの変化に注意して聞く。	・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声低奈特徴を捉えて的確に聞き取っている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		・「聞くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身に付けることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「聞くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身に付けている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 14 (4時間)	テーマ 「科学技術」 太陽光を利用した乾電池を通して化学技術の恩恵について考える (326語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる。	・孤立した村と先進国の光の認識の違いをワークシートに記入する。	・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」R			
		・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて音読することができる。	・単語の発音を正確に調べたり、語句の切れ目に注意して読む。	・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて音読している。	・シートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」L			
		・対比表現や根拠の説明などを聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解することができる。	・段落ごとにテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・対比表現や根拠の説明などを聞いて、、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解している。	・定期考査の内容理解問題で、正しい内容の文を選べるかどうか。
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・不定詞の用法が理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・不定詞の用法が理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 15 (4時間)	テーマ 「日常生活」 男女の役割を通して固定概念についての危険性を述べる (366語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		・授業を通して気づいたことや、本文から固定概念が個人の認識に支障がある問題を書き出すことができる。	・本文より日本における社会問題を抜き出し、自分の意見をワークシートに記入する。	・授業を通して始めて知ったことや、本文から固定概念が個人の認識に支障がある問題を書き出す。	・ワークシートの提出。
		「外国語表現の能力」R			
		・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・フレーズごとの意味を考え、それらの関係が伝わるようにイントネーションやポーズの場所や長さを考え、ワークシートに記入してみる。	・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・個人の音読によるチェックテストを行う。
		「外国語理解の能力」L			
		・事物に関する報告、問題点などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。	・聴きながら、段落ごとのテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・事物に関する報告、問題点などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえる。	・定期考査に於いて、段落まとめの設問をする事で、内容を把握できているかどうか確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・後置修飾の用法が理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・後置修飾の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 16 (4時間)	テーマ 「社会」 贈り物の作法の差異からわかる文化、風習の違いについて (356語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		・地域による文化、風習の違いに気づき、自分の言葉で書くことができる。	・段落ごとに内容をまとめ、それを用いて簡単な文を書いてみる。	・地域による文化、風習の違いに気づき、各情報をワークシートにまとめている。	・ワークシートの提出。
		「外国語表現の能力」R			
		・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・文ごとの内容を考え、それらの因果関係が伝わるようにイントネーションやポーズの場所や長さを考え、ワークシートに記入してみる。	・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・個人の音読によるチェックテストを行う。
		「外国語理解の能力」L			
		・各地域の贈り物をやり取りする作法を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。	・聴きながら、段落ごとのテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・各地域の贈り物をやり取りする作法を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえている。	・定期考査に於いて、段落まとめの設問をする事で、内容を把握できているかどうか確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・「ディスコースマーカー」の意味を理解し分類することができる。 ・強調構文の用法が理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「ディスコースマーカー」の意味を理解し分類ができている。 ・強調構文の用法が理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 17 (4 時間)	テーマ 「医療」 通信手段の発達に伴う医者と患者の関係の変化や利点、欠点について (286 語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		・必要に応じて辞書などを活用して読むことができる。	・内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモしながら、読み進める。	・必要に応じて辞書などを活用して読んでいる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」R			
		・その場の状況、聞き手の反応、話題、伝えようとする内容や気持ちなどに応じた適切な速度や声の大きさで音読することができる。	・段落ごとに本文で要となっている単語、文をワークシートにまとめる。	・その場の状況、聞き手の反応、話題、伝えようとする内容や気持ちなどに応じた適切な速度や声の大きさで音読している。	・ワークシートを用いて、内容理解に基づく意見形成ができているか判断する。
		「外国語理解の能力」L			
		・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができる。	・リズムやイントネーションの変化に注意して聞く。	・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声低奈特徴を捉えて的確に聞き取っている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		・「聞くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身に付けることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「聞くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身に付けている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 18 (4 時間)	テーマ 「会話」 失くしてしまったチェスに関する本を題材とする物語 (473 語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる。	筆者の経験を時系列に整理して書く。	・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」R			
		・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて音読することができる。	・単語の発音を正確に調べたり、語句の切れ目に注意して読む。	・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて音読している。	・シートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」L			
		・出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解することができる。	・段落ごとにテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解している。	・定期考査の内容理解問題で、正しい内容の文を選べるかどうか。
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。 ・使役動詞 have を用いた文の構造が理解できる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。 ・使役動詞 have を用いた文の構造を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 19 (4時間)	テーマ 「ノンフィクション」 1911年に起こったモナ・リザ盗難をとおしてイタリア人の愛国心を述べる (380語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		・必要に応じて辞書などを活用して読むことができる。	・内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモしながら、読み進める。	・必要に応じて辞書などを活用して読んでいる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」S			
		・物語を読んでの感想や意見を、互いに質問したり質問に答えたりすることができる。	・ワークシートを用いて、セクションごとにモナ・リザ盗難事件について、例示する表現と自分の感想を書く。	・情報や考えなどについて、互いに質問したり質問に答えたりしている。	・定期テストの筆記テストにおいて、まとめと意見を述べる設問をすることにより、目標が達成できているかを判断する。
		「外国語理解の能力」L			
		・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができる。	・リズムやイントネーションの変化に注意して聞く。	・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声低奈特徴を捉えて的確に聞き取っている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」W			
		・「書くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身に付けることができる。 ・助動詞＋have＋PPの用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「書くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造についての知識を身に付けている。 ・助動詞＋have＋PPの用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 20 (4時間)	テーマ 「情報社会」 ますます発達する携帯電話とコミュニケーション能力段衰退への危惧について (352語)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けることができる。	・本文中より出てきている情報をまとめ、比較しそれぞれのよい点悪い点を文にしてまとめる。	・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」R			
		・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて音読することができる。	・単語の発音を正確に調べたり、語句の切れ目に注意して読む。	・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて音読している。	・シートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」L			
		・出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解することができる。	・段落ごとにテーマをみつけ、簡潔にまとめることで、内容を把握することが出来るようにする。	・出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手がかりにして概要や要点を理解している。	・定期考査の内容理解問題で、正しい内容の文を選べるかどうか。
		「言語や文化についての知識・理解」S			
		・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「話すこと」の言語活動に用いられている文法事項などについての知識を身に付けている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

学校番号	2004

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新家庭基礎「パートナーシップで作る未来」（実教出版）						
副教材等	ニューライブラリー家庭科　資料＋成分表　2020（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

衣生活、食生活、住生活および子どもの発達と保育、高齢社会、消費生活に関する事項を生活科学として理解するとともに、生活文化とかかわらせて考え、充実した生活を営むことができるようにする。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

評価方法

・ワークシート等の記述
・授業に向かう姿勢
・レポートの作成や発表

b：思考・判断・表現

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。

評価方法

・ワークシートの記述
・レポートの作成や発表
・ペーパーテストの結果

c:技能

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。

評価方法

・実習の技能
・ペーパーテストの結果
・ワークシート等の記述

d：　知識・理解

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

評価方法

・ペーパーテストの結果
・ワークシート等の記述
・レポートの作成や発表

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元名	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期中間	消費行動を考える	○家庭科の学び方 ○自分を見つめる ・これまでの自分を振り返って ○消費行動と意思決定 ・主体的な消費行動 ・適切な選択をするために		○	○			a．消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b．消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、適切に表現できている「I」、自分の考えを反映して表現している「C」、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している「E」。 c．消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するため資料を収集・整理することができる「I」 、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができる「C」、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができ具体的に活用できる「E」 。 d．現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		○社会の変化と消費行動 ・「買う」ことは「契約」 ・多様化する販売方法 ・適切な契約 ・支払い方法の多様化と消費者信用					○		
		○経済のしくみを知る ・家庭経済と家計管理			○	○			
	自分らしい生き方と家族	○自立した生き方 ・人生８０年を生きる ・自分らしく生きることとともに生きること ○共に生きる家族 ○家族に関する法律			○		○	a：青年期の生き方家族・家庭の意義、男女の平等について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：青年期にある自分を見つめ、課題を見出し、また生涯発達の視点から、家族・家庭と社会との関わりについて、適切に表現できている「I」、自分の考えを反映して表現している「C」、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している「E」。 c：青年期の自立、職業選択への見通しやその準備、現代の家族・家庭の特徴について、資料を収集・整理することができる「I」 、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができる「C」、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができ具体的に活用できる「E」。 d：生涯発達の視点から、青年期の課題、生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表 レポート 定期考査
		○労働と生活時間 ・職業に就く ・多様化する職業形態		○	○				
		○カードゲームを通してデートDVについて学び、望ましい青年期の男女のかかわり方・付き合い方について考える機会とする。			○	○			

1学期期末	子どもとかかわる	○子どもを知る ・未熟なだけではない子ども ・共に育ちあう		○	○	○		a．子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b．子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて、適切に表現できている「I」、自分の考えを反映して表現している「C」、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している「E」。 c．子どもと適切にかかわることができ子どもの健やかな発達を支える技術について、適切に資料を収集・整理することができる「I」、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができる「C」、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができ具体的に活用できる「E」 。 d．子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
		○発達のすばらしさ ・人の発達と保育 ・からだの発達 ・心の発達		○			○		
		○子どもの生活 ・子どもの成長と生活 ・子どもと遊び			○	○			
		○親になることを考えよう ・子どもの人間形成と親の役割 ・子どもを生み育てるということ ・妊婦体験実習				○	○		
		○すこやかに育つ環境 ・家庭・地域・集団保育で育つ ・出産と子育てのための社会的支援				○	○		
		１学期期末考査			○	○	○		定期考査
2学期中間	高齢者とかかわる	○高齢者に生きる私たちの暮らし ・高齢者と関わる		○	○			a．高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b．高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて、適切に表現できている「I」、自分の考えを反映して表現している「C」、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している「E」。 c．高齢者と適切に関わることができ高齢者の自立生活を支える技術が高齢者疑似体験を通して適切に感じ取っている「I」、体験した感覚が何の根拠によるものか理解している「C」、体験した感覚をどのようにすれば安全で快適になるか身につけている「E」。 d．高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
		○高齢者を知る ・高齢者の心身の変化 ・高齢者の生活 ・高齢者の生活の課題				○	○		
		○高齢者疑似体験 ・器具を着用、疑似体験 ・車椅子試乗介護体験		○		○			
	社会福祉	○私たちの社会福祉 ・社会保障制度のしくみ ・地域社会の一員としてのボランティア活動		○	○			a．家庭生活を支える社会福祉制度や社会福祉について理解する。 b．社会福祉を進めるにあたり、地域福祉が重要であることを理解する。また、ボランティア活動について学習し、興味関心を持つ。	授業観察 ワークシート 定期考査

2学期中間	衣生活をつくる	○衣服の素材をみてみよう ・衣服の素材の種類 ・繊維の種類と特徴 ・衣服素材の性能		○			○	a．被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b．被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、適切に表現できている「I」、自分の考えを反映して表現している「C」、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している「E」。 c．生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などを正しい技術で作業ができる「I」 、正しい技術で効率よく作業ができる「C」、正しい技術で具体的に活用できる技術（アレンジ等）を身につけている「E」。 d．被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作物 定期考査
		○衣生活の管理 ・衣生活をつくる ・衣服の手入れ				○	○		
		○衣服の計画 ＊被服製作（被服実習） ・手縫い（ボタン付け） ・ミシン縫い			○	○			
2学期期末	食生活をつくる	○私たちの食生活 ・今の食卓は？日本の食卓の課題 ・食を楽しむ		○	○			a．食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b．食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、適切に表現できている「I」、自分の考えを反映して表現している「C」、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している「E」。 c．生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を手順通り作業ができる「I」 、作業計画を身につけて調理実習を実行できる「C」 、作業手順をふまえて効率の良い方法を見いだし調理実習を通して身に付けている「E」。 d．栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 実習テスト 定期考査
		○食品の選び方と安全 ・食品の表示と保存 ・食品の衛生と安全		○			○		
		○栄養と食品のかかわり ・食品の栄養素と体の成分 ・炭水化物とその食品 ・脂質とその食品 ・たんぱく質とその食品 ・ミネラルとその食品 ・ビタミンとその食品 ・その他の食品			○		○		
		○調理の基礎 ＊調理実習１回				○			
		２学期期末テスト			○	○	○		定期考査

3学期	食生活をつくる	○食事の計画と調理 ・食事摂取基準と食品摂取量の目安 ・家族の食事計画 ・献立作成ワーク			○		○		授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 実習テスト 定期考査
		○調理の基礎 ＊調理実習１回				○			
	住生活をつくる	○人と住まいのかかわり ・ライフスタイルと住まい		○	○			a．住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b．住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について、適切に表現できている「I」、自分の考えを反映して表現している「C」、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している「E」。 c．安全で快適、かつ健康的な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要なことを適切に資料に収集・整理することができる「I」、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができる「C」、資料収集・整理ができなおかつ内容説明ができ具体的に活用できる技術を身に付けている「E」。 d．住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康的な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 製作物 定期考査
		○住まいを計画する ・平面図作成			○	○			
		○健康的な住まい環境 ・健康に配慮した快適な室内環境 ・住まいを管理する				○	○		
		○安全な住まい環境 ・安全に配慮した室内環境 ・人にやさしい住まい				○	○		
		３学期期末テスト			○	○	○		定期考査

学校番号	2004

令和２年度　情報科

教　科	情報	科　目	社会と情報	単位数	２単位	学　年	１年次
使用教科書	高等学校　改訂版　社会と情報　第一学習社						
副教材等	ケース・スタディ情報モラル　第一学習社						

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは今、「高度情報化社会」を生きています。この 30 年ほどの進化によって、私たちはいつでもどこでも世界中の情報に簡単にアクセスできるようになってきています。しかし、その情報は、正しく必要な情報ばかりではありません。多くの情報の中から、どの情報が自分にとって必要なのか、どれが正しい情報なのかを見極めることがとても大切になっています。あふれる情報をうまく整理できれば、その中から誰も気づかなかった意味のあることを見つけ出せるかもしれません。一方、私たちが何気なくつぶやいた一言が、一瞬で日本中に、世界中に広まるということも起こっています。自分が発した言葉が、自分の想像を超えたとらえられ方をするという不幸な出来事が誰にでも起こる可能性があるのです。だからといって私たちは口を閉ざしたままで生きていくことは出来ません。

また、「高度情報化社会」は様々な情報機器や情報サービスを提供する情報システムで構成されています。情報機器の基本の仕組みを理解しうまく扱うこと、サービスの仕組みや意味を理解して、使いこなすことは高度情報化社会の中でよりよく生きていくために必要な知識となっています。

これから学ぶ「社会と情報」は、「高度情報化社会」についての知識や技術を身につけ、生きるための基礎となる科目です。なぜ基礎なのかというと、社会の発展はあまりにも早いため、高校で学んだことをもとにして、対応できるための力をつけてほしいからです。

この授業を受ける上で皆さんには次のような姿勢を持ってもらいたいと思います。

＜リサーチクエスチョンを立てる力（分からないことを発見しようとする姿勢）＞

・与えられたテーマに沿って、自分から疑問や好奇心を持って、問題を発見してゆく姿勢

＜分からないことを調べようとする姿勢＞

・教科書や参考書、インターネットなどを通じて情報を集め、整理・分析し、課題を解決する方法を考える姿勢

＜自分の言葉で語ろうとする姿勢＞

・複数の情報源を参照することで、手に入れた情報が正しいかどうかを分析し、判断しようとする姿勢

２．到達目標

- 情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。
- 情報に関する科学的な見方や考え方を培う。
- 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
- 社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身に付ける。

３．学習評価と評価方法

a．関心・意欲・態度

情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしているか。

評価方法

小レポートを中心とした課題、授業態度

b．思考・判断・表現

情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現しているか。

評価方法

小レポートを中心とした課題、授業態度

c．技能

情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っているか。

評価方法

調べ学習や課題制作における成果物

d．知識・理解

情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解しているか。

評価方法

調べ学習や課題制作における成果物
定期考査【１学期末、２学期末】

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	学習項目	学習内容	自己評価	評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	プロフィール制作	文書作成ソフトの基本操作				○	○	a:情報社会に関心をもち、コンピュータを活用した作品制作（プロフィール制作）に積極的に取り組もうとしている b:自分らしさを他者に知ってもらうために必要な情報は何かを判断し、作品に表現することができる 公表してよい情報なのかを否かを判断し選択することができる c:効果的にプロフィールを他者に伝えることができるように、文書作成ソフトの機能を活用している d:コンピュータを活用した情報伝達の基礎を理解している 様々な権利について理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物および発表・相互評価 定期考査
		コンセプトマップの作成		○	○				
		情報発信と守られる権利			○		○		
		プロフィール制作		○	○	○	○		
		作品公開 相互評価			○		○		
1学期期末	情報社会における法と個人の権利	知的財産権と著作権		○	○	○	○	a:個人の権利や知的財産権、著作権など、情報社会における権利に関心を持って学習に取り組もうとしている b:なぜ個人の権利や知的財産権は守られなければいけないのか、考えることができている c:知的財財産権を侵害する行為をおこなわずに、著作物の活用をしている d:他人の権利への配慮が必要なことを理解している 著作権の内容と、著作物の利用についての事例をもとに理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物 定期考査
		産業財産権		○	○	○	○		
		個人情報にかかわる権利		○	○		○		
	情報の表現	アナログとディジタル数値の表現		○	○		○	a:コンピュータ内部で情報がどのように扱われているか関心をもって学習に取り組もうとしている b:数値の表現を２進法でおこなう利点について考えることができている データを圧縮した表現を行うことができる c:１０進法であらわされた数と２進法であらわされた数とを相互変換するができる ディジタル化した文字や画像等のデータと、文字や画像等を相互変換することができる コンピュータを活用し、収集した情報を伝達に適した形に加工できる d:アナログとディジタルのそれぞれの長所を理解できる 画像や文字、音などが数値であらわせることを理解できる 画像における解像度や色の階調について理解できる	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物 定期考査
		色、画像、文字、音の表現			○	○	○		
		データの圧縮と伸張			○		○		

2学期中間	**根拠をもとに意見発表**	パワーポイント基礎		○			○	a:与えられたテーマの発表に向けて積極的に調べることや発表をすることに取り組んでいる b:与えられたテーマに対して積極的にグループ内で協議し、その結果をグループとしての意見をまとめることができる 意見を述べるとき、根拠を提示することができ、また他のグループの根拠と比較することができる c:よりよいプレゼンテーションを行うための工夫をすることができる 発表の態度や声の大きさなどを意識しながら、相手に理解してもらえるようなプレゼンテーションを行うことができる d:問題解決のさまざまな手法について理解している 情報の正誤を判断する方法について理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物および発表・相互評価 定期考査
		スライド表現の工夫		○	○		○		
		情報収集と意見の集約			○				
		発表準備				○			
		発表・相互評価			○	○			
2学期期末	**表計算入門**	表計算の基礎 四則演算		○		○	○	a:表計算ソフトという情報社会で必須であるツールに関心をもって学習に取り組み、活用をしようとしている b:演算方法や関数の使用、グラフの種類選択などの判断を適切に行い、他者に伝わりやすい表現をすることができる c:基本的な編集方法を習得し他者に効果的に伝達できるように編集し、活用することができる d:演算式・関数の意味や各種グラフの特徴を理解している 表計算ソフトの操作方法を理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物および発表・相互評価 定期考査
		関数を使って、 平均や合計を求める 選択処理をする		○		○	○		
		適切なグラフの作成			○	○			
		グラフをもとに 自分の意見を発表 相互評価			○	○			
	情報通信ネットワークと情報セキュリティ	情報通信ネットワーク		○			○	a:情報の伝達手段やネットワーク上のコミュニケーションサービスについて関心をもって学習に取り組もうとしている 身の回りの情報システムや情報化に伴う犯罪について、関心をもって学習に取り組もうとしている b:コミュニケーション手段の発達や、あたらしいサービスの登場が生活にもたらした影響について考える c:ウイルス対策ソフトウェアを正しく利用するなど、コンピュータウイルスに対する予防と対処ができる インターネットを使ったコミュニケーションの、長所・短所を考えながら使うことができる d:情報伝達手段やコミュニケーションサービスの発達によって、伝達できる情報の量が大きくなったことやあらたな問題点が生じていることを理解する	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物 定期考査
		情報セキュリティ 暗号化と復号		○	○	○	○		
		情報システムと その実例		○			○		
		新たなコミュニケーションサービス		○		○	○		
		情報化の恩恵と課題		○	○		○		

3学期	**プログラミングとシミュレーション**	アルゴロジック		○	○	○	○	a:プログラミングをはじめとした情報技術に関心を持って取り組もうとしている b:社会で利用されている情報技術について、メリット、デメリットを考察し、ＡＩなども含めた情報技術の進展について考えることができる シミュレーションを行った結果をもとに考察することができる c:プログラミングの基礎的な技術を使って、試行錯誤をしながら簡単なプログラムを作成することができる d:プログラミングの基礎的な知識を習得している	授業観察 ワークシート 課題制作における 成果物
		日本語プログラミング			○		○		
		モデル化と シミュレーション		○	○		○		

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　専 家庭科

教科	専 家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達や特徴について理解し、子どもにとってよい環境について考える。保育に関する知識と技術を習得し、将来子どもを育て、子育て支援ができるようになる。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。

評価方法

・ワークシート等の記述
・授業に向かう姿勢
・レポートの作成や発表

b 思考・判断・表現

子どもに適切にかかわることができたり、子どもの健やかな発達を支援したりするために必要な技術を身に付けている。

評価方法

・ワークシートの記述
・レポートの作成や発表
・ペーパーテストの結果

c 技能

子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。

評価方法

・実習の技能
・ペーパーテストの結果
・ワークシート等の記述

d 知識・理解

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。

評価方法

・ペーパーテストの結果
・ワークシート等の記述
・レポートの作成や発表

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	子どもの発達の過程	○子どもの発育 ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理敵意特徴 ・発育の評価		○	○		○	a．人の発達について、自分自身の問題として考える姿勢をもっている。 b．妊婦や子どもと触れ合ったり、実際の姿について観察したりすることができる。 c．乳幼児期の生理的特徴が成人と大きく異なることを具体的に説明できる。 d．生命誕生と母体環境の重要性について関心を持ち、自身の出生時の体重などと合わせて発育について必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 定期考査
	作品制作	壁面制作				○	○	a．子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b．子ども自身の表現活動を活発にするためには何が必要か、という見方ができる。 c．季節・行事について理解し、その制作について必要な技術を身に付けている。 d．児童文化，児童文化財の定義を理解している。	授業観察 実習レポート 製作物
	保育園・幼稚園実習	保育園･幼稚園の施設見学 子どもとのふれあい レポートの提出		○	○	○		a．園児や保育士・幼稚園教諭について関心を持っている。 b．子どもと触れ合ったり、実際の姿について観察したりすることができる。 c．子どもと適切にかかわることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。	実習観察 実習レポート
		期末考査			○	○	○		定期考査

2学期	子どもの生活	○生活と用語 ・生活と健康 ・栄養と食事 ・幼児食実習 ・食習慣の形成 ・衣生活と育児用品 ・おむつの実験		○	○	○	○	a．乳幼児の生活の特徴を理解し、食生活や遊びが発育や発達に及ぼす影響について関心を持っている。 b．乳汁栄養から離乳食、幼児食へと発達に応じた食事の意味を考えることができる。 c． 乳幼児に適した被服の材料・形態・衣生活の設計について理解し、選択することができる。 d．乳幼児の健康について理解し、その健康を守ることについて理解している。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習レポート 実験レポート 観察等 定期考査
		○子どもの遊び ・生活と遊び ・遊びの援助 ・被服製作（子どものおもちゃ作り）		○	○	○			
		○健康管理と事故防止 ・日常の健康管理 ・病気の看病と予防 ・事故の防止と応急処置		○	○	○			
	子どもの保育	○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育		○			○	a．幼稚園と保育園・認定こども園について学び、集団生活の意義に関心をもっている。 d．家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を学び、子どもの成長・発達に両方が必要であることが理解できる。	
	子どもの福祉	○子育て支援 ・社会的支援の必要性 ・児童虐待とその予防 ・これからの子育て支援		○			○	a．子育て支援の課題と展望を考えることができる。 d．児童を取り巻く環境の変化や子育て支援の現状を知り、子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要があることを理解することができる。	
		期末考査			○	○	○		定期考査
3学期	手作り絵本の製作	絵本の製作・発表・評価			○	○		b．絵本について理解している。 c． 絵本の製作に必要な技術を身に付けている。また、絵本の読み聞かせの技術が身についている。	授業観察 作品 発表 レポート

学校番号	2004

令和２年度　専 家庭科

教科	専 家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ファッション造形基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

衣生活について関心をもち、被服の製作を通してその構成や特徴に触れ、知識と技術を習得する。

２　学習の到達目標

被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得させ、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

衣服の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、衣服を創造的に製作する態度を身に付けている。

評価方法

・ワークシート等の記述
・授業に向かう姿勢
・レポートの作成や発表

ｂ思考・判断・表現

衣服の製作について、自分の考えをまとめ、目的に応じてどのような材料・デザインなどが適当かを判断する力を身につけている。

評価方法

・ワークシートの記述
・レポートの作成や発表
・定期考査の結果

ｃ技能

製作題材を踏まえた技法を用い、計画に従って能率的に衣服の製作を行うことができる技能を身に付けている。

評価方法

・実習の技能
・定期考査の結果

ｄ知識・理解

衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身に付けている。

評価方法

・レポートの作成や発表
・定期考査の結果

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元名（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
一学期	洋服の製作	1節　製作の基礎 製作例　袋物 2節　洋服の製作 製作例 ショートパンツ		○	○	○		a:被服製作について関心をもつ b:基礎的な技術で袋物を製作する。 c:ショートパンツの構成を理解し、製作技術を習得する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
	衣服の構成	1節　人体と衣服″ 2節　立体構成衣服と平面構成衣服″		○			○	a:人体にあわせた衣服を製作するには、どのような工夫がいるか、関心をもつ。 d:平面構成衣服と立体構成衣服の違いについてトルソーの製作を通して、理解する。	定期考査 作品提出 レポート 観察等
二学期	洋服の製作	2節　洋服の製作 2上衣の製作 製作例 パーカー		○			○	a:洋服の製作について関心をもつ。 d:上衣の構成を理解し、製作技術を習得する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
	衣服の素材	1節　衣服素材の種類 2 節　衣服素材の性能と選択		○			○	a:衣服に適した素材の種類について関心をもつ。 d:　衣服素材の性能について理解する。	定期考査 レポート 観察等
三学期	応用製作　和服の知識	2節　手芸の製作 製作例　3　刺繍 1節　和服製作の基礎				○	○	c:刺繍の技能を習得する。 d:和服の構成について理解する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等

学校番号	2004

令和２年度　専 家庭科

教科	専 家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ファッション造形基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

衣生活について関心をもち、被服の製作を通してその構成や特徴に触れ、知識と技術を習得する。

２　学習の到達目標

被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得させ、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

衣服の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、衣服を創造的に製作する態度を身に付けている。

評価方法

・ワークシート等の記述
・授業に向かう姿勢
・レポートの作成や発表

ｂ思考・判断・表現

衣服の製作について、自分の考えをまとめ、目的に応じてどのような材料・デザインなどが適当かを判断する力を身につけている。

評価方法

・ワークシートの記述
・レポートの作成や発表
・定期考査の結果

ｃ技能

製作題材を踏まえた技法を用い、計画に従って能率的に衣服の製作を行うことができる技能を身に付けている。

評価方法

・実習の技能
・定期考査の結果

ｄ知識・理解

衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身に付けている。

評価方法

・レポートの作成や発表
・定期考査の結果

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元名（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
一学期	洋服の製作	1節　製作の基礎 製作例　袋物 2節　洋服の製作 製作例 ショートパンツ		○	○	○		a:被服製作について関心をもつ b:基礎的な技術で袋物を製作する。 c:ショートパンツの構成を理解し、製作技術を習得する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
	衣服の構成	1節　人体と衣服″ 2節　立体構成衣服と平面構成衣服″		○			○	a:人体にあわせた衣服を製作するには、どのような工夫がいるか、関心をもつ。 d:平面構成衣服と立体構成衣服の違いについてトルソーの製作を通して、理解する。	定期考査 作品提出 レポート 観察等
二学期	洋服の製作	2節　洋服の製作 2上衣の製作 製作例 パーカー		○			○	a:洋服の製作について関心をもつ。 d:上衣の構成を理解し、製作技術を習得する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
	衣服の素材	1節　衣服素材の種類 2 節　衣服素材の性能と選択		○			○	a:衣服に適した素材の種類について関心をもつ。 d:　衣服素材の性能について理解する。	定期考査 レポート 観察等
三学期	応用製作　和服の知識	2節　手芸の製作 製作例　3　刺繍 1節　和服製作の基礎				○	○	c:刺繍の技能を習得する。 d:和服の構成について理解する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等

学校番号	2004

令和２年度　専 家庭科

教科	専 家庭	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	フードデザイン　cooking & arrangement （教育図書）						
副教材等	基本マスター　ノート＆クッキング　四訂版（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の食生活について、広い視野で理解ができるようにする。授業形態を主体的に取り組めるものとする。実習など体験的学習を通して技術の向上と理解を深める。

２　学習の到達目標

先人が築きあげてきた食文化に触れ、既存の文化を受け継ぎつつ、これからの安全で健康な生活を作り上げていくことのできる能力と態度を養う。また、世界の食文化を通し、異文化理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

食生活に関する諸問題に関心をもち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。

評価方法

・ワークシート等の記述
・授業に向かう姿勢
・レポートの作成や発表

ｂ思考・判断・表現

食生活を総合的に捉えて計画・実践するための課題を見いだし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身に付けている。

評価方法

・ワークシートの記述
・レポートの作成や発表
・定期考査の結果

ｃ技能

主体的に食生活を営むために必要な食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身に付けている。

評価方法

・実習の技能
・定期考査の結果
・ワークシート等の記述

ｄ知識・理解

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付けている。

評価方法

・定期考査の結果
・ワークシート等の記述
・レポートの作成や発表

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	健康と食生活	食事の意義と役割 食品の衛生と安全		○	○			ａ．調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。 ｂ．心身ともに健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について思考を深め、自分の食生活の現状を判断することができる。 ｃ．食品の衛生を踏まえた適切な調理ができるようにする。 ｄ．食品の特徴、調理性、加工について理解できる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		調理の目的・食品の調理操作				○	○		
	栄養素とその栄養素を含む食品の特徴	栄養素の役割 １．炭水化物 ２．脂質 ３．たんぱく質 食品の特徴 穀類　いも類 油脂類 卵　魚介類 肉類　豆類			○	○	○	ａ．食品の特徴や、調理操作によって変化する食品の成分に関心を持とうとし、知識を習得することができる。 ｂ．体の中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのか、また、その栄養素を含む食品を考えることができる。 ｃ．調理実習や実験と結びつけて知識を生かそうとしている。 ｄ．栄養素などの種類とはたらきについての知識を習得することができる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
	日常食	日本料理 西洋料理 中国料理			○	○	○	ａ．協力して片づけができる ｂ．各料理に合った盛り付けや、目的にあった食卓を整えることができる。 ｃ．食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことがする。 ｄ．献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		期末考査			○	○	○		定期考査

２学期	栄養素とその栄養素を含む食品の特徴	４．ビタミン ５．無機質 食品の特徴 牛乳・乳製品 野菜類 果物類 調味料　香辛料		○	○	○	○	ａ．食品の特徴や、調理操作によって変化する食品の成分に関心を持とうとし、知識を習得することができる。 ｂ．体の中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのか、また、その栄養素を含む食品を考えることができる。 ｃ．調理実習や実験と結びつけて知識を生かそうとしている。 ｄ．栄養素などの種類とはたらきについての知識を習得することができる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
	日常食	日本料理 西洋料理 中国料理 その他の国の料理 日本の行事食			○	○	○	ａ．協力して片づけができる。 ｂ．各料理に合った盛り付けや、目的にあった食卓を整えることができる。 ｃ．食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。 ｄ．献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		期末考査							定期考査
３学期	調理と献立	日本料理・西洋料理・中華料理の特徴と献立・食卓作法		○		○		ａ．日本料理、西洋料理、中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持とうとしている。 ｂ．具体的な食事テーマを設定し、その目的に応じた献立を考えることができる。 ｃ．様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。 ｄ．食事を心豊かにおいしく食べるためには、食品の選択と食品の衛生と安全についての知識が必要であることを理解できる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		献立作成		○	○	○	○		
		食品の選択と取り扱い			○	○	○		
		期末考査			○	○	○		定期考査

学校番号	2004

令和２年度　専 家庭科

教科	専 家庭	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	フードデザイン　cooking & arrangement （教育図書）						
副教材等	基本マスター　ノート＆クッキング　四訂版（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の食生活について、広い視野で理解ができるようにする。授業形態を主体的に取り組めるものとする。実習など体験的学習を通して技術の向上と理解を深める。

２　学習の到達目標

先人が築きあげてきた食文化に触れ、既存の文化を受け継ぎつつ、これからの安全で健康な生活を作り上げていくことのできる能力と態度を養う。また、世界の食文化を通し、異文化理解を深める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

ａ関心・意欲・態度

食生活に関する諸問題に関心をもち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。

評価方法

・ワークシート等の記述
・授業に向かう姿勢
・レポートの作成や発表

ｂ思考・判断・表現

食生活を総合的に捉えて計画・実践するための課題を見いだし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身に付けている。

評価方法

・ワークシートの記述
・レポートの作成や発表
・定期考査の結果

ｃ技能

主体的に食生活を営むために必要な食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身に付けている。

評価方法

・実習の技能
・定期考査の結果
・ワークシート等の記述

ｄ知識・理解

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付けている。

評価方法

・定期考査の結果
・ワークシート等の記述
・レポートの作成や発表

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	健康と食生活	食事の意義と役割 食品の衛生と安全		○	○			ａ．調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。 ｂ．心身ともに健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について思考を深め、自分の食生活の現状を判断することができる。 ｃ．食品の衛生を踏まえた適切な調理ができるようにする。 ｄ．食品の特徴、調理性、加工について理解できる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		調理の目的・食品の調理操作				○	○		
	栄養素とその栄養素を含む食品の特徴	栄養素の役割 １．炭水化物 ２．脂質 ３．たんぱく質 食品の特徴 穀類　いも類 油脂類 卵　魚介類 肉類　豆類			○	○	○	ａ．食品の特徴や、調理操作によって変化する食品の成分に関心を持とうとし、知識を習得することができる。 ｂ．体の中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのか、また、その栄養素を含む食品を考えることができる。 ｃ．調理実習や実験と結びつけて知識を生かそうとしている。 ｄ．栄養素などの種類とはたらきについての知識を習得することができる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
	日常食	日本料理 西洋料理 中国料理			○	○	○	ａ．協力して片づけができる ｂ．各料理に合った盛り付けや、目的にあった食卓を整えることができる。 ｃ．食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことがする。 ｄ．献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		期末考査			○	○	○		定期考査

２学期	栄養素とその栄養素を含む食品の特徴	４．ビタミン ５．無機質 食品の特徴 牛乳・乳製品 野菜類 果物類 調味料　香辛料		○	○	○	○	ａ．食品の特徴や、調理操作によって変化する食品の成分に関心を持とうとし、知識を習得することができる。 ｂ．体の中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのか、また、その栄養素を含む食品を考えることができる。 ｃ．調理実習や実験と結びつけて知識を生かそうとしている。 ｄ．栄養素などの種類とはたらきについての知識を習得することができる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
	日常食	日本料理 西洋料理 中国料理 その他の国の料理 日本の行事食			○	○	○	ａ．協力して片づけができる。 ｂ．各料理に合った盛り付けや、目的にあった食卓を整えることができる。 ｃ．食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。 ｄ．献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		期末考査		○	○	○	○		定期考査
３学期	調理と献立	日本料理・西洋料理・中華料理の特徴と献立・食卓作法		○		○		ａ．日本料理、西洋料理、中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持とうとしている。 ｂ．具体的な食事テーマを設定し、その目的に応じた献立を考えることができる。 ｃ．様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。 ｄ．食事を心豊かにおいしく食べるためには、食品の選択と食品の衛生と安全についての知識が必要であることを理解できる。	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察等
		献立作成		○	○	○	○		
		食品の選択と取り扱い			○	○	○		
		期末考査			○	○	○		定期考査

学校番号	2004

令和２年度　専 情報科

教科	専 情報	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	情報の表現と管理【 実教出版 】						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

広告やアニメーション等の作品制作を通して、急速に多様化するメディア環境についての問題意識を養うことを目指します。
１年次の「社会と情報」では、コンピュータを使って自分を表現する方法を学びました。２年次の「情報の管理と表現」では、１年次の基礎的な活動をより発展させてコンピュータを使って、「自分を表現する力」と「他者と協力しながら取り組む力」の向上を目指します。

２　学習の到達目標

・情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得させる
・情報を目的に応じて適切に表現するとともに，管理し活用する能力と態度を育てる
・マルチメディア作品の制作と発表に関して、情報を収集、整理し、思考を深め、
　基礎的・基本的な知識や技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けさせる

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

情報の各分野に関する諸課題について関心をもち，その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

評価方法

プリント　課題提出

b. 思考・判断・表現

情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的･基本的な知識と技術を基に，情報産業に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。

評価方法

課題提出　　グループ討議

c. 技能

情報の各分野に関する基礎的･基本的な技術を身に付け，情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用している。

評価方法

課題提出

d. 知識・理解

情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け，現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。

評価方法

課題提出　小テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	広告表現、看板表現で使われている技法	色や文字による表現パターンを学ぶ		○	○		○	a:街中で使われている広告表現や看板表現に興味をもち、自らの作品制作に積極的に取り組もうとしている b: 伝えたいことや作品のコンセプトを適切に判断し、他者に的確に伝わるように表現している c: 文書作成ソフトの基本操作を習得し、情報を発信することができる d:色や文字による表現パターンを理解している 他者に伝えたいことや作品のコンセプトの一貫性を理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
		伝えたいことや作品のコンセプトの一貫性を保つ方法を学ぶ			○		○		
		制作工程を立てることで、見通しを立てて作業をすることの重要性に気付く				○			
	体育祭デコレーションパネル作品作成	プレ課題の制作を通して文書作成ソフトの基本操作を復習する		○		○	○		授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
		企画書や下書きに沿った作品作成を行う			○	○			

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期期末	２０１７年　文化祭パンフレット表紙作成	抽象表現と具体表現それぞれを比較しケースに応じた表現方法を思考する		○		○	○	a: 抽象表現と具体表現の違いについて興味をもち、自らの作品制作に積極的に取り組もうとしている b:自分と他の人の作品を比較し改善点について考え、自らの作品にいかに活かすかを判断・表現することができる c: 文書作成ソフトの基本操作を習得し、情報を発信することができる d:抽象表現と具体表現の違いについて理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
		中間発表の機会を設け、お互いに改善点について思考する			○				
2学期中間	「みんなで良い学校プロジェクト」作品作成	食べ歩き防止、二人乗り防止キャンペーンポスター制作を通して伝えるべきことが具体的にあっても表現に様々な方法があることを学習する		○	○	○		a:イラストを取り入れた表現に興味をもち、良い学校プロジェクトに積極的に取り組もうとしている b:伝えるべきことに応じて適切な方法を選択することができている c:素材づくりを積極的に行い活用することができる 企画書や下書き通りに作品を作成できる d:学校の課題を理解している 他者に伝えるための表現方法を理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
		ペイントでイラスト素材を作る時間を多く設け、企画書や下書きに沿ったこだわりのある作品制作に取り組む			○	○	○		

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
2学期期末	「修学旅行　思い出アニメーション」作品作成	修学旅行中に取った写真を編集させ、思い出ムービーをムービーメーカーで作らせる		○	○	○	○	a:ムービー作成に興味をもち、作品制作に積極的に取り組もうとしている b:デザインに一貫性をもたせることができる c: ムービーメーカーの基本操作を習得し、作品制作をすることができる d:映像表現の仕組みを理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
3学期	HTML タグを使った Web ページ作品作成	HTML タグを使って、オリジナル Web ページを作成し、公開を行う		○	○	○		a: Web ページに関心をもち、オリジナル Web ページ制作に向けて積極的に取り組もうとしている b:他者の作品に対して、良い点、改善点を挙げることができている c:下書きで示したデザイン通りに Web ページを作成できる d:HTML タグを理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
		公開された他者の作品を見て、その作品の良い点、改善点を見出す			○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　専 情報科

教科	専 情報	科目	アルゴリズムとプログラム	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	アルゴリズムとプログラム【 実教出版 】						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

簡単なプログラミングやフローチャートの作成、データ構造の学習などの活動を通して理論的に解決する能力を身につけてもらいます。１，２年生よりもかなり応用的な内容になっていますので、しっかりと取り組む姿勢が必要です。

２　学習の到達目標

１．アルゴリズムの基礎を理解する
２．プログラムの基礎を理解させ、簡単なプログラムを作成できるようにする
３．サブルーチンや関数、グローバル変数やローカル変数などを正しく使えるようにする

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

情報の各分野に関する諸課題について関心を持ち，その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

評価方法

プリント　課題提出

b. 思考・判断・表現

情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的･基本的な知識と技術を基に，情報産業に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。

評価方法

課題提出　　グループ討議

c. 技能

情報の各分野に関する基礎的･基本的な技術を身に付け，情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用している。

評価方法

課題提出

d. 知識・理解

情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け，現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。

評価方法

課題提出　小テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期中間	アルゴリズムとは	アルゴリズムの意味を理解する		○			○	a:アルゴリズムについて関心もち、学習に積極的に取り組もうとしている b:日常におけるアルゴリズムを見つけて整理をし、それを表現することができる c:自らフローチャートを描くことができる アルゴロジックの問題を試行錯誤しながら、より良い手順を見つけることができる d:基本的なアルゴリズムを理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
		ワークシートに日常におけるアルゴリズムの基礎的な知識を記述し、フローチャートを書く		○	○				
		実際にフローチャートを書くなどの活動に取り組む			○	○			
		アルゴロジックを用いてアルゴリズムの基本的な知識や技能を体験的に学習する				○	○		
1学期期末	ビュートシミュレータ実習	ビュートシミュレータを活用し、アルゴリズムの基本的な知識や技能を体験的に学習する		○		○	○	a:ビュートシミュレータを使用し、問題解決について積極的に取り組もうとしている b:ビュートシミュレータに与える命令を、アルゴリズムを記述した上でプログラムとして与えることができる c:ビュートシミュレータの基本操作ができる d:基本的なアルゴリズムを理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
		フローチャートの記述方法や簡単なアルゴリズムに関する知識をふりかえる		○	○		○		

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	C言語入門	以下の内容において、反復練習を通して理解させる - C言語記述方法 - データと変数 - 演算子と条件分岐 - 配列と繰り返し処理 - 文字列		○		○	○	a:与えられた課題に対して、積極的に取り組み、問題を解決しようとしている b:プログラム作成の流れ（入力・コンパイル・実行）について考えることができる c:プログラム作成から実行までができる d:基本制御構造やプログラミングなどにおける知識・仕組み・考え方を理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物
2学期期末		以下の内容において、反復練習を通して理解させる - 多次元配列 - 関数の定義・作成および変数の有効範囲 - ポインタ変数 - 構造体 - マクロとライブラリの利用			○	○	○		
		C言語の基本的な知識と技術をふりかえる				○	○		
3学期	C言語入門 - じゃんけんプログラムの作成	２学期に学んだ知識を踏まえ、自らプログラミングに取り組ませる			○	○	○	a:これまでに学んだ基礎知識をもとに、与えられた課題に積極的に取り組もうとしている b:じゃんけんの仕組みをフローチャートで表現することができる 同じ課題に対して他者がどのように作成したのかを比較・検証し、より良いプログラムは何かを考える c:フローチャートをもとに、プログラムを作成することができる d:プログラミングにおける知識・仕組み・考え方を理解している	授業観察 ワークシート 課題制作における成果物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　専 理数科

教科	専 理数	科目	理数物理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　物理基礎（啓林館）、物理　改訂版（啓林館）						
副教材等	センサー総合物理　新訂版（啓林館）、フォローアップドリル物理基礎　波・電気（数研出版）、フォローアップドリル物理　波（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

最初に学ぶ波（波動）は、水面を伝わるものだけでなく、光や音など身近な自然現象に大きく関わっているものも含まれます。空間的・時間的な広がりを考えることも必要になるため、なかなかイメージすることが難しいのですが、実験･観察を通して体感を伴った理解が得られるように配慮しますので、丸暗記に頼らず学習してください。そして、復習は欠かさず行いましょう。

２　学習の到達目標

水面波、音、光などの波動現象を実験･観察などを通して探究し、共通する基本的な概念や法則を系統的に理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。また、力学･電磁気学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:関心・意欲・態度

われわれの身の回りでおこる自然現象や物理法則に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、利用法について考えようとする基本的な態度を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価＆相互評価

b:思考・判断・表現

物理に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための基本的な能力を身に付けている。

評価方法

・課題解決学習の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c:技能

実験に関する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない基本的な観察力や処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d:知識・理解

身の回りで起こる自然現象やそれを支配する物理法則などに関する物理の基本的な知識を総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 a	b	c	d	生徒の到達目標	評価方法
1学期中間	波の性質	波の伝わり方		○		○		a:波の性質を掘り下げながら学習し，平面や空間を伝わる波の様子や，その性質について調べようとしている。 b:平面や空間を広がっていく波や，正弦波の性質と法則，ホイヘンスの原理，波の反射・屈折について考えることができる。 c:水波投影装置を使い，水面波の波面や進み方，2 つの円形波の干渉の様子を観察し記録することができる。 d:波の伝わり方，干渉と回折，反射と屈折について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		波の干渉と回折				○	○		
		波の反射と屈折			○		○		
1学期期末	音の性質	音波			○	○		a:私たちにとって，最も身近な波動の１つである音波や，音のドップラー効果が身近なところで起きていること，応用されていることについて調べようとしている。 b:空気中の音波の性質と音の三要素について，観測者と音源が同一直線状を動く場合のドップラー効果について考えることができる。 c:おんさを用いて音の干渉を観察することができる。 d:音の三要素と音の干渉，回折，音のドップラー効果について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		ﾄﾞｯﾌﾟﾗｰ効果			○		○		
2学期中間	光の性質①	光の進み方			○		○	a:光の進み方や波としての光の性質について調べようとしている。 b:光の速さ，波長，反射，屈折，分散，偏光について，そして光が横波であることや，光のスペクトルについて考えることができる。 c:直視分光器を使い，色々な光源の輝線スペクトルや吸収スペクトルの様子を観察し記録することができる。 d:光の進み方や光の性質について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		光の性質		○		○			
2学期期末	光の性質②	ﾚﾝｽﾞと球面鏡			○		○	a:レンズと球面鏡による像の特徴や光の回折と干渉について調べようとしている。 b:鏡やレンズの幾何光学的な性質や，ヤングの実験，回折格子及び薄膜の干渉について考えることができる。 c:光の干渉による干渉縞を観察し記録することができる。 d:レンズと球面鏡，光の回折と干渉について理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		光の回折と干渉		○		○			

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	物理と私たちの生活	再生可能エネルギーと枯渇性エネルギー		○	○			a:エネルギーと資源について学習し，これからの社会に必要な考え方について調べようとしている。 b:再生可能エネルギーと枯渇性エネルギーの違いや，持続可能な循環型社会のあり方について考えることができる。 d:エネルギーの有効活用についてや，科学技術の発展と私たちの生活の関わりについて理解できる。	授業中の態度・提出物・定期考査
		物理学が拓く世界		○			○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　専 理数科

教科	専 理数	科目	理数化学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編化学（東京書籍）						
副教材等	セミナー　化学基礎＋化学（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は物質を対象とする学問です。化学が人間生活に果たしている役割を理解すると共に学習を通じて化学的に探究する能力と態度を育成するために常に目的意識を持って授業を受け，実験･観察などを通して社会における化学の役割を考察しましょう。また，日常生活の様々な場面で得た知識を活用し，考えることで新たな見方を身に付けることができます。学んだことの積み重ねで授業が進んでいくので，ノートや問題集を用いて，復習は欠かさず行いましょう。

２　学習の到達目標

化学的な事物・事象に対する探究心を高め，目的意識をもって学習し化学的に探究する能力と態度を育てると共に，共通する基本的な概念や法則を系統的に理解し，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

身近な自然現象や化学法則に興味・関心を持ち，それらを知るだけでなく，主体的に利用法についても深く探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。

評価方法

・授業に向かう姿勢
・内容に関する関心
・提出物の提出状況
・自己評価

b. 思考・判断・表現

化学に関する与えられた課題をこなすだけでなく，自ら課題を見出し，解決を目指して思考を深める過程を通して，考察し，その考えを表現するための基礎的な能力を身に付けている。

評価方法

・探究活動の発表
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート
・提出物

c. 技能

実験に関する装置･器具についての基本操作を習得するとともに，実験から得られた過程や結果を正しく記録，整理し，実験で起こる様々な現象を見逃さない探究心や情報を処理する方法を身に付けている。

評価方法

・実験器具などの取り扱いの状況
・グループワークの取り組み
・学習の取り組みをまとめたレポート

d. 知識・理解

身の回りで起こる自然現象やそれを支配する化学法則などに関する化学の基礎的な知識を理解し，総合的に身に付けている。

評価方法

・定期考査
・小テスト
・提出物

★上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期中間	電池と電気分解	イオン化傾向と電池		○			○	a:イオン化傾向と電池の反応，電気分解と酸化還元反応について興味・関心を持ち，それらを電子授受という観点から意欲的に探究しようとする。 b: 水溶液での電気分解の特性に興味をもち，その性能と課題について考察し，導き出した考えを表現している。 c:さまざまな電池についての構造を理解し，観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，酸化還元反応を用いて論理的に報告書を作成することができる。 d:イオン化傾向と電池についての酸化還元反応を理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		様々な電池				○			
		水溶液の電気分解		○	○				
1学期期末	有機化合物の性質と利用	有機化合物の特徴と分類		○	○			a:有機化合物の定義，特徴と分類に興味・関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:有機化合物の分類について，結合様式および官能基の違いによりさまざまな有機化合物が存在することについて考察し，導き出した考えを表現している。 c:有機化合物の特徴によるさまざまな分析法について観察・実験を行い，機器の取り扱いなどの基本操作を習得するとともに，有機化合物の性質について論理的に報告書を作成することができる。 d:飽和炭化水素および不飽和炭化水素の違いによる性質について理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		脂肪族炭化水素					○		
		有機化合物の分析				○			

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	有機化合物の性質と利用	官能基をもつ脂肪族化合物			○			a:芳香族化合物の構造や反応に興味・関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:脂肪族化合物がさまざまな官能基を持つことにより，特徴や性質が変わることについて考察し，導き出した考えを表現している。 c:芳香族炭化水素の置換反応について観察，実験を行い，各種化学反応について論理的に報告書を作成することができる。 d:芳香族炭化水素に酸素や窒素を含む官能基があることで，化合物の性質が変わることについて理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		芳香族炭化水素		○		○			
		酸素を含む芳香族化合物					○		
		窒素を含む芳香族化合物					○		
2学期期末	有機化合物の性質と利用	有機化合物と人間生活		○				a:有機化合物が染料や衣料に利用され，人間生活にさまざまな影響を与えていることに興味・関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:それぞれの典型金属元素の違いについて原子の電子配置の関係から考察し，導き出した考えを表現している。 c:非金属元素の単体と化合物の製法について観察，実験を行い，それぞれの違いについて論理的に報告書を作成することができる。 d:非金属元素の単体や化合物の製法や利用法について理解し，知識を身に付けている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
	無機物質の性質と利用	非金属元素				○	○		
		典型金属元素			○				
3学期	無機物質の性質と利用	遷移元素			○	○		a:無機物質が日常生活の中に数多く存在し，さまざまな影響を与えていることに興味・関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:典型金属元素と遷移元素の違いにおいて，原子の電子配置の関係から考察し，導き出した考えを表現している。 c:それぞれの典型金属元素の単体と化合物の性質の違いについて，観察・実験を行い，それぞれの違いについて論理的に報告書を作成することができる。 d:無機物質がどのように人間生活に深く関わり，利用されているかについて理解し，知識を身につけている。	授業中の態度・提出物・レポート・小テスト・定期考査
		無機物質と人間生活		○			○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　専 体育科

教科	専 体育	科目	スポーツⅡ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2019（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

正課「体育」に加え、より集団との関わりを意識しながら自分の集団の中での役割を考え、自発的に活動しましょう。その中で課題の克服を目指し、工夫を重ね、技能の向上をめざしましょう。

2 学習の到達目標

各球技の特性やねらいを理解し、運動の楽しさや仲間と協力し汗を流すことの喜びを深く味わうことができるようなる。また、技能や知識を深める中で、健康的な生活と運動・スポーツの深い関わりを理解し、生涯にわたって自発的に運動やスポーツに親しむ基礎を築き、豊かで活力のある生活を営む資質や態度を育てる。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a. 関心・意欲・態度

自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとする。
協調性・安全の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断できる。
公正・協力・責任・共生などの態度を身につける。

評価方法

受講態度の観察

b. 思考・判断

知識を活用し、技能向上につなげる。
学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。

評価方法

ノート・体育理論・レポート

c. 運動の技能

仲間と連携・協力してゲームを楽しむ。
記録や技能向上に挑戦する。

評価方法

技能観察・技能テスト

d. 知識・理解

特性やねらいを把握。
実践・応用できる科学的知識を身につける。
積極的に研究する姿勢を養い理解を深める。

評価方法

ノート・体育理論・レポート
確認テスト・振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	オリエンテーション		○				a：授業の目的・意義を考え、主体的に今後の予定を考え、企画することができる。	振り返りシート 観察等
	球技	ビーチバレー		○		○	○	a：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとするや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c：各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 d：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	確認テスト 振り返りシート 観察等
		バレーボール		○	○	○			
		ソフトボール		○	○	○			
		バドミントン		○	○	○			
2学期	球技	卓球		○	○	○		a：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとするや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c：各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 d：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
		バレーボール		○		○	○		
		バドミントン		○	○	○			
		アルティメット		○		○	○		

3 学 期	球技	サッカー		○		○	○	ａ：各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めたり、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとするや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 ｂ：生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ：各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 ｄ：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	技能テスト 振り返りシート 観察等
		バスケットボール		○	○	○			

※自己評価に関しては、ノートやシートに記入し、全単元において実施

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

令和２年度　専　美術科　　学校番号２００４

教科	専 美術	科目	素描	単位数	2	学年	3年
使用教科書	なし						
副教材等	ワークシートプリント						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

対象の存在感や画面の空間感を描画する造形表現の基礎となる観察力と描写力を高めます。

①デッサン　対象の客観的な観察を通して形体の構造を理解し、形体を正確に描画する態度を身につける。そして形体の色彩や材質感などの表し方を工夫し表現する能力を高める。

②スケッチ　対象の形体や空間、人物のある動作の一瞬の形態のよさや美しさを端的に把握し、おおまかに素早く描画するクロッキーなどに取り組む。

③表現材料　主に鉛筆を使用するが、他にコンテ、木炭、墨液等も取り扱う。表現効果を高めるために、用いる材料や用具についての特性を理解し、自分の表現技法を体得できるようにする。

④鑑賞　生徒作品や作家作品を取り上げ、それぞれの主題と表現意図、形体や色彩、材質感などの描き方表し方の工夫や表現材料の活用、効果などについて考察する。

2 学習の到達目標

対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:美術への関心・意欲・態度

素描を通して、美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。

評価の方法　学習状況の観察
完成作品

b:発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな、表現の構想を練っている。

評価の方法　制作途中作品、完成作品、ワークプリント

c:創造的な技能

創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。

評価の方法　完成作品、ワークプリント

d:鑑賞の能力

美術作品文化遺産、美術文化などについて理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取り、創造的に味わっている。

評価の方法　発表の内容、ワークプリント

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	学習項目	学習内容	自己評価	評価の観点				到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	鉛筆デッサン	・石膏基本形１ ・石膏基本形２		○		○		a:鉛筆の基礎技法に興味・関心を持ち、対象の形体の構造を端的に把握できる。 c:鉛筆の濃淡や、グラデーションなどの基礎技法を生かして描画しようとしている。	学習状況の観察 完成作品
	鉛筆デッサン 「ガラス系」 「金属系」 「木質系」 その他	・ウィスキーボトル ・紙コップ ・電球 ・本 ・軍手 ・筆洗バケツ ・作品鑑賞		○	○	○	○	a:客観的に対象の形体構造を観察把握できる。 b:形や色、材質感などの表し方を工夫し表現することに関心をもてる。 c:形体や色彩、材質感などの表し方で鉛筆の濃淡によるタッチで、よりよい表現を工夫追及している。 d:他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わえる。	学習状況の観察 完成作品 ワークプリント
8月	鑑賞 「高校展の鑑賞」	・作品鑑賞		○			○	a:他者の表現に興味を持ち、主体的に鑑賞の創造活動に取り組める。 d:高校生の表現や工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	鑑賞ﾚﾎﾟｰﾄ
2学期	鉛筆デッサン クロッキー 様々な素材でデッサン	・人物クロッキー ・コンテデッサン ・木炭デッサン 等 ・作品鑑賞		○	○		○	a:これまでに習得した内容や、さまざまな材料や用具についての特性に興味を持っている。 b:モチーフの特徴や状態に応じて適当な描画材料や技法を選択する d:他者の表現に興味を持ち、客観的事実を基に合理的評価が出来る。	学習状況の観察 完成作品 発表の内容
3学期	様々な素材でデッサン	・木炭デッサン ・作品鑑賞				○	○	c:木炭の特長を理解し、理に適った表現の工夫が出来る。 d:美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	学習状況の観察 完成作品 制作途中作品 発表の内容 ワークプリント

※　表中の観点について　a: 美術への関心・意欲・態度　　b: 発想や構想の能力
c: 創造的な技能　　d: 鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和２年度　専　美術科　　学校番号２００４

教科	専美術	科目	クラフトデザイン	単位数	2	学年	３年
使用教科書	なし						
副教材等	ワークシートプリント						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

美的造形性や機能性を主とする造形のデザインに関する学習を通して、立体造形のデザインについての理解を深めるとともに、計画する力や表現のための技能と作図・読図の能力など、表現と鑑賞の能力を高めることをねらいとしている。

①デザインの基礎　立体デザインの基礎的な学習を通して、発想力、構想力を培い、創造的に表現できる能力を身につける。形や色彩、素材、構造などの造形の諸要素を理解する。

②図法、製図　発想、構想したものを視覚的に表示する作図の能力や表示されたものから具体的な形体や仕組みなどを読み取る読図の能力を高める。

③工　芸　材料を基に発想し、目的や条件、美しさを追求して作品を計画的に制作する能力を高める。

④鑑　賞　作品を通して、作者の思いや表現の工夫などを感じ取り、そのよさや美しさを味わう。

2 学習の到達目標

美的造形性や機能性を主とする造形のデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a:工芸への関心・意欲・態度

クラフトデザインを通して、創造活動の喜びを味わい、主体的に発想して制作の構想を練ったり、制作方法を理解し、創意工夫して制作したりしようとしている。

評価の方法　学習状況の観察、完成作品、ワークシート

b:発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて、身近な生活や自己の思いなどから心豊かに発想し、用途と美しさの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさなどを生かして制作の構想を練っている。

評価の方法　制作途中作品、完成作品、ワークシート

c:創造的な技能

制作方法を理解し、意図に応じて材料や用具を活用したり、手順や技法などを吟味するなどし、創意工夫して制作している。

評価の方法　完成作品、ワークシート

d:鑑賞の能力

工芸作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、制作過程における工夫や素材の生かし方、生活や社会を豊かにする工芸の働きについて理解を深めている。

評価方法　鑑賞レポート、ワークシート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

学期	学習項目	学習内容	自己評価	評価の観点				到達目標	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション 図法の基礎演習	・人とモノとの関わりについて考える ・図面から工作へ		○		○		a:図面を通して形体を理解することに興味・関心を持ち、対象の形体の構造を図法を使って正確に表わせる。 c:実製作ができる図面が描ける。図面に基き工作が出来る。	学習状況の観察 ワークシート 作品
	ペーパークラフト「ケント紙を使って」	２ピースの合体キューブをつくる ・見取り図から展開図 ・展開図から造形へ		○	○	○		a:２つの形体が合体して、立方体が出来るための、欠損部分の空間を形体として想像ができる。 b:発想、想像したことを図示できる。 c:形体や紙の材質を理解し、合理的で無駄のない工作を追及して表現している。	学習状況の観察 完成作品 ワークプリント
8月	鑑賞 「高校展の鑑賞」	・作品鑑賞		○			○	a:他者の表現に興味を持ち、主体的に鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 d:高校生の表現や工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	鑑賞ﾚﾎﾟｰﾄ
2学期	ウッドクラフト「シナ合板を使って」	サービストレイの制作 象嵌技法の体験 ・デザインし図面を書く ・糸鋸で板を切る ・ボール盤で穴あけ ・研磨と成形 ・塗装と仕上げ ・作品鑑賞		○	○		○	a:木材を始めとしてさまざまな材料やそれを扱う用具・工具について特性や機能に興味を持てる。 b:課題のテーマに基き、材料の特長を生かした自由にデザインができる c:用具工具を合理的かつ安全に扱える。 d:作品の表現や工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	学習状況の観察 完成作品 発表の内容
3学期	七宝焼きの制作	七宝焼きのバッチをつくる ・デザイン ・釉盛り ・焼成 ・作品鑑賞		○			○	a:釉薬の焼成による窯変に興味を持ち、色ガラスの表現に工夫しようとする。 d:作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	学習状況の観察 完成作品 ワークプリント

※　表中の観点について　a: 美術への関心・意欲・態度　b: 発想や構想の能力
c: 創造的な技能　d: 鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	2004

令和２年度　専 英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
専 英語	英語理解	2	２年次	美誠社「Applause　vol.2」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本的なレベルの英語長文を、段階を追って読んでいくことで、英語長文に慣れ、内容を素早くとらえる練習をする。

・高校生にとって興味深い内容の英文も盛り込まれていることもあり、関心をもって読解力を養い、加えてキーワード、キーフレーズ等、単語力、文法力も伸ばしていく。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「英語理解」（２単位）

主な教材：「Applause vol.2」（美誠社）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・自分自身のことは、前もって準備したうえで１分程度でスピーチができる。 ・身の回りのことを、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	・英語表現Ⅰ ・スピーチコンテスト	自分の夢や目標、日常生活について５～６文の文章で表すことができる。	・英語表現Ⅰ ・スピーチコンテスト ・定期考査	簡単な表現の使われた物語や説明文を聞いて概要を理解することができる。	・コミュニケーション英語Ⅱ ・リスニングテスト	・様々な種類の５０語程度の文章を読んで。内容を理解することができる。	・コミュニケーション英語Ⅱ ・リスニングテスト

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 （3 時間）	「誇大広告」にまつわる内容。レストランでのウエイターと客のやり取りの英文を読んで、何が「誇大広告」なのか　捉える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	互いに協力しながら、どこが「誇大広告」になっているのか質問したり、意見を交換したりする。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシート提出で評価 ・活動観察
		「外国語表現の能力」W			
		何が「誇大広告」になっているか、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使って「誇大広告」の内容を簡潔に書き、ペアーで意見交換する。	何が「誇大広告」になっているか、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	・授業観察とペアーでの意見交換結果を発表
		「外国語理解の能力」R			
		登場人物の言動やその理由等を捉えることを通じ誇大広告の内容を理解する。	ウエイターと客の言動を、ワークシートで整理し、設問で確認する。	登場人物の言動やその理由等を捉えることを通じ誇大広告の内容を理解している。	・ワークシート提出 ・設問を、ペアーでチェックし提出 ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		「聞くこと」の言語活動に用いられている語句、文法事項についての知識を身につける。	場面や状況に応じた表現や論理の展開を拾い上げて、「誇大広告」の内容を掴み、トピックセンテンスを書く。	「聞くこと」の言語活動に用いられている語句、文法事項についての知識を身につけている。	・リスニングテスト ・簡単な口頭テスト（グループで）
Lesson 2 （3 時間）	「紙と環境」に関する英文を読んで、紙の家など環境問題に言及している内容を掴む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合う。	ペアーで協力し、意見交換し、論旨をまとめる。	間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合っている。	授業観察
		「外国語表現の能力」R			
		「紙と環境」の論旨を聴き手に伝わるように、音読することができる。	読んだ内容や経験したことをもとにその論旨や自分の考えを整理し話すことができる。	「紙と環境」の論旨を聴き手に伝わるように、音読することができている。	ワークシート提出 授業観察
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	トピックセンテンスを適切に用いて、要点が明にまとめている。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート提出 設問で確認後、提出 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	「紙と環境」との関連の論旨を理解するためのつながりを示す語句を挙げて整理する。	段落のつながり、文と文のつながりを理解しているための語句を理解している。	ワークシート提出 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson３ （3時間）	「英語を話すのに文法は必要か」に関する英文を読んで自然保護とはどういう事か考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、自然保護に関する筆者の考えを捉える。	読みながらメモを取るなど関心をもって読んでいる。	ワークシート提出
		「外国語表現の能力」W			
		「英語を話すのに文法は必要か」はどういう事か、語句や文法事項を活用して書き出して表現できる。	トピックセンテンスを適切に用い、自然保護に関する筆者の考えを要点が明確な文で書くことができる	「英語を話すのに文法は必要か」はどういう事か、語句や文法事項を活用して書き出して表現できる。	ワークシート提出
		「外国語理解の能力」R			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できる。	「英語を話すのに文法は必要か」に関する筆者の考えを表すキーセンテンス抜出し、ペアで意見交換する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できている。	設問で内容確認、提出 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		段落のつながりや文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	「自然保護」に関する筆者の考えを理解するためのつながりを示す語句を挙げて整理する。	段落のつながりや文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	ワークシート提出
Lesson４ （3時間）	「エレナからの手紙」５歳で亡くなったエレナから両親に宛てた手紙とは、どのようなものだったのかを両親の思いと共に読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	互いに協力しながら、エレナの手紙の内容と、両親の思いを、整理し、意見交換をする。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート提出
		「外国語表現の能力」W			
		エレナの手紙と両親の思いを、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	トピックセンテンスを適切に用い、エレナの手紙の内容と両親の思いを整理する。	エレナの手紙と両親の思いを、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	ワークシート提出 授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	キーワードを適切に用いて「エレナの手紙」の内容、両親の思いを捉えて書き出す。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	ワークシート提出 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		「聞くこと」の言語活動　に用いられている、つながりを示す語についての知識を身につけている。	単語の発音、イントネーション等の特徴を理解する。エレナの手紙の内容を整理し伝える	「聞くこと」の言語活動に用いられている、つながりを示す語についての知識を身につけている。	リスニングテスト 授業内での口頭テスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (3 時間)	「国民性にまつわるジョーク」に関する英文を読み、自分の国ではどうか。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、船長のジョークを理解し、キーセンテンスを適切に用いて書き出し、ペアーで意見交換している	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート提出
		「外国語表現の能力」S			
		船長のジョークの意味を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使ってジョークの内容を簡潔に書き、ペアーで意見交換する。	船長のジョークの意味を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察とペアでの意見交換結果を発表 定期考査
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現、文法事項の知識を活用してジョークの内容を的確に読み取ることができる。	ジョークの意味を明確な英文でまとめる。国民性と関係あるか、既知の語句を使って書き、発表する	語句や表現、文法事項の知識を活用してジョークの内容を的確に読み取ることができる。	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック） 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		文中の、名詞、形容詞、副詞を確認し、ジョークを理解するためのその国の風俗習慣を理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に各国の風俗習慣、国民性に関して考える。	文中の、名詞、形容詞、副詞を確認し、ジョークを理解するためのその国の風俗習慣を理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出
Lesson 6 (3 時間)	「歌舞伎と宝塚歌劇と共通性」に関する英文を速読し。その共通性を掴む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合う。	ペアーで協力し、意見交換し、歌舞伎と宝塚歌劇の共通箇所をまとめる	間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合っている。	授業観察
		「外国語表現の能力」W			
		歌舞伎と宝塚歌劇の共通性を語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	トピックセンテンスを適切に用い、共通性を明確な文で書くことができる。	歌舞伎と宝塚歌劇の共通性を語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	ワークシート提出 定期考査
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	トピックセンテンスを適切に用いて、要点が明確に整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート提出 整理できているかチェック 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	歌舞伎と宝塚歌劇で、筆者が挙げる共通性を理解するためのつながりを示す語句を挙げて整理する。	段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解している。	ワークシート提出 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (3 時間)	「星座や血液型と性格診断」に関する内容の英文を読み、論旨を掴み、自分の考えを表現する、	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、星座、血液型と性格との関連はあるのか、内容を捉える	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート提出
		「外国語表現の能力」S			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できる。	星座、血液型と性格に関する筆者の考えを表すーセンテンス抜出し、ペアーで意見交換する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できている。	ワークシート提出 設問で内容確認、提出 授業観察　定期考査
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	キーセンテンスを適切に用いて、星座、血液型と性格に関する内容が明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート提出 整理できているか設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		文中の、名詞、形容詞、副詞、つなぎとなる語句を確認し内容を理解するための科学論拠も確認する。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学、風俗習慣に関して考える。	文中の、名詞、形容詞、副詞、つなぎとなる語句を確認し内容を理解するための科学論拠も確認している。	ワークシート提出 設問で確認後提出
Lesson 8 (3 時間)	「世界一幸せな国ブータン」に関する英文を読み、アメリカでの社会問題としての肥満を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	授業を通して学んだことや、日常生活などで経験したことを積極的に活用して内容を整理してまとめる	読みながらメモをとなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出 授業観察
		「外国語表現の能力」W			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できる。	キーセンテンスを抜き出し、ペアで意見交換する。なぜブータン世界一幸せな国なのかを整理し発表する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できている。	ワークシート提出 設問で内容確認、提出 授業観察
		「外国語理解の能力」L			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を聞き取ることができる。	単語の発音、イントネーション等の特徴を理解する。偶然の発明の例を聞き取り、整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を聞き取ることができている。	授業観察 ワークシート提出 整理できているか設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学、風俗習慣に関して考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson９ （3 時間）	「日本人と年齢」に関する英文を読み。日本における年齢の意味合いを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取などして関心をもって読む。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、日本での年齢に関する筆者の考えを捉える。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出
		「外国語表現の能力」S			
		日本での年齢の意味を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使って日本における年齢で自分の考えを簡潔に書き、ペアーで意見交換する。	日本での年齢の意味を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察とペアーでの意見交換結果を発表
		「外国語理解の能力」S			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解し整理できる。	日本人と年齢に関する筆者の考えを表すキーセンテンスを抜出し、ペアーで意見交換する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解し整理できている。	ワークシート提出 設問で内容確認し、提出 授業観察
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学、風俗習慣に関して考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出 定期考査
Lesson１０ (３時間)	「見方を変えると問題解決につながることも」という内容の英文を読んで、たとえばビルの屋上に木を植える事が温暖化対策に繋がることを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、「見方を変えること」に関する筆者の考えを捉える。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート提出
		「外国語表現の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切話すことができる。	キーセンテンスを適切に用いて「見方を変えること」の意味を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切話すことができている。	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック）
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読とり、事実と意見を区別して整理できる。	キーセンテンスを適切に用いて「見方を変えること」で問題解決につながる例を明確な英文で書く。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読とり、事実と意見を区別して整理できている。	ワークシート提出 設問で内容確認し、提出 授業観察
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出 授業観察 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１１ (3 時間)	「人の名前に由来する地名や言葉」に関する英文を速読し、いくつかの例を列挙し、確認する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続け、整理する。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、内容を捉え、「人の名前に由来する地名や言葉」を列挙する。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続け、整理している。	授業観察 ワークシート提出
		「外国語表現の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切話すことができる。	「人の名前に由来する地名や言葉」を列挙する。 各自、本文以外の例を調べて、既知の英語を使って簡潔に書く。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切話すことができている。	授業観察 ワークシート提出 定期考査
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的切に話すことができる。	キーセンテンスを適切に用いて肥満に関する問題点を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的切に話すことがでている。	授業観察 ワークシート提出 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、風俗習慣に関して考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出
Lesson１２ (3 時間)	「バイリンガルを考える」に関する英文を読み、２カ国語を話せる機構子女に関する文化、生き方を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、バイリンガルとはっどういう事か筆者の考えを捉える。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出
		「外国語表現の能力」S			
		バイリンガルの意味を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使ってバイリンガル（２言語が操れる）の意味を、自分なりに簡潔に書き、ペアーで意見交換する。	バイリンガルの意味を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察 ペアーでの意見交換 結果を発表 定期考査
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	説明などを読んで重要な事実を捉えることを通じ全体の要旨を理解する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	ワークシート提出 設問で内容確認し提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	筆者が挙げる問題点を捉えるためのつながりを示す語句を挙げて整理する。	段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解している。	ワークシート提出

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１３ （3時間）	「音楽の保存形式の変化」に関する英文を読んで、科学がどのようにスポーツに関わっているのか読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」W			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、内容を捉え整理する。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート提出
		「外国語表現の能力」W			
		音楽の保存形式がどう変化しているかを、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使って筆者の考えを簡潔に書き、ペアで意見交換する。	スポーツ選手の生活を科学がどう管理しているかを、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察とペアでの意見交換結果を発表 定期考査
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取りトピックセンテンスを使い整理することができる	キーセンテンスを適切に用いてスポーツ選手の生活と科学の関連を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取りトピックセンテンスを使い整理することができている。	授業観察 ワークシート提出 整理できているかを設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につけている。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学、風俗習慣に関して考える。	段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につけている。	ワークシート提出 設問で確認後提出
Lesson１４ （　3時間）	「イルカのもつ驚異的な能力」関する英文を読み、科学的にイルカのもつ能力を読解していく。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出 授業観察
		「外国語表現の能力」R			
		意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。	キーセンテンスを抜き出し、ペアーで意見交換する。イルカのもつ能力を整理し、伝える。	意味内容が聞き手に伝わるように音読できている。	ワークシート提出 設問で内容確認し、提出 授業観察
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	キーセンテンスを適切に用いてイルカの能力を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート提出 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		「聞くこと」の言語活動に用いられている名詞、形容詞、副詞、についての知識を身につけている。	表現や論理の展開を捉え、本文にイルカの能力内容を掴む。	「聞くこと」の言語活動に用いられている名詞、形容詞、副詞、についての知識を身につけている。	リスニングテスト 簡単な口頭テスト （グループで）

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１５ （　3時間）	「怒りは健康に良くない」に関する英文を読んで、怒りを抑えるようになろうとする筆者の主張を読解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、内容を捉える。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート提出
		「外国語表現の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読みとることができる。	キーセンテンスを適切に用いて怒りと健康の関連を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読みとることができている。	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック） 設問で確認後、提出
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的切に読み取り、整理できる。	キーセンテンスを適切に用いて、怒りと健康の関連を明確な英文でまとめ、自分の考えも簡潔に書く。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的切に読み取り、整理できている。	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック） 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につける。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学、風俗習慣に関して考える。	段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につけている。	ワークシート提出 設問で確認後提出
Lesson１６ (3 時間)	「生活の一部になっているインターネット」に関する英文を読んで、インターネットの功罪を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出 授業観察
		「外国語表現の能力」R			
		意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。	キーセンテンスを抜き出し、ペアーで意見交換する。各自、インターネットの功罪を整理し、伝える。	意味内容が聞き手に伝わるように音読できている。	ワークシート提出 設問で内容確認し、提出 授業観察
		「外国語理解の能力」R			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できる。	インターネット関する筆者の考えを表すキーセンテンス抜出し、ペアーで意見交換する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できている。	設問で内容確認し、提出 ワークシート提出 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共にインターネットの功罪を科学的に考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１７ （３時間）	「感情と瞳の大きさの関係」に関する英文を読み、筆者の論説を読解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出 授業観察
		「外国語表現の能力」W			
		意味内容が聞き手に伝わるように音読、文法事項を活用して内容を整理する。	キーセンテンスを抜き出し、ペアーで意見交換する。筆者の展開に沿って瞳と感情の関係を整理し発表する。	意味内容が聞き手に伝わるように音読、文法事項を活用して内容を整理してる。	ワークシート提出 設問で内容確認し、提出 授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に整理できる	キーセンテンスを適切に用いて実験内容を明確な英文でまとめ、ペアーで確認する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に整理できている	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック） 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		ⓡ段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につける。	ⓡ簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学に関して考える。	ⓡ段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につけている。	ワークシート提出 設問で確認後提出
Lesson１８ （３時間）	「偶然に生じた発明」に関する英文を読んで、その例を本文から読み取り、日常生活においてもその可能性を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出 授業観察
		「外国語表現の能力」S			
		偶然の発明とはどのようなものかを、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使って筆者の考えを簡潔に書き、ペアーで意見交換する。	偶然の発明とはどのようなものかを、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察とペアーでの意見交換結果を発表
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	トピックセンテンスを適切に用いて、要点が明確に整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック） 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に日常生活と関連付けて考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１９ （　3時間）	「種のただ１匹の生き残りのカメ」に関する英文を速読し、絶滅危惧種と環境問題について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」R			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート提出 授業観察
		「外国語表現の能力」S			
		ただ一匹になった理由を、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	ゾウガメがなぜ一匹になってしまったのかを簡潔に書き、ペアーで意見交換する。	ただ一匹になった理由を、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察とペアーでの意見交換結果を発表 定期考査
		「外国語理解の能力」W			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができ、内容を整理できる。	キーセンテンスを適切に用いて、絶滅危惧種への考えを明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができ、内容を整理できている。	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック） 設問で確認後、提出
		「言語や文化についての知識・理解」R			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に日常生活と関連付けて考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート提出 設問で確認後提出
Lesson２０ (３時間)	「単語を長期記憶する方法」に関する英文を読んで、内容を掴む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」S			
		間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合う。	必要に応じ、辞書を使い、ペアーで協力して意見交換し、論旨をまとめる。	間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合っている。	授業観察
		「外国語表現の能力」R			
		「長期記憶」するための筆者の論説を聴き手に伝わるように、音読することができる。	読んだ内容や経験したことをもとにその論旨や自分の考えをワークシートに整理する。	「長期記憶」するための筆者の論説を聴き手に伝わるように、音読することができている。	ワークシート提出 授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」R			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	説明などを読んで重要な事実を捉えることを通じ全体の要旨を理解する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	ワークシート提出 設問で内容確認し、提出 授業観察
		「言語や文化についての知識・理解」L			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容の概要を聴きとることができる。	単語の発音、イントネーション等の特徴を理解する。筆者の論旨を聞き取り、整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容の概要を聴きとることができている。	授業観察 ワークシート提出（整理できているかチェック） 設問で確認後、提出

学校番号	2004

令和２年度　専 英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
専 英語	英語理解	2	３年次	美誠社「Aim High　vol.1」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本レベルから応用（共通テストレベル）まで、英語長文を、段階を追って読んでいくことで、英語長文に慣れ、内容を素早くとらえる練習をする。

・高校生にとって興味深い内容の英文も盛り込まれていることもあり、関心をもって読解力を養い、加えてキーワード、キーフレーズ等、単語力、文法力も伸ばしていく。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）、「英語表現Ⅱ」（２単位）、「英語理解」（２単位）、「英語長文」（２単位）

主な教材：「Aim　High　vol.１」（美誠社）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・自分自身の回りで起きたことや経験したことなどについて簡単な英語で伝えることができる。 ・自分自身のことや自分の思いを相手の伝えることができる。	・英語表現Ⅱ ・コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査 ・スピーキングテスト	・自分のことや地域のことなどについて、簡単な英語を用いて文章を書くことができる。 ・まとまりのある文章で自分の思いを英語を用いて書くことができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ 長文読解 英語理解Ⅱ ・定期考査	・日常の事柄について内容を理解することができる。 ・様々な内容の英語をゆっくりはっきり話されれば、自分に必要な情報を聞きとることができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ 長文読解 英語理解Ⅱ ・定期考査 ・リスニングテスト	・簡単な語や表現を用いて書かれた文章を理解する事ができる。 ・１００語程度の文章を黙読して要点を理解し適切に音読することができる。	コミュ英Ⅱ 英表Ⅱ 長文読解 英語理解Ⅱ ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 （3 時間）	砂漠の定義とは何かを、英文を通じて正確に捉える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	互いに協力しながら、英文に則して、内容をとらえ、意見を交換したりする。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	ワークシート 活動観察
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		砂漠の定義を英文に訳して、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使って，内容を簡潔に、例を挙げて書き、ペアで意見交換する。	砂漠の定義に関し、文法事項を活用して正確に書き、表現できている。	授業観察
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		砂漠の定義に関して、実例も踏まえ、英文を読んで、捉え、内容を理解する。	砂漠の定義を正確に読み取る。ワークシートで整理し、設問で確認する。	砂漠の定義を捉えることを通じ、英文全体の内容を理解している。	ワークシート 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓛ			
		「聞くこと」の言語活動に用いられている語句、文法事項についての知識を身につける。	論説文に応じた表現や論理の展開を拾い上げて、正確に内容を掴み、キーセンテンスを書く。	「聞くこと」の言語活動に用いられている語句、文法事項についての知識を身につけている。	リスニングテスト 簡単な口頭テスト （グループで）
Lesson 2 （3 時間）	外国を旅するたいていの人は、道に迷い、助けを求める。そのような経験から、出会いや友情が生まれることもある。旅の醍醐味でもある。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合う。	ペアで協力し、意見交換し、論旨をまとめる。	間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合っている。	授業観察
		「外国語表現の能力」Ⓡ			
		外国を旅した際の、醍醐味を聴き手に伝わるように音読することができる。	読んだ内容や経験したことをもとにその論旨や自分の考えを整理し話すことができる。	論旨を聞き手に伝わるように、音読することができている。	ワークシート 授業観察
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	トピックセンテンスを適切に用いて、要点が明にまとめている。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	海外旅行での道案内に関する論旨を理解するためのつながりを示す語句を挙げて整理する。	段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を習得している。	ワークシート 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (3 時間)	人は、聴覚を含む５感を使って食事をするという内容を、例を挙げて解説している。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、に関する筆者の考えを捉える。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		食事をする際の五感を使う例を挙げる。 語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	トピックセンテンスを適切に用い、五感を使っての食事に関する筆者の意見の要旨を明確な文で書くことができる。	食事と五感の相互作用を語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	ワークシート
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できる。	食事と五感に関する筆者の開設を表すキーセンテンス抜出し、ペアで意見交換する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できている。	定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	食事と五感に関する筆者の論旨を理解するためのつながりを示す語句を挙げて整理する。	段落つながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解している。	ワークシート提出
Lesson 4 (3 時間)	人生を楽しむには、ユーモアと前向きな生き方が、カギになる。筆者がいくつかの例を挙げ開設している。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	長く生き、楽しんだと思われる何人かの実例を整理し、意見交換する。、	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどで読み続けている。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		人生を楽しむには、関して、どのようなことが大きいのか筆者の考えを語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	トピックセンテンスを適切に用い、人生を楽しむには何が大切かに関して整理する。	人生を楽しむには何が大切かに関して、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	ワークシート 授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	キーワードを適切に用いて内容を捉えて書き出す。	語句や表現、文法事項の知識を活用し内容を的確に読み取ることができている。	ワークシート 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓛ			
		「聞くこと」の言語活動　に用いられている、つながりを示す語についての知識を身に得ている。	単語の発音、イントネーション等の特徴を理解する。	「聞くこと」の言語活動に用いられている、つながりを示す語についての知識を身に得ている。	リスニングテスト 口頭テスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (3 時間)	体内時計にかかわる　ブルーライト、オレンジライトを使うことで、若者の早寝早起きが促されるかという論旨が展開されている。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、キーセンテンスを適切に用いて書き出し、ペアで意見交換している。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		内容を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使って体内時計に関する実例・内容を簡潔に書き、ペアで意見交換する。	体内時計とブルーライト、オレンジライトの関連の意味を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	体内時計とブルーライト、オレンジライトの関係を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		文中の、名詞、形容詞、副詞を確認し、体内時計のテーマに関心をもつ。	簡潔な語句、文を理解すると共に、体内時計とブルーライト、オレンジライトの関連に気づく。	文中の、名詞、形容詞、副詞を確認し、体内時計を考える契機になっている。	ワークシート
Lesson 6 (3 時間)	W.E ホイは、聾者のプロ野球選手として活躍した。彼の人生、生活に関する内容について英語を通して掴む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合う。	ペアで協力し、意見交換し、ホイの活躍、苦労に関する内容を整理し、ペアで発表しあう。	間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合っている。	授業観察
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		ホイの野球人生に関する内容を語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	トピックセンテンスを適切に用い、共通性を明確な文で書くことができる。	ホイの野球生活に関する内容を語句や文法事項を活用して書き、表現できてる。	ワークシート 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	トピックセンテンスを適切に用いて、要点を明確に整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取れている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解する。	W.E ホイの野球人生から、米国野球界の理解するための語句を挙げて整理する。	段落のつながり、文と文のつながりを理解するための語句を理解している。	ワークシート 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (3 時間)	犬と人間の関係研究から、信頼と愛情に関するホルモン、オキシトシンに関する内容、人と犬との関わりの歴史を英文から読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、人類と犬のかかわりの歴史に関する筆者の解説を掴む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できる。	人類と犬に関する筆者の論説を表すセンテンスを抜出し、ペアで意見交換する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できている。	ワークシート 授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	キーセンテンスを適切に用いて、内容が明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		文中の、名詞、形容詞、副詞、つなぎとなる語句を確認し内容を理解するための科学論拠も確認する。	簡潔な語句、文を理解すると共に歴史、文化、科学、風俗習慣に関して考える。	文中の、名詞、形容詞、副詞、つなぎとなる語句を確認し内容を理解するための科学論拠も確認している。	ワークシート
Lesson 8 (3 時間)	プロスケーターは、自分の好きなことを仕事にした結果であり。仕事として認知されていないところもある。しかし、大好きなことのすることで、多くの幸せがある。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	授業を通して学んだことや、日常生活などで経験したことを積極的に活用して内容を整理してまとめる。	読みながらメモをとるなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート 授業観察
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		プロスケーターになるためにどのようなことをしたか、書き出す。	キーセンテンスを抜き出し、ペアで感想等意見交換する。	説明などを読んで、内容と筆者の意図を理解できている。	ワークシート 授業観察
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を聞き取ることができる。	単語の発音、イントネーション等の特徴を理解する。偶然の発明の例を聞き取り、整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を聞き取ることできている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化に関して考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (3 時間)	肉の消費は、環境に影響を及ぼす。家畜は地球温暖化の一因であるメタンガスを放出する。菜食主義は、健康だけでなく環境にもよい。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		読みながらメモを取などして関心をもって読む。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、筆者の考えを捉える。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		家畜と地球温暖化の関係を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	既知の表現を使って、肉を消費することと菜食主義に関する事例を挙げ、簡潔に書き、ペアで意見交換する。	家畜と地球温暖化の関係を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できてる。	授業観察
		「外国語理解の能力」Ⓢ			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解し整理できる。	肉を消費することと、に関する筆者の考えを表すキーセンテンスを抜出し、ペアで意見交換する。	説明などを読んで現状内容と意見を整理し理解できている。	ワークシート 授業観察
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解する。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学、風俗習慣に関して考える。	関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート 定期考査
Lesson１０ (３時間)	アメリカ南部で、1960 年に黒人４人が、白人専用食堂で座り込み運動をはじめ、人種隔離政策反対運動へ、そして公民権法成立へとつながる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、アメリカの公民権運動に関する史実を捉える。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に話すことができる。	キーセンテンスを適切に用いてアメリカの小学生の携帯事情を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に話すことができている。	授業観察 ワークシート
		「外国語理解の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読みとり、事実と意見を区別して整理できる。	キーセンテンスを適切に用いてアメリカの小学生の携帯事情での功罪について例を明確な英文で書く。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に捉え、事実と意見を区別して整理できている。	ワークシート 授業観察
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		米国の歴史を知って、関係詞、分詞の働きを確認し、大意を理解する。	米国社会での公民権運動を理解、その背景を知る。英文で段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	公民権運動を理解し関係詞、分詞の働きを確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート 授業観察 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１１ (3 時間)	千年前のおもちゃや自然の材料から手作りされた単純なものだった。１８００年代には機械によるおもちゃの大量生産が可能になった。現在のおもちゃはより強く安全な素材でできている。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓦ			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続け、整理する。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、内容を捉え各時代のおもちゃの特徴を列挙する。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続け、整理している。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切話すことができる。	各時代のおもちゃの特徴を列挙する。 各自、本文以外の例を調べて、既知の英語を使って簡潔に書く。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切話すことができている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に話すことができる。	キーセンテンスを適切に用いて各時代のおもちゃの特徴を明確な英文でまとめる。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に話すことができている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		強調の do の意味と使い方を理解する。	強調の do を使っている英文を取り上げて使い方を確認する。	強調の do の意味と使い方を理解している。	ワークシート 定期考査
Lesson１２ (3 時間)	１９９３年にイタリアで見つかった骸骨は DNA 鑑定により最古のネアンデルタール人のものであることが分かった。それにより、人類の進歩について分かるかもしれない。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、発見された骸骨により分かることを理解する。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に話すことができる。	ネアンデルタール人の発見についてどのような経緯があったのかを表でまとめて発表する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に話すことができている。	授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	説明などを読んで重要な事実を捉えることを通じ全体の要旨を理解する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		「読むこと」の言語活動に用いられる語句や文構造、文法事項などについての知識を身につけている。	That の様々な用法や倒置のある文の説明を聞き、意味や用法を理解する。	読むこと」の言語活動に用いられる語句や文構造、文法事項などについての知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１３ (3 時間)	権威があるものでは、それが全て真実であるとは限らない。ガリレオは実験によってアリストテレスの誤りを証明した。検証により、科学は誠実であり続けられる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、科学における検証の重要性を理解する。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		科学における検証の重要性を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現する。	ガリレオの実験の例を参考に、検証が重要になる場面を自分なりに考え、簡潔な英語で書き、ペアで意見交換する。	科学における検証の重要性を理解し、語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	説明などを読んで重要な事実を捉えることを通じ全体の要旨を理解する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		文や段落のつながりから、未知の語句を推測する。	つながりを示す語句を学び、前後の文脈から語の意味を推測する。	文や段落のつながりから、未知の語句を推測できている。	ワークシート
Lesson１４ (　3時間)	「宇宙に人間が行くという奇跡」に慣れ、宇宙飛行にかつてほどの驚きはない。現在の宇宙飛行士は多様性に富み、様々な分野の専門家が起用されている。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓛ			
		聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けられる。	宇宙飛行の歴史についての英文を聞き、聞き取れた内容を整理する。	聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	授業観察 筆記テスト
		「外国語表現の能力」Ⓡ			
		意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。	ディクテーションなどを実施し、音声の特徴を捉えたうえで、ペアで正確に読む練習をする。	意味内容が聞き手に伝わるように音読できている。	授業観察 ワークシート
		「外国語理解の能力」Ⓛ			
		単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができる。	ディクテーションを実施し、音の特徴を捉える。聞き取った内容を整理する。	単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓢ			
		単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解できる。	ディクテーションなどを実施し、音声の特徴を捉えたうえで、ペアで正確に読む練習をする。	単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解している。	音読テスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１５ （　３時間）	ヒューチャーライブラリーは、百年間に百人の作家が書く百の物語を収めた本を作る計画である。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	わからない個所があっても、推測するなどして読み続け、ヒューチャーライブラリーに関する質問に答える。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して適切に書くことができる。	本文の内容を提示された情報をもとに英語で要約する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して適切に書いている。	授業観察 ワークシート 筆記テスト
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に読み取ることができる。	ヒューチャーライブラリーに関する英文を読み、質問に答える。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を適切に読み取ることができている。	授業観察 ワークシート 筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につける。	簡潔な語句、文を理解すると共に文化、科学、風俗習慣に関して考える。	段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につけている。	ワークシート
Lesson１６ (３ 時間)	退屈すると人は糖や脂肪の多い食べ物を求める。それが脳に働きかけ、ドーパミンを放出する。現在はこれらを含む食品が豊富にあるので、退屈は不健康な食品選びにつながる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓛ			
		相づちを打ったり必要に応じてメモを取ったりするなど、相手の話に関心を持って聞くことができる。	退屈な時にどのような食べ物を食べがちなのかや退屈の解消法などをグループで話す。	相づちを打ったり必要に応じてメモを取ったりするなど、相手の話に関心を持って聞いている。	授業観察 ワークシート
		「外国語表現の能力」Ⓡ			
		情報や考えについて、互いに質問したり質問に答えたりすることができる。	キーセンテンスを抜き出し、ペアで意見交換する。各自、英文における研究結果を整理し、伝える。	意味内容が聞き手に伝わるように音読できている。	ワークシート 授業観察
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できる。	研究結果に関する筆者の考えを表すキーセンテンス抜出し、ペアで意見交換する。	説明などを読んで事実と意見などを区別して内容を理解できている。	ワークシート 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		Cause など＜V O to do＞をとる動詞の使い方を理解し、文を作ることができる。	Cause など＜V O to do＞をとる動詞の使い方説明を聞き、文を作る。	Cause など＜V O to do＞をとる動詞の使い方を理解し、文を作っている。	ワークシート

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１７ (3 時間)	乱獲により、世界の魚の数が減っている。一方養殖は魚の需要は満たせるが、環境を汚染する。それらの問題を解決する手段として、外洋養殖がある。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート 授業観察
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		外洋養殖の概要と利点について既習の語句や文法事項を活用し表現できる。	既習の語句や文法事項を活用し、外洋養殖の概要と利点についてメモをもとにグループで発表する。	外洋養殖の概要と利点について既習の語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓦ			
		外洋養殖の概要と利点について既習の語句や文法事項を活用して書き、表現できる。	外洋養殖の概要と利点について既習の語句や文法事項を活用して書く。	外洋養殖の概要と利について既習の語句や文法事項を活用して書き、表現できている。	授業観察 ワークシート
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		追加を表す表現を確認し、文のつながりを理解する。	追加を表す表現についての説明を聞き、使い方を理解する。	追加を表す表現を確認し、文のつながりを理解している。	ワークシート
Lesson１８ (3 時間)	シドニーオペラハウスは J ウッツォンが設計した印象的な建物である。彼は完成前に州政府との関係の悪化が原因で、計画から退いた。その後建物の偉大さが認められると、関係は修復した。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合う。	必要に応じ、辞書を使い、ペアで協力して意見交換し、論旨をまとめる。	間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合っている。	授業観察
		「外国語表現の能力」Ⓡ			
		オペラハウスに関する経緯を聴き手に伝わるように、音読することができる。	読んだ内容や経験したことをもとにその論旨や自分の考えをワークシートに整理する。	オペラハウスに関する経緯を聴き手に伝わるように、音読することができている。	ワークシート 授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	説明などを読んで重要な事実を捉えることを通じ全体の要旨を理解する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	ワークシート 授業観察
		「言語や文化についての知識・理解Ⓛ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容の概要を聴きとることができる。	単語の発音、イントネーション等の特徴を理解する。筆者の論旨を聞き取り、整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容の概要を聴きとることができている。	授業観察 ワークシート 定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson１９ (3時間)	現在人にはメディアリテラシー、つまり情報をインターネットで探し、メッセージを分析・評価し、自ら発信する力が必要である。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓡ			
		読みながらメモを取るなどして関心をもって読む。	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続ける。	読みながらメモを取るなどして関心をもって読んでいる。	ワークシート 授業観察
		「外国語表現の能力」Ⓢ			
		メディアリテラシーに関する文を語句や文法事項を活用して要約できる。	要約のキーとなるイラストを見ながら、口頭で本文の内容を要約する。	メディアリテラシーに関する文を語句や文法事項を活用して要約できている。	授業観察
		「外国語理解の能力」Ⓦ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができ、内容を整理できる。	要約のキーとなるイラストを見ながら、本文の要約を書く。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができ、内容を整理できている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」Ⓡ			
		メディアに関して使われている語句の意味を知り、使う事ができる。	メディアに関する語句の意味を学び、読解・要約などで活用する。	メディアに関して使われている語句の意味を知り、使っている。	ワークシート
Lesson２０ (3時間)	ピカソは幼い頃から絵の才能を発揮した。ピカソのキャリアは複数の時代に分けられ、晩年はおそらく世界で最も影響力のある芸術家だった。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」Ⓢ			
		間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合う。	必要に応じ、辞書を使い、ペアで協力して意見交換し、論旨をまとめる。	間違うことを恐れず積極的に情報や考えなど話し合っている。	授業観察
		「外国語表現の能力」Ⓡ			
		「ピカソ」に関する筆者の論説を聴き手に伝わるように、音読することができる。	読んだ内容や経験したことをもとにその論旨や自分の考えをワークシートに整理する。	「ピカソ」に関する筆者の論説を聴き手に伝わるように、音読することができている。	ワークシート 授業観察 定期考査
		「外国語理解の能力」Ⓡ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	説明などを読んで重要な事実を捉えることを通じ全体の要旨を理解する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容を的確に読み取ることができている。	ワークシート 授業観察
		「言語や文化についての知識・理解Ⓛ			
		語句や表現、文法事項の知識を活用して内容の概要を聴きとることができる。	単語の発音、イントネーション等の特徴を理解する。筆者の論旨を聞き取り、整理する。	語句や表現、文法事項の知識を活用して内容の概要を聴きとることができている。	授業観察 ワークシート

学校番号	2004

令和２年度　学 探究科

教科	学 探究	科目	（学）探究ナビⅠ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

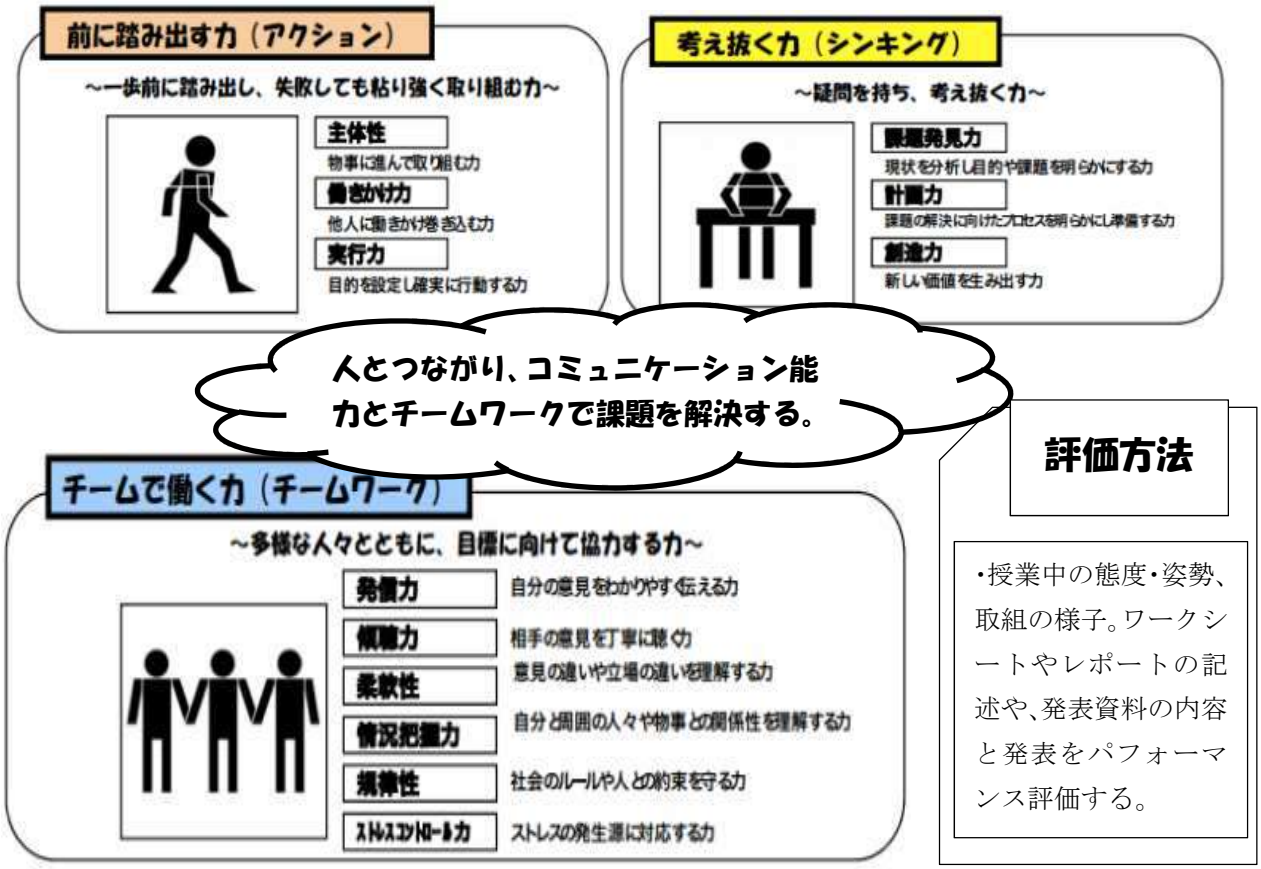
自らの進路を切り拓くことができる人材の育成

「生きる力の基礎（社会人基礎力）となるコミュニケーション能力を育成する。」
アイスブレイクによって人とつながる力、また、コミュニケーション能力の基礎となる「話す」力や「聴く」力を身につけ、それらを基盤としながら課題を「見つけ」「調べ」「まとめ」「伝える」力を育てます。そしてお互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」することに挑戦します。

２　学習の到達目標

【発見】人とつながることで自他の多様性と可能性に気づき、多様性が生み出す新たな価値と、可能性がもたらす新たな成長に気づく。
【探究】コミュニケーション能力とチームワークを発揮することで、課題解決に必要なプロセスや方法を探究する。
【感動】自己の主体性を活かしながらチームで取り組むことで課題解決ができることを体験し、驚きや喜び等の感動を得る。
【自信】課題解決の達成によって確かな自信を得て、社会の中で他者と協働しながら自己の可能性を実現していく力にする。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）



★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 ア	シ	チ	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	アイスブレイク	アイスブレイクを学ぶ		○			ア：自ら人と関わり、コミュニケーションを取ることができる。 シ：人間関係における適切な言動の在り方について考えられる。 チ：メンバーの一員としてグループをチームにすることに貢献できる。	ワークシート・活動評価等
		名前と言葉の大切さ		○	○			
		集団づくり			○	○		
	コミュニケーション	伝えることと受け止めること		○			ア：さまざまコミュニケーションスキルを身に着け、実践できる。 シ：より良い人間関係の構築に必要なことを考え、言動に反映できる。 チ：自己の意見を発信しつつ他者の意見を受容し、協働できる。	
		肯定的な受容と応答		○				
		他者との協働			○	○		
	防災	災害と生活			○		シ：災害に対する知識を持ち、防災の計画を立てることができる。 チ：災害をシミュレーションし、チームで課題を乗り越えられる。	
		防災シミュレーション				○		
	自己調整と協働	ポートフォリオとメタ認知			○		ア：グループでのフィールドワークに積極的に取り組むことができる。 シ：自らの学びを振り返り、生活に応用することができる。 チ：グループで役割分担をして情報収集し、チームでまとめられる。	
		夏休みの宿題		○		○		
夏季休業期間 ※キャンパスメンバーズを利用した課題に取り組む								
2学期	仕事調べ	夏休みの宿題プレゼン		○		○	ア：プレゼンテーションの準備や発表に主体的に取り組むことができる。 シ：収集した情報を整理し、ポイントをまとめてプレゼン資料を考案できる。 チ：チームワークを発揮してより効果的なプレゼンテーションを実践できる。	ワークシート・プレゼン発表等
		働く意義について			○			
		適性検査と仕事調べ			○			
		職業カルタ			○	○		
		就職説明会の準備			○			
		１つの職業を深く調べる			○			
		発表の準備とリハーサル			○	○		
		就職説明会		○		○		
	演劇①	演劇について			○		ア：劇作りに積極的に取り組むことができる。 シ：演劇的な表現について理解し、劇作りに取り入れることができる。	ワークシート・演劇発表等
		演劇ワークショップ		○				
3学期	演劇②	劇団旗揚げと役割分担		○		○	ア：劇団を旗揚げし、メンバーの一員として役割を果たすことができる。 シ：シナリオや表現方法を考え、より良いものへとブラッシュアップしていくことができる。 チ：劇団内のメンバーの意見に加え、専門家や教員、他の生徒によるフィードバックを踏まえて、チームで演劇を完成できる。	
		台本作りに取り組む			○	○		
		PDC A サイクルの活用			○			
		相互評価の活用			○	○		
		発表準備				○		
		クラス発表		○	○	○		
		全体発表		○	○	○		
	反省と総括	反省と総括			○		シ：演劇での学びと、探究ナビⅠ全体の学びを振り返り、社会や人生に応用することができる。	ワークシート

※探究ナビの評価は、提出物内容と授業の様子のバランスを考え、双方での評価をします。

学校番号	2004

令和２年度　学　探究科

教科	学 探究	科目	(学)探究ナビⅡ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

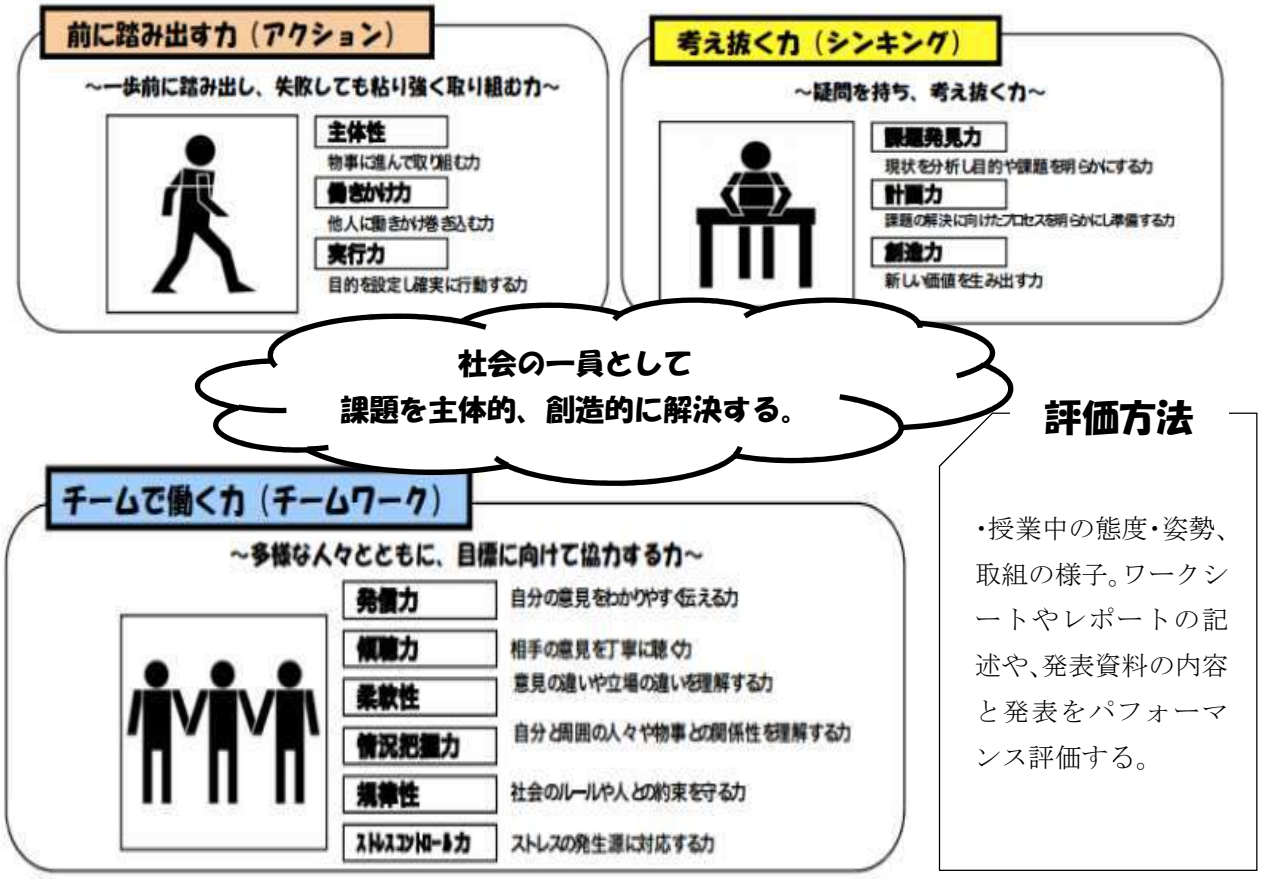
自らの進路を切り拓くことができる人材の育成

「社会の一員として、主体的、創造的に課題を解決する力を育成する。」
我々がめざすべき社会とはどのような社会なのか、現在の社会が抱える課題は何なのか。変化の激しいこれからの社会で皆さんがどのように生きていくのかを仲間とともに考え続けます。
探究ナビⅠで身に着けたコミュニケーション能力を活かし、仲間と協働することで課題を主体的、創造的に解決する力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

【発見】「起業」や「シンギュラリティ」の基礎知識を身につけ、これからの社会で必要なことや現在の社会が抱える課題を見つける。
【探究】課題を解決するために必要なものは何か、課題を多角的な視点で捉え、調査や考察を繰り返しながら解決方法について探究し、一つの企画を提案する。
【感動】提案した企画を全体で共有し、改善点や実現可能性、独創性などを検討する中で、自他の可能性の豊かさに気づき、感動を得ながら、企画をブラッシュアップさせる。
【自信】磨き上げた企画を多数の人に伝えるために効果的なプレゼンテーションを行い、自信を得る。優秀なグループには学年全体の発表会や全国大会で発表する機会が与えられる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）



評価方法

・授業中の態度・姿勢、取組の様子。ワークシートやレポートの記述や、発表資料の内容と発表をパフォーマンス評価する。

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 ア	シ	チ	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	遠足	遠足計画の立案・共有・改善		○	○	○	ア：有意義な遠足にするための計画を積極的に立てる。 シ：複数の行き先を設定し、効率的に行動する計画を立てる。 チ：班でコンセンサスを取り、計画・情報発信ができる。	ワークシート・発表内容等
		Webで発信する資料の作成				○		
	ＡＩ	ＡＩ基礎知識			○		シ：現在の社会にある技術や課題について知り、未来の社会で自分たちがどう生きるべきかを考えることができる。	
	クエストエデュケーション	オリエンテーション			○		ア：企業の特徴や課題を見つけるために、積極的に情報収集に努める。 シ：社会人としての心構えを学び、その企業の社員として、自社の強みや課題を発見することができる。 チ：チームを立ち上げ、それぞれのメンバーがその中でどのような役割を果たすべきかを話し合い、活動を開始する。	
		仕事意識について			○			
		企業エントリー			○	○		
		新人研修			○			
		アンケート調査に取り組む		○		○		
2学期	クエストエデュケーション	調査レポートの作成・発表			○	○	ア：与えられたミッションについて考え、見つけた課題や他者から得た意見に真摯に向き合う。また、自分たちの企画に満足せず、常に改善点や新たなアイデアを求めてブラッシュアップを続ける。 シ：シンキングツールを用いてミッションを読み解き、自分たちなりの解釈を得る。また、ミッションにこたえるための独創的な企画を立案する。 チ：班で役割を分担し、個々の能力を最大限に生かす。個々のメンバーの意見を丁寧に聴き、物事を多角的に捉え、一つの企画を立てて磨き上げていく。また、自分たちの意見や計画を効果的に他チームに伝えることはもちろん、他チームの考えや企画を聴いて理解し、他チームへアドバイスをしたり、自チームに生かしたりすることができる。	ワークシート・発表内容等
		合同研修			○			
		企画会議を開く		○		○		
		企画案をまとめる			○	○		
		中間報告１ ブラッシュアップ		○	○	○		
		プレゼンテーション研修			○			
		プレゼンテーションの作成			○	○		
		中間報告２ プレゼンテーション		○	○	○		
3学期		最終発表に向けて		○		○		
		クラス内発表会		○		○		
		学年全体発表会		○		○		
		年間活動記録の作成			○	○		
	振り返り	クエスト全体の振り返り		○	○		ア：探究ナビで得た力を今後の人生に積極的に生かそうとする。 シ：変化の激しいこれからの社会に向けて自分がどう生きるかを考える。	ワークシート等
		探究ナビⅡの振り返り		○	○			

※探究ナビの評価は、提出物内容と授業の様子のバランスを考え、双方での評価をします。

学校番号	2004

令和２年度　学　探究科

教科	学 探究	科目	(学)探究ナビⅢ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

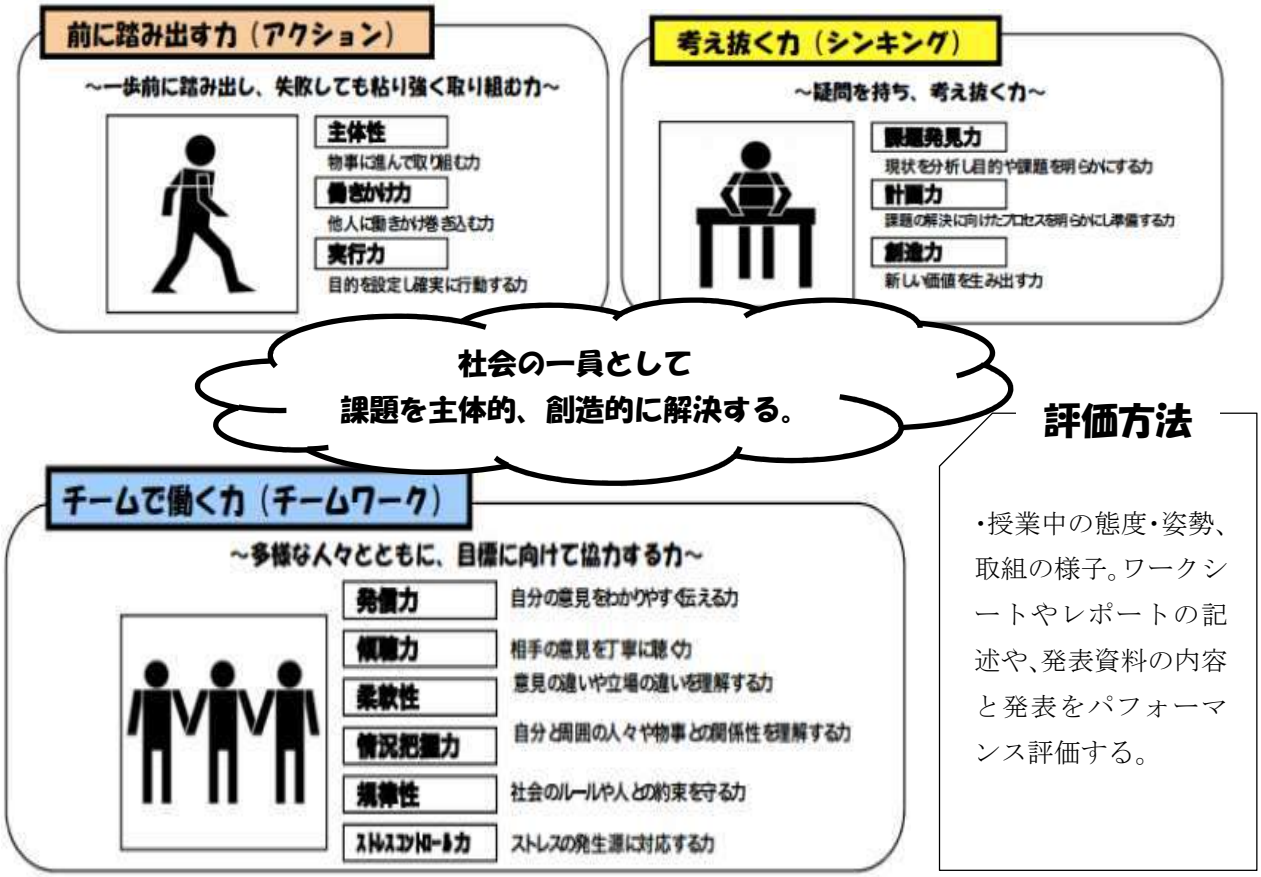
自らの進路を切り拓くことができる人材の育成

「社会の一員として、主体的、創造的に課題を解決する力を育成する。」
我々がめざすべき社会とはどのような社会なのか、現在の社会が抱える課題は何なのか。変化の激しいこれからの社会で皆さんがどのように生きていくのかを仲間とともに考え続けます。
探究ナビⅠ，Ⅱで身に着けたコミュニケーション能力や課題解決能力を活かし、課題を主体的、創造的に解決する力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

【発見】「起業」や「シンギュラリティ」の基礎知識を身につけ、これからの社会で必要なことや現在の社会が抱える課題を見つける。
【探究】課題を解決するために必要なものは何か、課題を多角的な視点で捉え、調査や考察を繰り返しながら解決方法について探究し、一つの企画を提案する。
【感動】提案した企画を全体で共有し、改善点や実現可能性、独創性などを検討する中で、自他の可能性の豊かさに気づき、感動を得ながら、企画をブラッシュアップさせる。
【自信】磨き上げた企画を多数の人に伝えるために効果的なプレゼンテーションを行い、自信を得る。優秀なグループには学年全体の発表会や全国大会で発表する機会が与えられる。

３　学習評価（評価の観点の趣旨）



評価方法

・授業中の態度・姿勢、取組の様子。ワークシートやレポートの記述や、発表資料の内容と発表をパフォーマンス評価する。

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点 ア	シ	チ	単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
1学期	遠足	遠足計画の立案・共有・改善		○	○	○	ア：有意義な遠足にするための計画を積極的に立てる。 シ：複数の行き先を設定し、効率的に行動する計画を立てる。 チ：班でコンセンサスを取り、計画・情報発信ができる。	ワークシート・発表内容等
		Web で発信する資料の作成				○		
	現代社会	ＡＩ基礎知識			○		シ：現在の社会にある技術や課題について知り、未来の社会で自分たちがどう生きるべきかを考えることができる。	
		起業基礎知識			○			
	クエストエデュケーション	オリエンテーション			○		ア：企業の特徴や課題を見つけるために、積極的に情報収集に努める。 シ：社会人としての心構えを学び、その企業の社員として、自社の強みや課題を発見することができる。 チ：チームを立ち上げ、それぞれのメンバーがその中でどのような役割を果たすべきかを話し合い、活動を開始する。	
		仕事意識について			○			
		企業エントリー			○	○		
		新人研修			○			
		アンケート調査		○		○		
2学期	クエストエデュケーション	調査レポートの作成・発表			○	○	ア：与えられたミッションについて考え、見つけた課題や他者から得た意見に真摯に向き合う。また、自分たちの企画に満足せず、常に改善点や新たなアイデアを求めてブラッシュアップを続ける。 シ：シンキングツールを用いてミッションを読み解き、自分たちなりの解釈を得る。また、ミッションにこたえるための独創的な企画を立案する。 チ：班で役割を分担し、個々の能力を最大限に生かす。個々のメンバーの意見を丁寧に聴き、物事を多角的に捉え、一つの企画を立てて磨き上げていく。また、自分たちの意見や計画を効果的に他チームに伝えることはもちろん、他チームの考えや企画を聴いて理解し、他チームへアドバイスをしたり、自チームに生かしたりすることができる。	ワークシート・発表内容等
		合同研修を受ける			○			
		企画会議を開く		○		○		
		企画案をまとめる			○	○		
		中間報告１ ブラッシュアップ		○	○	○		
		プレゼンテーション研修			○			
		プレゼンテーションの作成			○	○		
		中間報告２ プレゼンテーション		○	○	○		
		最終発表に向けて		○		○		
		クラス内発表会		○		○		
		学年全体発表会		○		○		
3学期		年間活動記録の作成			○	○		
	振り返り	クエスト全体の振り返り		○	○		ア：探究ナビで得た力を今後の人生に積極的に生かそうとする。 シ：変化の激しいこれからの社会に向けて自分がどう生きるかを考える。	ワークシート等
		探究ナビⅠ～Ⅲの振り返り		○	○			

※探究ナビの評価は、提出物内容と授業の様子のバランスを考え、双方での評価をします。

学校番号	2004

令和２年度　学 探究科

教科	学 探究	科目	(学)グローバルスタディーズ	単位数	2	学年	2
使用教科書	開発教育教材や自主製作プリント等						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近年、日本へやってくる外国人が急増していることを知っていますか？以前とくらべ、日本とは異なる文化の人と交流が出来るようになったり、日本人が海外で仕事をしたり生活することも容易になりました。しかし、同時に外国人とのトラブルも増えています。異文化交流の場で起こるさまざまな問題点をテーマに、異文化に接する際、我々はどのような対応をするべきかを考えましょう。

２　学習の到達目標

体験的な学習活動等を通じて、異文化理解や地球規模の課題について理解させる

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の諸課題を意欲的に追求する姿勢。

評価方法

・振り返りシート
・出席、参加態度

b 思考・判断・表現

国際社会の諸課題について、グローバルな見方・考え方に基づいて考え、文章や発表の形で表現する。

評価方法

・振り返りシート
・相互評価シート

c 資料活用の技能

国際社会の諸課題について、パソコン等を用いて、情報収集や発表資料を作成する力。

評価方法

・プレゼンテーション
・グループワーク

d 知識・理解

国際社会の諸課題について理解するとともに、異文化と接する際のコミュニケーションについて理解する

評価方法

・振り返りシート
・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	異文化理解	異文化を知る必要性		○			○	a異文化理解を意欲的に深めようとしている b異文化に対して意見を持ち表現しようとしている c異文化に関する情報を収集し活用しようとしている d異文化に関する知識を持ち理解しようとしている	態度・感想文・確認テスト
		エスノセントリズムの怖さ			○	○			
		様々な擬似異文化体験		○	○	○	○		
		1学期のまとめ・テスト			○		○		
2学期	1人一国プレゼン	世界の国を 調査研究し発表			○		○	a他の国に興味を持ち意欲的に発表しようとしている b他の国が抱えている問題に意見しようとしている c他の国の情報を収集し活用しようとしている d他の国に対し理解を深めようとしている	態度・感想文・確認テスト
	開発教育	世界の問題 コンビニ・パーム油		○			○	a世界の諸問題に興味を持ち、意欲的に追求しようとしている b世界の諸問題について意見を持ち表現しようとしている c世界の諸問題の情報を収集し活用しようとしている d世界の諸問題に対し理解を深めようとしている	
		世界の問題 コーヒー･貿易･NGO		○		○	○		
		２学期のまとめ・テスト			○	○			
3学期	グループ発表	日本の文化プレゼン				○	○	a世界の諸問題に興味を持ち、意欲的に貢献しようとしている b国際貢献について意見を持ち表現しようとしている c日本や世界の情報を収集し活用しようとしている d日本や世界の文化に対し理解を深めようとしている	態度・感想文・確認テスト
		留学生との交流				○	○		
		国際ボランティアについて		○	○	○			
		世界の問題 紛争･貧困･ゴミ問題		○	○		○		

学校番号	2004

令和２年度　学 探究科

教科	学 探究	科目	(学)グローバルスタディーズ	単位数	2	学年	3
使用教科書	開発教育教材や自主製作プリント等						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近年、日本へやってくる外国人が急増していることを知っていますか？以前とくらべ、日本とは異なる文化の人と交流が出来るようになったり、日本人が海外で仕事をしたり生活することも容易になりました。しかし、同時に外国人とのトラブルも増えています。異文化交流の場で起こるさまざまな問題点をテーマに、異文化に接する際、我々はどのような対応をするべきかを考えましょう。

２　学習の到達目標

体験的な学習活動等を通じて、異文化理解や地球規模の課題について理解させる

３　学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の諸課題を意欲的に追求する姿勢。

評価方法

・振り返りシート
・出席、参加態度

b 思考・判断・表現

国際社会の諸課題について、グローバルな見方・考え方に基づいて考え、文章や発表の形で表現する。

評価方法

・振り返りシート
・相互評価シート

c 資料活用の技能

国際社会の諸課題について、パソコン等を用いて、情報収集や発表資料を作成する力。

評価方法

・プレゼンテーション
・グループワーク

d 知識・理解

国際社会の諸課題について理解するとともに、異文化と接する際のコミュニケーションについて理解する

評価方法

・振り返りシート
・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習プログラム（年間学習指導計画）　　★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した　B…概ね達成した　C…課題を残した　D…多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	異文化理解	異文化を知る必要性		○			○	a異文化理解を意欲的に深めようとしている b異文化に対して意見を持ち表現しようとしている c異文化に関する情報を収集し活用しようとしている d異文化に関する知識を持ち理解しようとしている	態度・感想文・確認テスト
		エスノセントリズムの怖さ			○	○			
		様々な擬似異文化体験		○	○	○	○		
		1学期のまとめ・テスト			○		○		
2学期	1人一国プレゼン	世界の国を 調査研究・発表			○		○	a他の国に興味を持ち意欲的に発表しようとしている b他の国が抱えている問題に意見しようとしている c他の国の情報を収集し活用しようとしている d他の国に対し理解を深めようとしている	態度・感想文・確認テスト
	開発教育	世界の問題 コンビニ・パーム油		○			○	a世界の諸問題に興味を持ち、意欲的に追求しようとしている b世界の諸問題について意見を持ち表現しようとしている c世界の諸問題の情報を収集し活用しようとしている d世界の諸問題に対し理解を深めようとしている	
		世界の問題 コーヒー･貿易･NGO		○		○	○		
		２学期のまとめ・テスト			○	○			
3学期	グループ発表	日本の文化プレゼン				○	○	a世界の諸問題に興味を持ち、意欲的に貢献しようとしている b国際貢献について意見を持ち表現しようとしている c日本や世界の情報を収集し活用しようとしている d日本や世界の文化に対し理解を深めようとしている	態度・感想文・確認テスト
		留学生との交流				○	○		
		国際ボランティアについて		○	○	○			
		世界の問題 紛争･貧困･ゴミ問題		○	○		○		